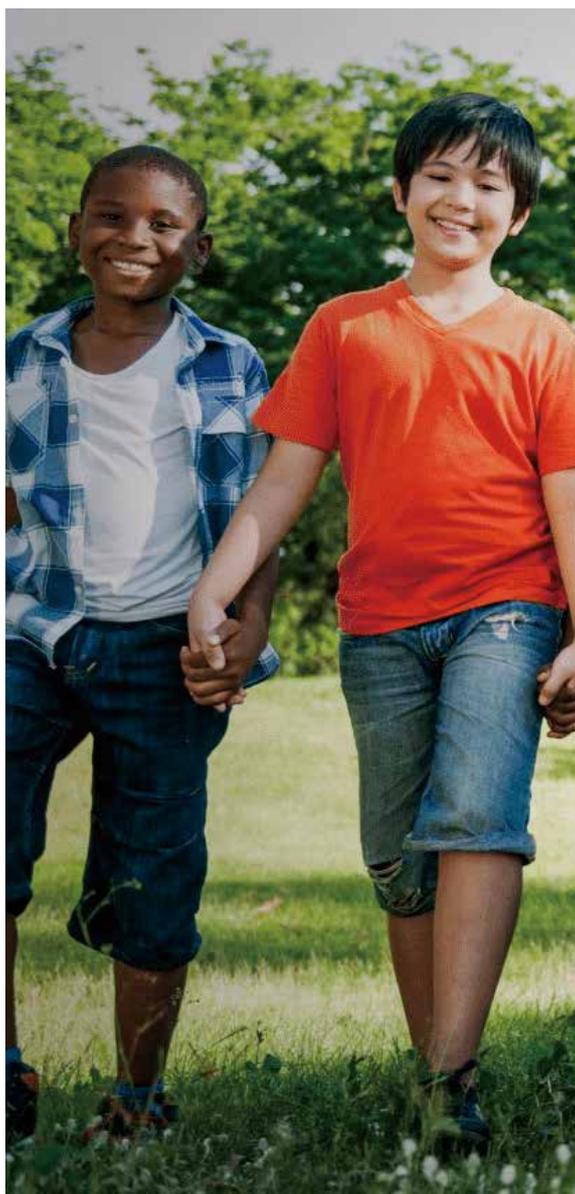


Attracting Tomorrow



サステナビリティレポート 2023

目次

目次	
編集方針	「サステナビリティ」WEBサイト編集方針 4
トップ コミットメント	トップコミットメント 6
CPSO メッセージ	CPSOメッセージ 9
これでわかる! TDKの サステナビリティ	これでわかる!TDKのサステナビリティ 11
サステナビリティ 経営	サステナビリティ経営
	経営理念体系とサステナビリティビジョン 16
	TDKグループのマテリアリティ 20
	マテリアリティと推進体制 21
	マテリアリティの特定プロセス 23
	マテリアリティ進捗報告一覧 24
	Energy Transformation (EX) 31
	Digital Transformation (DX) 34
環境	品質管理 37
	人材マネジメント 40
社会	サプライチェーンマネジメント 43
	オポチュニティ&リスクマネジメント 46
	権限委譲と内部統制の追求 49
	資産効率の向上 51
ガバナンス	サステナビリティ推進体制 53
	SDGsへの取り組み 56
	TDKグループのSDGsへの考え方と活動 57
	製品によるSDGsへの貢献 64
社会的評価・ インデックスへの 組み入れ	ステークホルダーエンゲージメント 71
	ESGファイナンスによる資金調達 74
リコール中の 加湿器回収に 関するご報告	
検索 / 対照表	環境
	環境方針・環境ビジョン 77
	TDKグループ安全衛生・環境憲章 80
	環境マネジメントシステム 82
	ISO14001およびISO50001認証取得事業所(2022年7月1日現在) 85
	目標と実績 87
	気候変動への取り組み 89
	水資源への取り組み 104
	資源の有効利用 107
	化学物質使用リスクの削減 110
	生物多様性への姿勢 112

目次
編集方針
トップ コミットメント
CPSO メッセージ
これでわかる! TDKの サステナビリティ
サステナビリティ 経営
環境
社会
ガバナンス
社会的評価・ インデックスへの 組み入れ
リコール中の 加湿器回収に 関するご報告
検索 / 対照表

外部保証	114
第三者検証	115
環境パフォーマンスデータの第三者レビュー	117
TDKの環境活動の歴史	118
環境データ	120
社会	
人権の尊重	127
TDKグループ人権ポリシー	135
お客様満足	136
人材の育成	138
ダイバーシティ&インクルージョン	142
タレントアトラクション&リテンション	146
安全衛生	150
ISO45001認証取得事業所(2023年5月1日現在)	153
健康経営	155
社会貢献活動	158
社会データ	161
ガバナンス	
コーポレート・ガバナンス	165
リスクマネジメント	166
企業倫理・コンプライアンス	168
サステナブル調達	171
ビジネスパートナーとのお付き合いに関する考え方	178
責任ある鉱物調達	179
責任ある鉱物調達ポリシー	182
製造拠点における社会・環境配慮	183
税務戦略	186
情報セキュリティ	188
品質保証	191
ガバナンスデータ	196
社会的評価・インデックスへの組み入れ	198
リコール中の加湿器回収に関するご報告	200
検索 / 対照表	
ESG 調査用インデックス	202
GRIスタンダード対照表	206
SASB 対照表	211
SDGs 検索	214
ステークホルダー別検索	216
ESG 関連データ検索	218
ESG 関連方針検索	219

サステナビリティ

「サステナビリティ」WEBサイト編集方針

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

情報のすみわけと「サステナビリティ」WEBサイト編集方針

TDKの中期経営計画「Value Creation2023」では、Social Value (社会的価値) を高めることで会社の成長 (Commercial Value) につなげ、そこから得た利益や資産を効率よく利用 (Asset Value) した結果、得られた資産を活かしてさらに社会に貢献するというサイクルを回していくことを目指しています。

本「サステナビリティ」WEBサイト (Sustainability Report) では、「Social Value (社会的価値)」向上に紐づくESG情報を掲載しています。

掲載内容は、GRI (Global Reporting Initiative) スタンドアードの「中核」に準拠するほか、SASB等も参考に検討しています。

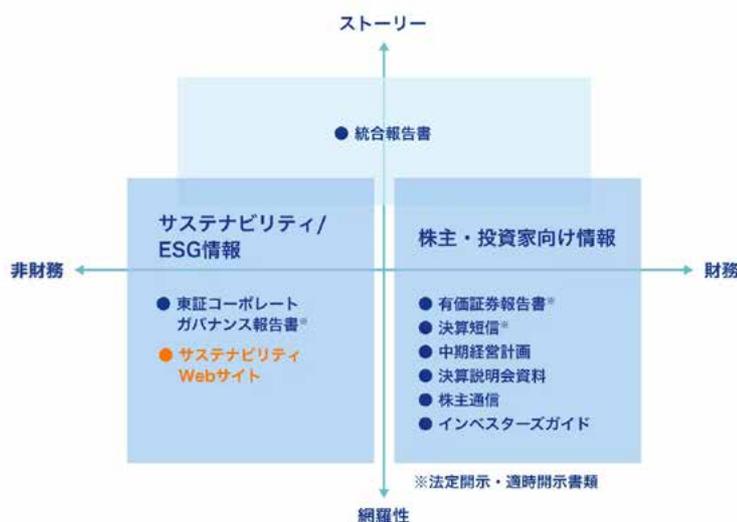
また、社会課題を背景に、経営戦略、当社グループの事業が社会に及ぼす影響度、ステークホルダーの関心度、現状の対応を考慮し、ステークホルダーからの意見も踏まえて検討したマテリアリティに関する情報についても進捗が分かるように報告しています。

TDKホームページの株主・投資家情報では、IRニュースやIRカレンダー、最新資料等を通じてCommercial Value、Asset Valueの最大化に関する方針や戦略を発信しています。

統合報告書には、TDKグループがこの3つのValueを創造しながら社会に貢献し、その結果として事業を成長させるストーリーを掲載しています。ぜひ併せてご覧ください。

[株主・投資家情報 WEBサイト](#)
[統合報告書](#)

サステナビリティWEBサイトの位置づけ



報告対象期間

2022年度 (2022年4月1日～2023年3月31日 / 2023年3月期) を中心に掲載

- 期間以外の活動も含んでいます。
- 進捗状況を分かりやすくお伝えするため、経年のデータを掲載しています (一部を除く)。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

報告対象組織

TDKグループ (TDK株式会社および国内・海外連結子会社140社/2023年3月末時点)。

- ・掲載情報が特定の報告範囲を示す場合は、個々に記載しています。

対象期間中に発生した組織の重要な変更

2022年4月に、TDK秋田株式会社は、TDK庄内株式会社及びTDK甲府株式会社を加えた3社間で、TDK秋田株式会社を存続会社とする吸収合併を行いました。また、TDK秋田株式会社は、その商号をTDKエレクトロニクスファクトリーズ株式会社に変更いたしました。

開示情報の客観性・正確性の向上

環境パフォーマンスデータについて、SGSジャパン株式会社による第三者検証および第三者レビューを実施

[第三者検証](#)

[環境パフォーマンスデータの第三者レビュー](#)

更新年月

2023年8月 (前回: 2022年8月、次回: 2024年8月予定)

参照ガイドライン

GRI (Global Reporting Initiative) スタンダード (「中核」準拠)

SASB スタンダード (米国サステナビリティ会計基準審議会)

お問い合わせ先

GRI (Global Reporting Initiative) スタンダード (「中核」準拠)

✉ [お問い合わせフォーム \(myTDK\)](#)

将来に関する記述についての注意事項

「サステナビリティ」WEBサイトには、TDKグループに関する計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価などの基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあることをご承知おきください。

サステナビリティ

トップコミットメント

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表



テクノロジーですべての人を幸福に

TDKは技術力を高めて製品を提供し、
お客様を通して社会課題に挑戦し続けます

代表取締役 社長執行役員 齋藤 昇

TDKは、磁性技術で世界をリードする総合電子部品メーカーですが、社是に掲げる「創造によって文化、産業に貢献する」を実践することで、これまで社会にとって価値のある数多くの製品を提供し続けてきました。

社会課題解決のために企業が取り組むことへの要請がますます高まっている現在、自動車、ICT、産業機器といった幅広い分野のお客様とともに、私たちはサステナブルな社会の構築に最大限貢献したいと考えています。

激動の経営環境での舵取り

今日、私たちを取り巻く経営環境は「激動」の一言に尽きます。2022年度、世界ではコロナ禍の影響が残る中、ウクライナ情勢の変化などにより地政学的リスクが急速に高まりました。また、サプライチェーンの混乱やエネルギー価格の高騰、世界的な金融不安とそれに伴う金利上昇、景気停滞など、さまざまな問題が一挙に噴出し、国際社会の分断への懸念も強まっています。

急速に変化する世界で、迅速かつ的確にオポチュニティをとらえ、リスクにしなやかに対応するため、TDKは日本・ヨーロッパ・アメリカ・中国それぞれの地域本社の機能強化を進めています。積極的なM&Aを通じて成長してきたTDKは、多様な個性を持つ会社が集まる融合体“TDK United”です。各社の文化を尊重しながら、透明性を確保した上で権限を委譲するという、「エンパワーメント&トランスペアレンシー」を基本スタンスとして、これまで各地域で経営管理的な機能を主に担っていた地域本社が、地域の独自性を活かした成長戦略をダイナミックに立案していけるよう体制を整えました。同時に、各地域での情報収集力を強め、地政学的リスクに備えながら新たな価値創造に挑んでいます。

また、このような激動の時代にあって複雑化するサステナビリティのテーマに、推進力をもって柔軟に取り組むことができるように、2023年4月には、CPSO (Chief People and Sustainability Officer) を新たに設置し、人財本部長であるAndreas Keller 常務執行役員が着任しました。サステナビリティはTDKの戦略において極めて重要な構成要素です。社会課題の解決に向けて、物事を有機的につなげ、たゆまぬ努力を継続することで社会価値を創出する。それをドライブしていくのは、すべて「人財」です。だからこそ、人財の責任者が先頭に立つのは自然なことだと考えます。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

何よりも大切な「人財」のクオリティ

わたしが以前から強調しているのが「人財」の重要性です。テクノロジーの会社であるTDKですが、技術を開発するのも、製品化するのも、マーケティングを行い、販売するのもすべてはTDKのチームメンバー。人財がすべてなのです。その人財のクオリティを高めるために重要なのが、制度や設備などの外部環境の整備のほか、一人ひとりのマインドセットだと考えています。わたしは社長就任以来、各地を回り、チームメンバーである従業員との対話を続けています。そこで感じたことは「自分の携わる仕事は、世の中でこのように役立っている」という従業員の理解が、一人ひとりのモチベーションに大きく影響を与え、ひいては人財のクオリティ向上に大きく寄与するということです。高いクオリティを持つ世界10万人超の従業員一人ひとりが生み出す価値の総和こそ、TDKの価値そのものなのです。

また、人財のクオリティを支えるためには、従業員の健康も極めて重要なテーマです。2023年4月に発表した「TDK健康宣言」では、従業員の健康に対して積極的に関与していく姿勢を明確にし、日本においては健康経営の型づくりとソリューションの共創を目的とする「健康経営アライアンス」にも参画しました。従業員の心身の健康を重要な経営課題の一つととらえ、真摯に取り組んでいきます。



気候変動への取り組み

同様に経営課題の一つとして掲げているのが、気候変動に対する取り組みです。TDKは「2050年CO₂ネットゼロ実現」を掲げており、LE (Lower Energy: エネルギー使用量低減) とRE (Renewable Energy: 再生可能エネルギー) の両面から取り組んでいます。この目標達成の一步として、2023年7月からは、国内すべての製造拠点の電力の100%を再生可能エネルギー由来に転換しました。これまで出遅れていた日本でのRE活用が進むことで、グループ全体でのRE化が速まり、「2025年度における再生可能エネルギー電力導入率50%達成」としていた目標を、2024年度中に達成できる見込みとなりました。エネルギー使用量の低減(LE)についても、すでに国内外いくつかの生産拠点で太陽光発電を活用して生産に必要な電力を補いつつ、発電・蓄電技術を集結したエネルギーマネジメントシステムによってCO₂排出量を削減しています。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

目指すのは「社会になくてはならないTDK」

創業100周年を迎える2035年に向けて私たちが目指すのは、「社会になくてはならないTDK」です。私たちの技術が生み出す製品が直接一般消費者の皆様目に触れることは少ないですが、これまで、幅広い分野の多様な製品のコアとなる電子部品を提供してきました。

世界で普及率が高まる電気自動車には、当社のコンデンサやマグネティクス製品が多数使われているほか、スマートフォンやスマートウォッチ、ワイヤレスイヤホン、太陽光発電や風力発電など、例をあげればきりが無いほど、当社の製品は日々の生活の中や社会インフラに組み込まれ、世の中に広がっています。また、数年前は思いもつかなかった用途で技術や製品が活かされるなど、無限の可能性を秘めているのです。TDKの技術や製品がなければお客様の製品が機能しない、社会が成り立たない、TDKがあるからこそ楽しく充実した生活が送れる、そのような確固たる存在になりたいと考えています。

今後はさまざまな先進技術によってより便利で効率化が進んだ社会となり、時間や距離による制約も少なくなるでしょう。一方で、そうした技術発展の恩恵が受けられない人々や、気候変動の影響が特に大きい地域など、経済的格差が広がる可能性も否めません。そこに対して、TDKに何ができるかが問われています。サステナビリティビジョンで掲げる「テクノロジーですべての人々を幸福に」ですが、私にとって「幸福」とは、あらゆる人々が笑顔でイキイキと暮らし、前向きなチャレンジを重ねられる状態のことです。そして一人ひとりが明るい将来を思い描いていくことが重要です。

論語に、『君子は義に喩(さと)り、小人は利に喩る』という言葉があります。徳のある人物はまず正義か否かを考えて行動するのに対し、そうでない人物は損得を先に考えるという意味です。義を追い求めればその後に利もついてくるのであって、その逆ではないということだと、私なりに解釈を深めています。TDKにあてはめると、まずサステナブルな社会に貢献する技術力を磨き、製品を提供することに尽力する。その結果として、社会課題が解決に向かい、経済や社会が発展するとともに、TDKの成長にもつながり、社会になくてはならない存在になり得るということです。これがTDKとして社会のすべての人々の幸福を追求していくということであり、そうした挑戦をTDK Unitedとして一丸となって続けていきたいと考えています。



サステナビリティ

CPSO メッセージ

目次

編集方針

トップ
コミットメントCPSO
メッセージこれでわかる!
TDKの
サステナビリティサステナビリティ
経営

環境

社会

ガバナンス

社会的評価・
インデックスへの
組み入れリコール中の
加湿器回収に
関するご報告

検索 / 対照表



常務執行役員

Chief People and Sustainability Officer

(兼)人財本部長

Andreas Keller

ステークホルダーの皆様へ

2023年4月、新たに設置された Chief People and Sustainability Officer (CPSO) に就任した Andreas Keller です。

サステナビリティへの私たちのこれまでの歩みとこれからの挑戦に関心をお寄せいただきありがとうございます。急速に変化する世界の課題に立ち向かうためのアプローチを皆さまと共有できることを心から嬉しく思います。

まず、人財部門のトップである私が、サステナビリティの役員に就任したことの意義は人財とサステナビリティの強い相関関係にあると考えます。

人々の活動や選択はサステナビリティにポジティブにもネガティブにも影響を与えるため、サステナビリティの達成には人々の協力や関与が不可欠です。そして、サステナビリティへの取り組みは、将来世代の社会や環境をより確かなものとしませんが、それに取り組むのは現在のチームメンバー、つまり私たちなのです。このように、「人」と「サステナビリティ」は相互に関係しており、人財とサステナビリティのリーダーシップを統合することは理にかなっているのです。

私の CPSO としての使命は大きく3つあると考えています。第一に、TDK の社内外を問わず、地域や組織の垣根を越えて人々をつなぎ、団結させることです。私は TDK での20年以上の経験を含め、営業、オペレーション、サプライチェーン、人事の分野で30年以上のキャリアを積んできました。そこで目にしたことは、人々が技術革新を起こし、新たなスキルを活かしてビジネスを成長させ、進化させていく姿です。そこには人と人のつながりがありました。将来の社会の変化はますます急速かつ予測困難なものとなるでしょう。その中で持続可能な変革を実現する鍵は「人財」にあり、人と人がつながることで、新たな価値を生み出すことができるのです。この点において私は、これまでの経験と専門知識を十分に発揮したいと考えています。

第二に、経営陣と連携して、より実効的なサステナビリティ戦略を策定することです。なぜなら、私たちはサステナビリティビジョン「テクノロジーですべての人を幸福に」を実現するために、自社の利益の最大化だけでなく、持続可能な未来を築くためのテクノロジーへの投資を行い、顧客や従業員、地域社会、地球といったステークホルダーにポジティブな影響を与えたいと考えているからです。そのためには、社会・環境・経済のバランスを取りながら、TDK の事業を持続可能なものにしていかなければなりません。つまり、会社全体の目標に沿った気候変動への対応、持続可能なサプライチェーン構築や製品・サービスの開発を含む戦略が必要なのです。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ**
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

第三に、社外の皆さまに対して、TDKのサステナビリティへの取り組みを広めるためのスポークスパーソンとしての役割を果たしていきます。先に述べたような当社の戦略や取り組みを、透明性をもって積極的に発信することで、ステークホルダーとの信頼関係を構築し、TDKの活動をさらに前進させるような役割を担いたいと考えています。

また、サステナビリティを推進する上で不可欠なのが、サステナビリティが私たちや将来世代、地球全体にとってどのような意味を持つのか、目標を達成するために一人ひとりが果たすべき役割について、より多くの人々が認識し、関心を持って実践を続けることです。

これを推進するため、現在、CDXO (Chief Digital Transformation Officer)を中心にさまざまな部署からチームメンバーが集まり、「DX for Sustainability + (DXを駆使したサステナビリティとエンゲージメント)」という戦略的なDX推進イニシアティブが始動しています。このプロジェクトの主な目的のひとつは、DXの一環として、TDKチームメンバー全員がサステナビリティに対する意識を高め、社内外でのサステナビリティへの取り組みを推進することです。そのほか、人財本部とサステナビリティ推進本部が連携し、サステナビリティに関する意識向上と実践に焦点を当てた研修プログラムを開発していきます。このプログラムは、従業員がサステナビリティにつながる行動をとるよう促進することを狙いとしており、ひいてはTDKだけでなく、私たちの住む世界にも良い影響を与えたいと考えています。

サステナビリティを実現するための私たちの挑戦はまだまだ続きます。私たち全員が団結し協力することで、より公平で持続可能かつ強靱な世界を創り上げられるでしょう。

TDKのサステナビリティWEBではその様子を、ビジョン、取り組み、成果、およびデータとして、積極的かつ透明性をもって共有しています。どうぞ私たちのWEBサイトを継続的にご覧いただき、ご意見をお寄せください。

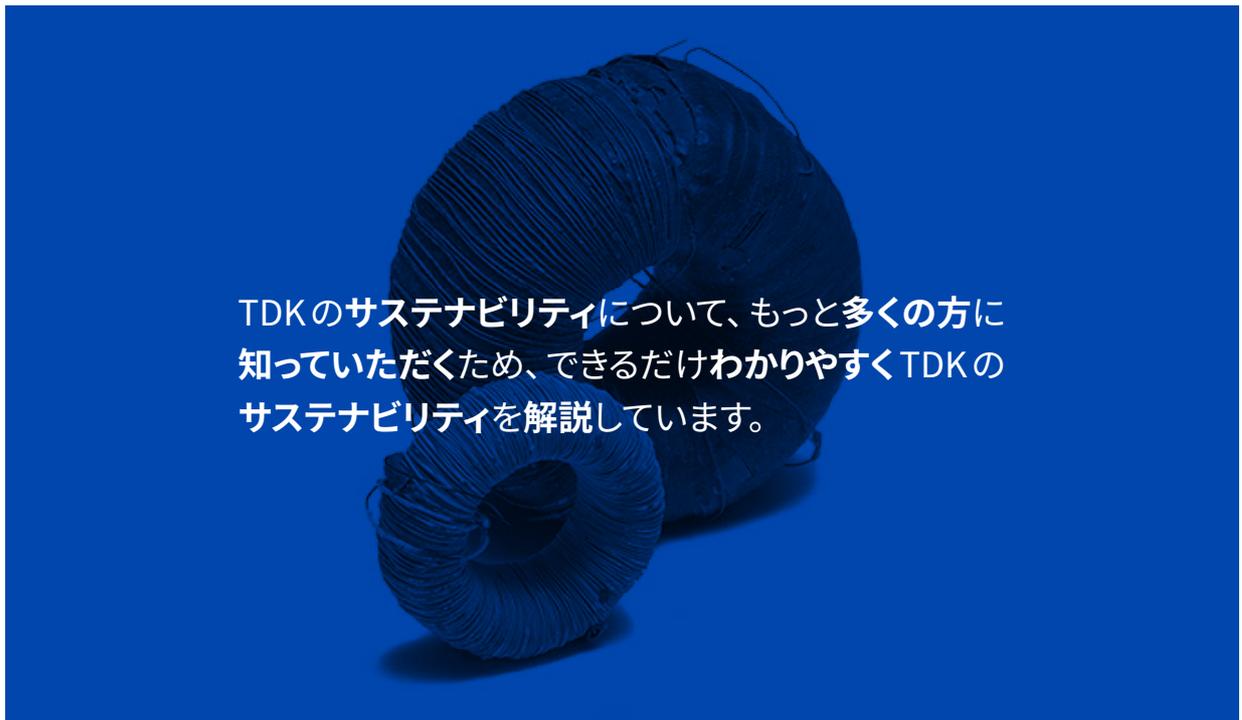
サステナビリティ

これでわかる! TDKのサステナビリティ

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表



これでわかる!
TDKのサステナビリティ



- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

**TDKは
何を目指している？**

サステナビリティビジョン

テクノロジーで すべての人を幸福に

TDKグループは、地球環境の再生・保護に努め、人権を尊重し、独自のコアテクノロジーとソリューションの提供により、すべての人々にとって持続可能で幸福な社会を実現する



私たちは、創業以来培ってきたフェライト起源の素材技術やプロセス技術などのコアテクノロジーを活かすことで、サステナビリティビジョンに描いた社会の実現を目指しており、その中でなくてはならない存在でありたいと考えています。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

**TDKはどうやって
サステナビリティビジョンを実現する？**

私たちは、**製品を通じた貢献と事業活動を通じた貢献の両面**で社会課題の解決に貢献し、サステナビリティビジョンに描いた**社会の実現を目指しています。**

製品を通じた貢献

TDKは、社会課題の解決に向けて、さまざまな製品・技術を通じて価値を提供しています。

気候変動への取り組み

7 再生可能エネルギーをみんなにそしてクリーンに

電力の低消費化を実現する最先端技術

13 気候変動に具体的な対策を

再生可能エネルギーの活用促進やe-モビリティの普及拡大に貢献する製品

人々の健康な暮らしの推進

3 すべての人に健康と福祉を

自動車の安全運転機能の強化に貢献する製品
健康モニタリングシステムの普及に貢献する製品

安全で快適な生活の実現

11 住み続けられるまちづくりを

高いセキュリティ性能で住宅を守る製品
安全で快適な交通システムを支える製品

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会

事業活動を通じた貢献

TDKは、事業を行ううえでのあらゆる活動を通じて社会課題の解決に貢献し、持続可能な社会の実現を目指しています。

環境活動

再生可能エネルギーの使用比率

39.9%

(2022年度)



TDKは2035年度までにライフサイクル的視点でのCO₂排出量原単位半減を目指すことを掲げた「TDK環境ビジョン2035」のもと、さまざまな環境負荷削減の取り組みを行っています。

製造拠点における社会・環境配慮

CSRセルフチェックの実施率

100%

(2022年度)



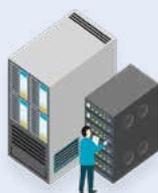
TDKは自己評価、監査、トレーニングと対話の3段階でのフレームワークで、自社グループ製造拠点での社会・環境配慮に努めています。

人材の育成

一人あたり年間研修時間

23.4 時間

(2022年度)



TDKが持続可能に成長し続けるためには、社内の人材を育成し最大限活用することが重要です。従業員が職場や社会の変化への適応に不可欠なスキルを強化するための研修や育成プログラムを提供しています。

サプライチェーンにおける社会・環境配慮

CSR適合サプライヤー比率

100%

(2022年度)



TDKはサプライチェーンが世界に広がるグローバル企業として、自社拠点だけでなく、取引先においても社会・環境に配慮した取り組みを推進することに努めています。

- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

TDKは どこで活躍している？

TDKは世界中の30以上の国や地域に、工場や研究所、営業所などの拠点を設置し、その数は250カ所以上にのぼります。
約10.3万人の従業員が、TDKの目指す姿に向かって活動しています。(2022年度)



経営理念体系とサステナビリティビジョン

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

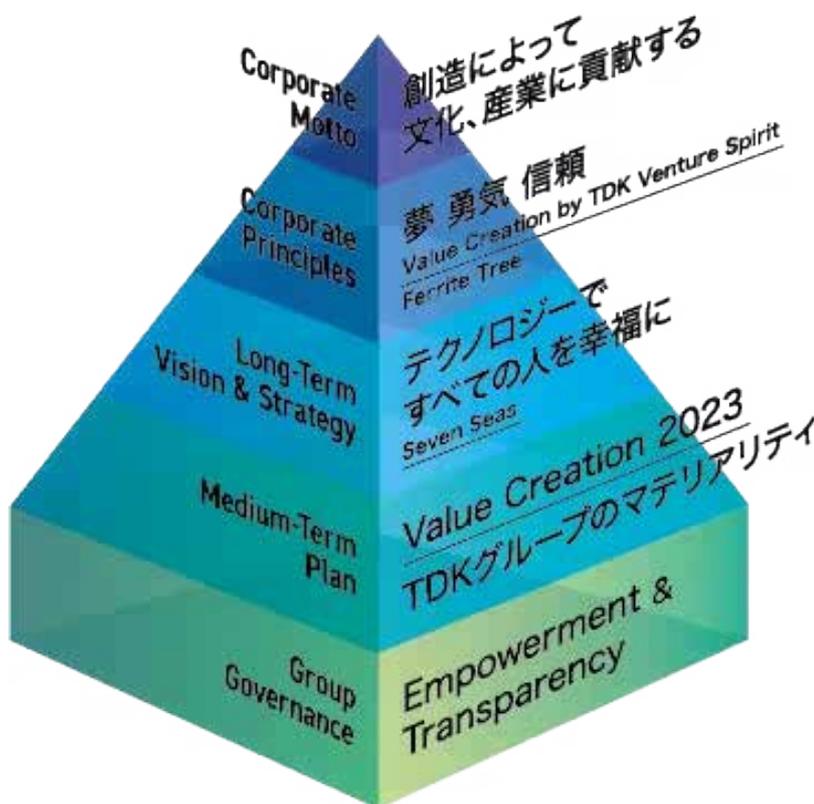
TDK Value Structure	経営理念
長期ビジョン	中期計画
グループガバナンス	

TDK Value Structure

TDKは1935年の設立以来、社会課題の解決を目指して事業に取り組んできました。そして、2023年3月現在、グループ総売上約21,808億円、全世界で約10.3万人が活躍するグローバル企業へと成長し、電子部品業界のリーディングカンパニーとして、独創的かつ最先端の技術や製品を生み出し続けています。創業100年を超えても新たな価値を創造し続けるために、私たちは、10年先を見据えて長期ビジョンと戦略を描き、中期経営計画とTDKグループのマテリアリティを策定。そして、その実現を支えるためのガバナンス体制を構築しました。これを私たちは「TDK Value Structure」と称して社員すべての活動の柱として再確認し、未来のTDKを担う世代へと継承していきます。

関連情報

[統合報告書](#)



経営理念

1930年、東京工業大学の加藤与五郎博士と武井武博士は、鉄等の酸化物からなる一つの磁性セラミック化合物、「フェライト」を発明しました。「独創性のある工業こそが真の工業だ」という加藤博士の言葉に強い印象を受けた初代社長齋藤憲三は「フェライト」を事業化するため、1935年12月7日に東京電気化学工業株式会社（現在のTDK）を設立しました。当時は「フェライト」の応用は未知数で、創業は「夢」を追った「勇気」ある出発でした。そして、東京工業大学とTDKが研究開発を進めた結果、「フェライトコア」という部品として製品化され、1937年に世界に先駆けて日本の無線通信機やラジオなどに応用され、終戦までにのべ500万個が出荷される「信頼」を獲得したのです。「世の中にまだ存在しない価値を素材のレベルから創り上げる」という創業時からの独創の精神は、TDKのDNAとして受け継がれています。1967年6月に制定された社是は、この創業の精神を反映したものです。

社是
創造に
よつて
文化産業に
貢献する

社訓
夢
勇気
信頼

夢：常に夢をもって前進しよう。夢のないところに、創造と建設は生まれない。

勇気：常に勇気をもって実行しよう。実行力は矛盾と対決し、それを克服するところから生まれる。

信頼：常に信頼を得よう心掛けよう。信頼は誠実と奉仕の精神から生まれる。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

長期ビジョン

サステナビリティビジョン

TDKグループを取り巻く社会には、気候変動をはじめエネルギーや資源の枯渇などの環境問題、高齢化社会や情報格差などの社会問題などさまざまな課題が存在します。TDKはこれらの課題解決、つまり将来世代における持続可能な社会構築に貢献していきます。

TDKグループは、経営理念に基づき事業を通じた社会課題解決を目指すことを基本とするとともに、TDKグループ「サステナビリティビジョン」を策定しています。これは、TDK独自のコアテクノロジーとソリューションを最大限活かし、「すべての人々にとって持続可能で幸福な社会を実現する」ことを描いたものです。策定においては、長期的な視点に立ち、改めて取り巻く社会環境を整理するとともに、TDKグループが持つ強みや資源にはどのような可能性があるのかを検討しました。その過程では、経営層はもとより社外有識者等へのヒアリングも実施しました。

今後も、このビジョンをグループ全体で共有しながら事業への落とし込みを図り、幸福な社会の実現に向けた具体的施策を検討・実践していきます。

**TDKグループ
サステナビリティビジョン**

”テクノロジーですべての人を幸福に”

TDKグループは、地球環境の再生・保護に努め、人権を尊重し、独自のコアテクノロジーとソリューションの提供により、すべての人々にとって持続可能で幸福な社会を実現する

また、TDKグループはサステナビリティビジョンを実現するため、サステナビリティ方針を掲げています。

Value Creationの考え方に基づいて「サステナブルな社会」と「企業の成長」の両立に努めます。

- 製品・ソリューション、サプライチェーン全体での活動を通じて、SDGsにも掲げられている気候変動や人権などの地球規模の課題解決に取り組みます。
- ステークホルダーエンゲージメントを通じて、社会と信頼関係を築きます。
- エンパワメント&トランスペアレンシー(権限委譲と透明性の向上)を全グループ会社で推進します。



関連情報

[Seven Seas](#)

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

中期計画

こちらをご覧ください。

関連情報

[中期経営計画](#)

TDKグループのマテリアリティ

こちらをご覧ください。

関連情報

[TDKグループのマテリアリティ](#)

グループガバナンス

こちらをご覧ください。

関連情報

[コーポレート・ガバナンス](#)

サステナビリティ | サステナビリティ経営

TDKグループのマテリアリティ

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営**
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

マテリアリティ・推進体制・特定プロセス・進捗報告一覧

マテリアリティと推進体制	マテリアリティの特定プロセス
マテリアリティ進捗報告一覧	

各領域の目指す姿・意義・部門長メッセージ

EX	DX
品質管理	人材マネジメント
サプライチェーンマネジメント	オポチュニティ&リスクマネジメント
権限委譲と内部統制の追求	資産効率の向上

マテリアリティと推進体制

TDKグループのマテリアリティ

TDKグループは2020年度、中期経営計画作成のタイミングにあわせて「中期経営計画の達成」と「社会のサステナビリティと企業の持続的な成長の両立」のために、組織の経営資源を最優先で投資し対処すべき重要課題と定義づけてマテリアリティを特定しました。

中期経営計画 (Value Creation 2023) では、企業価値を上げる「Commercial Value(成長戦略の実現)」、 「Asset Value(資産効率の向上)」、そして「Social Value(企業の社会的価値の向上)」の3つの「Value」を創造しながら社会に貢献し、その結果として事業を成長させることを目指しています。中でも「Social Value」、つまりサステナブルな社会と企業を目指していくことが、その他のValue創造に向けたサイクルの起点となると考えています。

マテリアリティで掲げている「EX」「DX」は社会価値創造と自社の成長のためにTDKが注力する事業領域であり、当社グループの技術や製品が社会に対して価値を創出できる分野です。主にこの2つの領域について、SDGsで掲げられた課題から製品を生み出す仕組みを社内で整備し、Social Valueの最大化に努めています。

「品質管理」「人材マネジメント」「サプライチェーンマネジメント」「オポチュニティ&リスクマネジメント」「権限委譲と内部統制の追求」「資産効率の向上」については、「EX」「DX」分野でTDKが価値を創造するための基盤となる領域と位置付けています。

マテリアリティの図では、これらが交差しており、両者に相関関係があることを示しています。



- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

中期経営計画（2021-2023）：2CX実現に向けてDXとEXを加速させ、持続可能な社会のための価値を創造する

<p>【EX】 電子デバイスでムダ熱とノイズを最小化し、エネルギー・環境問題に貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 2050年CO₂ネットゼロ実現に向けた、エネルギーの有効利用と再生可能エネルギーの利用拡大 脱炭素社会を実現するためにグリーンエネルギーを創出する製品・ソリューションの提供 エネルギーの蓄電、変換、制御によって効率的なエネルギー社会を実現する製品・ソリューションの提供 	<p>品質管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ゼロデフィクトの追求 品質コストの削減 製品とサービスの品質向上による顧客満足度の最大化 	<p>人材マネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> TDKをリードする人材の育成 ダイバーシティ&インクルージョン 才能ある人材を惹きつけ、確保するための従業員エンゲージメントおよび従業員満足度向上 	<p>サプライチェーンマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> グローバルでの調達力と仕組みの強化 責任ある資材調達 サプライチェーンにおける社会・環境配慮 	<p>オポチュニティ&リスクマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル技術を経使したマーケティングの強化による効果的な事業機会の特定と取り込み グループ全体のリスク管理能力の強化 	<p>権限委譲と内部統制の追求</p> <ul style="list-style-type: none"> 各組織の明確な役割と権限、責任に基づいた業務のスピードと透明性の確保 グループ統一の方針に沿った、より有効かつ効率的な各グループ会社のマネジメントシステム構築 買収会社に対する適切なPMI 	<p>資産効率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業ポートフォリオの再構築 設備や生産拠点の最適化
<p>【DX】 マテリアルサイエンスとプロセス技術にソフトウェア技術を加え、社会のデジタル化を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 強固なコミュニケーションネットワークインフラ構築を支える製品・ソリューションの提供 人の能力強化と補充を促進するための、ロボット化・モビリティ化を支える製品・ソリューションの提供 TDKのデジタル化推進 						

マテリアリティ推進体制

マテリアリティについて継続的に改善を図るため、マテリアリティのテーマごとに主管部門を割り当て、3年間で目指す姿、実施項目と実施部門、KPIを設定して、PDCAサイクルを回しています。

- 目次
- 編集方針
- トップコミットメント
- CPSOメッセージ
- これでわかる！TDKのサステナビリティ
- サステナビリティ経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・インデックスへの組み入れ
- リコール中の加湿器回収に関するご報告
- 検索 / 対照表

マテリアリティの特定プロセス

マテリアリティ特定プロセス

TDKグループのマテリアリティは、次のステップで特定しました。

▼ STEP1

課題の把握・整理

SDGsやGRI、RBA(Responsible Business Alliance)、主要ESG評価機関の調査項目および、当社グループ長期戦略検討資料に掲げられている課題と、有価証券報告書にて報告しているリスク、CSR重要課題などから社内案を作成しました。

▼ STEP2

社外からの意見のヒアリング

ダイアログおよび意見書にて、マテリアリティ草案に対するご意見を頂戴しました。いただいたご意見はこちらをご覧ください。

[ダイアログ:社会課題の解決を経営の中核に据えたマテリアリティ特定へ](#)

[マテリアリティ\(初版社内案\)に対する意見書](#)

▼ STEP3

社内での協議

社外からいただいたご意見をもとに再度社内案を作成しました。完成した案を経営会議にて再協議後、承認を得て、取締役会へ報告。2021-2023年度中期経営計画を実現するために、組織の経営資源を最優先で投資し対処すべき経営課題としてとらえ、本格的に取り組むことを決定しました。

▼ STEP4

社内への展開

マテリアリティに掲げられたテーマごとに主管部門を割り当て、主管部門主導のもと「3年後の目指す姿」「目指す姿を実現するために実施する項目」「実施部門」「KPI」「目標値」を作成し、経営との協議のもと内容を決定しました。主管部門は決定した内容について、毎月経営へ進捗報告を行い、PDCAサイクルを回すことで継続的に改善を図ります。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

サステナビリティ | サステナビリティ経営 | TDKグループのマテリアリティ

マテリアリティ進捗報告一覧

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

EX: 電子デバイスでムダ熱とノイズを最小化し、エネルギー・環境問題に貢献



2050年CO₂ネットゼロ実現に向けたエネルギーの有効利用と再生可能エネルギーの利用拡大

KPI	中期目標	2021年度実績	2022年度実績
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	2014年度比12%削減	32%削減	30.7%削減

2050年CO₂ネットゼロ実現に向けたエネルギーの有効利用と再生可能エネルギーの利用拡大

KPI	中期目標	2021年度実績	2022年度実績
関連市場の調査及び社内向け調査レポートの発行	1レポート/年	xEVに関する技術動向、市場調査を実施。社内向けレポートを発行し、TDK内部関係者に共有。 さらに再生可能エネルギーに貢献できる可能性のあるTDKの技術を調査。今後も調査を継続し、2022年度に包括的な内部レポートを発行予定。	再生可能エネルギー、代替燃料、xEVなどのエナジートランスフォーメーションに関する技術動向と市場動向を調査し内部レポートを発行した。
再生可能エネルギー市場での潜在的ビジネス機会の発掘、及び新規ビジネス、製品、ソリューションの創出	2023年度までに実施	再生可能エネルギー分野での潜在的なビジネス機会を調査。 2022年度に継続実施。	再生可能エネルギー分野に寄与するTDKセンサーの潜在的ビジネス機会を発掘した。市場規模を調査した上で、フェーズビリティ検証に進む。また、xEVの新技术に寄与するTDK技術を発掘し市場調査を開始した。

エネルギーの蓄電、変換、制御によって効率的なエネルギー社会を実現する製品・ソリューションの提供

KPI	中期目標	2021年度実績	2022年度実績
関連市場の調査及び社内向け調査レポートの発行	1レポート/年	潜在的市場の技術動向、市場調査を実施。 2022年度もその他アプリケーションの調査を継続。	エネルギーの蓄電などのエナジートランスフォーメーションに関する技術動向と市場動向を調査し内部レポートを発行した。
再生可能エネルギー市場での潜在的ビジネス機会の発掘、及び新規ビジネス、製品、ソリューションの創出	2023年度までに実施	2022年度に継続実施	エネルギー制御に関する市場調査及び、TDK製品のTAM分析を実施し、事業部門の事業判断をサポート。

DX: マテリアルサイエンスとプロセス技術にソフトウェア技術を加え、社会のデジタル化を促進



強靱なコミュニケーションネットワークインフラ構築を支える製品・ソリューションの提供

KPI	中期目標	2021年度実績	2022年度実績
関連市場の調査及び社内向け調査レポートの発行	1レポート/年	AR/VRの技術動向、市場調査を実施。社内向けレポートを発行し、TDK内部関係者に共有。	AR/VR/MRに関する技術動向と市場を調査し内部レポートを発行した。社内向けウェビナーやAR/VR体験会を実施し、TDK内部関係者にメタバースとUXの重要性を共有した。また、6G通信技術の技術動向を調査し内部レポートを発行した。
強靱なコミュニケーションネットワークインフラを支える新規ビジネス、製品、ソリューションの発掘	2023年度までに実施	AR/VR分野の製品開発支援を開始。2022年度も継続し、他の分野にも調査を拡大させる。	6G通信にてTDKが寄与できる技術を開発し、フィージビリティ検証の為に開発を開始した。その他複数の案件が進行している。

人の能力増強と補完を促進するための、ロボット化・モビリティ化を支える製品・ソリューションの提供

KPI	中期目標	2021年度実績	2022年度実績
関連市場の調査及び社内向け調査レポートの発行	1レポート/年	HPC、ロボットに関する技術動向、市場調査を実施。社内向けレポートを発行し、TDK内部関係者に共有。	自動運転を含む、ロボティクス関連の技術動向と市場を調査し内部レポートを発行した。
ロボット、モビリティ市場での新規ビジネス、製品、ソリューションの発掘	2023年度までに実施	潜在的な新規ビジネス創出のプロジェクトを開始。2022年度も継続サポート。	自動運転や産業用ロボティクスに適用可能なデータ解析アルゴリズムを含めたセンサーソリューションビジネスの検討を開始した。

TDKのデジタル化推進

KPI	中期目標	2021年度実績	2022年度実績
2CXの向上とESG/SDGsの実践加速のために、購買から納入までの一気通貫した事業運営プロセス、及びそれを支えるシームレスなサプライチェーン状況の可視化基盤の強化を図る。	2023年度中にパイロット製品事業において実現	第一ステップとして、グループ会社間の取引に関する業務改革を実行	グローバルベースでのバリューチェーン活動の効率化を図るために、材料購買から販売までの状態を一気通貫で可視化実現
グローバル共通のITプラットフォームの導入とそれを活用する人材育成強化による業務のスピードアップ	・グローバルコラボレーションプラットフォームの展開完了 ・データ分析人材の育成	・グローバルコラボレーションプラットフォームの主要会社への展開完了 ・データ分析人材育成のためのトレーニングプログラムを導入	グローバルコラボレーションプラットフォームおよびデータ分析基盤利用の拡大による事業への貢献を市民開発の推進によって実現

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営

品質管理



ゼロディフェクトの追求

KPI	中期目標	2021年度実績	2022年度実績
全対象部門での品質教育実施	DXを活用した品質教育のグローバル化推進	DX化した教育コンテンツの学習開始	グローバル人事機能および海外拠点と協同で、品質教育のオンラインコンテンツの作成と展開
全対象拠点における認証維持管理 (ISO9001)	認証維持率 100%	100%	100%
AI活用によるシステムの開発検討	・装置故障予兆検知システムの開発 ・AI 検索による設計審査の開発検討	・予兆検知の要素技術の検討 ・Deep Learning による自動監視ツールの導入	・予兆検知の要素技術の開発として自動不良モード分類システムの開発 ・設計審査への AI 導入の検討と試作の開発

品質コストの削減

KPI	中期目標	2021年度実績	2022年度実績
各要因に対する品質改善活動	要因ごとに施策を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・工程内異物低減活動による異物の見える化(可視化)推進 ・製品に実装するソフトウェアの脆弱性に対応するための解析ツール導入 ・本社機能による新規の品質診断(工程・設備)の実施 ・小集団活動のマニュアル発行と活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・異物起因の不良に対する改善活動の実施 ・IoT 製品における製品セキュリティ対策の仕組み構築(設計審査での確認) ・本社機能による新規の品質診断(工程・設備)の中国地区への展開 ・小集団活動のベストプラクティスの水平展開

製品とサービスの品質向上による顧客満足度の最大化

KPI	中期目標	2021年度実績	2022年度実績
満足度「Aランク」率 ※お客様から入手したサプライヤー評価を集計し、そのうち満足度「Aランク」(満足している)と評価いただいたお客様の割合	95%以上	96.8%	95.0%
1. 連結視点によるSCM(サプライチェーンマネジメント)情報の可視化 ・各階層別PSI(生産・販売・在庫)情報 ・ビジネスリードタイム 2. 供給方針に基づく在庫保有基準づくりとその管理機能の強化	対象製品群における新たな連結需給管理の業務基盤構築し、モノと情報の流れの可視性を強化していく。さらに業務ルールを再定義し、迅速な意思決定ができる納期/在庫管理基盤の定着を図っていく	1. 現行インフラにおけるPSI(生産・販売・在庫)情報の精度アップ 2. 連結需給管理基盤の構築に向けた構想策定を完了	1. 現行インフラにおけるPSI(生産・販売・在庫)情報の精度アップを継続 2. 連結需給管理基盤の構築に向けた新業務デザインとPoC(Proof of Concept)を完了

人材マネジメント



TDKをリードする人材の育成

KPI	中期目標	2021年度実績	2022年度実績
GEMP参加者数(執行役員クラス)	10~15人/3カ年中期経営計画に紐づいた対象集団ごと	13人	次回の参加者10人を選定
GAMP参加者数(ビジネスグループGMクラス)	20~25人/年	0人(対面での活動が難しかったため26人の候補者のプログラム参加は2022年度に延期)	19人
GMP参加者数(部門長クラス)	40~50人/年	44人	44人
TCDP参加者数(チームリーダークラス)	80~100人/年	89人	100人

ダイバーシティ&インクルージョン

KPI	中期目標	2021年度実績	2022年度実績
管理職のワークショップ参加率(日本)	70%/年	98%/年	97%/年
管理職候補者に占める女性の割合	4%/年	10.3%/年	8.9%/年。
女性管理職比率(日本)	3%	3.7%	4.3%

才能ある人材を惹きつけ、確保するための従業員エンゲージメントおよび従業員満足度向上

KPI	中期目標	2021年度実績	2022年度実績
・コンセプトの準備(2021年度) ・適用する全TDKグループへの展開(2022年度)	2021年度にコンセプトを準備	実施のための準備完了	該当するTDKグループ各社に展開

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営

サプライチェーンマネジメント



グローバルでの調達力と仕組みの強化

KPI	中期目標	2021年度実績	2022年度実績
サプライヤー情報及び購入データの可視化と活用	TDKグループのサプライヤー情報及び購入データを一元的に可視化するためのプラットフォームの構築と調達戦略策定への活用	主要子会社のサプライヤーデータを可視化	グループ内子会社の調達データ連結化実施
高リスク部材の調達リスク低減	サプライチェーン上のリスク分析と対策実施	高リスク部材を抽出	高リスク部材のリスク低減を推進
グローバル共通規定への適合	100%	モニタリングの仕組みの構築と個別規定の制定状況の確認開始	子会社の個別規定の確認と是正を実施

責任ある資材調達

KPI	中期目標	2021年度実績	2022年度実績
3TGに関してRMAP適合製錬所からの調達が確認されたサプライヤー比率	92%以上 サプライヤーへの責任ある鉱物調達の周知と定着	92%	86.5%

サプライチェーンにおける社会・環境配慮

KPI	中期目標	2021年度実績	2022年度実績
CSR適合サプライヤー率	100%	99%	100%
製造拠点におけるCSRセルフチェック実施率	100%	100%	100%
製造拠点における労働/企業倫理リスクアセスメント実施率	100%	100%	100%
製造拠点におけるRBA公認監査の実施率	25%	10%	34%
製造拠点におけるRBA公認監査、お客様によるCSR監査またはRBA VAP Operations Manualに基づいた簡易CSRアセスメントのいずれかを3年間で1回以上実施した製造拠点の割合	100%	24%	65%
E-Learningまたはダイアログを含むオンサイトトレーニングによる研修機会の提供	毎年実施	必要な研修機会の提供をグローバルに実施	必要な研修機会の提供をグローバルに実施

- 検索 / 対照表

オポチュニティ&リスクマネジメント



デジタル技術を駆使したマーケティングの強化による効果的な事業機会の特定と取り込み

KPI	中期目標	2021年度実績	2022年度実績
インバウンドマーケティングに適した付加価値のあるコンテンツ数とランディングページ数	テクニカルライティング力を強化し(リソース/チーム/プロセス)、TDKグループの製品、ソリューション、技術に関するインバウンドマーケティングのコンテンツおよびランディングページを作成する。	戦略的な採用活動によりコンテンツ作成リソースを強化。ステークホルダーに対して付加価値のあるコンテンツを提供。	新規コンテンツ数の増加、及び品質の向上を達成。
アカウントや連絡先のリード情報獲得	リードの獲得、分析、ナーチャリング方法、能力、プロセスの確立。一方で個人情報に関する法律を厳格に遵守。	グローバルとローカルなプラットフォームでリードの獲得、ナーチャリングを実施。社内関係者と安全にリード情報を共有するためのプライバシー保護プラットフォームの評価を開始。	グローバルとローカルなプラットフォームでリードの獲得、ナーチャリングを実施。社内関係者と安全にリード情報を共有するためのプライバシー保護プラットフォームの評価を実施。
ビジネスインテリジェンスを得るためのデータの種類・質・量	複数のデータ分析を活用してビジネスインテリジェンスを獲得。顧客情報を厳格に保護するため、特にプライバシー保護データ分析に力を入れる。データドリブンによる市場分析やレコメンデーションを提供する。	現在のプライバシー保護プラットフォームの要求についての評価を開始。また、顧客データプラットフォームのさらなる開発も継続実施。	現在のプライバシー保護プラットフォームの要求についての評価を実施。また、顧客データプラットフォームのさらなる開発も継続実施。

グループ全体のリスク管理力の強化

KPI	中期目標	2021年度実績	2022年度実績
リスク特定・評価およびリスク主管部門のアサインメントとレビューの実施	毎年実施	事業に関連するリスクの抽出と対応担当部門の割り当て、リスク発生頻度と影響度を確認。各リスクオーナーのリスク対応の脆弱性を検証。	組織変更等に応じてリスク対応部門の割当の見直しを実施、外部環境変化や当社のリスク対応状況を踏まえ、残余リスクの評価を実施。各リスクオーナーにおけるリスク対応状況を検証。
気候変動リスクシナリオの明確化	2021年度中に実施	リスクシナリオの完成。有価証券報告書にて開示、およびCDP(https://www.cdp.net/)の質問票への回答を通じ詳細なリスクシナリオを開示。	気候変動リスクシナリオを有価証券報告書にて開示、およびその詳細をCDP(https://www.cdp.net/)の質問票への回答を通じ開示。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

権限委譲と内部統制の追求

各組織の明確な役割と権限、責任に基づいた業務のスピードと透明性の確保

グループ統一の方針に沿った、より有効かつ効率的な各グループ会社のマネジメントシステム構築

KPI	中期目標	2021年度実績	2022年度実績
子会社役員の選考基準の明確化と基準に基づいた役員選考の実施	所管部門から推薦されるすべての子会社役員候補が、選考基準に沿っていること	コンプライアンスチェックの上、子会社役員を選考した。	子会社役員を含むグループ役員に求められるコンピテンシーを定義した。コンプライアンスチェックを経て、子会社役員を選定。

買収会社に対する適切なPMI

KPI	中期目標	2021年度実績	2022年度実績
			各機能による買収前デューデリジェンスの実施。 新しくグループ会社に加わった会社が遵守する事項とその遵守までの猶予期間をまとめたリストに基づき、2月に買収した米国子会社のPMI活動を実施。

資産効率の向上

事業ポートフォリオの再構築

設備や生産拠点の最適化

KPI	中期目標	2021年度実績	2022年度実績
営業利益率	12%以上	8.8%	7.7%
ROE	14%以上	11.6%	8.3%
設備投資額(3年間)	7,500億円	2,913億円	2,757億円

サステナビリティ | サステナビリティ経営 | TDKグループのマテリアリティ

Energy Transformation (EX) : 電子デバイスでムダ熱とノイズを最小化し、 エネルギー・環境問題に貢献

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

マテリアリティ特定の背景	概要(テーマ、主管部門、目標、KPI、進捗状況)
部門長メッセージ	

マテリアリティ特定の背景

TDKにとっての意義

TDKが掲げるEXは世界的に喫緊の課題である気候変動問題を見据えており、TDKグループがサステナブルな社会と企業の成長を両立するために、全社一丸となって取り組んでいくべき課題の一つです。気候変動対策は、顧客、投資家など多くのステークホルダーが注視し、取引先や投資先を選定する際の基準の一つとなっているため、TDKグループがEXをマテリアリティに特定し、着実に実行することは、ビジネス面、資金調達面において大きな効果があると考えています。

社会にとっての意義

TDKのEXへの取り組みは、かけがえのない地球環境の再生・保護と、豊かで安心できる暮らしの実現に向けた活動であり、TDK環境ビジョンで掲げている自然の循環を乱さない環境負荷で操業することにつながります。サプライチェーン中の電子部品メーカーであるTDKがEXを経営の重要課題としてとらえ取り組むことは、社会全体の気候変動対策を加速する上でも重要だと考えています。

また、TDKの製品・ソリューションはクリーンエネルギーの創出や効率的なエネルギー社会を実現することにも貢献できると考えており、製品の製造段階だけでなく使用段階においても、社会に対して正の影響を与えることができると考えています。

概要(テーマ、主管部門、目標、KPI、進捗状況)

- 目次
- 編集方針
- トップコミットメント
- CPSOメッセージ
- これでわかる! TDKのサステナビリティ
- サステナビリティ経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・インデックスへの組み入れ
- リコール中の加湿器回収に関するご報告
- 検索 / 対照表

テーマ	主管部門	3年間で目指す姿	主な活動項目	KPI	中期目標 (2021~2023年度)	2021年度実績	2022年度実績
2050年CO ₂ ネットゼロ実現に向けたエネルギーの有効利用と再生可能エネルギーの利用拡大	安全環境グループ	エネルギー起源のCO ₂ 排出量を基準年(2014年度)と比較して原単位12%削減(スコアP1、2)している	以下2点の活動項目により、TDK環境ビジョン2035で掲げたCO ₂ 排出原単位の半減を目指す <ul style="list-style-type: none"> ・製造拠点の生産性改善によるエネルギー効率の強化 ・再生可能エネルギー利用の拡大 	エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	2014年度比12%削減	32%削減	30.7%削減
脱炭素社会を実現するために、クリーンエネルギーを創出する製品・ソリューションの提供	コーポレートマーケティング&インキュベーション本部	事業において、太陽光、風力、水力、地熱など、クリーンエネルギーに貢献するため、関連技術・製品のポートフォリオを定期的に更新している	再生可能エネルギー、代替エネルギーの市場、技術動向調査、及び新規ビジネス機会の発掘	関連市場の調査及び社内向け調査レポートの発行	1レポート/年	xEVに関する技術動向、市場調査を実施。社内向けレポートを発行し、TDK内部関係者に共有。さらに再生可能エネルギーに貢献できる可能性のあるTDKの技術を調査。今後も調査を継続し、2022年度に包括的な内部レポートを発行予定。	再生可能エネルギー、代替燃料、xEVなどのエナジートランスフォーメーションに関する技術動向と市場動向を調査し内部レポートを発行した。
				再生可能エネルギー市場での潜在的ビジネス機会の発掘、及び新規ビジネス、製品、ソリューションの創出	2023年度までに実施	再生可能エネルギー分野での潜在的なビジネス機会を調査。2022年度に継続実施。	再生可能エネルギー分野に寄与するTDKセンサーの潜在的なビジネス機会を調査した。市場規模を調査した上で、フィージビリティ検証に進む。また、xEVの新技術に寄与するTDK技術を発掘し市場調査を開始した。
エネルギーの蓄電、変換、制御によって効率的なエネルギー社会を実現する製品・ソリューションの提供	コーポレートマーケティング&インキュベーション本部	TDKのEXが社会に認知されるため、エネルギー効率向上に寄与する関連技術・製品について、ポートフォリオを定期的に更新している	エネルギー変換、蓄積に関する市場、技術動向調査、及び新規ビジネス機会の発掘	関連市場の調査及び社内向け調査レポートの発行	1レポート/年	潜在的市場の技術動向、市場調査を実施。2022年度もその他アプリケーションの調査を継続。	エネルギーの蓄電などのエナジートランスフォーメーションに関する技術動向と市場動向を調査し内部レポートを発行した
				再生可能エネルギー市場での潜在的ビジネス機会の発掘、及び新規ビジネス、製品、ソリューションの創出	2023年度までに実施	2022年度に継続実施	エネルギー制御に関する市場調査及び、TDK製品のTAM分析を実施し、事業部門の事業判断をサポート。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

部門長メッセージ

サステナビリティ推進本部 安全環境グループ

Jason Mizell

【主管テーマ】

- **2050年CO₂ネットゼロ実現に向けたエネルギーの有効利用と再生可能エネルギーの利用拡大**

TDKがコーポレートマテリアリティを特定しコミットしたことは、TDKと社会双方にとって、非常に価値のあることだと考えています。これを実態として定着させ、ステークホルダーに成果を示していくためには、サステナブルな社会に向けた課題の発見と社内への展開が必要と考えています。そのためには、TDKのポリシーである Empowerment & Transparency (権限委譲と透明性の向上) に沿って適切に方向性を設定し、有用な情報の共有・展開による社内全体への動機付けが重要となります。

再生可能エネルギーの導入を推進する上での課題は、地域によって異なるインフラや法制度などや調達コストだと考えています。課題を克服するために、各国・各エリアの状況に合わせて、全体最適とコストの抑制の両方を念頭に置きながら推進してまいります。

また、2050年CO₂排出ネットゼロ達成の中間目標として、2025年度までにグローバルでの再生可能エネルギー導入率を50% (スコープ2) にすることを全社目標とし、具体的な取り組みを推進していきます。

コーポレートマーケティング & インキュベーション本部

Michael Pocsatko

【主管テーマ】

- **脱炭素社会を実現するために、クリーンエネルギーを創出する製品・ソリューションの提供**
- **エネルギーの蓄電、変換、制御によって効率的なエネルギー社会を実現する製品・ソリューションの提供**

コーポレートマーケティング & インキュベーション本部は、お客様のニーズを受信し、TDKの技術を発信する「アンテナ」の役割を担っています。データを情報とインテリジェンスに変換し、そのインテリジェンスをもとにTDKには存在しない新しい製品やソリューションを創造して、インキュベートすることをミッションとしており、社内外のイノベーターとのコミュニケーションやコラボレーションによって「Value Creation」を加速させることを目指しています。これにより、強固なアウトサイド・インの視点、より顧客志向のアプローチ及び言語が生まれます。また、組織を超えて社内外のあらゆる部門とコラボレーションしながら、TDKのテクノロジーを組み合わせ、新たな価値の創造を目指します。

TDKのEX、DXへの取り組みは社会からの要請に応える大切な活動であり、TDKが開発する技術は、本質的に人々の幸福に貢献できる素晴らしいものです。同時にこれらの注力分野はTDKの長期戦略の中核、かつ事業計画 Value Creation を推進する重要な要素です。

今後も、より顧客志向でイノベーションを起こし、アウトサイド・インの考え方を組織に根付かせて、お客様の期待を超える体験を提供する 2 CX (Customer Experience, Consumer Experience) を実現してまいります。

サステナビリティ | サステナビリティ経営 | TDKグループのマテリアリティ

Digital Transformation (DX) : マテリアルサイエンスとプロセス技術にソフトウェア技術を加え、 社会のデジタル化を促進

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

[マテリアリティ特定の背景](#)
[概要\(テーマ、主管部門、目標、KPI、進捗状況\)](#)
[部門長メッセージ](#)

マテリアリティ特定の背景

TDKにとっての意義

5G、AR/VR/MR、ウェアラブル、ロボティクス/ドローン、データストレージなど、マテリアルサイエンスとプロセス技術にソフトウェア技術を加え、社会のデジタル化を推進するDXは、TDKが価値を社会で最大限発揮できる分野であると考えています。

また、TDK自身がDXに取り組み、デジタル基盤を最大限に活用することは、最小のインプット(材料、エネルギーをはじめとする経営資源)で最大のアウトプット(お客様が必要とする製品、ボリュームをタイムリーに)を創出し続けることにつながります。

お客様の潜在ニーズをいち早く適格に把握できれば、それにタイムリーに応えるための十分な準備ができます。生産ラインや個々の設備稼働状況をリアルタイムでモニタリングし、いち早く状態の変化を検知できれば、事前に保全策を講じることができ、生産計画通りの生産が担保できます(=予知保全)。あるいは市場やお客様の需要の変化やサプライヤーからの納入に支障が生じた場合も、支障要因の速やかな特定と状況変化の可視化ができれば、迅速かつ最良の意思決定が可能になり、アクションへ素早く移行できます。

このようにデジタルの力を最大限活用した強固な業務基盤を確立することで、「早く・タイムリーに・自律的に」全てのバリューチェーンが連携して機能することが可能となり、TDKの持続的成長と企業価値の拡大につながります。

社会にとっての意義

「テクノロジーですべての人を幸福に」という長期ビジョンを掲げるTDKグループにとって、社会のデジタル化を促進するDXは重要な要素です。TDKは製品やソリューションの開発・製造・提供を通じて、レジリエントな通信ネットワークインフラを構築すること、社会のデジタル化を促進することに貢献できると考えています。社会のデジタル化を進めることは、新しい柔軟な働き方の実現や、労働力不足の解消につながります。

また、TDKグループのデジタル基盤をお客様やサプライヤーとつなぐことで、活動の可視化・最適化を図り、さまざまなロスの極小化や、人権を含む社会課題・地球環境に配慮した事業活動を実現することが可能になります。

概要(テーマ、主管部門、目標、KPI、進捗状況)

目次
編集方針
トップ コミットメント
CPSO メッセージ
これでわかる! TDKの サステナビリティ
サステナビリティ 経営
環境
社会
ガバナンス
社会的評価・ インデックスへの 組み入れ
リコール中の 加湿器回収に 関するご報告
検索 / 対照表

テーマ	主管部門	3年間で目指す姿	主な活動項目	KPI	中期目標 (2021~2023年度)	2021年度実績	2022年度実績
強靭なコミュニケーションネットワークインフラ構築を支える製品・ソリューションの提供	コーポレートマーケティング&インキュベーション本部	ユビキタス社会を支えるネットワークインフラの技術ターゲットが明確化し、5G mmW、6G、HAPS、LEO Sat、海底ケーブルなどがTDKの開発ロードマップに位置づけられている	次世代通信市場(Beyond 5G)やSociety5.0などの潜在的なアプリケーション、それらアプリケーションのUXの調査、及び新規ビジネス機会の発掘	関連市場の調査及び社内向け調査レポートの発行	1レポート/年	AR/VRの技術動向、市場調査を実施。社内向けレポートを発行し、TDK内部関係者に共有。	AR/VR/MRに関する技術動向と市場を調査し内部レポートを発行した。社内向けウェビナーやAR/VR体験会を実施し、TDK内部関係者にメタバースとUXの重要性を共有した。また、6G通信技術の技術動向を調査し内部レポートを発行した。
				強靭なコミュニケーションネットワークインフラを支える新規ビジネス、製品、ソリューションの発掘	2023年度までに実施	AR/VR分野の製品開発支援を開始。2022年度も継続し、他の分野にも調査を拡大させる。	6G通信にてTDKが寄与できる技術を開発し、フィージビリティ検証の開始を始めた。その他複数の案件が進行している。
人の能力増強と補完を促進するための、ロボット化・モビリティ化を支える製品・ソリューションの提供	コーポレートマーケティング&インキュベーション本部	ロボット、モビリティ、ヒューマノイドロボットの応用に関連するTDK製品と社会からの要請のギャップが明確化され、ギャップを埋めるロードマップが作成されている	自動運転を含む次世代ロボットに関する調査、及び新規ビジネス機会の発掘	関連市場の調査及び社内向け調査レポートの発行	1レポート/年	HPC、ロボットに関する技術動向、市場調査を実施。社内向けレポートを発行し、TDK内部関係者に共有。	自動運転を含む、ロボティクス関連の技術動向と市場を調査し内部レポートを発行した。
				ロボット、モビリティ市場での新規ビジネス、製品、ソリューションの発掘	2023年度までに実施	潜在的な新規ビジネス創出のプロジェクトを開始。2022年度も継続サポート。	自動運転や産業用ロボティクスに活用可能なデータ解析アルゴリズムを含めたセンサーソリューションビジネスの検討を開始した。
TDKのデジタル化推進	SCM&経営システム本部	デジタルの力をフル活用することで、業務のスピードや品質が飛躍的に進歩し、オペレーショナル・エクセレンスが加速し2CXの実現を下支えしている	<ul style="list-style-type: none"> サプライチェーン情報の可視化による迅速な意思決定と事業プロセスの効率化 データ分析プラットフォームとコラボレーションプラットフォームの複合的利活用の推進、ならびにそれらを具現化するための人材育成の強化 	2CXの向上とESG/SDGsの実践加速のために、購買から納入までの一気通貫した事業運営プロセス、及びそれを支えるシームレスなサプライチェーン状況の可視化基盤の強化を図る。	2023年度中にパイロット製品事業において実現	第一ステップとして、グループ会社間の取引に関する業務改革を実行	グローバルベースでのバリューチェーン活動の効率化を図るために、材料購買から販売までの状態を一気通貫で可視化実現
				グローバル共通のITプラットフォームの導入とそれを活用する人材育成強化による業務のスピードアップ	<ul style="list-style-type: none"> グローバルコラボレーションプラットフォームの展開完了 データ分析人材育成のためのトレーニングプログラムを導入 	<ul style="list-style-type: none"> グローバルコラボレーションプラットフォームの主要会社への展開完了 データ分析人材育成のためのトレーニングプログラムを導入 	グローバルコラボレーションプラットフォームおよびデータ分析基盤利用の拡大による事業への貢献を市民開発の推進によって実現

部門長メッセージ

目次

編集方針

 トップ
コミットメント

 CPSO
メッセージ

 これでわかる!
TDKの
サステナビリティ

 サステナビリティ
経営

環境

社会

ガバナンス

 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ

 リコール中の
加湿器回収に
関するご報告

検索 / 対照表

コーポレートマーケティング & インキュベーション本部

Michael Pocsatko

【主管テーマ】

- ・ 強靱なコミュニケーションネットワークインフラ構築を支える製品・ソリューションの提供
- ・ 人の能力増強とを補完を促進するための、ロボット化・モビリティ化を支える製品・ソリューションの提供

コーポレートマーケティング & インキュベーション本部は、お客様のニーズを受信し、TDKの技術を発信する「アンテナ」の役割を担っています。データを情報とインテリジェンスに変換し、そのインテリジェンスをもとにTDKには存在しない新しい製品やソリューションを創造して、インキュベートすることをミッションとしており、社内外のイノベーターとのコミュニケーションやコラボレーションによって「Value Creation」を加速させることを目指しています。これにより、強固なアウトサイド・インの視点、より顧客志向のアプローチおよび言語が生まれます。また、組織を超えて社内外のあらゆる部門とコラボレーションしながら、TDKのテクノロジーを組み合わせ、新たな価値の創造を目指します。

TDKのEX、DXへの取り組みは社会からの要請に応える大切な活動であり、TDKが開発する技術は、本質的に人々の幸福に貢献できる素晴らしいものです。同時にこれらの注力分野はTDKの長期戦略の中核、かつ事業計画Value Creationを推進する重要な要素です。

今後も、より顧客志向でイノベーションを起こし、アウトサイド・インの考え方を組織に根付かせて、お客様の期待を超える体験を提供する2 CX (Customer Experience, Consumer Experience) を実現してまいります。

Chief Digital Transformation Officer

経営システム本部

Roshan Thapliya

【主管テーマ】

- ・ TDKのデジタル化推進

TDKグループは、デジタル化と情報技術 (IT) の活用によりDX活動を推進し、業務効率の向上、情報セキュリティ/プライバシーの保護、データドリブンで導出したインサイト (洞察) による価値創造の充実を目指しています。新たに設置された経営システム本部は、DXとEXを通じて社会へのコミットメントを実現するために、ITとデジタル化における一貫したガバナンスを確保し、TDKグループ全体に対して具体的な支援を行うことを目的としています。

新たなデジタル技術の戦略的導入と既存のIT能力の統合を具体的な施策として、データファブリックとデータ分析に不可欠なサイバーセキュリティとデータプライバシーに重点を置いた、新たな機会の創出と関連リスクへの対応能力をさらに強化するための全社的なDXプロジェクトを開始しています。プロジェクトでは、成長、効率、将来の方向性に重点を置き、まずは「DX for Sales & Marketing」(新たな機会創出)、「DX for Operations」(卓越した製造)、「DX for Sustainability +」(DXを駆使したサステナビリティとエンゲージメント) にそれぞれ取り組んでいます。

各プロジェクトの実行チームは、ビジネスカンパニーと本社部門から構成されています。流動的かつグローバルレベルの参加を通じて組織変革をさらに充実させるとともに、人材の多様性や、販売・技術・製造のコアコンピタンスという当社の独自性を際立たせる魅力的かつ多様なチームワークを確保しています。私たちは、進化する社会的ニーズ、お客様の期待やデジタル技術、そして活発な全社展開に重点を置き、財務および非財務目標の達成に努めてまいります。

品質管理

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

[マテリアリティ特定の背景](#)
[概要\(テーマ、主管部門、目標、KPI、進捗状況\)](#)
[部門長メッセージ](#)

マテリアリティ特定の背景

TDKにとっての意義

製品の品質およびデリバリーパフォーマンスの向上は、2CX (Customer Experience, Consumer Experience) の満足度を向上させ、既存製品や新規開発プロジェクトへTDK製品を採用いただくことにつながります。その結果、お客様先での使用用途やシェアが拡大し、受注・売上・利益の向上に貢献します。

同時に、生産現場では工程内不具合 (品質失敗コスト) が減少することで、TDKの中期経営計画 Value Creation 2023における Commercial Value および Asset Value の向上に寄与します。

社会にとっての意義

TDK製品は、社は「創造によって文化、産業に貢献する」、サステナビリティビジョン「テクノロジーですべての人を幸福に」の実現を目指して開発・生産され、市場に供給されます。しかしながら、品質不具合の発生は、目的を達成できないだけでなく、お客様の満足度を低下させ、社会に損害を与えてしまう可能性もあります。

品質への取り組みは、社是およびサステナビリティビジョンの実現に向けた重要な要素であり、SDGsで掲げられた課題への解決にもつながるため、TDKが社会に対して果たすべき役割の一翼を担う、重要な意義を持つ取り組みです。ステークホルダーからも、製品の品質に関するリスクを低減させ、安定して高品質な製品を提供し続けることが期待されていると考えています。

概要(テーマ、主管部門、目標、KPI、進捗状況)

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

テーマ	主管部門	3年間で目指す姿	主な活動項目	KPI	中期目標 (2021~2023年度)	2021年度実績	2022年度実績
ゼロディフェクトの 追求	品質保証本部	4つの品質欠陥(設計/材料/工程/管理)の撲滅のため、事業部門におけるモノづくりが源流管理型へ近づいている。	<ul style="list-style-type: none"> 設計開発及び製造部門の品質教育強化 全対象拠点の認定維持管理 品質意識と改善手法の向上、AI活用による4つの品質欠陥(設計/材料/工程/管理欠陥)撲滅活動 	全対象部門での品質教育実施	DXを活用した品質教育のグローバル化推進	DX化した教育コンテンツの学習開始	グローバル人事機能および海外拠点と協同で、品質教育のオンラインコンテンツの作成と展開
				全対象拠点における認証維持管理(ISO9001)	認証維持率 100%	100%	100%
				AI活用によるシステムの開発検討	<ul style="list-style-type: none"> 装置故障予兆検知システムの開発 AI検索による設計審査の開発検討 	<ul style="list-style-type: none"> 予兆検知の要素技術の検討 Deep Learningによる自動監視ツールの導入 	<ul style="list-style-type: none"> 予兆検知の要素技術の開発として自動不良モード分類システムの開発 設計審査へのAI導入の検討と試作の開発
品質コストの削減	品質保証本部	設計時のデザインレビューの強化、および製造現場における4M(Man, Machine, Material, Method)改善のための施策が打たれており、事業部門において自律的に改善が進んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> 品質ロス削減(歩留向上)を目指したモノづくり4M改善の推進 小集団活動の推進 	各要因に対する品質改善活動	要因ごとに施策を実施	<ul style="list-style-type: none"> 工程内異物低減活動による異物の見える化(可視化)推進 製品に実装するソフトウェアの脆弱性に対応するための解析ツール導入 本社機能による新規の品質診断(工程・設備)の実施 小集団活動のマニュアル発行と活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 異物起因の不良に対する改善活動の実施 IoT製品における製品セキュリティ対策の仕組み構築(設計審査での確認) 本社機能による新規の品質診断(工程・設備)の中国地区への展開 小集団活動のベストプラクティスの水平展開
製品とサービスの品質向上による顧客満足度の最大化	品質保証本部	半導体解析機能の増強・強化などにより品質苦情発生時の対応スピードが向上し、特に重大苦情発生時には全社機能横断で顧客対応を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 顧客満足度向上策を加速するための機能横断活動 	満足度「Aランク」率 ※お客様から入手したサプライヤー評価を集計し、そのうち満足度「Aランク」(満足している)と評価いただいたお客様の割合	95%以上	96.8%	95.0%
	SCM改革グループ	業務ルールとデータドリブンによるレジリエンスなサプライチェーンマネジメントの実現に向け、サプライチェーンにおけるモノと情報(顧客需要変化・生産変動等)の可視化・清流化を図り、VUCAに対する迅速な意思決定ができています。	<ul style="list-style-type: none"> サプライチェーンの可視性の強化 需要管理・需給調整における製販ルール標準化 ビジネスリードタイム短縮と在庫管理機能補完による納期対応力強化 	<ol style="list-style-type: none"> 連結視点によるSCM(サプライチェーンマネジメント)情報の可視化 <ul style="list-style-type: none"> 各階層別PSI(生産・販売・在庫)情報 ビジネスリードタイム 供給方針に基づく在庫保有基準づくりとその管理機能の強化 	<p>対象製品群における新たな連結需給管理の業務基盤構築し、モノと情報の流れの可視性を強化していく。</p> <p>さらに業務ルールを再定義し、迅速な意思決定ができる納期/在庫管理基盤の定着を図っていく</p>	<ol style="list-style-type: none"> 現行インフラにおけるPSI(生産・販売・在庫)情報の精度アップ 連結需給管理基盤の構築に向けた構想策定を完了 	<ol style="list-style-type: none"> 現行インフラにおけるPSI(生産・販売・在庫)情報の精度アップを継続 連結需給管理基盤の構築に向けた新業務デザインとPoC(Proof of Concept)を完了

部門長メッセージ

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる！
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

品質保証本部長
高橋 毅
【主管テーマ】

- **ゼロディフェクトの追求**
- **品質コストの削減**
- **製品とサービスの品質向上による顧客満足度の最大化**

製造業であるTDKにとって「ゼロディフェクトの実現」は究極の目標ですが、私たちはまだそこへ到達することはできていません。目標の実現に向けて「原因追及の強化」「流出防止活動」「予防予知活動」「不良を作らない源流管理型モノづくり」の4つのステップで、取り組みを強化しています。それぞれのステップにおいては、従業員の品質意識を向上するための仕掛け・改善手法の向上や、DXとの融合による設計・材料・工程・管理について欠陥の撲滅活動を推進します。また、ディープラーニング^{※1}AOI^{※2}の基礎技術を構築するなど、DX技術によって工程内不具合発生の予知予防に努めます。

製品を設計、製造、提供するTDKにとって、製品の品質は最重要事項の一つであり、企業活動の土台となるものです。「Made by TDK」が高品質であることの証となるように、TDKグループ一丸となって、設計・材料・工程・管理の4つの品質欠陥を撲滅し、源流管理型モノづくりの体制・風土を構築していきます。

※1 ディープラーニング：脳の神経回路のしくみをモデルにしたニューラルネットワークを組み合わせることで、さまざまな事柄を学習し、複雑な問題にも対処できるように学習能力を高めた機械学習の手法の一つ。

※2 AOI (Automated optical inspection)：自動光学検査。蛍光、紫外線、LED、赤外線などの異なる光源を持つ高解像度カメラシステムを使用して連続画像を撮影して行う製品の品質検査。

SCM改革グループ G.M.
森田 剛
【主管テーマ】

- **製品とサービスの品質向上による顧客満足度の最大化**

私たちはサプライヤーとして、お客様のビジネスに穴を開けないような納期(デリバリー)という価値提供、また資産効率向上に取り組んでおります。これにより顧客満足度の最大化・信頼の獲得を実現することができます。

また、TDKがサプライヤーとしてSDGs12番目の課題「つくる責任・つかう責任」に取り組むことで、地政学上のリスク対応および社会や環境への配慮、それらを実行するガバナンスの強化につながると考えています。

3年後の目指す姿を実現するために、現在「計画通りの生産と納期回答遵守という工場基盤づくり」「販社～工場間の業務プロセスの標準化／効率化」を推進しております。

また、従来の個別最適型の需給管理から、連結・全体最適の視点に立ったシームレスサプライチェーンマネジメントへのシフトを強化し、VUCA[※]の時代における迅速な意志決定を実現していきます。

長年にわたり、納期改善は重要な課題です。TDKグループ一丸となって新たな業務プロセスへの変革を実現し、課題を克服することで、顧客満足度の最大化を目指します。

※ VUCA: Volatility (変動性)・Uncertainty (不確実性)・Complexity (複雑性)・Ambiguity (曖昧性)の頭文字を取った造語で、社会やビジネスにとって、未来の予測が困難な状況のこと

人材マネジメント

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

マテリアリティ特定の背景	概要(テーマ、主管部門、目標、KPI、進捗状況)
部門長メッセージ	

マテリアリティ特定の背景

TDKにとっての意義

TDKが競争力を向上させ、持続可能な成長を遂げるためには、社内の人材を育成し最大限活用すると同時に、社外の才能ある新しい人材を惹きつけることが重要です。また、革新的な創造には多様な背景・意見を持つ人が集まり議論を重ねることが不可欠です。これらを実行することで、クリエイティブかつスピーディーに現状を打破できる環境がもたらされます。その結果、新しいアイデアや製品、プロセス、ソリューションの開発が加速され、TDKの売上や利益にプラスの影響を及ぼすと考えています。

社会にとっての意義

ダイバーシティとインクルージョンを社会全体で促進することは、より多様で生産性の高い社会の実現につながります。また、TDKが従業員への研修や育成プログラムによって、職場や社会の変化への適応に不可欠なスキルを強化し、社是・社訓を実行することは、より良い製品・ソリューションを社会に提供することを可能にします。ステークホルダーからも、TDKの従業員がそれぞれの能力を発揮できる環境を整えること、その結果としてTDKが製品・ソリューションを通じて社会課題の解決などのインパクトをもたらすことが期待されていると考えています。

概要(テーマ、主管部門、目標、KPI、進捗状況)

テーマ	主管部門	3年間で目指す姿	主な活動項目	KPI	中期目標 (2021~2023年度)	2021年度実績	2022年度実績
TDKをリードする人材の育成	人財本部	後継者育成計画を実行し、「グローバルに活躍し、各部門と協力してイノベーションとTDKの成長を促進できるリーダー人材」が確保されている。	<ul style="list-style-type: none"> • 将来のリーダーを育成するための、エグゼクティブグローバルマネジメント研修 • 効率的なグローバルHRプラットフォームの構築 • TDKの全キーポジションへの後継者育成計画の作成と管理 	GEMP 参加者数 (執行役員クラス)	10~15人/3カ年 中期経営計画に紐づいた対象集団ごと	13人	次回の参加者10人を選定
				GAMP 参加者数 (ビジネスグループ GMクラス)	20~25人/年	0人(対面での面接ができなかったため26人の候補者のプログラム参加は2022年度に延期)	19人
				GMP参加者数(部門長クラス)	40~50人/年	44人	44人
				TCDP 参加者数 (チームリーダークラス)	80~100人/年%	89人	100人
ダイバーシティ&インクルージョン	人財本部	ダイバーシティ&インクルージョン推進活動の意義や目的に対する従業員の理解が深まり、女性管理職候補が継続的に生まれる土壌と人財プールができてきている。	<ul style="list-style-type: none"> • ダイバーシティ&インクルージョン推進活動の意義・目的の浸透 • 女性管理職候補の育成 • TDK(日本)の活動事例のグローバルへの共有、同様にグローバルの事例の日本への共有 	管理職のワークショップ参加率(日本)	70%/年	98%/年	97%/年
				管理職候補者に占める女性の割合	4%/年	10.3%/年	8.9%/年
				女性管理職比率(日本)	3%	3.7%	4.3%
才能ある人材を惹きつけ、確保するための従業員エンゲージメントおよび従業員満足度向上	人財本部	国内外グループ会社で従業員エンゲージメント調査が実施され、分析結果に基づいてフィードバック・適切な改善措置が実施されている。また、エンプロイヤーブランディング(企業の魅力を高める)活動や採用活動をサポート、強化するソーシャルメディアチャネルが確立され、高い意欲を持った従業員によって、より革新的でレジリエントな企業へと進化を遂げている。	<ul style="list-style-type: none"> • TDKグローバルエンゲージメント調査の準備と展開 • 分析に基づいたフィードバックの提供と改善実行計画の作成 • ソーシャルメディアチャネルの活用 	<ul style="list-style-type: none"> • コンセプトの準備(2021年度) • 適用する全TDKグループへの展開(2022年度) 	2021年度にコンセプトを準備	実施のための準備完了	該当するTDKグループ各社に展開

部門長メッセージ

人財本部

Andreas Keller

3年後の目指す姿を実現するために、私はチーム一丸となって、優れた研修や開発プログラムをさらに充実させていきます。最高のプログラムは自分自身の見方を変えます。優れたリーダーやエキスパートを育てることで、彼らが持続可能で素晴らしい未来へとTDKを導いてくれます。

TDKグループは、2018年4月、グローバル人財開発統括部をドイツに設置し、人材の採用から教育、処遇、能力開発、目標管理など、すべてを集約した「グローバル人材マネジメントシステム」を構築しています。グループとしての求心力を確保しつつ、多様な人材が能力・個性を活かせる組織環境づくりの一環として、後継者育成計画、コミュニケーション力やエンゲージメント向上のための取り組みを進めています。エンゲージメントの高いメンバーはどうすれば競争に勝てるかを常に考えていますが、低いメンバーは競争に負けたと不満を言うばかりです。製品やシステム、ソリューションを通じて持続可能な未来を創造していくために、TDKグループ全員のエンゲージメントを高め、ともに取り組んでいきましょう。

これらに取り組むにあたっては課題もあります。TDKグループは世界各地に広がり、さまざまなグループ会社があるため、言葉の定義ひとつとっても各拠点で違いがあります。また共通言語である英語のコミュニケーション能力にも地域差があります。これらの課題を克服するために私たちは、世界各地のリーダーと丁寧に話し合い、それぞれに適切なアプローチを模索するとともに、英語コミュニケーション能力についても、トレーニングプログラムや評価を通じて、レベルアップに向けた取り組みを強化していきます。

最後に、かつて読んだ本の中から印象に残っている言葉を紹介させてください。——賢いチームは良いことをするが、本当の意味でダイバーシティ&インクルージョンに優れたチームは不可能なことを現実にする——。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営**
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

サプライチェーンマネジメント

[目次](#)
[編集方針](#)
[トップ
コミットメント](#)
[CPSO
メッセージ](#)
[これでわかる!
TDKの
サステナビリティ](#)
[サステナビリティ
経営](#)
[環境](#)
[社会](#)
[ガバナンス](#)
[社会的評価・
インデックスへの
組み入れ](#)
[リコール中の
加湿器回収に
関するご報告](#)
[検索 / 対照表](#)
[マテリアリティ特定の背景](#)
[概要\(テーマ、主管部門、目標、KPI、進捗状況\)](#)
[部門長メッセージ](#)

マテリアリティ特定の背景

TDKにとっての意義

テーマの一つである「グローバルでの調達力と仕組みの強化」は、グループ間での調達状況や問題点の情報共有を進めることで、業務の効率化やコストダウンにつながるテーマです。そのほかのテーマ「責任ある資材調達」「サプライチェーンにおける社会・環境配慮」の推進は、競争力のあるサプライチェーンを構築することを可能にします。具体的には、働きやすい労働環境を整備することは従業員の健康や生産力向上に貢献し、さらには優秀な人材の確保・獲得にもつながります。また、人権などの社会課題や環境への配慮がビジネスの必須条件である現在、これらの取り組みが取引先との関係や、株主・投資家の投資判断にも影響を及ぼすことは明らかです。

総じてこれらの活動は、プロセスを通じて品質・納期・コストを改善させるほか、環境・人権などに好影響をもたらすため、お客様の満足度向上や従業員、投資家の皆様からの信頼獲得、ひいてはTDKグループの成長につながる活動であると考えています。

社会にとっての意義

TDKが、世界各地に有する自社製造拠点および約4,500の取引先において、社会・環境に配慮した取り組みを推進することは、自社にとってだけでなく社会にとっても大きな意義のある取り組みであると考えています。

また、サプライチェーンにかかる法制度や国際的な業界規範への対応・遵守はもとより、サプライヤーに対する支援等の社会的責任の遂行や、紛争鉱物問題など企業(事業)活動による社会的影響の是正がステークホルダーから期待されていると認識しています。

概要(テーマ、主管部門、目標、KPI、進捗状況)

目次
編集方針
トップ コミットメント
CPSO メッセージ
これでわかる! TDKの サステナビリティ
サステナビリティ 経営
環境
社会
ガバナンス
社会的評価・ インデックスへの 組み入れ
リコール中の 加湿器回収に 関するご報告
検索 / 対照表

テーマ	主管部門	3年間で目指す姿	主な活動項目	KPI	中期目標 (2021~2023年度)	2021年度実績	2022年度実績
グローバルでの調達力と仕組みの強化	調達・ロジスティクスグループ	<ul style="list-style-type: none"> TDKグループの重要共通サプライヤーの最新情報を共有・活用することにより、継続的なコスト低減が図られている。 サプライチェーンの最適化により、潜在的リスクも含めた調達リスクが軽減されている。 定期的なモニタリングと子会社への支援によりグローバル共通規定の適合が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ASL(Approved Supplier List)の分析、コスト削減計画の立案、共通サプライヤーとの交渉、情報共有のためのプラットフォームの検討、GPCC(Global Procurement Collaboration Committee)の設置 高リスク部材の分析と対策の検討、サプライヤーとの交渉によるサプライチェーンの再構築・最適化 モニタリングの仕組み検討、子会社の状況確認と個別規定制定支援、定期的モニタリング 	サプライヤー情報及び購入データの可視化と活用 高リスク部材の調達リスク低減	TDKグループのサプライヤー情報及び購入データを一元的に可視化するためのプラットフォームの構築と調達戦略策定への活用 サプライチェーン上のリスク分析と対策実施	主要子会社のサプライヤーデータを可視化 高リスク部材を抽出	グループ内子会社の調達データ連結化実施 高リスク部材のリスク低減を推進
			グローバル共通規定への適合	100%	モニタリングの仕組みの構築と個別規定の制定状況の確認開始	子会社の個別規定の確認と是正を実施	
			責任ある資材調達	調達・ロジスティクスグループ	TDKグループ全体で、RMIのフレームワークを利用して、製錬所の情報が定期的にモニタリングされており、適合製錬所から優先的に調達している。	<ul style="list-style-type: none"> 製錬所の定期的なモニタリングと責任ある鉱物調達の推進 	3 TG に関して RMAP 適合製錬所からの調達が確認されたサプライヤー比率
サプライチェーンにおける社会・環境配慮	CSRグループ	<ul style="list-style-type: none"> 「自己評価」「監査」「トレーニングと対話」のフレームワークを通じた定期的な課題把握と継続的改善により、自社製造拠点の社会・環境・企業倫理などに関するリスクヘッジができています。 グローバル本社と各地域本社のCSR担当者間でのコミュニケーションがより強化され、事例共有による改善の加速など、グループとしてのシナジー効果が発揮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> サプライヤーの労働環境の適切なモニタリングと改善 	CSR 適合サプライヤー率	100%	99%	100%
			製造拠点におけるCSRセルフチェック実施率	100%	100%	100%	
			製造拠点における労働/企業倫理リスクアセスメント実施率	100%	100%	100%	
			製造拠点におけるRBA公認監査の実施率	25%	10%	34%	
			製造拠点におけるRBA公認監査、お客様によるCSR監査またはRBA VAP Operations Manualに基づいたCSRアセスメントのいずれかを1回以上実施	100%	24%	65%	
E-Learning またはダイアログを含むオンサイトトレーニングによる研修機会の提供	毎年実施	必要な研修機会の提供をグローバルに実施	必要な研修機会の提供をグローバルに実施				

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

部門長メッセージ

生産本部 調達・ロジスティクスグループ

有村 健一郎

【主管テーマ】

- ・ グローバルでの調達力と仕組みの強化
- ・ 責任ある資材調達
- ・ サプライチェーンにおける社会・環境配慮

調達部門の責任を明確にし、専門性のある人材を育成、確保して、本社部門、事業部門、グループ会社が協力することで調達部門としての責任を果たし、会社に、そして社会に貢献してまいります。

そのために、サプライチェーンマネジメントに関連する情報やデータの可視化や、情報共有化のためのデジタルツールの活用、グループ全体での活動を推進するための人材確保と組織体勢整備などを課題として取り組んでいきます。また、RMI (Responsible Minerals Initiative) の活動にのっとりたサプライチェーン調査と基準に適合した精錬所・加工所からの調達推進、CSR チェックシートによるサプライヤー様の CSR 順守度確認と適合サプライヤーからの調達推進に加え、CSR 実地監査等を進め、3年後の目指す姿を実現してまいります。

サステナビリティ推進本部 CSRグループ

加藤 祥子

【主管テーマ】

- ・ サプライチェーンにおける社会・環境配慮

TDK は世界各地に製造拠点を有し、サプライヤーも同様に世界各地に広がっています。製造現場やサプライヤーにおける社会・環境リスク低減への取り組みはインパクトが大きく大切な活動と認識し、RBA[※]基準を用いた取り組みを行っています。

これからどのような社会課題が起こるのか、また注目されるのかを特定し、その課題にいち早く対応することを念頭におき、適切な労働環境か、労働者へ敬意を払い処遇しているか、人や環境に危険をもたらす物質を適切に管理・処理しているかなどを定期的に第三者の目も入れた複数の方法で確認しています。特に自社製造拠点における第三者監査や CSR アセスメントで指摘を受けた項目を確実に是正し、その状態を維持していくとともに、同様の原因で起こり得るリスクを予測して、事前に対処するようにしています。

TDK が目指す持続可能な社会と自社の成長の両立を実現するために、生産本部と連携し、製造拠点、地域本社の CSR・安全環境担当者、事業部や本社機能の皆さんの理解と協力のもと、活動を推進しています。

※ RBA (Responsible Business Alliance) 電子、小売、自動車、玩具を扱う企業が加盟している世界最大の企業連盟。サプライチェーンにおいて労働安全衛生を改善すること、人権を守ること、環境に配慮すること、倫理的責任を果たすことを行動規範に定め、加盟企業とそのサプライヤーに対して実践を求めている。

サステナビリティ | サステナビリティ経営 | TDKグループのマテリアリティ

オポチュニティ & リスクマネジメント

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

[マテリアリティ特定の背景](#)
[概要\(テーマ、主管部門、目標、KPI、進捗状況\)](#)
[部門長メッセージ](#)

マテリアリティ特定の背景

TDKにとっての意義

社内外の情報をもとにTDKの事業における機会を特定することで、現在のポートフォリオには存在しない新しい製品・ソリューションの創造、研究開発リソースの効率的な分配が可能となり、TDKが新たな事業機会を獲得し、さらなる成長を目指すことができます。

また、経営目標達成の阻害要因となるリスクを適切に評価・認識することで、経営陣や事業部門が機会とリスクを正しく捉え対応することが出来ます。これにより、大規模な事故・不祥事等の発生による事業および企業の価値毀損を防ぐだけでなく、企業価値創造のためリスクを適切に取ることが可能になります。

社会にとっての意義

TDKグループがデジタル技術を駆使してマーケティングを強化し、効果的に事業機会を特定するほか、リスク管理力の強化に取り組むことは、社会課題、顧客ニーズに沿った高品質な製品の提供や、生産的な環境の実現、社会が求める規範の遵守など、ステークホルダーからの期待に応え続けることを可能にすると考えています。

概要(テーマ、主管部門、目標、KPI、進捗状況)

- 目次
- 編集方針
- トップコミットメント
- CPSOメッセージ
- これでわかる! TDKのサステナビリティ
- サステナビリティ経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・インデックスへの組み入れ
- リコール中の加湿器回収に関するご報告
- 検索 / 対照表

テーマ	主管部門	3年間で目指す姿	主な活動項目	KPI	中期目標 (2021~2023年度)	2021年度実績	2022年度実績
デジタル技術を駆使したマーケティングの強化による効果的な事業機会の特定と取り込み	コーポレートマーケティング&インキュベーション本部	<p>範囲: デジタルマーケティングは、効率的に機会とリスクを管理するために、現在のビジネストレンドを理解し新たな事業機会を予測するためのグローバルなコーポレート機能です。トップマネジメントや社内のステークホルダーに正確、迅速、且つ効率的にインテリジェンスを提供するため、我々はデータドリブンなソリューションを活用します。</p> <p>3年間で目指す姿: UXドリブンの広告活動とコンテンツ作成により適切な顧客の情報を獲得し、デジタルマーケティングのデータ構造を創出する。さらにデータ分析を用いて市場トレンドやステークホルダーによる製品利用に関する情報を抽出する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • インバウンドマーケティング: TDKの付加価値情報の顧客への提供 • コンテンツマーケティング: 見込み顧客の獲得 • データの蓄積と、充実化および、情報とインテリジェンスへの変換 	インバウンドマーケティングに適した付加価値のあるコンテンツ数とランディングページ数	テクニカルライティング力を強化し(リソース/チーム/プロセス)、TDKグループの製品、ソリューション、技術に関するインバウンドマーケティングのコンテンツおよびランディングページを作成する。	戦略的な採用活動によりコンテンツ作成リソースを強化。ステークホルダーに対して付加価値のあるコンテンツを提供。	新規コンテンツ数の増加、および品質の向上を達成。
				アカウントや連絡先のリード情報獲得	リードの獲得、分析、ナーチャリング方法、能力、プロセスの確立。一方で個人情報に関する法律を厳格に遵守。	グローバルとローカルなプラットフォームでリードの獲得、ナーチャリングを実施。社内関係者と安全にリード情報を共有するためのプライバシー保護プラットフォームの評価を開始。	グローバルとローカルなプラットフォームでリードの獲得、ナーチャリングを実施。社内関係者と安全にリード情報を共有するためのプライバシー保護プラットフォームの評価を実施。
				ビジネスインテリジェンスを得るためのデータの種類・質量	複数のデータ分析を活用してビジネスインテリジェンスを獲得。顧客情報を厳格に保護するため、特にプライバシー保護データ分析に力を入れる。データドリブンによる市場分析やレコメンデーションを提供する。	現在のプライバシー保護プラットフォームの要求についての評価を開始。また、顧客データプラットフォームのさらなる開発も継続実施。	現在のプライバシー保護プラットフォームの要求についての評価を実施。また、顧客データプラットフォームのさらなる開発も継続実施。
グループ全体のリスク管理能力の強化	経営企画グループ	<p>リスクの認識、評価、対応策の策定・実行モニタリングの仕組みを再構築し、全社のリスクを体系的に管理する体制を実現している</p>	<ul style="list-style-type: none"> • リスクの収集・評価・管理の仕組み構築 • 気候変動リスクの特定・管理 	リスク特定・評価およびリスク主管部門のアサインメントとレビューの実施	毎年実施	事業に関連するリスクの抽出と対応担当部門の割り当て、リスク発生頻度と影響度を確認。各リスクオーナーのリスク対応の脆弱性を検証。	組織変更等に応じてリスク対応部門の割当の見直しを実施、外部環境変化や当社のリスク対応状況を踏まえ、残余リスクの評価を実施。各リスクオーナーにおけるリスク対応状況を検証。
				気候変動リスクシナリオの明確化	2021年度中に実施	リスクシナリオの完成。有価証券報告書にて開示、およびCDP(https://www.cdp.net/)の質問票への回答を通じ詳細なリスクシナリオを開示。	気候変動リスクシナリオを有価証券報告書にて開示、およびその詳細をCDP(https://www.cdp.net/)の質問票への回答を通じ開示。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

部門長メッセージ

コーポレートマーケティング & インキュベーション本部

Michael Pocsatko

【主管テーマ】

- ・ **デジタル技術を駆使したマーケティングの強化による効果的な事業機会の特定と取り込み**

コーポレートマーケティング & インキュベーション本部は、お客様のニーズを受信し、TDKの技術を発信する「アンテナ」の役割を担っています。データを情報とインテリジェンスに変換し、そのインテリジェンスをもとにTDKには存在しない新しい製品やソリューションを創造して、インキュベートすることをミッションとしており、社内外のイノベーターとのコミュニケーションやコラボレーションによって「Value Creation」を加速させることを目指しています。これにより、強固なアウトサイド・インの視点、より顧客志向のアプローチ及び言語が生まれます。

また、組織を超えて社内外のあらゆる部門とコラボレーションしながら、TDKのテクノロジーを組み合わせ、新たな価値の創造を目指します。TDKのEX、DXへの取り組みは社会からの要請に応える大切な活動であり、TDKが開発する技術は、本質的に人々の幸福に貢献できる素晴らしいものです。

同時にこれらの注力分野はTDKの長期戦略の中核、かつ事業計画 Value Creationを推進する重要な要素です。今後も、より顧客志向でイノベーションを起こし、アウトサイド・インの考え方を組織に根付かせて、お客様の期待を超える体験を提供する2 CX (Customer Experience, Consumer Experience)を実現してまいります。

戦略本部経営企画グループ

橋山 秀一

【主管テーマ】

- ・ **グループ全体のリスク管理力の強化**

現在の課題は、ERM(全社的リスクマネジメント)に関する専門的な知識・経験を持った人材と、グループ内でのリスク管理に関する理解の不足であると考えています。そのため、まずはリスク管理の方針を確立し、事務局の体制を構築していきます。次に各部門において自部門に関するリスクを評価してもらうことで、グループ各部門のリスク感度を向上させ、従業員のリスクに対する考え方や認識、行動まで、より良いリスクカルチャーの醸成を図っていきます。

激しく変化するビジネス環境のリスクとオポチュニティを、各組織が正しく認識することで、持続可能な Value Creation (価値の創出) と Value Protection (価値の保護) を実現する仕組みを築いてまいります。

権限委譲と内部統制の追求

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会

[マテリアリティ特定の背景](#)

[概要\(テーマ、主管部門、目標、KPI、進捗状況\)](#)

[部門長メッセージ](#)

マテリアリティ特定の背景

TDKにとっての意義

権限委譲と内部統制を追求することは、事業判断基準の明確化および効率的で有効なマネジメントシステムの活用につながり、これらは事業のスピードアップや市場の変化に先んじた事業機会の獲得を実現します。同時に、不適切な事業判断やオペレーションを回避することもできるため、TDKグループの企業価値向上につながる活動であると考えています。

社会にとっての意義

不適切な事業判断やオペレーションを回避することは、環境問題や人権問題など、社会への悪影響を防ぐことにつながると考えています。

概要(テーマ、主管部門、目標、KPI、進捗状況)

テーマ	主管部門	3年間で目指す姿	主な活動項目	KPI	中期目標 (2021~2023年度)	2021年度実績	2022年度実績
各組織の明確な役割と権限、責任に基づいた業務のスピードと透明性の確保	経営企画グループ	子会社内の内部統制の仕組みが適切に構築・運用されており、適切な人材が子会社の役員に選任される体制が構築されている。また、リスクマネジメントによって抽出されたリスクについて、対応責任部門が明確に割り当てられている。	子会社役員の選考基準の明確化とそれに基づいた適切な人材登用	子会社役員の選考基準の明確化と基準に基づいた役員選考の実施	所管部門から推薦されるすべての子会社役員候補が、選考基準に沿っていること	コンプライアンスチェックの上、子会社役員を選考した	子会社役員を含むグループ役員に求められるコンピテンシーを定義した。コンプライアンスチェックを経て、子会社役員を選定。
グループ統一の方針に沿った、より有効かつ効率的な各グループ会社のマネジメントシステム構築	経営企画グループ	各子会社において、グローバル共通規程に基づいた管理がなされており、定期的にグローバル共通規程の妥当性が見直されている。	<ul style="list-style-type: none"> 各子会社でのグローバル共通規程の運用状況の確認 グローバル共通規程の定期的な見直し 				
買収会社に対する適切なPMI	経営企画グループ	買収した会社がシナジーを発揮し、TDKグループのガバナンスのもと、成長・価値向上を実現できる、買収前後のプロセスが整備・実行されている。	<ul style="list-style-type: none"> 各機能による買収前デューデリジェンスの実施 買収前後の計画策定、およびそれに基づいたシナジー創出活動のモニタリング 	-	-	-	各機能による買収前デューデリジェンスの実施。 新しくグループ会社に加わった会社が遵守する事項とその遵守までの猶予期間をまとめたリストに基づき、2月に買収した米国子会社のPMI活動を実施。

部門長メッセージ

戦略本部経営企画グループ

橋山 秀一

エンパワーメント&トランスベアレンシー(権限委譲と透明性の向上)の実現により、グループ各社それぞれの強みを活かしながら、グループ全体の力を結集することで、TDKグループの企業価値向上を目指していきます。現在の課題はグループの部門間で、内部統制の成熟度に関きがあることです。この課題を克服するため、3年後に向けて、各本社機能の協力のもと、グローバル共通規程の浸透を進めていきます。また、子会社の役員選考ルールを明確化し、子会社役員と候補者層の教育を実施することで、グループ各階層の内部統制の水準をレベルアップしていきます。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

資産効率の向上

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会

マテリアリティ特定の背景	概要(テーマ、主管部門、目標、KPI、進捗状況)
部門長メッセージ	

マテリアリティ特定の背景

TDKにとっての意義

経営資源の適切な配分を行うことは、TDKグループの成長と資本コストを踏まえた相応の収益を持続的に向上させることにつながります。

また、中核事業を収益の基盤としつつ、現時点で収益は不十分であっても、将来の成長・発展が期待できる事業に対して適切に経営資源を投入することで、新たな収益事業に成長させることができると考えています。

社会にとっての意義

社会に寄与できる事業へより多くの経営資源を重点的に配分すること、また、中核事業だけでなく課題事業やノンコア事業においても、最適な再建戦略を実現するための諸施策の確実な実行により、社会へより多くの価値を提供することができると考えています。

概要(テーマ、主管部門、目標、KPI、進捗状況)

テーマ	主管部門	3年間で目指す姿	主な活動項目	KPI	中期目標 (2021~2023年度)	2021年度実績	2022年度実績
事業ポートフォリオの再構築	経営企画グループ	諸施策の遂行により資産効率の向上を目指し、一例として以下の指標を達成している。 ・営業利益率: 12%以上 ・ROE: 14%以上 ・設備投資(3年間): 7,500億円	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスポートフォリオマネジメントに基づく、重点課題事業における改善施策の確実な実行による営業赤字額の削減 R&Dテーマの新規、継続および撤退基準の設定によるR&Dコストの最適化による効果的利用 	営業利益率	12%以上	8.8%	7.7%
			ROE	14%以上	11.6%	8.3%	
設備や生産拠点の最適化			<ul style="list-style-type: none"> ビジネスポートフォリオマネジメント上のルールに従い、事業の資本収益性と成長性に基づき、各事業の設備投資予算の傾斜配分による最適化 生産拠点の稼働率改善 	設備投資額(3年間)	7,500億円	2,913億円	2,757億円

部門長メッセージ

戦略本部経営企画グループ

橋山 秀一

ビジネスポートフォリオマネジメントのルールに基づき、資本収益性と市場の動向を含む事業将来性の両側面から、各事業への経営資源の傾斜配分を継続しつつ、中核事業のさらなる成長と課題事業の黒字化を目指していきます。

現在、ビジネスポートフォリオマネジメントの観点で課題とされた事業について出口戦略のプロセスが明確になっていないこと、既存の設備・生産拠点の稼働情報が十分に把握できていないことが課題であると捉えています。そのため、3年間のロードマップとして、課題事業とされた各事業に対する対応方針を検討し、ROAと有形固定資産回転率の目標値を達成していきます。また、設備・生産拠点の情報について、必要な稼働情報の定義を行い、その収集方法を定め、課題を克服してまいります。

[目次](#)
[編集方針](#)
[トップ
コミットメント](#)
[CPSO
メッセージ](#)
[これでわかる!
TDKの
サステナビリティ](#)
[サステナビリティ
経営](#)
[環境](#)
[社会](#)
[ガバナンス](#)
[社会的評価・
インデックスへの
組み入れ](#)
[リコール中の
加湿器回収に
関するご報告](#)
[検索 / 対照表](#)

サステナビリティ推進体制

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

[サステナビリティ推進体制](#)

[社内啓発](#)

[賛同・加盟する主なイニシアティブと団体](#)

サステナビリティ推進体制

社長直轄に設置したサステナビリティ推進本部が、各本社部門と協働し連携を取りながら、サステナビリティに関する活動方針・施策の立案を行っています。

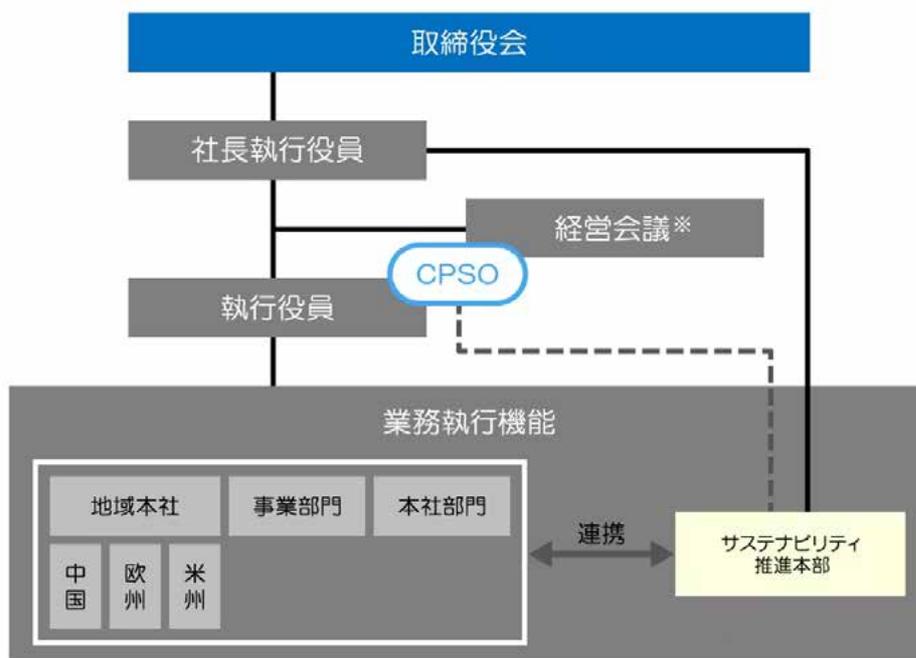
なお、2023年4月からは新たに、Chief People and Sustainability Officer (CPSO)として人材とサステナビリティに関する担当役員（経営会議メンバー）を設置し、サステナビリティ推進本部と協働して、企業価値向上につながるTDKのサステナビリティ戦略を推進してまいります。

《サステナビリティ推進本部の機能・役割》

- 中国・欧州・米州の地域本社とも連携を取り、事業部門、グループ会社、製造拠点へグローバルに取り組みを促進。
- 取り組み状況のモニタリング、サステナビリティに関する情報開示やステークホルダーとの対話などの活動を実施。ステークホルダーとの対話を通じて得られた意見や活動を推進するなかで特定された課題を社内の関係者へフィードバックすることで改善を促進。
- 取り組みの進捗を社長執行役員に毎月報告。

《サステナビリティに関する事項の審議・決定》

- サステナビリティに関する全社的な議題・テーマは経営会議で審議した上で、取締役会へ報告。それに基づき、取締役会は審議または決議し、適切に執行されているかを監督。



※経営会議は、社長が指名した執行役員および機能責任者により構成される諮問会議体。当社グループの開発・製造・販売・財務状況等の業務執行に関する方針および施策を審議し、社長が最終意思決定を行います。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

社内啓発

TDKグループでは、サステナビリティという考え方や企業の取り組みが求められる背景、TDKのサステナビリティ活動に対する考え方などを従業員一人ひとりが理解し、自身の業務に落とし込むことがサステナビリティを推進していく上で重要と考え、新入社員研修などの階層別研修で講義形式の研修を実施しています。

また、経営層・本社部門がアセットマネジャーとのダイアログを適時実施するほか、サステナビリティ推進本部は、SDGsを起点にした事業開発を促進するためのダイアログをビジネスグループと実施しています。

関連情報

[SDGsへの考え方と活動](#)

サステナビリティ表彰

2021年度から「サステナビリティ表彰」を新設しました。これは、「Value Creation」の3つのValueの中の1つ、Social Value(企業の社会的価値の向上)の実現に向けて、社会とTDKグループの双方に貢献した活動において、特に顕著な成果をあげたと認められる個人や部門、グループに対して、その実績を称え、次の活動への励みにすることを目的としています。表彰制度を活用し、SDGsに掲げられている社会課題を起点にした製品開発への挑戦や、ESGに関連するリスクの低減につながる活動をグループ内で促進していきます。

賛同・加盟する主なイニシアティブと団体

TDKグループは、世界人権宣言、ISO26000、OECD 多国籍企業行動指針、ILO 国際労働基準、国連「ビジネスと人権に関する指導原則(ラギー・フレームワーク)」などの国際規範・規格を尊重し、SDGsで掲げられた世界共通の目標実現を目指して事業を推進しています。

また、サステナビリティWEBの編集・発行にあたっては、国際的な基準「GRI スタンド」の「中核(CORE)」オプションに準拠しています。

TCFD[※]への賛同

2019年5月に、気候変動が企業の財務に与える影響の分析・情報開示を推奨する提言を行う気候変動関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)への賛同を表明しました。

※ TCFD…2015年に金融システムの安定化を図る国際的組織である金融安定理事会(FSB)により設立された気候変動関連財務情報開示タスクフォース(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)

関連情報

[TCFD \(英語/外部サイトへ移動します\)](#)

[気候変動への取り組み](#)

RBAおよびRMIへの加盟

2020年2月、TDKグループはグローバルサプライチェーンにおいてCSRを推進することを目的とした世界最大の企業連盟Responsible Business Alliance(RBA)に加盟しました。

RBAのビジョンとミッションを全面的に支持し、RBAの行動基準にのっとり、TDKグループとサプライヤーにおける労働者の権利、健康と安全、環境への取り組みを継続的に改善していきます。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

関連情報

RBA (英語/外部サイトへ移動します)	RMI (英語/外部サイトへ移動します)
人権の尊重	サステナブル調達
責任ある鉱物調達	製造拠点における社会・環境配慮

そのほかの主な加盟団体

TDKは、以下の団体に加盟し、1社だけでは対応が難しい社会課題の解決に向けた取り組みを進めています。団体名をクリックすると、各サイトへ移動します。

一般社団法人日本経済団体連合会	一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA)
アーティクルマネジメント推進協議会 (JAMP)	在欧日系ビジネス協議会 (JBCE)

サステナビリティ | サステナビリティ経営

SDGs への取り組み

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営**
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

- [TDKグループのSDGsへの考え方と活動](#)
- [製品によるSDGsへの貢献](#)

サステナビリティ | サステナビリティ経営 | SDGsへの取り組み

TDKグループのSDGsへの考え方と活動

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

TDKグループのSDGsへの考え方	TDKグループのマテリアリティとSDGs
SDGsに本業で取り組むための仕組みづくり	社会課題を起点としたビジネス創出

TDKグループのSDGsへの考え方

2015年9月に国連総会で、地球環境と人々の暮らしを持続可能なものとするため、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、その中ですべての国が2030年までに取り組むべき17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標 (SDGs)」が掲げられました。



関連情報

[国際連合広報センター \(外部サイトへ移動します\)](#)

「Value Creation」で掲げた3つの「Value」を創造しながら事業を持続的に成長させていくことを目指すTDKは、Social Value (企業の社会的価値の向上)の実現がSDGsと密接に関わるものにとらえています。

TDKにとってSDGsは、価値創造の「起点」であり、いかに社会に価値を提供できたか、社会課題解決に貢献できたかを測る、事業の「成果」であると考えています。

TDKグループのマテリアリティとSDGs

TDKグループのマテリアリティは、SDGsやGRI、RBA (Responsible Business Alliance)、主要 ESG 評価機関の調査項目および、当社グループ長期戦略検討資料に掲げられている課題と、有価証券報告書にて報告しているリスク、CSR 重要課題 (2016～2020年度) をもとに作成されました。

ここでは各マテリアリティとSDGsとの関連をご紹介します。

	3	5	7	8	9	11	12	13	16	17
EX			●			●	●	●		●
DX	●			●	●	●	●			●
品質管理							●	●		
人材マネジメント		●		●						
サプライチェーン マネジメント				●			●		●	●
オポチュニティ& リスクマネジメント			●		●		●	●		
権限委譲と 内部統制の追求										
資産効率の向上										

関連情報

[TDKグループのマテリアリティ](#)

SDGsに本業で取り組むための仕組みづくり

TDKグループは、SDGsで特定された世界的な課題に対して、どのような解決策があるか、自社の製品や技術力が活かせることは何かを次のプロセスで取り組みを続けています。

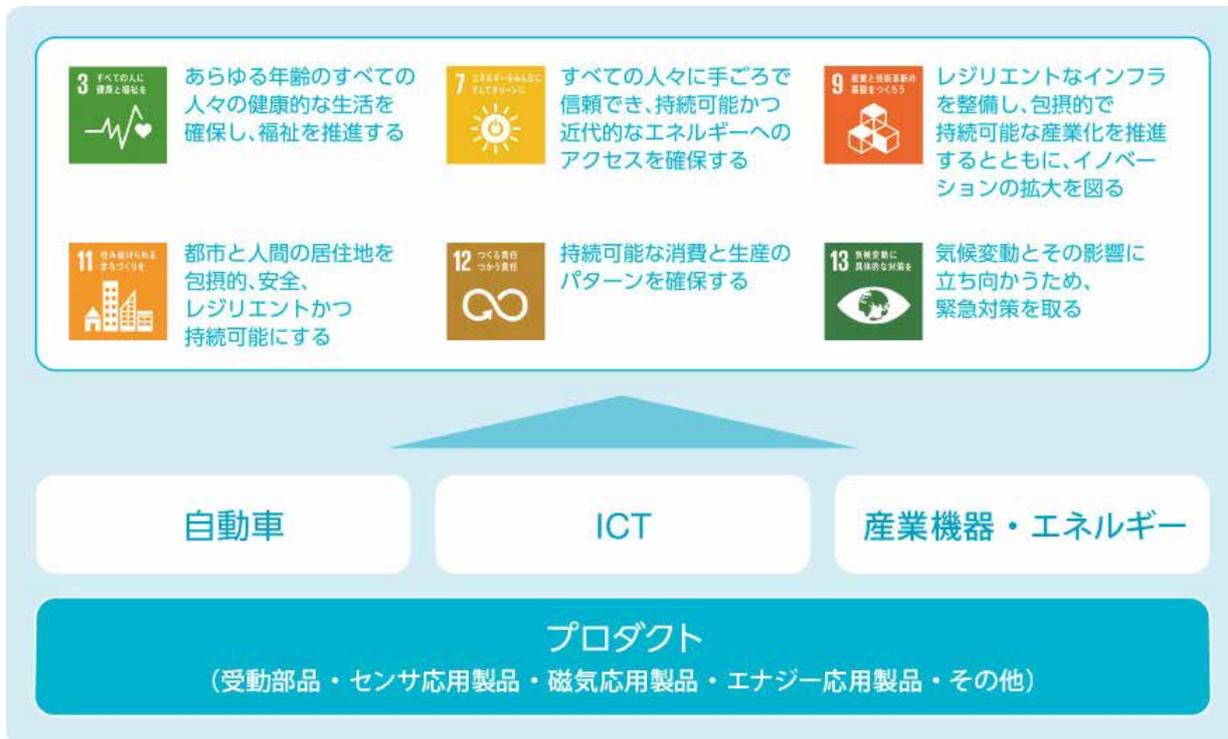
まず当社グループの目指すサステナビリティの考え方とSDGsについて、一般的な社内啓発に加え、会社方針に沿って国内外の各ビジネスグループと社内ダイアログを実施。その後、SDGsで掲げられている課題の中から、中長期で自分たちの技術やソリューションが活かせる課題やターゲットは何か、また社会課題を起点に新たに生み出せる技術やソリューションがないかについて各ビジネスグループで検討した結果を集約し、注力すべき重点領域や中長期戦略について、各ビジネスグループとサステナビリティ推進本部が議論を重ねながら検討を進めました。また並行して、各ビジネスグループでの検討結果のうち、短期に実現できるテーマの2022年度の事業計画への落とし込みも進めました。今後も、上記の議論を進めその結果を社内外で共有・コミュニケーションを図るとともに、実際の活動を推進していきます。

プロセス:

1. SDGsへの理解を深める従業員啓発ダイアログの実施 (2018年6月～)。
2. SDGs3・7・9・11・12・13のゴールについて、各ビジネスグループが持つ技術や製品で貢献できることは何か、ヒアリングシートおよび面談で確認 (2019年5月～11月)。
3. 確認した内容を各ビジネスグループの2020年度の事業計画に落とし込み (2019年10月～2020年3月)。
4. ビジネスグループ等関係者と対話を進め、社会課題をベースに、会社としての重点領域・戦略・戦術を検討 (2020年4月～)。

5. TDKグループのマテリアリティで特定したEX・DX「社会価値創造と自社の成長のためにTDKが注力する事業領域」とすり合わせ、統合した進捗管理の実施(2021年4月～)。

SDGs達成への貢献



関連情報

[製品によるSDGsへの貢献](#)

[Seven Seas](#)

社会課題を起点としたビジネス創出

TDKグループの社会課題を起点としたビジネス創出の事例をご紹介します。

TDK Electronics

CO₂排出量を3分の2削減



TDK Electronicsは社会と環境に対する責任を真摯に受け止めており、世界中の拠点でエネルギー効率の向上や省エネ、再生可能エネルギーからの電力の使用に取り組んでいます。これにより、売上高に対するCO₂排出量を2015年比で3分の2削減することができました。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ

持続可能な生産と最小限のカーボンフットプリントのため、TDK Electronicsはさらなる電力の節減に注力しており、とりわけ100%再生可能なエネルギーからの電力の購入と、自社の太陽光発電システムによる自家発電に努めています。その結果、生産量に対するエネルギー消費量は2015年比で20%以上抑えられました。これは主に、生産におけるエネルギー効率のより高い機械やプロセスの導入によって達成されたものです。

また、再生可能エネルギーからの電力の購入も順調に進んでおり、アメリカでは以前からすでに100%を達成し、ヨーロッパでは96%以上となっています。これまで再生可能エネルギーからの電力の調達が困難だったアジアでは、中国の2つの製造拠点がグリーン電力に切り替わりました。

さらに、各拠点到設置されている太陽光発電システムの発電容量を現在の2倍にする計画もあります。現在、ヨーロッパとアジアの6つの製造拠点で太陽光発電を行っています。新たに6拠点を太陽光発電を開始する予定です。また、4拠点では既存の設備を大幅に増強することも計画しています。



サステナビリティ
経営

環境

TDK Micronas

先進的なセンサとアクチュエータにより新たなモビリティ社会に貢献



センサ、アクチュエータ・ソリューション用半導体製造において25年以上の経験と、自動車および産業用市場向けに60億個以上の製品を送り出してきた実績をもつTDK Micronasは、磁気センサ技術およびCMOSインテグレーションの中心的な役割を担っています。その中核は、車載および産業用アプリケーション向けのセンサ・ソリューションで、製品群には、ホールスイッチ、リニアセンサ、3D直角センサ、電流センサのほか、DCモータ、BLDCモータ、ステッピングモータ駆動用の組み込みモータコントローラが含まれます。

ガバナンス

社会的評価・
インデックスへの
組み入れ

リコール中の
加湿器回収に
関するご報告

検索 / 対照表

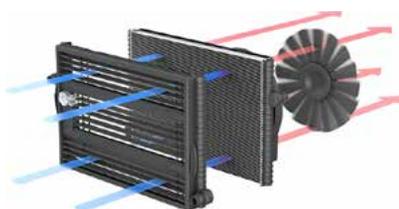


SDG7(エネルギーをみんなに そしてクリーンに)やSDG13(気候変動に具体的な対策を)にも掲げられているように、高いエネルギー効率とCO₂削減への要求が社会全体で高まる中、電気自動車の普及はこれらの社会課題解決の重要なキーワードです。電気自動車が普及することで、化石燃料の消費が減り、地球規模でCO₂の排出が削減され、地域における汚染物質や騒音の排出が最小限に抑制されます。天然資源の再生可能な範囲での使用の実現が、生態学的にも持続可能な社会の発展を促進するのです。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

その中で当社には、最適化されたセンサやアクチュエータのソリューションが社会から期待されていると考えています。TDK Micronas は、バッテリーマネジメントや排気バルブからシフトレバー、ペダルポジションセンサーに至るまで、自動車のあらゆるアプリケーションに対応するソリューションを提供することで、その期待に応えていくことを目標としています。

具体的な製品の例としては、ARM 規格のマイクロコントローラコアに、従来ディスクリート素子でしか実現できなかったパワードライバーなどの多数の付加機能・特徴を組み合わせた Micronas 高電圧コントローラ (HVC) ファミリーが挙げられます。スマートアクチュエータ用の組み込みコントローラとして開発された HVC ファミリーは、車載アプリケーションなどで使用されるコンパクトでコスト効率の良いシステムコンセプトを実現するため、高度な統合化を実現しています。HVC ファミリーのアプリケーションの1つに、アクティブ・グリル・シャッター (AGS) があります。AGS は空力性能を、非 AGS 車と比較して最大30%向上させることができ、あらゆる天候、車両、風速の条件下で、より高い作動トルクの信頼性を確保します。



近年の主要なトレンドは、内燃機関、電気自動車、ハイブリッド車にかかわらず、CO₂排出量削減と自動車の電動化であり続けています。また、多くの消費者はフレキシブルで環境に優しいモビリティを利用したいと考えています。そのため大都市では、小型電気自動車や電動アシスト自転車など新しいタイプの車両を使用することや、電気自動車をカーシェアリングや公共交通機関に統合する新しいモビリティコンセプトが必要になってきています。

こういった新たな法的要件により厳しい管理が求められる社会の流れの中で、あらゆるタイプの車両に搭載されるセンサの需要も高まっています。TDK Micronas は、バリューチェーン全体において持続可能性を意識した開発・生産を行い、再生可能エネルギーの利用、最も効率のよい機械や設備の使用、排出物の削減などに取り組むとともに、先進のセンサとアクチュエータで社会に価値を提供していきます。

TDK 株式会社

外部パートナーとの連携により持続可能な農業モデルの普及と地域社会の発展に貢献



日本の多くの地方都市では共通して、営農継承と環境、食の安全性など農業分野に関連する課題を抱えています。初代社長、齋藤憲三の「農業と工業を共に発展させて豊かな町へ」という農工一体思想を原点に持つ TDK は、「地域の持続可能な豊かさを実現すること」を目的にアグリプロジェクトを2020年に発足。TDK の創業の地秋田県の主幹産業である農業に着目して、環境保全型スマート農業モデルの地域実装に取り組んでいます。

第一段階のテーマとして掲げたのが「安全・安心でおいしいお米づくりとそのブランディング」。お客様から選んでいただけたお米づくりのために、環境保全型スマート農法の工程デザインや、農業の6次化促進、食味評価方法の分析など、社内外との連携のもとさまざまな観点で活動しています。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

その一つが、有機米デザイン株式会社が開発し、TDKがそれをサポートした自動抑草ロボット（通称：アイガモロボ）。このロボットは、減農薬・無農薬農法であるいわゆる合鴨農法で活躍するアイガモをロボットに替えて活用するもので、ソーラーパネルを動力としたアイガモロボが田んぼの中を動き回り、泥をかき混ぜることで雑草の光合成を妨げ、除草剤の使用を抑えます。2020年から試作品の改良を重ね、2022年モデルでついに量産体制整備の段階までこぎつけました。



2022年5月には、TDK、株式会社権右衛門、井関農機株式会社、有機米デザイン株式会社、にかほ市が、環境保全型スマート農業の連携推進に関する5者連携協定を締結しました。地域営農者の知識と経験の融合、環境と先端技術の掛け合わせによる地域の課題解決に取り組み、2025年をめどに官民連携による環境保全型スマート農業の構築を目指します。

これからも、地域が抱える課題解決に貢献することで、地域社会とともに将来世代にわたる持続可能な社会を構築していきます。

TDK 株式会社

お客様とともに気候変動対策に挑む



全世界で取り組む喫緊の課題である気候変動。その解決のために急がれるカーボンニュートラル社会の実現に挑戦するTDKの取り組みを紹介します。

カーボンニュートラル社会実現の一つのソリューションに、ガソリン自動車からxEV化移行の促進があげられます。TDKはxEVのエネルギー効率向上に寄与する製品を提供するため、製品開発、製造ラインの立上げ過程や量産開始後において、お客様や各工程の部門担当者と日々コミュニケーションを重ね、改善活動を継続的に行うことで、お客様である自動車メーカーが求める高い水準の品質基準をクリアしています。



xEVモータの温度を測るセンサであるフラットコイル一体型の小型モータサーミスタは、新規の小型構造体を開発することで、高い応答性と耐久性を持つ製品です。製品が使用される環境を考慮した寸法精度が高いフラットコイルの加工やフォーミングの設備導入、自動化は難易度が高いチャレンジでしたが、試行錯誤の末その壁を乗り越え、最終的には生産性が高く品質が安定した生産ラインを導入したほか、かかわったメンバーのスキルアップや連携力強化にもつながりました。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

ATF油温センサには、リニア特性サーミスタ素子を新たに開発し、適用しています。これにより、ワイドレンジの温度領域(特に高温側)を精度よく温度制御することが可能となり、xEVに搭載されているシステムのパフォーマンス向上とコストダウンを実現しました。

今後も、本プロジェクトで得た技術力を活かしてxEV市場での事業を拡大し、カーボンニュートラル社会実現の加速に貢献していきたいと考えています。

関連情報

TDKの最新ストーリーでSDGsに貢献するさまざまな事例を紹介しています。



[TDKの最新ストーリー](#)

サステナビリティ | サステナビリティ経営 | SDGsへの取り組み

製品によるSDGsへの貢献

SDGsの達成期限 2030年が迫る中、TDKはそれぞれのゴールについて何を目指しどのように寄与するのかを、TDK製品が活躍する社会のイメージとともにご紹介します。



あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



TDKが目指すこと

1 交通事故による死傷者数を減少させ、乗員や歩行者の命を守ること

TDKが貢献可能な製品・技術

- ・ 低消費電力とハイパワーが両立し、高い安全性を持った受動部品
- ・ 状況把握、行動の制御に役立つ適切な機能性と高い性能、耐久性を備えた信頼性の高いセンサ

SDGsターゲット

3.6

2 社会的弱者を含めたあらゆる人々の日々の健康のモニタリングを可能にし、健康増進、予防、治療、機能回復に関するサービスを適切な費用で受けられるようにすること

TDKが貢献可能な製品・技術

- ・ 安全または保護機能を備えた補装具の普及を促進する部品
- ・ 種類が豊富で、手頃な価格のモニタリングシステムを実現する部品・モジュール

SDGsターゲット

3.3 3.9
3.8 3.4

関連製品の一例

センサおよびセンサ応用製品 / 圧電・材料部品・回路保護 / インダクティブデバイス / 高周波部品 / セラミックコンデンサ

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

製品についてもっと知りたい方はこちら

(アプリケーションガイドにリンクします)



すべての人々の、
安価かつ信頼できる
持続可能な近代的エネルギーへの
アクセスを確保する



TDKが目指すこと

- 1 文化、産業へ安心・安全なエネルギーを常時供給すること**

TDKが貢献可能な製品・技術

 - ・ 大電流・高電圧対応製品

SDGsターゲット
7.1
- 2 世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を拡大すること**

TDKが貢献可能な製品・技術

 - ・ エネルギーを安全に貯められる、手頃な価格の蓄電システム

SDGsターゲット
7.1
- 3 分散型エネルギーシステム(電気を必要としている人の近くに需要を満たすだけの比較的小規模な発電設備をつくって電力を供給するシステム)を促進すること**

TDKが貢献可能な製品・技術

 - ・ 安全かつ効率の良いエネルギー循環の実現が可能な送電技術

SDGsターゲット
7.2
- 4 e-モビリティの普及拡大でスマートエネルギーネットワークのエネルギー効率を向上すること**

TDKが貢献可能な製品・技術

 - ・ 小型で大容量、手ごろな価格の二輪車向けバッテリー

SDGsターゲット
7.3
- 5 世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させること**

TDKが貢献可能な製品・技術

 - ・ 電力の低消費化を実現する最先端技術

SDGsターゲット
7.1

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

関連製品の一例

アルミ電解コンデンサ / フィルムコンデンサ / セラミックコンデンサ / 圧電・材料部品・回路保護 /
インダクティブデバイス / センサ / マグネット / 電源 / 二次電池

製品についてもっと知りたい方はこちら

(アプリケーションガイドにリンクします)



太陽光発電
アプリケーション



風力発電



スマートエネルギー



xEV



E-バイク/
電動アシスト自転車



電気自動車(EV)用
急速充電器

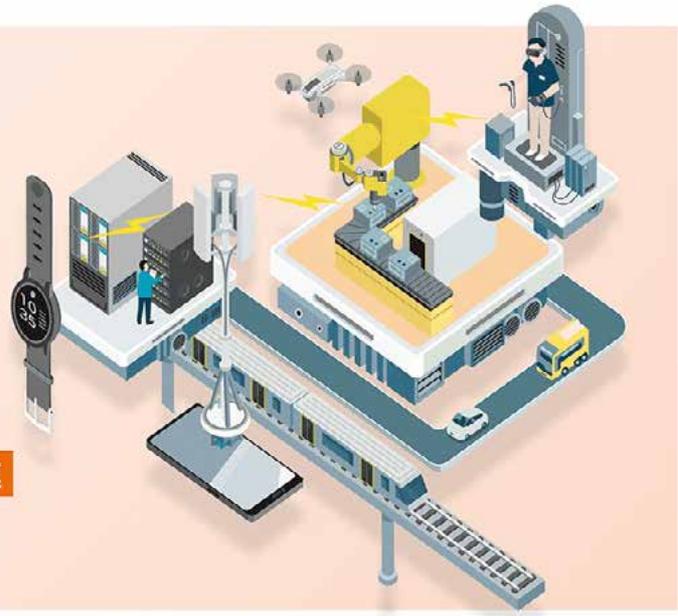


スマートメーター

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう

強靱 (レジリエント) **なインフラ構築、
包摂的かつ持続可能な産業化の促進
及びイノベーションの推進を図る**



TDKが目指すこと

- 1 情報の利便性、手頃さ、アクセスを大幅に向上させ、コミュニケーションを強化すること**

TDKが貢献可能な製品・技術

 - ・ スマートデバイスを構成する高機能、高性能と小型化を両立した電子部品

SDGsターゲット
9.1
- 2 輸送における環境負荷を低減すること**

TDKが貢献可能な製品・技術

 - ・ エネルギーを安全に貯められる、手頃な価格の蓄電システム

SDGsターゲット
9.1
- 3 持続可能で強靱なインフラを実現すること**

TDKが貢献可能な製品・技術

 - ・ スマートXに貢献する自動化技術とロボティクス

SDGsターゲット
9.1
- 4 利便性と合理性が両立する強靱な社会インフラを構築すること**

TDKが貢献可能な製品・技術

 - ・ 大容量で信頼性が高いデータセンター向けHDD用部品

SDGsターゲット
9.4

関連製品の一例

圧電・材料部品・回路保護 / インダクティブデバイス / セラミックコンデンサ / 高周波部品 /
センサおよびセンサ応用製品全般 / 二次電池 / HDDヘッド、HDD用サスペンション

製品についてもっと知りたい方はこちら
(アプリケーションガイドにリンクします)

 インフラ向け電源	 スマートフォン/タブレット/ モバイルルータ	 スマートウォッチ/ アクティビティトラッカー	 xEV	 AR/VR
--	--	--	---	---

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営

11 住み続けられる
まちづくりを



包摂的で安全

かつ強靱 (レジリエント) で持続可能な
都市及び人間居住を実現する

TDKが目指すこと

1 安全で強靱かつ手頃な価格の住宅と基本的なサービスへのアクセスをすべての人に保証すること

TDKが貢献可能な製品・技術

- 信頼度の高いセキュリティ性能を持つセンサネットワークシステム用部品
- スマートデバイスを構成する高機能、高性能と小型化を両立した電子部品

SDGsターゲット

11.1

2 すべての人にとって持続可能で安全かつ手ごろな価格の輸送システムや公共交通機関が整備されていること

TDKが貢献可能な製品・技術

- e-モビリティや自動運転システム向けのゼロディフェクト部品

SDGsターゲット

11.2

関連製品の一例

アルミ電解コンデンサ / フィルムコンデンサ / セラミックコンデンサ / 圧電・材料部品・回路保護 /
インダクティブデバイス / 高周波部品 / センサおよびセンサ応用製品全般 / マグネット / 電源 / 二次電池

製品についてもっと知りたい方はこちら

(アプリケーションガイドにリンクします)



xEV



セーフティ



スマートフォン/タブレット/
モバイルルータ



IoT

検索 / 対照表

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

12 つくる責任
つかう責任



持続可能な
消費と生産のパターンを
確保する



TDKが目指すこと

1 製品やアプリケーションに使用されるプラスチックや金属資源の消費量を削減すること

TDKが貢献可能な製品・技術

- ワイヤレスデータ通信システム用の部品・モジュール
- 製品の小型化、軽量化

SDGsターゲット

12.2 12.5

関連製品の一例

コンデンサ / 圧電・材料部品・回路保護 / インダクティブデバイス / 高周波部品 / センサおよびセンサ応用製品全般

製品についてもっと知りたい方はこちら

(アプリケーションガイドにリンクします)



- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

13 気候変動に
具体的な対策を



気候変動及びその影響を
軽減するための緊急対策を
講じる



TDKが目指すこと

1 CO₂排出量を削減して地球温暖化を防止すること

TDKが貢献可能な製品・技術

- 再生可能エネルギーの活用を促進するための大電流・高電圧対応製品
- e-モビリティ普及拡大のための軽量で電力変換効率・燃費性能の高い製品
- 家電と産業製品用の低消費電力製品

SDGsターゲット

13.1

関連製品の一例

アルミ電解コンデンサ / フィルムコンデンサ / セラミックコンデンサ / 圧電・材料部品・回路保護 /
インダクティブデバイス / センサ / マグネット / 電源 / 二次電池

製品についてもっと知りたい方はこちら

(アプリケーションガイドにリンクします)

太陽光発電
アプリケーション

風力発電

スマートエネルギー

xEV

デジタル家電 / 家電

ステークホルダーエンゲージメント

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

[ステークホルダーエンゲージメントの目的](#)
[ステークホルダー別 理想の姿・考え方・エンゲージメント手法](#)
[過去のステークホルダーダイアログ](#)

ステークホルダーエンゲージメントの目的

TDKグループは、グローバルに事業活動を展開している企業として、社会課題を正しく認識し、サステナビリティに関する国際的な行動規範やガイドラインを尊重するとともに、ステークホルダーの関心事項に事業活動を通じて応えていくことで、社会からの信頼を得られるよう努めています。そのためにも、日ごろから各ステークホルダーと対話の機会を積極的に設けています。

TDKグループは、ステークホルダーエンゲージメントの目的を以下のとおりと考えています。

- ステークホルダーの意見をTDKグループの事業活動に活かして、企業価値および創出する社会価値の向上につなげること
- ステークホルダーと価値観を共有するとともに、TDKグループの考え、活動内容を知っていただくことで、独りよがりではない本質的な活動へと発展させること。またサステナブルな社会を目指すため協働していくこと

ステークホルダー別 理想の姿・考え方・エンゲージメント手法

株主・投資家

考え方	TDKグループは、株主・投資家等のステークホルダーに対して、適時、適切な情報開示を行うことで、経営の公正と透明性を維持します。
理想の関係性	将来の社会ニーズに沿ったソリューションを提供することで、持続的に成長できる企業として、株主・投資家から信頼を得ている。
エンゲージメント手法	<ul style="list-style-type: none"> • 決算説明会 • 株主総会 • IRミーティング

お客様

考え方	TDKグループは、事業環境の変化や社会ニーズに対応し、高いレベルでのQDCおよびFirst-to-Marketを実現することでお客様に高付加価値製品を提供します。
理想の関係性	イノベーションや環境配慮をリードしていくことによって、常にお客様の期待を超えるパートナー企業として認識されている。
エンゲージメント手法	<ul style="list-style-type: none"> • 日常の営業活動 • CS調査 • お客様からの監査

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営

取引先

考え方	TDKグループは、RBA行動規範をもとに、社会・環境課題にサプライチェーン全体で取り組み、ともに持続可能な社会を実現します。
理想の関係性	取引先とTDKが長期的に共に発展するwin-winの関係を築き、多岐にわたる事業分野でTDKと取引先の技術・ノウハウがコラボレーションしている。常にお客様の期待を超えるパートナー企業として認識されている。
エンゲージメント手法	<ul style="list-style-type: none"> • 日常の取引先対応 • 取引先説明会 • 取引先への監査実施

従業員

考え方	TDKグループは、企業の永遠の繁栄の源泉は人の育成にあると考え、企業倫理綱領(企業行動基準)記載の関係を築いていきます。 >企業倫理綱領(企業行動基準)はこちらをご覧ください。
理想の関係性	CSRの推進により対等で幸せな職場をつくり、従業員と会社が互いを尊重している。
エンゲージメント手法	<ul style="list-style-type: none"> • 労使対話 • 社内報へのフィードバック • 職場コミュニケーション • 各種表彰制度 • エンゲージメント調査

地域社会

考え方	TDKグループは、地域社会、行政、業界、国際機関、NPO・NGO等のステークホルダーや潜在的パートナーとの連携と協調を図り、良好な関係を維持します。また、経営理念等を踏まえつつ、優先的に取り組む社会的課題領域を特定し、スポーツ、文化、芸術活動やボランティア活動などの社会貢献活動を通じて「良き企業市民」たることを目指してまいります。
理想の関係性	TDKブランドが地域に浸透し、質の高い雇用を地域に提供している。また革新的な技術で環境負荷低減に貢献している。
エンゲージメント手法	<ul style="list-style-type: none"> • 各地域の懇談会 • 社会貢献活動 • ホームページアンサーサービス

行政

考え方	TDKグループは、地域社会、行政、業界、国際機関等のステークホルダーや潜在的パートナーとの連携と協調を図り、良好な関係を維持します。
理想の関係性	法令順守や税金の納付といった義務を果たし、社会的問題解決のための政策への協力を通じ、社会の公器としての企業の役割を果たしている。
エンゲージメント手法	<ul style="list-style-type: none"> • 経済団体や業界団体を通じた意見交換 • 調査・アンケートへの回答 • 主務官庁への相談 • パブリックコメント

消費者

考え方	TDKグループ製品および搭載される最終製品を通じて、すべての人々のQOL向上に貢献します。
理想の関係性	多くの消費者から創造的で、革新的な技術で社会に貢献している企業と認知されている。
エンゲージメント手法	<ul style="list-style-type: none"> • 営業を通じた情報の入手 • 開発へのフィードバック

- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

過去のステークホルダーダイアログ

TDKは、各ステークホルダーとの対話の機会を積極的に設けています。特に、事業活動へのインパクトが大きい内容については、ステークホルダーダイアログを開催し、外部有識者との直接対話を通じ、事業活動やCSR活動に活かしています。

※各テーマをクリックするとダイアログの記事にリンクします。

実施年月日	テーマ
2020年8月25日	社会課題の解決を経営の中核に据えたマテリアリティ特定へ
2020年7月8日	気候変動への対応と企業成長の両立に向けてTDKグループに求められることとは
2018年3月6日	グローバル人材の育成
2017年4月14日	サプライチェーンにおける人権対応を考える
2017年3月21日	グローバル人材の育成
2015年10月9日	TDKの価値を高めるマテリアリティの特定に向けて
2015年5月11日	サプライチェーンにおけるCSR推進
2015年5月8日	次期環境ビジョンの策定に向けて
2015年4月17日	「成長戦略としての多様性の尊重」を考える
2015年3月31日	非財務情報開示への理解を深める勉強会
2014年3月4日	ステークホルダーとの対話を通じた人権課題の特定
2013年4月18日	紛争鉱物の背景にある社会的課題、コンゴ民主共和国の人権状況とは
2012年4月12日	社会課題の解決と理想の未来実現へ今求められる技術イノベーションのかたちとは
2011年5月27日	今、求められる環境活動とは
2010年4月8日	信頼される企業であり続けるためにTDKに期待すること
2009年5月18日	信頼される企業になるために

ESG ファイナンスによる資金調達

TDK サステナビリティ・リンク・ボンドに関するSPTsとKPIs進捗状況

TDKは、2021年12月に第9回無担保社債、TDK サステナビリティ・リンク・ボンド[※]を発行しました。ここではTDKが設定したKPIs(キー・パフォーマンス・インディケーター)とその目標であるSPTs(サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット)、および進捗状況を報告いたします。

「TDK 環境ビジョン2035」の中で「ライフサイクル的視点での環境負荷の削減をテーマに、2014年度を基準として2035年度までにCO₂排出量原単位を半減」という目標を掲げているTDKは、その実現に向けての取り組みが反映されるSPTsを設定し、達成手段となる3つの指標をKPIsとして選定しました。相互に関連する複数の尺度を取り入れることで、当社グループの取り組みをより多角的な視点から測定することができると考えています。

関連情報

[サステナビリティビジョン](#)
[環境方針・環境ビジョン](#)

SPTs

SPT-1: 2025年度におけるCO₂排出量の売上高原単位(単位:t-CO₂/億円)を2014年度対比で30%改善

SPT-2: 2025年におけるCDP気候変動の最終スコアにてA/A-を維持

SPT-3: 2025年度における再生可能エネルギー電力導入率50%を達成

SPT-1と3については2025年度、2については2025年のパフォーマンスをもって各達成状況を判定します。当社が3つのSPTsのうちいずれか2つ以上を達成できなかった場合、環境保全活動を目的とする公益社団法人・公益財団法人・国際機関・自治体認定NPO法人・地方自治体やそれに準じた組織に対して、本社債の償還までに累計で社債発行額の0.3%相当額の寄付を行い、当社自らのESGへの取り組みに加えて、寄付による活動支援を通じて追加的にポジティブなインパクトを創出します。

なお、TDK サステナビリティ・リンク・ボンド発行のため策定したサステナビリティ・リンク・ボンドフレームワークについては、株式会社格付投資情報センターより、第三者評価として国際資本市場協会(ICMA)の「サステナビリティ・リンク・ボンド原則(Sustainability-Linked Bond Principles) 2020」に適合している旨のセカンドオピニオンを取得しています。

※ サステナビリティ・リンク・ボンド: 債権の発行体が、あらかじめ設定したサステナビリティ関連の目標に対し成果の改善を投資家にコミットし、目標達成したかどうかで条件が変化する債権のこと。

SPT-1: 2025年度におけるCO₂排出量の売上高原単位(単位:t-CO₂/億円)を2014年度対比で30%改善

CO₂排出量の売上高原単位は、スコープ1(直接排出量)とスコープ2(エネルギー起源間接排出量)の合計値を連結損益計算書上の売上高で除した値です。

KPI-1	2014年度	2018年度	2019年度 [※]	2020年度 [※]	2021年度 [※]	2022年度 [※]	SPT-1 2025年度
CO ₂ 排出量原単位 2014年度を基準に指数化	100	91.9	86.9	90.9	68.0	51.8	70.0

※2019年度以降は第三者検証を受けた数値

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

SPT-2: 2025年におけるCDP 気候変動の最終スコアにてA/A-を維持

CDP 気候変動は企業や都市による気候変動対応の取り組みレベルを評価するものです。CDPが質問書の回答内容に対して定量・定性的な基準をもとにスコアリングを行い9段階(A/A- /B/B- /C/C- /D/D- /F)の最終スコアで評価を提供しています。

KPI-2	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	SPT-2 2025年度
CDP 気候変動の 最終スコア	A-	A-	A-	A-	A-	AまたはA-

SPT-3: 2025年度における再生可能エネルギー電力導入率50%を達成

属性証明のある再生可能エネルギーの購入電力と自家生成電力の合計を総電力使用量で除して百分率に換算した値です。

KPI-3	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	SPT-3 2025年度
再生可能エネルギー 電力導入率(%)	20.3	18.2	23.9	30.0	39.9	50.0

TDK株式会社 第9回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付） （TDKサステナビリティ・リンク・ボンド）

社債総額	金400億円
各社債の金額	金1億円
利率	年0.26%
払込金額	各社債の金額100円につき金100円
償還金額	各社債の金額100円につき金100円
期限および償還方法	7年 満期一括償還 ①最終償還期限:2028年12月1日 ②買入消却:本社債の買入消却は、払込期日の翌日以降いつでもこれを行うことができる
利払日	毎年6月2日および12月2日(初回利払日は2022年6月2日)
募集の方法	一般募集
募集期間	2021年11月26日
払込期日	2021年12月2日
担保・保証の有無	本社債には担保ならびに保証は付されておらず、また本社債のために特に留保されている資産はない。
財務上の特約	担保制限条項(特定社債間限定同順位特約)が付されている。
主幹証券会社	野村證券株式会社、大和証券株式会社及びみずほ証券株式会社
社債等振替法の適用	本社債は、社債、株式等の振替に関する法律の規定の適用を受けるものとする。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営**
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

財務・発行・支払代理人	株式会社りそな銀行
振替機関	株式会社証券保管振替機構
取得格付	株式会社格付投資情報センター：A+

サステナビリティ | 環境

環境方針・環境ビジョン

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

基本的な考え方	2050年を見据えて
TDK環境ビジョン2035	環境基本計画「TDK環境・安全衛生活動2025」

基本的な考え方

TDKグループ安全衛生・環境憲章

TDKでは、グループ全体の安全衛生・環境に関する方針を一体化し、「基本理念」と安全衛生及び環境に対する「基本方針」の2つから構成される「TDKグループ安全衛生・環境憲章」を制定しました。



関連情報

環境マネジメント体制	環境教育
----------------------------	----------------------

2050年を見据えて

TDKでは、グループ全体として取り組むべきマテリアリティとして、「2050年CO₂ネットゼロ実現に向けた、エネルギーの有効利用と再生可能エネルギーの利用拡大」および「脱炭素社会を実現するためにクリーンエネルギーを創出する製品・ソリューションの提供」「エネルギーの蓄電、変換、制御によって効率的なエネルギー社会を実現する製品・ソリューションの提供」を掲げています。

このほか、TDKの製造拠点から排出されるCO₂を、TDK製品の省エネ効率向上によるCO₂削減貢献量によってバランスをとるというコンセプトでの「カーボンニュートラル」に関しては、2014年度に既に達成しており、現在はサプライチェーン全体の視点で、さらなるCO₂排出ネットゼロを推進しています。具体的には、Scope1、Scope2、およびScope3のCategory11に加えて、Scope3のその他Categoryにおけるカバレッジ範囲をさらに拡大するとともに、2050年CO₂ネットゼロ社会実現に向けた、適切な活動KPIおよびモニタリング指標を設定し、TDKの温室効果ガス削減活動を強化するものです。また中期活動方針であるTDK環境アクション2025において、生産拠点における2025年の再生可能エネルギー導入率 50%を目指しています。

TDK環境憲章で定める通り、TDKでは気候変動対策をはじめ、生物多様性および限りある地球資源を尊重することの重要性を認識しており、「ECO TDK」のキャッチフレーズのもと、サーキュラーエコノミーを含む関連活動を推進しています。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営

環境

社会

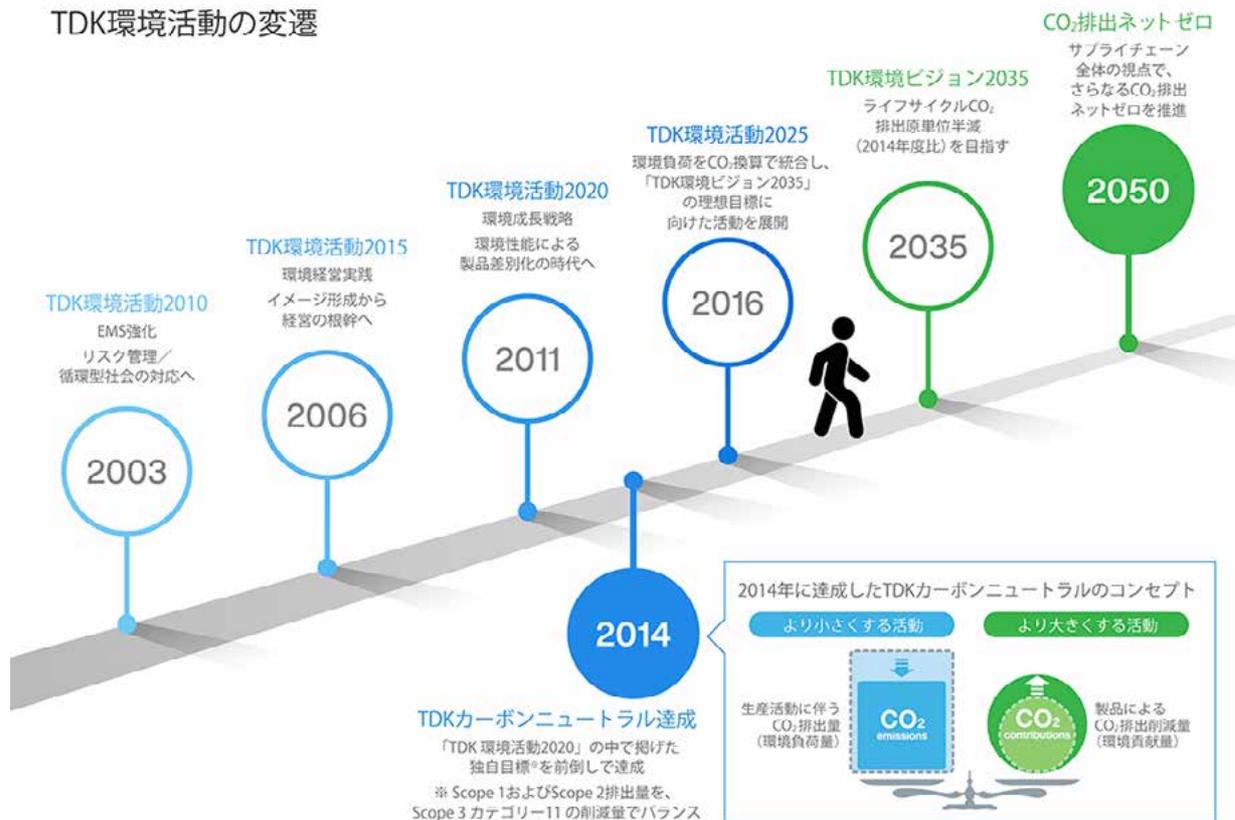
ガバナンス

社会的評価・
インデックスへの
組み入れ

リコール中の
加湿器回収に
関するご報告

検索 / 対照表

TDK環境活動の変遷



関連情報

[マテリアリティの特定](#)

TDK環境ビジョン2035

TDK環境ビジョン2035

自然の循環を乱さない環境負荷での操業を目指す

ライフサイクル的視点でのCO₂排出原単位を
2035年までに半減



2035年度までにライフサイクル的視点でのCO₂排出量原単位半減を目指す

第三次環境基本計画「TDK環境活動2020」で掲げていたカーボンニュートラルの目標を2014年度に前倒して達成したTDKグループは、次の環境ビジョン策定に先立ち、2015年に、創業100周年に向けた企業ビジョン「Vision2035」を策定しました。Vision2035では、「かけがえのない地球環境の再生・保護と、豊かで安心できる暮らしの実現」に真正面から取り組むことで、社は「創造によって文化、産業に貢献する」を着実に果たしていくことを掲げています。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

2016年には、企業ビジョン「Vision2035」を受けて、2035年におけるTDKのあるべき姿を「自然の循環を乱さない環境負荷で操業すること」と定義づけ、「ライフサイクル的視点でのCO₂排出原単位を2035年までに半減」することを掲げた「TDK環境ビジョン2035」を策定しました。この環境ビジョンは、事業活動における環境負荷の最小化と自然環境の育成、お客様と社会に貢献する製品の提供が企業の責務であるとの認識に基づくものです。また、地球規模での温室効果ガス排出源と吸収源の均衡達成による地球温暖化の抑制を目指したCOP21パリ協定にもならない、「あるべき姿」に到達するために行動するTDKの理想でもあります。

TDK環境ビジョン2035で掲げる「ライフサイクル的視点での環境負荷の削減」は、従来のTDK環境活動2020で掲げていた「工場での製造段階や製品の使用段階での環境負荷削減」ととどまらない取り組みです。そのため、TDKグループ全従業員が同じビジョンを共有し、目標を持って取り組むことが重要です。企業ビジョンで掲げる「地球環境の再生・保護」とは、自然循環の中での操業であり、これなくして持続可能な発展はありません。TDKグループのすべてが同じ「あるべき姿」を共有し、自主的に取り組みを進めていきます。



環境基本計画「TDK環境・安全衛生活動2025」

「TDK環境ビジョン2035」のもとで、新たに2025年までの環境基本計画として策定したのが、「TDK環境・安全衛生活動2025」です。「TDK環境・安全衛生活動2025」の活動項目と目標値は、「TDK環境ビジョン2035」からのバックキャストと「TDK環境活動2020」からの継続性およびフォアキャストを考慮して決定しています。各活動項目の環境負荷をCO₂換算で統合し、「TDK環境ビジョン2035」の理想目標に向けた活動を展開していきます。さらに、安全衛生についても、新たに活動項目と目標を明文化し、安全で健康な職場環境の形成を実現していきます。



関連情報

[「TDK環境・安全衛生活動2025」行動計画と実績](#)

TDKグループ安全衛生・環境憲章

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

TDKグループ 安全衛生・環境憲章

基本理念

安全で健康な職場環境の形成、および地球環境との共生を重要な経営課題と認識し、その実現に向けた行動を、あらゆる事業活動の中で、全員で実行する。

基本方針



人と地球を大切に

働く人の安全と健康を守り、
地球環境も健全に

- ・ 精神のおよび肉体的にストレスのない職場づくりに取り組みます。
- ・ 教育訓練によって、働く人一人ひとりの意識を高め、安全で安心な作業に努めます。
- ・ 生物多様性を含む地球環境の保全へ総合的に取り組みます。



安全と環境に配慮 したモノづくり

調達から廃棄段階までの安全
衛生と環境のリスクを小さく

- ・ 働く人への危険および有害な要因に対し、排除または低減対策に取り組みます。
- ・ 消費者が安心して使用できる環境負荷の小さい製品の設計開発に努めます。
- ・ サプライヤーやお客様と共に、安全と環境を乱さない事業活動を旨とします。



持続可能な社会へ

脱炭素社会および循環型経済
の達成に向け行動する

- ・ 生産活動における資源やエネルギーの効率的な効果的な利用に取り組みます。
- ・ 再生可能エネルギーの利用を推進します。
- ・ 排出物の有効利用および出さない生産活動に努めます。



責任ある行動を

社会とのコミュニケーション
を通じ、多種多様なニーズに
応える

- ・ 法規制の遵守ならびに社会のニーズへも対応します。
- ・ 地域社会とのコミュニケーションを密にし、地域の安全・安心に貢献します。
- ・ 働く人の声に目を向け、職場、権利厚生を含め快適な生活環境づくりに努めます。



取り組みに価値を

戦略的な目標設定と実行に
より、企業価値を高める

- ・ 中長期的な目標を設定し、その達成に向け継続的なパフォーマンス改善に取り組みます。
- ・ 必要な情報の提供と教育支援により、グループ全体で目標達成に取り組みます。
- ・ 社内外へ適切な情報の開示により、事業活動の透明性と健全性の向上に努めます。

TDKグループ安全衛生・環境憲章

2022年10月1日 制定

TDK株式会社 代表取締役社長

齋藤 昇

環境においては、憲章に基づき「調達」「開発・製造」「輸送」「使用」「廃棄」など製品のライフサイクル全般にわたり、環境負荷低減を進めます。この活動はバリューチェーン全体のサプライヤー、外部製造委託先などの事業パートナー、そしてお客様に波及効果を及ぼします。また、環境基本理念にある「あらゆる事業活動」には、新規事業への出資に際して実施するデューディリジェンスやM&Aも含まれます。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境**
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

安全衛生においては、安全で健康な職場環境の形成を目指しています。これに基づき、活動の優先順位付けを行い、行動計画を設定します。具体的な活動の基本計画として、安全衛生基本計画を策定しており、重篤災害ゼロを目指し、実践に努めています。

安全衛生・環境共に経営と一体化させたマネジメントシステムの仕組みの中で運用及び活動推進しており、その実践には、従業員の積極的な参加が不可欠であるため、従業員の理解向上のために必要な啓発活動や教育を実施します。加えて、ステークホルダーへの情報開示を適切に行い、積極的なコミュニケーションを図ることにより、活動の継続的な改善に努めます。

サステナビリティ | 環境

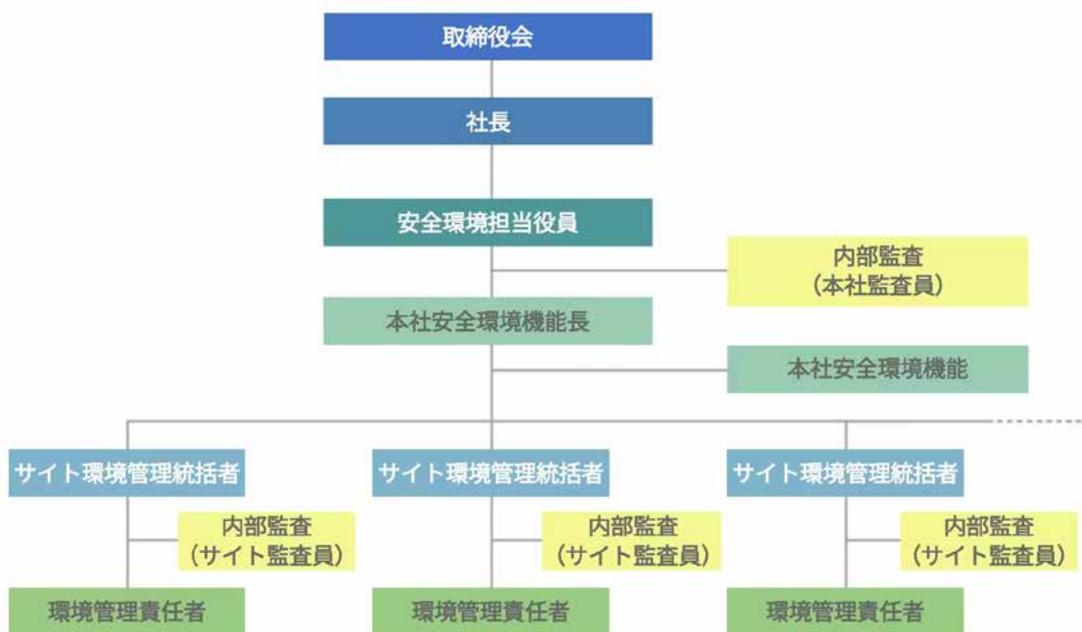
環境マネジメントシステム

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境**
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

環境マネジメント体制	環境マネジメントシステムの運用
環境教育	環境活動に対する評価制度と表彰制度
工場における環境リスク管理	製品由来の有害物質ばく露の予防と管理

環境マネジメント体制

TDKは、社長を最高責任者とした環境マネジメントシステム (Environmental Management System: EMS) を確立し、経営と環境のマネジメントが一体となった体制で活動を推進しています。この体制の確立により、従来のサイト単位での環境保全活動だけでなく、多様化・複雑化・グローバル化する環境問題にも迅速かつ効果的な対応ができます。また、環境活動の計画や進捗状況、リスクなどについては、四半期ごとに取締役会にも報告を行っており、必要な場合は審議も実施します。



図中のサイトは、ISO 認証取得の生産拠点を指します。

環境マネジメントシステムの運用

TDKは、94%の生産拠点においてISO14001 (EMSに関する国際規格) の認証を取得し、環境負荷の低減に取り組んでいます。

また、各地域本社主導による内部監査を実施することで、地域情勢に応じた対応を各拠点が行えるようにしています。加えて、日本、中国、アセアン、ヨーロッパ、アメリカと地域別エリア会議を開催し、拠点の課題点やベストプラクティスの共有を行うことで、個々の拠点のパフォーマンス向上を図り、全社の共通目標である「TDK 環境・安全衛生活動2025」の達成に向けた活動を推進しています。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

関連情報

[ISO14001およびISO50001認証取得事業所](#)

[TDK環境・安全衛生活動2025](#)

[製造拠点における社会・環境配慮](#)

環境教育

TDKでは、社内のイントラネットへTDKの環境への取り組みに対する考え方や達成すべき目標を含む活動情報を掲載しており、従業員がいつでもアクセスして、内容を確認することができます。このほか、TDK安全衛生・環境憲章については、携帯用カードや掲示用ポスター、電子掲示板(サイネージ)等を活用して従業員への周知と意識高揚に努めています。また、各拠点では、新入社員や異動社員に対し、環境に関する自覚および力量教育をe-learning等を活用して進めています。

e-learningを活用した社内教育として、サーキュラーエコノミー研修を実施しました。サーキュラーエコノミーの基本原則を理解すると共に、製品のデザイン段階からライフサイクル全体の廃棄物ゼロを目指すサーキュラーエコノミー思考の重要性の啓発に努めています。

環境活動に対する評価制度と表彰制度

TDKでは、環境マネジメントシステムの改善と安全環境活動のパフォーマンス向上を目的とし、安全を含めた評価制度として安全・環境マネジメント達成課題評価をグローバルで展開しています。

各拠点のエネルギー／水／排出物／安全衛生／SDGsなど、社会課題に対する取り組みを区分し、総合評価で優れた成績を収めた事業所、および特定の分野で模範となる活動を行った事業所または事業部門を表彰しています。

2022年度の表彰拠点／事業部門は下記のとおりです。

■総合評価において優秀な成績を収めた事業所

Amperex Technology Limited

TDK Lambda UK Ltd.

TDK (Thailand) Co., Ltd.

TDKエレクトロニクスファクトリーズ株式会社 北上工場

[水資源への取り組み](#)

■特定の分野で模範となる活動を行った事業所または事業部門

【エネルギー】 TDK Electronics GmbH & Co OG

【資源】 TDK Electronics Components, S.A.U.

[資源の有効利用](#)

【安全衛生】 TDKエレクトロニクスファクトリーズ株式会社 岩城工場
Qingdao TDK Electronics Co., Ltd.

関連情報

[CO₂排出量削減を目指す、生産拠点での取り組みとは?](#)

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

工場における環境リスク管理

土壌汚染、VOCリスクの管理

TDKでは、土壌汚染およびVOC (Volatile Organic Compounds: 揮発性有機化合物) に関する環境リスクの評価基準と管理手法を確立し、各サイトのリスク評価を定期的に行っています。リスクの高い箇所については、優先順位を明確にして、予防保全、修復等の対策を実施することで、効果的な環境リスク管理につなげています。

汚染予防のための法規制の遵守および事故

当社では、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などを未然に防止するため、法規制遵守はもとより、項目によっては法規制値よりもさらに厳しい自主基準を設け、環境負荷の低減と未然防止に努めています。

製品由来の有害物質ばく露の予防と管理

内容はこちらをご覧ください。

[品質保証活動 製品由来の有害物質ばく露の予防と管理](#)

サステナビリティ | 環境 | 環境マネジメントシステム

ISO14001およびISO50001認証取得事業所

(2023年5月1日現在)

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

ISO14001

事業所	国名	登録証番号	審査機関
TDK 株式会社 サステナビリティ推進本部 安全環境グループ テクニカルセンター 三隈川工場 浅間テクノ工場 甲府工場 成田工場 静岡工場 稲倉工場東サイト にかほ工場北サイト にかほ工場南サイト 本荘工場西サイト 本荘工場東サイト 大内工場 TDK エレクトロニクスファクトリーズ株式会社 甲府工場 稲倉工場東サイト にかほ工場北サイト にかほ工場南サイト 本荘工場西サイト 本荘工場東サイト 北上工場 大内工場 岩城工場 鶴岡西工場* 酒田工場 飯田工場 鶴岡東工場 TDK ラムダ株式会社 長岡テクニカルセンター	Japan	JP21/071691	SGS
TDK プレジジョンツール株式会社	Japan	05672	Intertek
TDK USA Corporation TDK Components USA., Inc. TDK Ferrites Corporation Headway Technologies, Inc. TDK-Lambda Americas Inc.	U.S.A.	10018048 UM15	DQS
TDK China Co., Ltd. TDK (Suzhou) Co., Ltd. TDK Dalian Corporation Qingdao TDK Electronics Co., Ltd. TDK Xiamen Co., Ltd. Guangdong TDK Rising Rare Earth High Technology Material Co., Ltd.	P.R. China	CNBJ314199-U	BV
TDK Dongguan Technology Co., Ltd.	P.R. China	CNBJ314199-U-006	BV
Guangdong Real Faith Pingzhou Electronics Co., Ltd. Guangxi Real Faith Pingzhou Electronics Co., Ltd.	P.R. China	00221E33645R3L 00221E33645R3L-1	IQNet
SAE Magnetics (Dongguan) Limited	P.R. China	02120E11064R7L	CCCI
AFI Technologies (Chang An) Ltd.	P.R. China	02123E10010R6L	CCCI
SAE Components (ChangAn) Limited	P.R. China	02123E10010R6L-1	CCCI
SAE Technologies Development (Dongguan) Co., Ltd.	P.R. China	02120E11064R7L-1	CCCI
Ningde Ampere Technology Ltd.	P.R. China	CN09/31828.00	SGS
Dongguan Poweramp Technology Ltd.	P.R. China	CN19/32001	SGS
Acrathon Precision Technologies (Dongguan) Co., Ltd.	P.R. China	02121E10429R4M	CCCI

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

TDK-Lambda (China) Electronics Co., Ltd.	P.R. China	02122E10703R5M	CCCI
TDK Taiwan Corporation	Taiwan	20003153 UM15	DQS
InvenSense Taiwan Ltd.	Taiwan	TW17/00861	SGS
TDK Korea Co., Ltd.	Korea	KR002766	BV
TDK Philippines Corporation	Philippines	50500402UM15	DQS
TDK(Thailand) Co., Ltd.	Thailand	488005 UM15	DQS
Magnecomp Precision Technology Public Co., Ltd. Rojana Factory Wangnoi Factory	Thailand	25884/A/0002/UK/En 25884/G/0001/UK/En	URS URS
Hutchinson Technology Operations(Thailand) Co., LTD.	Thailand	81791/C/0001/UK/En	URS
TDK (Malaysia) Sdn. Bhd.	Malaysia	01 104 117285	TUV
TDK-Lambda Malaysia Sdn. Bhd Senai Factory Kuantan Factory	Malaysia	01 104 1735507 01 104 1735507/01 01 104 1735507/02	TUV
TDK-Lambda UK Ltd.	U.K.	EMS 518156	BSI
TDK-Lambda Ltd.	Israel	87520	IQnet
TDK Electronics AG	Germany	10000407310-MSC-RvA-DEU	CCCI

※ TDK エレクトロニクスファクトリーズ株式会社鶴岡工場は、2023年4月1日よりTDK エレクトロニクスファクトリーズ株式会社鶴岡西工場へ名称変更しました。

ISO50001

事業所	国名	登録証番号	審査機関
TDK Electronics AG	Germany	10000407433-MSC-RvA-DEU	DNV
Ningde Amperex Technology Ltd.	P.R. China	CN17/30924	SGS

サステナビリティ | 環境 | 目標と実績

「TDK環境・安全衛生活動2025」2022年度の実績と行動計画

制定: 2016年4月1日
改訂: 2023年4月1日

目次

編集方針

トップ
コミットメント

CPSO
メッセージ

これでわかる!
TDKの
サステナビリティ

サステナビリティ
経営

環境

社会

ガバナンス

社会的評価・
インデックスへの
組み入れ

リコール中の
加湿器回収に
関するご報告

検索 / 対照表

活動項目	2022年度				2023年度		スコア No. ※1	2025年度	2035年度 (創立100周年)
	目標	主な活動施策	実績	達成状況	目標	主な活動施策			
<p>【1】 TDK環境活動 CO₂排出原単位 50%改善(2035年度まで) TDKの環境負荷・環境貢献量をCO₂へ換算し、原材料から製品の廃棄までのCO₂売上原単位を基準年度2014年度から50%改善する</p> 									
(1) 生産拠点のCO ₂ 排出量削減	エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位 前年度比 1.8%改善	CO ₂ 排出量を前年度比 2.0%相当量の施策により削減主な活動施策	前年度比 30.7%改善	達成	エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位 前年度比 1.8%改善	CO ₂ 排出量を前年度比 2.0%相当量の施策により削減	1, 2	—	CO ₂ 排出原単位30%改善
(1-a) エネルギーの有効利用	エネルギー原単位 前年度比 1.0%改善	・エネルギー使用量を前年度比 2.0%相当量の省エネ施策により削減 ・生産に関わる詳細なエネルギー使用の見える化	前年度比 15.0%改善	達成	エネルギー原単位 前年度比 1.0%改善	・エネルギー使用量を前年度比 2.0%相当量の省エネ施策により削減 ・生産に関わる詳細なエネルギー使用の見える化		—	
(1-b) 再生可能エネルギーの利用拡大	2025年再生可能エネルギー導入率 50%に向けた取り組みの実施(スコープ2)	目標値達成に向けた施策の推進(スコープ2)	2022年度目標 34%に対し、40%導入	達成	2025年再生可能エネルギー導入率 50%に向けた取り組みの実施(スコープ2)	目標値達成に向けた施策の推進(スコープ2)		再生可能エネルギー導入率 50%(スコープ2)	
(2) 水資源 取水量の削減	取水原単位 前年度比 1.5%改善	・製造拠点の取水原単位 前年度比 1.5%改善 ・循環利用率の向上	前年度比 17.8%改善	達成	取水原単位 前年度比 1.5%改善	・製造拠点の取水原単位 前年度比 1.5%改善 ・循環利用率の向上	3	CO ₂ 排出量 30%改善に相当する削減活動の創出	ライフサイクル視点でのCO ₂ 排出原単位 50%改善
(3) 資源の有効利用	排出物原単位 前年度比 1.5%改善	・製造拠点の排出物原単位 前年度比 1.5%改善 ・材料歩留の改善 ・再生化および再利用の推進 ・ゼロディフェクトの追求	前年度比 24.4%改善	達成	排出物原単位 前年度比 1.5%改善	・製造拠点の排出物原単位 前年度比 1.5%改善 ・材料歩留の改善 ・再生化および再利用の推進 ・ゼロディフェクトの追求			
(4) ライフサイクルの視点でのCO ₂ 排出量削減	スコープ3取組みによる環境負荷低減の推進	・低環境負荷材料使用の推進 ・グローバルでの物流CO ₂ 削減取組みの推進	・グローバル物流CO ₂ 削減 ・物流CO ₂ 排出原単位 前年度比 28%悪化	未達成	スコープ3取組みによる環境負荷低減の推進	・低環境負荷材料使用の推進 ・グローバルでの物流CO ₂ 削減取組みの推進			
(5) 製品によるCO ₂ 排出削減貢献量拡大	製品によるCO ₂ 削減貢献量原単位 前年度比 2.7%改善	製品貢献量算定製品の拡大	前年度比 32.5%改善	達成	製品によるCO ₂ 削減貢献量原単位 前年度比 2.7%改善	製品貢献量算定製品の拡大	3	CO ₂ 排出量 30%改善に相当する削減活動の創出	ライフサイクル視点でのCO ₂ 排出原単位 50%改善
(6) ネットゼロ社会実現に向けたビジネスの拡大	・ネットゼロ社会を実現する製品・ソリューションの開発と拡販 ・脱炭素社会を実現するためにクリーンエネルギーを創出する製品・ソリューションの提供 ・エネルギーの蓄電、変換、制御によって効率的なエネルギー社会を実現する製品・ソリューションの提供	ネットゼロ社会を実現する製品・ソリューションの創出	—	フレキシブル交流送電システムによる再生可能エネルギー送電網安定化への貢献	・ネットゼロ社会を実現する製品・ソリューションの開発と拡販 ・脱炭素社会を実現するためにクリーンエネルギーを創出する製品・ソリューションの提供 ・エネルギーの蓄電、変換、制御によって効率的なエネルギー社会を実現する製品・ソリューションの提供	ネットゼロ社会を実現する製品・ソリューションの創出			
(7) 化学物質使用リスクの削減	化学物質による人や環境への影響抑制	危険・有害化学物質の代替推進または使用量削減	自主的代替及び顧客要求への対応と資源利用効率の向上による有害廃棄物の削減	達成	化学物質による人や環境への影響抑制	危険・有害化学物質の代替推進または使用量削減			
(8) 環境社会への貢献活動	自然環境保全 / 生物多様性保全	・森林整備と保護活動の推進 ・環境教育および啓蒙活動の推進	・社外植樹本数: 延べ1,000本以上 ・地域小学校への教育実施: 延べ1,800人 ・地域小学校運営のための資金援助	達成	自然環境保全 / 生物多様性保全	・森林整備と保護活動の推進 ・環境教育および啓蒙活動の推進			

目次

編集方針

トップ
コミットメント

CPSO
メッセージ

これでわかる!
TDKの
サステナビリティ

サステナビリティ
経営

環境

社会

ガバナンス

社会的評価・
インデックスへの
組み入れ

リコール中の
加湿器回収に
関するご報告

検索 / 対照表

【2】 TDK安全衛生活動
最終目標を TDK で労働災害を起こさないこととし、それに向けた安全衛生活動を行う



安全衛生活動	重篤災害 ^{※2} ゼロの達成	事業所責任者による職場巡視の徹底と抽出された重大リスクに対する低減対策の実施	重篤災害の発生は無し	達成	重篤災害ゼロの達成	事業所責任者による職場巡視の徹底と抽出された重大リスクに対する低減対策の実施	
--------	--------------------------	--	------------	----	-----------	--	--

※1 GHG プロトコル分類によるスコープ No.
 ※2 重篤災害: 死亡もしくは長期療養を要する障害または可能性のある負傷および疾病

気候変動への取り組み

目次

編集方針

トップ
コミットメント

CPSO
メッセージ

これでわかる!
TDKの
サステナビリティ

サステナビリティ
経営

環境

社会

ガバナンス

社会的評価・
インデックスへの
組み入れ

リコール中の
加湿器回収に
関するご報告

検索 / 対照表

[基本的な考え方](#)

[TCFDへの対応](#)

[目標と実績](#)

[取り組み](#)

基本的な考え方

地球温暖化の一因とされる人為起源の温室効果ガスの排出量は増加の一途をたどっており、2015年12月COP21で採択された「パリ協定」などに代表されるように、気候変動への危機感が高まる一方です。とりわけ二酸化炭素(CO₂)は温室効果ガスの76%(IPCC第5次評価報告書より)を占める主要な排出源であり、産業活動においても確実な削減を実施する必要があります。

TDKでは、環境担当役員が気候変動問題を含むグループ環境活動の責任者となり、サステナビリティ推進本部安全環境グループを中心に、グループ環境活動の推進と支援を行っています。グループ環境活動において経営上重要な内容については、経営会議および必要に応じて取締役会での審議を踏まえ、意思決定を行っています。具体的な活動の目標として、「TDK環境ビジョン2035」を策定し、原材料の使用から製品の使用・廃棄に至る、ライフサイクル的視点での環境負荷の削減に取り組んでいます。



生産拠点のCO₂排出量削減



TDKは、「エネルギーの有効利用」と「再生可能エネルギーの利用拡大」の観点から、生産拠点におけるエネルギー起源のCO₂排出量削減に取り組んでいます。

Scope3カテゴリ別取り組みによるCO₂排出量削減



TDKでは、Scope3カテゴリ別取り組みによる環境負荷低減を推進しており、「低環境負荷材料使用の推進」、「物流CO₂排出原単位削減」、「製品貢献量算定製品の拡大」を進めています。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

低環境負荷材料使用の推進については、PET材料リサイクルのために、社外サプライヤーと協力したシステムを構築し、環境負荷を低減すると言った、サーキュラーエコノミーの概念を取り入れた活動展開を始めました。

物流CO₂排出原単位削減については、温暖化対策への貢献と、輸送効率の向上、輸送コスト削減を目的に取り組んでいます。日本では、改正省エネ法が施行された2006年度より省エネ物流改善委員会を設置し、物流に関するエネルギー削減活動を実施しています。

製品によるCO₂排出削減貢献量拡大については、製品の全ライフサイクルでの環境に与える影響を評価する「製品アセスメント」を1997年から導入しています。この製品アセスメントの審査で承認された製品だけを商品化し、市場に流通させる仕組みとしています。また、製品アセスメントの評価結果をもとに、環境配慮効果の高い製品を継続的に創出する施策として「優良環境製品 (ECO LOVE 製品)」認定制度を2008年に導入しました。優良環境製品として認定した製品をホームページ上で情報開示するとともに、環境負荷低減に資する製品の創出および普及を推進してきました。これら従来からの活動に加え、製品によるCO₂排出削減貢献量 (以下、製品貢献量) の拡大は、「TDK環境ビジョン2035」および「TDK環境・安全衛生活動2025」における重要な取り組みの一つです。TDKは、技術的取り組みの成果として当社製品による社会における貢献を訴求するため、以前の中長期計画である「TDK環境活動2020」から製品貢献量を算定・公表してきました。同時に、中間部品である電子部品の貢献についての理解を得るための周知活動と、貢献量実績が適切な評価を受けるためのよりどころとなる、算定手法についての合理性ある業界基準の策定にも取り組み、その成果は業界団体よりガイダンスとして公表されています。当社では、こうした成果をもとに、「製品貢献量算定ガイドライン」を策定し、製品の開発過程におけるアセスメント要件にも製品貢献の算定を評価項目に加えることで、TDKグループ全体におけるグローバルな算定業務の普及を促進しています。今後も算定ルールの整備を継続し、グループ内での拡大普及に努めてまいります。

TCFDへの対応

2019年5月、気候変動が企業の財務に与える影響の分析・情報開示を推奨する提言を行うTCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosures: 気候変動関連財務情報開示タスクフォース) への賛同を表明しました。TCFDは、2015年に金融システムの安定化を図る国際的組織である金融安定理事会 (FSB) により設立され、TCFDによる提言が企業・団体内における情報開示の推進や、金融機関と事業会社との間の対話促進のきっかけとなることが期待されています。

TDKは、TDK環境ビジョン2035で調達から廃棄にいたるバリューチェーン全体で「ライフサイクル的視点でのCO₂排出原単位を2035年までに半減」することを掲げており、気候変動による事業へのリスクと機会を評価し、適切な情報開示を行うことが、これからの企業の成長と持続可能な社会構築の両立には欠かせないと考え、順次取り組みを進めています。

以下の通り、TCFDのフレームワークに沿って、TDKにおける気候変動問題への取り組みを開示します。

ガバナンス

◆取締役会による気候関連リスクの監督

TDKでは、年1回以上、気候変動を含む環境関連の進捗状況および計画、リスクについて、環境担当役員によるマネジメントレビューを実施しています。マネジメントレビューの結果、経営の意思決定を要する内容については、経営会議および必要に応じて取締役会の審議を実施しています。

目次
編集方針
トップ コミットメント
CPSO メッセージ
これでわかる! TDKの サステナビリティ
サステナビリティ 経営
環境
社会
ガバナンス
社会的評価・ インデックスへの 組み入れ
リコール中の 加湿器回収に 関するご報告
検索 / 対照表

◆気候変動関連リスクの評価と管理に関する経営者の役割

《位置づけ》

気候変動を含む環境に関するリスクについては、環境担当役員の責任を明確化しており、CEOが任命しています。また、経営会議の下位の会議体に、リスク管理体制を強化するため、経営会議直属の委員会を設置しています。このうち、気候変動を含む事業目標の達成及び事業運営を阻害する要因への全社的対応を目的にERM (Enterprise Risk Management) 委員会を組織し、気候変動を含む環境リスクのうち、重要事項を協議しています。なお、ERM委員会の委員長はCEOが任命した執行役員が務めています。

《責任》

企業の社会的責任に関して、地球環境との共生は、経営上の重要課題と認識し、CEOが任命した環境担当役員を設置して、気候変動を含む環境経営全般の責任を担うこととしています。また、その下に位置する、サステナビリティ推進本部安全環境グループ長に気候変動を含めた環境管理に関する実行責任が与えられています。TDKグループはTDK環境ビジョン2035 (自然の循環を乱さない環境負荷で操業を目指す、ライフサイクル的視点でのCO₂排出原単位を2035年までに半減)の実現に向けて、すべてのビジネスグループ、部門、サイト、製造子会社、本社機能が一致団結して取り組んでいます。

なお、気候変動を含む環境リスクのうち、重要事項については、ERM委員会を通じ、経営会議および取締役会に報告しています。

《責任内容》

サステナビリティ推進本部安全環境グループが、気候変動を含むグループ全体の環境目標を設定するとともに、グループ全体の環境に関するリスクの特定を実施しています。なお、ERM委員会は、「リスク管理規程」に従って全社リスクを特定し、全社リスクの一部として気候変動関連問題を取り扱っています。

《モニタリング》

気候変動を含む環境活動の実績については、経営報告書で報告されるとともに、年1回以上、環境担当役員によるマネジメントレビューを実施して、主要KPIの報告や中長期目標の策定、省エネにかかわる投資など、環境活動推進上の重要事項について審議、決定を行っています。また、上記マネジメントレビューで経営に重要な影響を及ぼすと判断された案件(ビジョン、大型投資など)については、経営会議および必要に応じて取締役会で審議をしています。

戦略

TDKでは、2021年度からの中期経営計画「Value Creation 2023」において、「2CX実現に向けてDXとEXを加速させ、持続可能な社会のための価値を創造する」という基本方針を掲げています。中期経営計画を実現するために取り組むべき経営課題として、「TDKグループのマテリアリティ」を設定するとともに、環境を含む気候変動問題を、社会価値創造と自社の成長のためにTDKが注力する事業領域「【EX】電子デバイスでムダ熱とノイズを最小化し、エネルギー・環境問題に貢献」と位置づけ、事業戦略の一環として取り組むこととしています。

具体的には生産拠点において「2050年CO₂ネットゼロ実現に向けた、エネルギーの有効利用と再生可能エネルギーの利用拡大」を進めていきます。また、「脱炭素社会を実現するためにクリーンエネルギーを創出する製品・ソリューションの提供」「エネルギーの蓄電、変換、制御によって効率的なエネルギー社会を実現する製品・ソリューションの提供」に取り組めます。

こうした中、TDKでは、気候変動関連問題におけるビジネス上のリスクと機会を分析し戦略に反映させる目的で、シナリオ分析を行いました。

シナリオ分析結果

環境省が公表した、「TCFDシナリオ分析実践ガイド」に沿い、下記的前提条件のもと、シナリオ分析を実施しました。

前提条件

想定期間:2030年度

対象範囲:TDKグループ全体

採用シナリオ:2°Cシナリオ(IEA-SDS、IEA-NPS)、4°Cシナリオ(IEA-CPS、STEPS、RCP6.0)

以下、シナリオ分析を基に特定した、主なリスクと機会になります。脱炭素政策による各国の規制が厳しくなる2°Cシナリオ下では、移行リスクが発生し、炭素価格付けの導入や、再生可能エネルギーのコストが増加する可能性を認識しました。それぞれのリスクに対する2030年の財務影響としては、炭素価格では59億円、再生可能エネルギーでは176億円と予測しています。また、TDKの注力市場の一つである、自動車市場において、自動車のEVシフトが進展し、EV関連製品の販売機会拡大や、電池関連のリスク・機会の可能性も認識しました。

一方、4°Cシナリオでは、異常気象頻発による洪水発生リスクがより高まる可能性も認識しました。

分類	リスク / 機会	発生時期*	主な対応策	
移行リスク	炭素価格 / 各国 炭素排出目標	リスク	中～長期	・生産拠点において「2050年CO ₂ ネットゼロ実現に向けた、エネルギーの有効利用と再生可能エネルギーの利用拡大」を推進 など
	再エネ比率の増加によるエネルギーコストの上昇	リスク機会	中～長期	・生産拠点において「2050年CO ₂ ネットゼロ実現に向けた、エネルギーの有効利用」推進 ・再生可能エネルギー向け製品の開発促進 など
	コバルト・リチウムの価格上昇	リスク	短～長期	・原材料価格動向のモニタリングと調達時のリスクヘッジ実施 ・長期供給契約の実施 ・製品中のコバルト・リチウム使用量の削減 など
	EV市場の拡大による新たなビジネスチャンスの拡大	機会	中～長期	・EV市場拡大を睨んだ製品開発の促進
	次世代電池材料の開発	リスク機会	長期	・全固体電池の開発促進
	RE100に対する顧客の要求の増加	リスク機会	短～長期	・顧客の気候変動対応への取り組み分析 ・再生可能エネルギーの導入計画の策定 など
物理リスク	洪水の増加によるビジネスリスクの増大	リスク	中～長期	・各拠点において、洪水リスクに応じた対策の実施 ・BCP対応推進、BCM体制構築 など

※時間軸:「短期」は1年未満、「中期」は1～3年未満、「長期」は3～20年を想定しています。

関連情報

[中期経営計画](#)

リスク管理

経営上重要なリスクについては、ERM委員会において包括的なリスクの一部として評価されます。評価した内容により、全社で取り組むリスクについては、経営会議で承認のうえ、ERM委員会で対策の進捗を確認するとともに、対策完了時は、経営会議の承認を得ています。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

◆物理リスクへの対応計画

TDKでは、気候変動に関する物理リスクとして、洪水の増加によるビジネスリスクの増大を特定しています。TDKグループの全生産拠点における水リスクに関して、世界的な評価ツールであるWWF Water Risk Filter及び世界資源研究所(WRI)が発表したAqueductを用いてTCFDに沿った調査を行い、水ストレスの高い地域を特定しています。各拠点において、洪水リスクに応じた対策の実施やBCP対応推進、BCM体制構築などの対策を講じています。

なお、詳細はリンク先をご参照ください。

[水資源への取り組み](#)

指標と目標

TDKは、「TDKグループのマテリアリティ」のなかで2050年CO₂ネットゼロ実現を目指すことを表明するとともに、「TDK環境ビジョン2035」のなかで「ライフサイクル的視点でのCO₂排出原単位を2035年までに半減」を掲げています。このビジョンのもと、2025年までの環境基本計画として「TDK環境・安全衛生活動2025」の活動項目と目標値を定め、進捗を管理しています。また、2022年にはSBT認定の取得も表明しており、現在取得に向けて取り組んでいます。

GHG排出量(千t-CO ₂)	2022年度
総排出量	27,882
Scope1	146
Scope2	1,237
Scope3	26,499

関連情報

[目標と実績](#)

TDKグループのマテリアリティ	2050年CO ₂ ネットゼロ実現に向けた、エネルギーの有効利用と再生可能エネルギーの利用拡大(スコープ1、2)
TDK環境ビジョン2035	2035年までにライフサイクル的視点でのCO ₂ 排出原単位を2014年度比半減(スコープ1、2、3)
TDK環境・安全衛生活動2025	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2025年までにCO₂排出原単位 2014年度比30%改善(スコープ1、2、3) ・ 2025年までに再生可能エネルギー導入率 50%達成(スコープ2)

詳細データは、リンク先をご参照ください。なお、GHG排出量は第三者検証を受けています。

関連情報

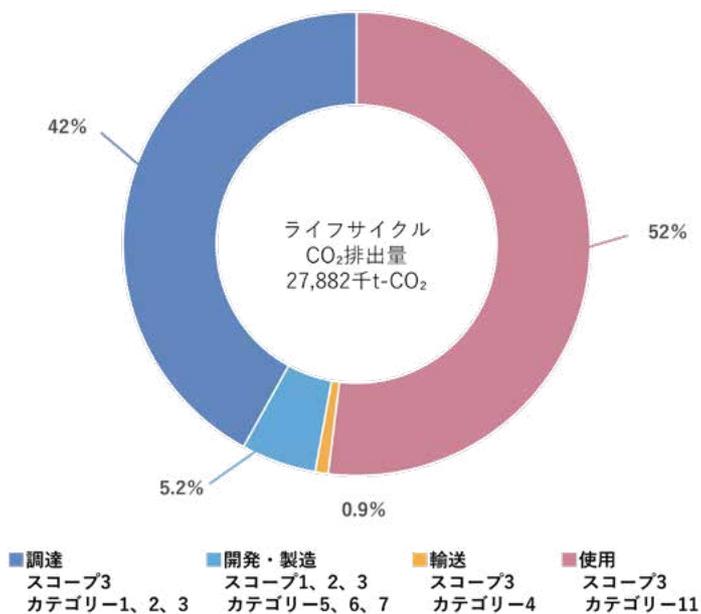
[環境データ](#)

[第三者検証](#)

目標と実績

2022年度目標	実績
生産拠点のCO ₂ 排出量削減 エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位 前年度比 1.8%改善	前年度比30.7%改善
エネルギー原単位前年度比1.0%改善	前年度比15.0%改善
2025年 再生可能エネルギー導入率50%に向けた取り組みの実施 (スコープ2)	2022年度目標34%に対し、40%導入
ライフサイクル的視点でのCO ₂ 排出量削減 Scope3取組みによる環境負荷低減の推進	グローバル物流CO ₂ 削減 物流CO ₂ 排出原単位 前年度比28%悪化

環境負荷 (CO₂排出量) の内訳



第三者検証

各スコープ、カテゴリーごとのCO₂排出量

スコープ		概要	CO ₂ 排出量
	(カテゴリー)		(t-CO ₂)
スコープ1		生産	146,350
スコープ2		生産	1,236,669
スコープ3	1	購入した物品、サービス	9,607,890
	2	資本財	901,708
	3	燃料およびエネルギー関連活動	1,217,373
	4	輸送・流通(上流)	238,076
	5	事業から発生する廃棄物	7,409
	6	出張	40,728
	7	従業員の通勤	7,911
	8	リース資産(上流)	算定対象外
	9	輸送・流通(下流)	算定対象外
	10	販売した製品の加工	算定対象外
	11	販売した製品の使用	14,477,887
	12	販売した製品の廃棄	算定対象外
	13	リース資産(下流)	算定対象外
	14	フランチャイズ	算定対象外
	15	投資	算定対象外

[第三者検証](#)

目次

編集方針

 トップ
コミットメント

 CPSO
メッセージ

 これでわかる!
TDKの
サステナビリティ

 サステナビリティ
経営

環境

社会

ガバナンス

 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ

 リコール中の
加湿器回収に
関するご報告

検索 / 対照表

スコープ3におけるCO₂排出量算定方法

カテゴリ	概要	算定方法
1	購入した物品、サービス	該当年度に購入した品目へそれぞれの購入金額に応じた排出原単位を乗じて算出。また材料については製品ごとの主要構成材料(半製品を除く)の購入金額へ排出原単位を乗じて算出。
2	資本財	該当年度に取得した設備など資本財の金額に投資金額当たりの排出原単位を乗じて算出。
3	燃料およびエネルギー関連活動	購入燃料および購入した電力が発電される際に用いられる燃料の採取、生産、輸送にともなう排出を対象として算定。燃料:該当年度に購入した燃料別の排出原単位を乗じて算定。電力:購入電力量に排出原単位を乗じて算出。
4	輸送・流通(上流)	購入した製品・サービスの調達にかかる排出及び製造した製品の輸送にかかる排出量について算出した。購入した製品についてはカテゴリ1と同様の品目それぞれへ調達に係る排出原単位を乗じて算出。また製造した製品については出荷にかかる費用へ排出原単位を乗じて算出。
5	事業から発生する廃棄物	製造事業所の有価物を除く排出物を対象として、廃棄にかかる金額へ排出原単位を乗じて算定。
6	出張	従業員の交通にかかる支出金額へ国内従業員の通勤/出張費用割合を乗じ、出張費用を算出。その出張費用へ出張内容より勘案した排出原単位を乗じて算出。
7	従業員の通勤	従業員の交通にかかる支出金額へ国内従業員の通勤/出張費用割合を乗じ、通勤費用を算出。その通勤費用へ通勤手段より推定した排出原単位を乗じて算出。
8	リース資産(上流)	リース設備の利用については、Scope1,2において排出を報告しています。
9	輸送・流通(下流)	当社は電子部品製造会社であり川中企業のため非該当としています。
10	販売した製品の加工	当社製品の顧客の加工に伴う排出量は小さいため非該当としています。
11	販売した製品の使用	TDK製品(部品)の消費電力に製品が搭載されたセット製品の生涯稼働時間、換算係数、TDK製品(部品)の販売数量を乗じて算定。
12	販売した製品の廃棄	当社は電子部品製造会社であり川中企業のため非該当としています。
13	リース資産(下流)	該当する事業活動がないため非該当としています。
14	フランチャイズ	フランチャイズ店舗はないため非該当としています。
15	投資	該当する投資はないため非該当としています。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営

環境

社会

ガバナンス

社会的評価・
インデックスへの
組み入れ

リコール中の
加湿器回収に
関するご報告

検索 / 対照表

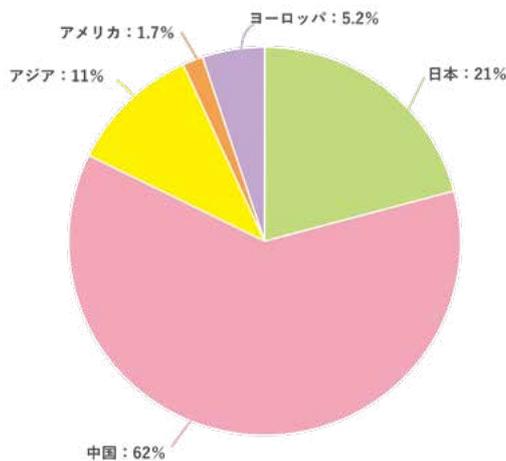
生産拠点のCO₂排出量削減

生産拠点のCO₂排出量の推移*

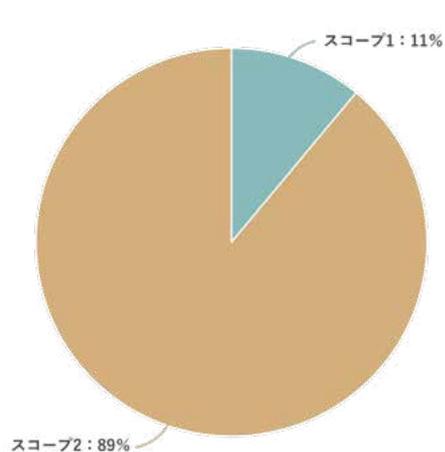


* 測定・算出方法および2019年度以降の数値実績について第三者による検証を受けています。

2022年度地域別排出量比率(TDKグループ総排出量)



2022年度スコープ別排出量比率(TDKグループ総排出量)



*スコープ: 国際的な温室効果ガス排出量の算定基準であるGHGプロトコルで定義される排出量の範囲。自社で所有・支配する施設からの直接排出をスコープ1、自社が所有・支配する施設で消費するエネルギーの製造時からの排出量をスコープ2と呼びます。

* TDKのCO₂排出量算出基準

- ・ 各事業所の購入電力および燃料(ガスや石油など)の使用量にCO₂換算係数を乗じて算出しています。
- ・ 燃料のCO₂換算係数は、『地球温暖化対策の推進に関する法律』(温対法)で定めた係数を使用しています。
- ・ 購入電力のCO₂換算係数は、期首の計画立案時点において公知となっている最新の換算係数を使用しています。
- ・ 公表値は第三者検証にて認証を得ています。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営

総エネルギー使用量と原単位推移



再生可能エネルギー電力導入率



- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

Scope3カテゴリ別取り組みによるCO₂排出量削減

物流によるCO₂排出量の推移(日本)*



*日本の省エネ法に基づき算定

製品によるCO₂排出削減量の推移*



*算定手法について第三者レビューを受けました。

*製品貢献量の算定はIEC "TR62716 Guidance on quantifying greenhouse gas emission reductions from the baseline for electrical and electronic products and systems"、日本LCA学会「温室効果ガス排出削減貢献量算定ガイドライン」およびEITA「電子部品のGHG排出削減貢献量算定に関するガイダンス」に準拠した社内ガイドラインに基づき行っています。

関連情報

[第三者検証](#)

[環境パフォーマンスデータの第三者レビュー](#)

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

評価と今後の取り組み

生産拠点のCO₂排出量削減

2022年度は再生可能エネルギーの導入拡大によってCO₂排出量を削減し、前年度比18.7%減少の138.3万トンでした。今後も、TDKのマテリアリティに掲げた「2050年CO₂ネットゼロに向けたエネルギーの有効利用と再生可能エネルギーの利用拡大」を軸に全社横断的な生産活動に密着した削減活動を推進します。

Scope3カテゴリー別取り組みによるCO₂排出量削減

2022年度の物流CO₂排出量は、生産量増加による製品輸送の増加により前年度比22.5%増の6,690トンとなり、2014年度比33.8%増加となったことから、目標未達となりました。海外の拠点において物流CO₂排出量削減活動を開始したほか、削減活動を適切に反映するための排出量把握の仕組みについて検討を進めており、今後も、TDKグループ全体で削減活動の推進に努めていきます。

2022年度の製品によるCO₂削減貢献量は、前年度比42.6%増の423.3万トンでした。また、原単位では、前年度比24.3%改善となり、目標を大幅に達成することができました。

今後も継続してお客様や社会の環境負荷低減に貢献する環境貢献製品の開発に努めるとともに、その価値を訴求することで、製品の普及拡大を図っていきます。

2023年度目標	
生産拠点のCO ₂ 排出量削減 エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位 前年度比 1.8%改善	
エネルギー原単位前年度比1.0%改善	
2025年 再生可能エネルギー導入率50%に向けた取り組みの実施(スコープ2)	
ライフサイクル的視点でのCO ₂ 排出量削減 Scope3取組みによる環境負荷低減の推進	

取り組み

生産拠点のCO₂排出量削減

再生可能エネルギーの利用拡大

2022年11月には「RE100[※]」に加盟しました。国内外の全事業所で使用する電力の50%を2025年までに、100%を2050年までに再生可能エネルギー由来にすることを目指しています。

なお、2023年4月1日より東北・新潟エリアの全製造拠点の電力の100%を再生可能エネルギー由来としました。また2023年中には日本国内の主要製造拠点全ての電力の100%を再生可能エネルギー由来にすべく、活動を進めています。

※国際的な環境NGOである「Climate Group」と「CDP」のパートナーシップのもと運営する国際的なイニシアティブ。事業で使用する電力の再生可能エネルギー100%化にコミットする企業で構成される。

再生可能エネルギー導入の推進(2023年7月1日現在)

電力使用量の100%を再生可能エネルギーとして調達している拠点は次のとおりです。

日本

- ・TDK 本社(東京、日本)
- ・TDK 歴史みらい館(秋田、日本)
- ・TDK テクニカルセンター(千葉、日本)
- ・TDK 成田工場(千葉、日本)
- ・TDK 浅間テクノ工場(長野、日本)
- ・TDK 千曲川テクノ工場(長野、日本)
- ・TDK 静岡工場(静岡、日本)
- ・TDK 三隈川工場(大分、日本)
- ・TDK / TDK エレクトロニクスファクトリーズ 稲倉工場東サイト(秋田、日本)
- ・TDK 株式会社 稲倉工場西サイト(秋田、日本)
- ・TDK / TDK エレクトロニクスファクトリーズ 本荘工場東サイト(秋田、日本)
- ・TDK / TDK エレクトロニクスファクトリーズ 本荘工場西サイト(秋田、日本)
- ・TDK / TDK エレクトロニクスファクトリーズ 北上工場(岩手、日本)
- ・TDK / TDK エレクトロニクスファクトリーズ にかほ工場北サイト(秋田、日本)
- ・TDK / TDK エレクトロニクスファクトリーズ にかほ工場南サイト(秋田、日本)
- ・TDK / TDK エレクトロニクスファクトリーズ 鳥海(秋田、日本)
- ・TDK / TDK エレクトロニクスファクトリーズ 大内(秋田、日本)
- ・TDK / TDK エレクトロニクスファクトリーズ 岩城工場(秋田、日本)
- ・TDK / TDK エレクトロニクスファクトリーズ 酒田工場(山形、日本)
- ・TDK / TDK エレクトロニクスファクトリーズ 鶴岡西工場(山形、日本)
- ・TDK / TDK エレクトロニクスファクトリーズ 鶴岡東工場(山形、日本)
- ・TDK / TDK エレクトロニクスファクトリーズ 甲府工場(山梨、日本)
- ・TDK エレクトロニクスファクトリーズ 飯田工場(長野、日本)
- ・TDK ラムダ 長岡テクニカルセンター(新潟、日本)
- ・TDK プレシジョンツール株式会社(神奈川、日本)

中華圏

- ・TDK-Lambda(China) Electronics Co., Ltd. (Wuxi, China)
- ・TDK (Zhuhai FTZ) Co., Ltd. (Zhuhai, China)
- ・TDK (Zhuhai) Co., Ltd. (Hongqi, China)
- ・SAE Components (ChangAn) Ltd. (Dongguan, China)

アジア

- ・TDK Philippines Corporation (Laguna, Philippine)
- ・TDK Electronics (Malaysia) SDN. BHD. (Johor Bahru, Malaysia)

米州

- ・Headway Technologies, Inc. (CA, USA)
- ・TDK Electronics do Brasil Ltda. (Gravataí, Brasil)

欧州・中東・アフリカ

- ・TDK Electronics AG - HQ (Munich, Germany)
- ・TDK Electronics AG (Heidenheim, Germany)
- ・TDK Sensors AG & Co. KG (Berlin, Germany)
- ・TDK Electronics GmbH & Co OG (Deutschlandsberg, Austria)
- ・TDK Hungary Components Kft. (Szombathely, Hungary)
- ・TDK Electronic Components S.A.U. (Malaga, Spain)
- ・TDK CROATIA d.o.o. (Kutina, Croatia)
- ・TDK Foil Iceland ehf. (Akureyri, Iceland)
- ・Tronics Microsystem SA (Crolles, France)
- ・TDK-Lambda UK Ltd. (Devon, United Kingdom)
- ・TDK-Lambda Ltd. (Karmiel, Israel)

電力使用量の50%以上で再生可能エネルギーを調達契約している拠点は次のとおりです。

- ・SAE Magnetics (Dongguan) Ltd. (Dongguan, China)
- ・Dongguan Ampere Technology Limited (Dongguan, China)
- ・Dongguan NVT Technology Co., Ltd. (Dongguan, China)
- ・Dongguan Poweramp Technology Ltd. (Dongguan, China)

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

購入電力量の100%を再生可能エネルギーとして調達している拠点は次のとおりです。

・TDK Foil Italy S.p.A. (Milano, Italy)

なお、全世界での再生可能エネルギー（電力のみ）の使用比率は39.9%です。

Scope3カテゴリ別取り組みによるCO₂排出量削減

物流CO₂排出量削減

物流段階におけるCO₂排出量削減のために、次の取り組みを進めています。

- ・ モーダルシフト(車両から鉄道)
- ・ 生産拠点集約による工場間輸送の効率化
- ・ 直送化による貨物輸送距離の短縮
- ・ 製品の小型化

製品によるCO₂排出削減貢献量の拡大

環境負荷低減に貢献するTMRセンサ

TMRセンサは従来品センサから置き換えることで消費電力削減を実現しております。2022年度の環境貢献量はCO₂換算で6,098トンになりました。今後も、ICT向けや自動車向けの拡大による貢献量の増加が見込まれています。

業界団体・イニシアチブへの参画

気候変動の課題解決に向けた取り組みを推進するにあたり、TDKグループの考えや方向性に一致する業界団体・イニシアチブに参画しています。なお、業界団体やイニシアチブへの参画にあたり、必要に応じて、経営会議の審議や取締役会への報告も行い、弊社の環境戦略との整合性を確認し、適合していない場合には調整を行っています。

TCFD

2019年5月に、気候変動が企業の財務に与える影響の分析・情報開示を推奨する提言を行う気候変動関連財務情報開示タスクフォース(TCFD[※])への賛同を表明しました。

※2015年に金融システムの安定化を図る国際的組織である金融安定理事会(FSB)により設立された気候変動関連財務情報開示タスクフォース(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)

[TCFD\(英語/外部サイトへ移動します\)](#)

SBTi

パリ協定が定める目標に科学的に整合する温室効果ガスの排出削減目標「Science Based Targets(サイエンス・ベースド・ターゲット)」を認定する機関「SBT イニシアチブ(SBTi)」に対し、2022年9月にコミットメントレターを提出しました。2年以内にSBTの認定取得を目指すことを表明しています。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

RE100

事業活動で使用する電力を100%再生可能エネルギーにすることを目指す国際的なイニシアティブ「RE100^{*}」に2022年11月に加盟しました。2050年までに、国内外における生産開発拠点で使用する電力の100%を再生可能エネルギーにする目標を掲げています。

※国際的な環境NGOである「Climate Group」と「CDP」のパートナーシップのもと運営する国際的なイニシアティブ。事業で使用する電力の再生可能エネルギー100%化にコミットする企業で構成される。

一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA)

TDKはJEITA 環境部会および電子部品部会の幹事会社、かつ温暖化対策連絡会運営委員会のメンバーとして、政府の大臣級及び環境政策セクションの担当者と情報・意見交換を行い、政策提言を実施しています。

JEITA Green x Digital コンソーシアム

企業のカーボンニュートラル化の促進と産業・社会の変革につながる新たなデジタルソリューションの創出・実装に向けた活動を推進する場として、2021年10月に設立されました。TDKは設立当初から正会員として参画しています。

水資源への取り組み

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

[基本的な考え方](#)
[目標と実績](#)
[取り組み](#)

基本的な考え方

途上国における経済発展や人口増加などによって限りある資源である水の利用が変化しており、世界規模な影響を及ぼすリスクの一つとして水の危機があげられています。TDKにおいて、水は製造活動において必要不可欠な資源であるとともに、水資源の枯渇や洪水などの影響を受けるため、水リスクの適切な把握と管理は重要事項です。

TDKではサプライヤー行動規範を定め、サプライヤーに対しても排水管理や水の効率的な利用に取り組むことを要請しています。

TDKは、地域社会やステークホルダーと共同し、持続可能な水利用の促進を図っていきます。

TDKでは製品の原材料から廃棄に至るサプライチェーン全体を通して、環境負荷の少ない操業に努めており、森林資源や水資源の保護も同様に進めています。TDK 環境憲章に則り、「地球環境との共生」を目指し、従業員一人ひとりが、生産活動に伴う環境への影響や企業活動と環境との関わりを考え、豊かな地球環境の保全に努めていくとともに、生態系保全への寄与を常に考え、積極的に取り組んでいます。

また、TDKは、事業特性を考慮した形で、TDKが注力するSDGsを定め特定しており、本業の技術開発を通じ、水関連問題を含めた各課題を解決していくという方針を明らかにしています。水関連の例では、Goal12「つくる責任つかう責任」に沿って、各種センサー類の開発をすすめています。また、製造工程における取水量の削減も行っています。

関連情報

[TDKグループ安全衛生・環境憲章](#)
[気候変動への取り組み](#)
[SDGsへの取り組み](#)

目標と実績

2022年度目標	実績
水使用量(取水量)原単位 前年度比1.5%改善	前年度比 17.8%改善

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

水総取水量の推移(グローバル)



評価と今後の取り組み

TDKでは、取水量を目標の指標としています。2022年度の総取水量は前年度比2.4%減少の16,635千m³、原単位は前年度比17.8%改善となり、目標を達成しました。当社の製品内に水が混載することはないため、工程での消費量は洗浄の際の蒸発等ごくわずかとみえています。

また、TDKグループの全生産拠点における水リスクに関しては、世界的な評価ツールであるWWF Water Risk Filter^{※1}および世界資源研究所(WRI)が発表したAqueduct^{※2}を用いてTCFDに沿った調査を行い、水ストレスの高い地域を特定し、対策を講じています。なお、調査の結果、水リスクが高いと判明した拠点のうちインドのある拠点の2022年度の取水量は、31千m³(TDKグループ総取水量の0.5%未満に該当)でした。

引き続き、地域の水リスクと生産工場における水利用状況について監視、管理を継続し、改善に努めます。

※1 WWF Water Risk Filter: WWFとドイツの金融機関 DEG によって開発された、水環境にかかわるリスクを調査、評価、および対応できるようにするためのツール。2012年に最初のバージョンが発表されて以来、世界中の企業や投資家から使用されており、主要かつ信頼性の高いツールとなっている。

※2 Aqueduct: 2011年の開始以来、洪水、干ばつ、ストレスなどの水関連リスクについて、企業、政府、非政府組織(NGO)に情報を提供しており、水リスクに関するグローバルな基準となっている評価ツール。

2023年度目標
水使用量(取水量)原単位 前年度比1.5%改善

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

取り組み

TDKは取水量の削減及び水のリサイクルに取り組んでおり、取排水をサイト毎にデータとして把握しています。具体的な活動内容としては、下記のようなものがあります。

生産工程に用いる純水使用量削減(TDKエレクトロニクスファクトリーズ株式会社 北上工場)

日本地区 岩手県北上工場では、地下水を組み上げ、生産工程で用いるための純水を製造しています。設備の台数制御や水量調整を、製造品質を損なうことなく継続実施してきた結果、6年間合計で10万 m³の取水削減に成功しました。今後も限りある水資源保護のために、本取組を継続していきます。

サステナビリティ | 環境

資源の有効利用

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント

- 基本的な考え方
- 目標と実績
- 取り組み

- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ

- サステナビリティ
経営

- 環境

- 社会

- ガバナンス

- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ

- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告

- 検索 / 対照表

基本的な考え方

循環型社会への転換が求められる中、TDKでは限りある資源の有効利用の観点から、2006年度には独自基準でのゼロエミッション[※]を達成し、その後もその水準を維持しながら、排出物の発生そのものを抑制する取り組みを推進しています。また、リサイクル業者に定期訪問をして適正にリサイクルされていることを確認しています。また、TDKでは、サーキュラーエコノミーに関わる最新動向を収集・分析し、活動を推進しています。



[※]TDKでは、事業所から排出される廃棄物について埋め立ておよび単純焼却による処理を一切行わずに、最終的には100%再資源化することをゼロエミッションと定義しています(法の規制により単独では再資源化できない物を除く)。

目標と実績

2022年度目標	実績
排出物原単位 前年度比1.5%改善	前年度比 24.4%改善



[※]データに誤りがあったため再計算し、訂正後の数値を掲載しています。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

評価と今後の取り組み

2022年度の排出物総量は、生産品目に合わせた投入資源量の最適化や排出物削減活動を進めた結果、前年度比11.5%減少の130,696トンとなりました。また原単位も前年度比24.4%改善となり、目標を達成しました。今後も引き続き、徹底した工程改善を進め、投入資源効率と歩留り改善率の両面から排出物の発生抑制に努めます。

2023年度目標
排出物原単位 前年度比1.5%改善

取り組み

有害廃棄物の削減

■有害廃棄物半減への取り組み

TDK Electronics Componentsに属するスペイン マラガ工場ではフィルムコンデンサを製造する上で生じる、有害廃棄物(金属フィルム、コンデンサスクラップ、硬化樹脂など)の削減プロジェクトを進めてきました。

熱処理工程最適化による歩留まり改善や樹脂使用効率を高めるなどの施策を継続実施することで、有害廃棄物を含む排出物を64%削減することに成功しました。

また空調設備運用の見直しや太陽光パネルの導入といった活動も展開しており、地球環境の負荷低減にも同時に取り組んでいます。

サーキュラーエコノミー活動の推進

■PETフィルムの再利用(積層セラミックコンデンサ)

TDKは積層セラミックコンデンサ(以下、MLCC)の製造工程で使用されるPETフィルムを再利用するリサイクルシステムの構築に電子部品業界で初めて^{*1}成功しました。

通常、MLCCの製造工程で誘電体ペーストを塗布する際に使用されるPETフィルムの表面には特殊処理が施されており、製造工程での使用後は主にサーマルリサイクルや焼却処分されることがほとんどです。

本システムでは、廃棄するPETフィルムの表面を洗浄し、その後PET樹脂(ペレット状)に戻し、本件協業先である東レ株式会社(東京都中央区)にて製膜化を行います。そのフィルムをTDKが調達し特殊処理を施すことによりMLCCの製造工程での再利用が可能となりました。なお、本システムで使用するリサイクルPETフィルムは、従来のPETフィルムに対しCO₂が約10%削減^{*2}されています。

^{*1} 2021年12月現在、TDK調べ

^{*2} PETフィルムの製造工程で発生するCO₂のこと。東レ調べ

関連情報

[積層セラミックコンデンサ: PETフィルムのリサイクル化を実現](#)

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

■製品デザインからの取り組み (リサイクル材を使用したパワーインダクタ)

パワーインダクタ CLT32シリーズはリサイクル鉄およびリサイクル銅の使用率を高めており、製品の50%以上が既にリサイクル金属に置き換わっています。また本シリーズは、本来の性能を実現するために、銀やニッケルが必須でしたが、開発設計時の努力が結実し、銀を使用せず、少ないニッケルでの製造を実現させたため、調達・製造コストの抑制につながっています。

製品の特徴としては、高出力の小型製品であること、消費電力が少なく、長い耐用年数であることがあげられます。

なお、本パワーインダクタは「SUPER ECO LOVE 製品」※として認定されています。

※ TDKでは、環境配慮型製品の中でも環境負荷低減効果が高く、業界においても他をリードする製品を「ECO LOVE 製品」、さらに「ECO LOVE 製品」の中でも効果が高く業界トップレベルの製品を「SUPER ECO LOVE 製品」と認定しています。



Super Eco Love Products



化学物質使用リスクの削減

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

[基本的な考え方](#)
[目標と実績](#)
[取り組み](#)

基本的な考え方

製品含有化学物質管理

TDKでは、人間の健康と環境を脅かす製品由来の有害物質ばく露を予防・管理する仕組みとして、2004年に「環境製品品質マネジメントシステム」(EPQMS)を導入し、品質マネジメントシステム(QMS)の中で運用しています。

製造工程における化学物質管理

化学物質が持つ有害性や危険性を理解し、各国法律等に準拠した取り扱いの安全性を向上することを目的に、グローバルで共通指針による化学物質管理を推進しています。

また、環境への影響や従業員への健康リスクおよび火災・爆発リスク低減のため、有害性あるいは危険性を有する化学物質使用・排出の削減を進めています。

目標と実績

2022年度目標	実績
グローバルでの共通指針による化学物質管理の推進および規制化学物質を取り巻く状況に関する社内啓発推進	化学物質の使用に関する統一的な指針の運用を開始しました。また、開発技術者に向けた化学物質管理教育を開始し、同時に化学物質情報共有サイトを新設しました。

評価と今後の取り組み

統一的指針の運用開始、開発技術者向け教育実施および情報共有サイトの新設により化学物質管理の社内啓発について基礎固めが出来ました。

今後は、開発技術者向け教育の対象範囲の拡大と一般従業員に向けた化学物質に関する基礎教育を実施し、社内啓発をさらに推進していきます。

2023年度目標

開発技術者向け教育の対象拡大および一般従業員向け基礎教育の実施による社内啓発の継続推進

関連情報

[工場における環境リスク管理](#)

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

製品含有化学物質管理

EU RoHS指令、EU REACH規則、中国RoHS管理規則、米国TSCA規制、国連のPOPs条約など、製品含有化学物質管理に関わる法規制や国際条約がますます強化される中、TDKグループでは国内外の法規制やお客様の要求事項を遵守し、『環境負荷の少ない製品の供給』を目指した取組みを実施しています。

TDKでは、すべての製品^{※1}においてRoHS指令に対応しております。また早期対応策として、同指令で禁止対象となっている4種フタル酸エステル^{※2}につきましても、法的施行1年前の2018年7月22日以降、製品への使用を禁止しております。

※1 一部のお客様仕様に基づく製品を除きます

※2 DEHP, BBP, DBP, DIBP

さらにそれらを継続し保証する仕組みとして、2004年に「環境製品品質マネジメントシステム」(EPQMS)を導入し、現在は、品質マネジメントシステム(QMS)の中で運用しています。サプライチェーンの川中に位置する部品メーカーとして、「買う」「創る」「売る」の各段階で予防と管理を徹底する仕組みとなっています。

関連情報

[製品由来の有害物質ばく露の予防と管理](#)

[各種環境基準対応状況及び環境配慮型製品への取り組み](#)

生物多様性への姿勢

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

[基本的な考え方](#)

[電機・電子業界における生物多様性の保全にかかわる行動指針について](#)

[取り組み](#)

基本的な考え方

TDKでは生物多様性の重要性を認識しており、事業活動が地球環境および生態系に与える負の影響を回避または最小化することを目指しています。製品の原材料から廃棄に至るサプライチェーン全体を通して、環境負荷の少ない操業に努めており、森林資源や水資源の保護も行っています。地域社会などの外部パートナーと連携した生態系修復活動や、自然の循環を乱さないサーキュラーエコノミーへの取り組みも推進しています。

当社は、従業員一人ひとりが、生産活動に伴う環境への影響や企業活動と環境との関わりを考え、豊かな地球環境の保全に努めていくとともに、2018年4月に改定したTDK環境憲章の中で、生態系保全への寄与を常に考え、積極的に取り組むことを明記しています。

関連情報

[TDKグループ安全衛生・環境憲章](#)

[サーキュラーエコノミー活動の推進](#)

電機・電子業界における生物多様性の保全にかかわる行動指針について

TDKは、2015年3月に電機・電子4団体[※]環境戦略連絡会生物多様性ワーキンググループにより策定された「電機・電子業界における生物多様性の保全にかかわる行動指針」(第2版2018年8月発行)に賛同し生物多様性保護活動を進めています。

- ※一般社団法人日本電機工業会 (JEMA: Japan Electrical Manufacturers' Association)
- ※一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA: Japan Electronics and Information Technology Industries Association)
- ※一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ: Communications and Information network Association of Japan)
- ※一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMA: Japan Business Machine and Information System Industries Association)

関連情報

[電機・電子業界における生物多様性の保全にかかわる行動指針\(外部サイトへ移動します\)](#)

[TDKの主な自然保護活動実績\(社会貢献活動\)](#)

取り組み

水資源への配慮(グローバル)

TDKにおいて、水は製造活動において必要不可欠な資源であるとともに、水資源の枯渇や洪水などの影響を受けるため、水リスクの適切な把握と管理は重要事項です。地域の水リスクと生産工場における水利用状況について監視、管理を行い、製造工程における取水量の削減に努めています。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

取水量の削減は「TDK 環境・安全衛生活動2025」における活動項目の一つであり、水取水量原単位の前年度比1.5%改善を年間の削減目標と定めています。2022年度の総取水量は前年度比2.4%減少の16,635千 m^3 、原単位は前年度比17.8%改善となり、目標を達成しました。

水資源への取り組みに関して、詳細はリンク先をご参照ください。

水資源への取り組み

生物多様性を高める” MIYAWAKI forests” 造成 (TDK India Private Limited, Nashik Factory)

インドにある Nashik Factory ではナシーク遺跡に隣接する約4,000平方メートルの土地に宮脇方式[※]に基づいた森林帯を造成しました。この森には60種類以上、約1,000本もの植物が植えられています。この植林を始めるにあたり行われた式典では、参加者による清掃活動も同時に実施されました。この活動を通じ、従業員の生物多様性に対する意識向上に繋がっています。またこの森林を維持するために、Nashik Saytrees Environmental Trust (非営利団体) の協力を仰いでいます。Nashik Factory は他にも、このプロジェクトに約35,000ユーロを投資し、生物多様性以外に、土壌や大気質の改善、騒音低減といった環境負荷低減活動も展開しています。

※宮脇方式: 1970年代にすでに大都市の森林開発と緑化に取り組んでいた日本の生態学者宮脇昭氏によって生み出された手法。その土地に自生し、生態系に最適な樹種群を選定して苗木を育て、混色・密植型の植樹を行うことで、それぞれの樹木の特性を活かしながら、自然の状態をよみがえらせる手法。この手法により、森林は従来の10倍の速さと3倍の密度で成長し、30倍のCO₂吸収を実現。3年で自給自足の自然林が生まれます。

サステナビリティ | 環境

外部保証

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境**
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

- [第三者検証](#)
- [環境パフォーマンスデータの第三者レビュー](#)

第三者検証

TDKは、直接的なGHGの排出量(スコープ1)、エネルギー起源の間接的なGHGの排出量(スコープ2)およびその他の間接的なGHGの排出量(スコープ3)を算出し、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。

検証意見書

2023年7月19日
意見書番号: SGS23/020

TDK株式会社
東京都中央区日本橋2丁目5番1号
代表取締役社長執行役員
齋藤 昇 様



検証目的

SGSジャパン株式会社(以下、当社)は、TDK株式会社(以下、組織)からの依頼に基づき、組織が作成した検証対象(以下、GHG等に関するステートメント)について、検証基準(ISO14064-3:2019及び当社の検証手順)に基づいて検証を実施した。本検証業務の目的は、組織の対象範囲にかかるGHG等に関するステートメントについて、判断基準に照らし適正に算定・報告されているかを独立の立場から確認し、第三者としての意見を表明することである。GHG等に関するステートメントの作成及び公正な報告の責任は組織にある。

検証範囲

検証対象は、Scope1及びScope2、エネルギー消費量、Scope3、再生可能エネルギーに関わる電力使用量である。

対象期間は2022年4月1日～2023年3月31日である。

詳細な検証対象範囲は別紙参照。

検証手順

本検証業務は、検証基準に則り、限定的保証水準にて次の手続きを実施した。

- 算定体制の検証: 検証対象の測定・集計・算定・報告方法に関する質問、及び関連資料の閲覧
- 定量的データの検証: TDKエレクトロニクスファクトリーズ兩大内工場及び酒田工場の現地検証及び証憑突合、本社でのその他検証対象範囲に対する分析的手続及び質問

判断基準は、温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver.4.8)及び組織が定めた手順、サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン(Ver.2.4)、電子部品のGHG排出削減量算定に関するガイダンス、産業連関表による環境負荷原単位データブック、IDEA(Ver.2.3)及びRE100テクニカルガイドラインを用いた。

結論

前述の要領に基づいて実施した検証手続の範囲において、組織のGHG等に関するステートメントが、判断基準に従って、算定及び報告されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。

なお、当社は、組織から独立しており、公平性を損なう可能性や利害の抵触はない。

SGSジャパン株式会社
神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134
横浜ビジネスパーク ノーススクエア I
認証・ビジネスソリューションサービス
経営委員会メンバー
認証・認定統括責任者

竹内 裕二

1 / 2

本書面は、SGSジャパン株式会社によってwww.sgs.com/terms_and_conditions.htmで参照することができる「認証サービスの一般条件」に従って発行されたものであり、「認証サービスの一般条件」に規定されている責任の制限と補償に関する条項および管轄に関する条項等に準じます。この書面に記載された内容は検証を行った時点におけるまた適用される場合は組織の指示の範囲内における確認内容を示しています。組織およびこの書面に関するSGSジャパン株式会社の責務は取引文書におけるすべての権利および義務の履行から、免除させるものではありません。本書面の内容または本誌について、許可なく偽造、変造または改ざんすることは違法であり違反した場合には法令に基づきあらゆる範囲において罰せられる可能性があります。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表



別紙

 2023年7月19日
 意見書番号: SGS23/020

検証対象範囲の詳細

検証対象	検証範囲	GHG等に関するステートメント
1 Scope 1, 2 (エネルギー起源) 及び エネルギー消費量 ※敷地外の移動体の燃料は除く	組織の国内25拠点、海外56拠点 (非生産拠点5拠点含む)	Scope 1: 146千t-CO ₂ Scope 2: 1,237千t-CO ₂
2 Scope 3 (カテゴリ-1)	組織の連結の範囲	9,608千t-CO ₂
3 Scope 3 (カテゴリ-2)	組織の連結の範囲	902千t-CO ₂
4 Scope 3 (カテゴリ-3)	組織の国内25拠点、海外56拠点	1,217千t-CO ₂
5 Scope 3 (カテゴリ-4)	組織の連結の範囲	238千t-CO ₂
6 Scope 3 (カテゴリ-5)	組織の国内25拠点、海外56拠点	7千t-CO ₂
7 Scope 3 (カテゴリ-6)	組織の連結の範囲	41千t-CO ₂
8 Scope 3 (カテゴリ-7)	組織の連結の範囲	8千t-CO ₂
9 Scope 3 (カテゴリ-11)	組織の主要製品群	14,478千t-CO ₂
10 再生可能エネルギーに関わる電力 使用量及び比率	組織の国内25拠点、海外56拠点	再生可能エネルギー電力使用量 1,540,890MWh 電力再生可能エネルギー比率 39.9%

本書面は、SGSジャパン株式会社によってwww.sgs.com/terms_and_conditions.htmで参照することができる「認証サービスの一般条件」に従って発行されたものであり、「認証サービスの一般条件」に規定されている責任の制限と補償に関する条項および管轄に関する条項等に従います。この書面に記載された内容は検証を行った時点におけるまた適用される場合は組織の指示の範囲内における確認内容を示しています。組織およびこの書面に關するSGSジャパン株式会社の責務は取引文書におけるすべての権利および義務の遂行から、免除させるものではありません。本書面の内容または添付について、許可なく偽造、変造または改ざんすることは違法であり違反した場合には法令に基づくあらゆる範囲において罰せられる可能性があります。

サステナビリティ | 環境 | 外部保証

環境パフォーマンスデータの第三者レビュー

TDKでは、環境パフォーマンスデータの客観性向上のため、以下の項目について、SGSジャパン株式会社の第三者レビューを受けました。

- 生産活動に伴うCO₂排出量の算定方法
- 製品によるCO₂排出削減量の算定方法



レビュー確認報告書（要約版）

TDK 株式会社 御中

2016年5月16日
SGS ジャパン株式会社

目的

TDK 株式会社からの依頼に基づき、組織の製品貢献量算定ガイドライン（2016年3月23日）及び2015年度温室効果ガス排出量算定方法の妥当性についてレビューを実施した。本業務の目的は、組織の製品貢献量算定ガイドライン（2016年3月23日）及び2015年度温室効果ガス排出量の算定方法について著しく妥当性に欠ける事項の有無を確認することであり、本業務には数値の正確性の検証は含まれていない。

実施した手続

本業務において、次の手続を実施した。

- 報告書の事前レビュー：製品貢献量算定ガイドライン（2016年3月23日）に記載された算定方法に著しく妥当性に欠ける事項が含まれていないことを事前にレビューし、確認すべき事項を抽出した。
- 質問及び閲覧：TDK 株式会社テクニカルセンターに訪問し、各担当者へ事業の概要、算定内容の質問を実施した。また、一部出典資料の閲覧を実施した。
 - 参照基準：ISO14064-1：2006、ISO14064-2：2006、ISO14064-3：2006、TR62726、電子部品の GHG 排出削減貢献量算定に関するガイダンス(2016年1月一般社団法人電子情報技術産業協会)

全体考察

実施した手続の範囲において、製品貢献量算定ガイドライン（2016年3月23日）及び2015年度温室効果ガス排出量の算定方法に著しく妥当性に欠ける事項が含まれていると判断する事項は発見されなかった。

以上

サステナビリティ | 環境

TDKの環境活動の歴史

目次
編集方針
トップ コミットメント
CPSO メッセージ
これでわかる! TDKの サステナビリティ
サステナビリティ 経営
環境
社会
ガバナンス
社会的評価・ インデックスへの 組み入れ
リコール中の 加湿器回収に 関するご報告
検索 / 対照表

2023年	3月 CDP サプライヤー・エンゲージメント評価において最高評価「リーダー・ボード」に3年連続選定
2022年	12月 CDP 水セキュリティ対策にてAリスト(最高評価)に、3年連続選定
	11月 事業活動で使用する電力を100%再生可能エネルギーにすることを旨とする国際的なイニシアティブ「RE100」に加盟
	9月 パリ協定が定める目標に科学的に整合する温室効果ガスの排出削減目標「Science Based Targets (サイエンス・ベースド・ターゲット)」を認定する機関「SBTイニシアチブ(SBTi)」に対し、コミットメントレターを提出
	3月 ESG ファイナンス・アワード・ジャパンにおいて「環境サステナブル企業」に選定
	2月 CDP サプライヤー・エンゲージメント評価において最高評価「リーダー・ボード」に2年連続選定
2021年	12月 CDP 水セキュリティ対策にてAリスト(最高評価)に、2年連続選定
	10月 サステナビリティ・リンク・ボンドを初めて発行
	2月 CDP サプライヤー・エンゲージメント評価において最高評価「リーダー・ボード」に選定
2020年	12月 CDP 水セキュリティ対策にてAリスト(最高評価)に選定
	12月 CDP 気候変動でスコアA-を獲得
	8月 「TDK 歴史みらい館」にて再生可能エネルギーの地産地消を実現
	2月 TDK-Lambda Americas Inc. が米国環境保護庁(EPA)より環境有害物質(鉛)、生産廃棄物(銅)の大幅削減で表彰
	1月 TDK 浅間テクノ工場が2019年度省エネ大賞 省エネ事例部門「省エネルギーセンター会長賞」受賞
2019年	5月 気候変動が企業の財務に与える影響の分析・情報開示を推奨する提言を行うTCFD ^{※1} への賛同を表明
2018年	TDK Electronics AGの欧州拠点を中心にクリーンエネルギー購入を推進。
	「TDK環境憲章」を改定(5版)
2017年	日本政策投資銀行による環境格付で、3回連続「特別表彰」を受賞
	日本国内の高濃度PCB機器全廃
2016年	製品貢献量算定の信頼性向上を図るため「製品貢献量算定ガイドライン」策定
	「TDK環境ビジョン2035」、環境・安全衛生基本計画「TDK環境・安全衛生活動2025」策定(2016年4月より開始)
2015年	環境基本計画「TDK環境活動2020」の環境貢献量100万トン達成
2012年	日本政策投資銀行による環境格付で、2回連続「特別表彰」を受賞
2011年	環境基本計画「TDK環境活動2020」策定(2011年4月より開始)
2010年	日本政策投資銀行による環境格付で、電子部品メーカーでは初めての「特別表彰」受賞
2009年	「生物多様性行動指針」制定

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

2007年	中国本部にてISO14001認証取得(中国地区EMS全社統合の第一歩)
	海外製造子会社 全拠点でゼロエミッション達成 ^{※2}
2006年	日本国内全製造拠点EMS統合完了
2005年	環境基本計画「TDK環境活動2015」策定(2006年4月より開始)
2003年	日本国内全サイトでゼロエミッション達成 ^{※2}
	環境基本計画「TDK環境活動2010」策定(2003年4月より開始)
2000年	日本国内TDKグループすべての生産拠点・研究開発拠点にてISO14001認証取得完了
1999年	環境報告書の発行開始
1993年	TDK環境ボランティアプラン策定

※1 TCFD(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)

2015年に金融システムの安定化を図る国際的組織である金融安定理事会(FSB)により設立された気候変動関連財務情報開示タスクフォース。

※2 TDKでは、事業所から排出される廃棄物について埋め立ておよび単純焼却による処理を一切行わずに、最終的には100%再資源化することをゼロエミッションと定義しています(法の規制により単独では再資源化できない物を除く)。

サステナビリティ | 環境

環境データ

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

環境データ	バリューチェーンにおけるCO ₂ 排出量
サイト別データ	環境会計

		単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
エネルギー(生産)	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,669,733	1,557,687	1,768,010	1,701,476	1,383,019
	Scope1	t-CO ₂	120,978	111,341	136,021	146,774	146,350
	Scope2	t-CO ₂	1,548,755	1,446,346	1,631,989	1,554,703	1,236,669
	総エネルギー使用量 (A)+(B)+(C)+(D)+(E)+(F)	GJ	13,640,216	13,539,550	16,068,546	17,078,863	16,780,723
	総エネルギー使用量 (A)+(B)+(C)+(D)+(E)+(F)	MWh	3,788,949	3,760,986	4,463,485	4,744,129	4,661,312
	総再生可能エネルギー使用量 (A)+(C)+(E)	MWh	648,346	581,542	896,340	1,192,056	1,548,677
	燃料(再生可能エネルギー量) (A)	MWh	9,015	8,778	8,344	8,074	7,787
	燃料(非再生可能エネルギー量) (B)	MWh	635,027	604,262	742,384	788,613	796,026
	購入電力(再生可能エネルギー量) (C)	MWh	639,029	572,189	886,632	1,182,202	1,538,759
	購入電力+自家生成電力(非再生可能エネルギー量) (D)	MWh	2,505,576	2,575,182	2,824,761	2,763,460	2,316,610
	自家生成電力(再生可能エネルギー量) (E)	MWh	302	575	1,364	1,780	2,131
	自家生成電力(再生可能エネルギー量 販売分)	MWh	0	0	0	0	0
	蒸気・温水等(購入分)(F)	MWh	0	0	0	0	0
水	取水量	千m ³	16,704	16,338	17,783	17,049	16,635
	地方自治体の水道または他の水道施設から(A)	千m ³	11,631	11,268	12,073	11,817	11,718
	淡水・表層水 湖、川など(B)	千m ³	0	131	110	133	147
	地下水(C)	千m ³	5,073	4,939	5,600	5,099	4,770
	排水量	千m ³	-	11,104	12,889	13,106	11,730

目次
編集方針
トップ コミットメント
CPSO メッセージ
これでわかる! TDKの サステナビリティ
サステナビリティ 経営
環境
社会
ガバナンス
社会的評価・ インデックスへの 組み入れ
リコール中の 加湿器回収に 関するご報告
検索 / 対照表

廃棄物	非有害廃棄物総量	t	90,478	108,110	134,830	147,036	130,112
	社外再資源化量	t	76,673	95,427	133,044	145,060	127,982
	社内再資源化量	t	13,805	5,851	1,171	1,468	1,529
	最終処分量 ^{※1}	t	0	6,832	615	508	601
	有害廃棄物総量	t	1,660	764	107	579	584
	社外再資源化量	t	1,456	662	97	498	451
	社内再資源化量	t	0	0	0	0	0
	最終処分量 ^{※1}	t	204	102	10	81	133
	廃棄物総量	t	92,138	108,874	134,937	147,615	130,696
	社外再資源化量	t	78,128	96,089	133,141	145,559	128,433
	社内再資源化量	t	13,806	5,852	1,171	1,468	1,529
	最終処分量 ^{※1}	t	204	6,934	625	589	734
法規制の遵守および事故	法規制超過および事故	件	0	1	0	0	0
	罰金1万USドル以上	件	0	0	0	0	0
	罰金金額(1万USドル以上)	USドル	0	0	0	0	0
大気	PRTR対象物質排出量(日本)	t	85	78	155	156	154
	SOx排出量(日本)	t	2	1	1	0	0
	NOx排出量(日本)	t	17	18	18	38	29
	ばいじん排出量(日本)	t	3	3	3	2	3
	揮発性有機化合物(VOC)排出量 ^{※2}	t	244	264	276	271	488

※1 TDKは、ゼロエミッションを推進しておりますが、新たに加わった子会社で最終処分量が発生しています。

※2 2022年度からデータの対象範囲をグローバルに拡大しています。2018年から2021年度のデータは日本のみを対象としています。

バリューチェーンにおけるCO₂排出量(2022年度)

各スコープ、カテゴリー毎のCO₂排出量

スコープ1,2,3 (カテゴリー)	概要	CO ₂ 排出量 t-CO ₂
スコープ1	生産	146,350
スコープ2	生産	1,236,669
スコープ3	1 購入した物品、サービス	9,607,890
	2 資本財	901,708
	3 燃料およびエネルギー関連活動	1,217,373
	4 輸送・流通(上流)	238,076
	5 事業から発生する廃棄物	7,409
	6 出張	40,728
	7 従業員の通勤	7,911
	8 リース資産(上流)	算定対象外
	9 輸送・流通(下流)	算定対象外
	10 販売した製品の加工	算定対象外
	11 販売した製品の使用	14,477,887
	12 販売した製品の廃棄	算定対象外
	13 リース資産(下流)	算定対象外
	14 フランチャイズ	算定対象外
	15 投資	算定対象外

スコープ3におけるCO₂排出量算定方法

カテゴリー	概要	算定方法
1	購入した物品、サービス	該当年度に購入した品目へそれぞれの購入金額に応じた排出原単位を乗じて算出。また材料については製品ごとの主要構成材料(半製品を除く)の購入金額へ排出原単位を乗じて算出。
2	資本財	該当年度に取得した設備など資本財の金額に投資金額当たりの排出原単位を乗じて算出。
3	燃料およびエネルギー関連活動	購入燃料および購入した電力が発電される際に用いられる燃料の採取、生産、輸送にともなう排出を対象として算定。燃料:該当年度に購入した燃料別の排出原単位を乗じて算定。電力:購入電力量に排出原単位を乗じて算出。
4	輸送・流通(上流)	購入した製品・サービスの調達にかかる排出及び製造した製品の輸送にかかる排出量について算出した。購入した製品についてはカテゴリー1と同様の品目それぞれへ調達に係る排出原単位を乗じて算出。また製造した製品については出荷へかかる費用へ排出原単位を乗じて算出。
5	事業から発生する廃棄物	製造事業所の有価物を除く排出物を対象として、廃棄にかかる金額へ排出原単位を乗じて算定。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営

6	出張	従業員の交通にかかる支出金額へ国内従業員の通勤 / 出張費用割合を乗じ、出張費用を算出。その出張費用へ出張内容より勘案した排出原単位を乗じることで排出量を算定。
7	従業員の通勤	従業員の交通にかかる支出金額へ国内従業員の通勤 / 出張費用割合を乗じ、通勤費用を算出。その通勤費用へ通勤手段より推定した排出原単位を乗じることで排出量を算定。
8	リース資産(上流)	リース設備の利用については、Scope1,2において排出を報告しています。
9	輸送・流通(下流)	当社は電子部品製造会社であり川中企業のため非該当としています。
10	販売した製品の加工	当社製品の顧客の加工に伴う排出量は小さいため非該当としています。
11	販売した製品の使用	TDK製品(部品)の消費電力に製品が搭載されたセット製品の生涯稼働時間、換算係数、TDK製品(部品)の販売数量を乗じて算定。
12	販売した製品の廃棄	当社は電子部品製造会社であり川中企業のため非該当としています。
13	リース資産(下流)	該当する事業活動がないため非該当としています。
14	フランチャイズ	フランチャイズ店舗はないため非該当としています。
15	投資	該当する投資はないため非該当としています。

サイト別データ

2022年4月～2023年3月

工場名	エネルギー		水資源	排出物	
	電気(買電)の使用量 MWh	燃料等の使用量	取水量 千m ³	総排出量 t	社外再資源化量 t
日本					
TDK株式会社					
鳥海工場	2,311	0	3,072	648	648
稲倉工場	23,466	26,644	91,842	1,371	1,371
にかほ工場北サイト	20,096	53,185	179,778	2,671	2,671
にかほ工場南サイト	11,810	3,822	14,712	84	84
成田工場	72,226	5,533	249,227	1,706	1,689
千曲川テクノ工場	5,751	16,734	3,488	80	80
浅間テクノ工場	42,330	35,436	212,173	1,637	1,637
静岡工場	37,479	46,528	115,697	2,953	1,503
三隈川工場	18,402	122,346	520,172	1,458	1,458
TDKエレクトロニクスファクトリーズ株式会社					
本荘工場西サイト	109,010	135,601	499,262	6,306	6,306
本荘工場東サイト	29,129	59,023	58,756	279	279

- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

目次	北上工場	94,129	115,280	426,828	4,635	4,635
	大内工場	42,884	56,354	78,847	756	744
編集方針	岩城工場	2,789	3,527	55,286	283	283
	甲府工場	35,010	56,023	641,899	1,215	1,215
トップ コミットメント	鶴岡工場	11,332	3,023	10,738	394	394
	酒田工場	14,844	1,556	13,614	141	141
CPSO メッセージ	飯田工場	5,908	42.4	2,102	222	222
	鶴岡東工場	10,529	22,627	406,616	930	930
これでわかる! TDKの サステナビリティ	TDKラムダ株式会社 ^{*1}	3,513	20.4	161,586	90	90
	TDKプレシジョンツール株式会社	454	0.5	278	25	25
サステナビリティ 経営	開発・オフィス部門	13,024	33,681	40,682	160	158
	東アジア					
環境	TDK Dalian Corporation	43,857	550	188,619	218	208
	Qingdao TDK Electronics Co., Ltd.	14,111	0	45,276	227	227
社会	TDK (Suzhou) Co., Ltd.	3,297	0	7,085	78	78
	TDK Xiamen Co., Ltd.	122,810	113,438	526,184	3,017	2,896
ガバナンス	SAE Magnetics (H.K.) Ltd.	157,582	12,259	1,074,322	1,256	1,256
	Amperex Technology Ltd.	1,165,422	913,236	3,489,327	62,399	62,399
社会的評価・ インデックスへの 組み入れ	Acrathon Precision Technologies (HK) Ltd.	5,979	153	46,970	486	377
	Wuxi TDK-Lambda Electronics Co., Ltd.	3,659	0	6,954	90	90
リコール中の 加湿器回収に 関するご報告	TDK Dongguan Technology Co., Ltd.	54,608	41,354	225,852	2,312	2,312
	Guangdong TDK Rising Rare Earth High Technology	11,387	0	38,159	88	88
検索 / 対照表	TDK Korea Corporation	18,147	3480.1	44,824	62	62
	TDK Taiwan Corporation	14,281	1,587	77,230	259	259
	InvenSense Taiwan Co., Ltd.	12,060	0	14,899	22	22
	Dongguan NVT Technology Co., Ltd.	63,724	11,681	317,552	3,727	3,727
	その他アジア					
	TDK Philippines Corporation	22,268	1,255	232,952	49	49
	TDK (Malaysia) Sdn. Bhd.	18,196	0	75,566	1507	1507

目次	TDK (Thailand) Co., Ltd.	11,084	841.9	146,584	889	889
	Magnecomp Precision Technology Public Co., Ltd.	79,210	100,848	667,470	276	276
編集方針	TDK-Lambda Malaysia Sdn. Bhd.	8,608	349	48,045	289	272
	Hutchinson Technology Operations (Thailand), Co., Ltd.	20,137	0	133,922	209	209
トップ コミットメント	Navitasys India Private Limited	12,448	8,162	31,808	1,773	1,773
EMEA						
CPSO メッセージ	TDK-Lambda Ltd.	2,784	0	2,499	224	224
	TDK-Lambda UK Ltd.	1,441	227.3	1,912	104	104
これでわかる! TDKの サステナビリティ	Micronas-Germany	45,643	264,348	357,606	679	679
北米南米						
サステナビリティ 経営	TDK Components U.S.A., Inc.	1,982	842.6	896	45	45
	Headway Technologies, Inc.	74,171	86,187	123,958	473	445
環境	TDK-Lambda Americas Inc.	2,223	2,259	2,489	14	4
	Hutchinson Technology Inc.	37,263	146,143	395,953	1100	483
TDK Electronics						
社会	TDK Electronicsグループ ^{※2}	1,046,398	695,702	4,009,757	18,524	14,617

※1 長岡テクニカルセンターの数字です。

※2 TDK Electronicsグループは、TDK Electronics AGとその子会社を含みます。

環境会計(日本国内)

TDKでは、従来から環境保全に関わる費用と環境負荷の把握を行っていましたが、この両者の関連を明確にし、より効果的な環境対策を推進する目的で、2001年度より日本国内の事業所を対象に環境会計を導入しています。

2022年度の集計結果の概要は以下のとおりです。

分類	環境コスト		経済効果	環境保全効果
	当該年度投資額 (千円)	当該年度環境保全 維持管理費(千円)	環境保全活動による当該年度節減額 (千円)	環境保全活動による当該年度負荷改善結果 法規制遵守及びその他の実績(当該年度分)
1. 事業所内エリアコスト				
公害防止 (法規制管理)	1,165,410	1,025,118		・ 振動・騒音・臭気に関する苦情: 0 件
地球環境保全	360,481	392,485	・ 電力・燃料節減額: 23,032	・ CO ₂ 削減量: 581 t-CO ₂
資源循環	69,752	1,346,975	・ 原材料等節減額: 87,629 ・ 用水節減額: 1,342 ・ 有価物売却益: 1,708,155	・ 原材料等削減量: 3,196 t ・ 用水削減量: 7,427 m ³ ・ 有価物売却量: 8,432 t ・ 社外リサイクル量: 18,343 t

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ

リスク管理	500	15,039	<ul style="list-style-type: none"> • PRTR対象化学物質の排出削減量: 0 t • 土壌汚染リスク対策実施件数: 0 件
2. 上・下流コスト	0	0	
3. 管理活動コスト	0	6,889	
4. 研究開発コスト	0	231	<ul style="list-style-type: none"> • 環境配慮型製品研究・開発件数: 30 件
5. 社会活動コスト	0	1,054	<ul style="list-style-type: none"> • 社外植樹本数: 900 本 • ボランティア活動の参加延べ人数: 4,198 人
6. 環境損傷コスト	0	0	<ul style="list-style-type: none"> • 修復実施件数(費用発生分): 0 件
総計	1,596,143	2,787,791	

これでわかる!
TDKの
サステナビリティ

※当該年度投資額は2022年度の支払額です。
 ※当該年度環境保全維持管理費には、設備の減価償却費(法定)を含み、人件費は当該年度人員にて把握するため、含まれていません。
 ※対象とした効果は実質的效果のみとし、推定的効果(リスク回避効果およびみなし効果)は含んでいません。

サステナビリティ
経営

2022年度の集計結果について

- 環境関連の設備投資額は、前年度の429(百万円)から1,596(百万円)に増加しました。
- 環境保全維持管理費は、前年度の1,613(百万円)から2,788(百万円)に増加しました。
- 環境保全活動による経済効果については、有価物売却価格の増加などにより、前年度の1,664(百万円)から1,820(百万円)に増加しました。

環境

社会

ガバナンス

社会的評価・
インデックスへの
組み入れ

リコール中の
加湿器回収に
関するご報告

検索 / 対照表

サステナビリティ | 社会

人権の尊重

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会**
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

基本的な考え方	人権デューディリジェンスのプロセス
人権リスクの特定と評価	人権リスクの予防・低減に向けた取り組み
外部コミュニケーション	外部イニシアティブ

基本的な考え方

人権課題に対する国際情勢への理解

2008年、企業活動と人権についての基本的な考え方である「保護、尊重、救済」を中心とした「ラギーフレームワーク」が国連人権理事会で承認されて以降、国際的なCSRガイドラインや国連、EUの政策において同フレームワークの考え方が相次いで導入されています。また、世界を取り巻く法管轄としては、国際ビジネスの環境下で人権に対処している法律を制定しています。具体的には、2010年に米国で成立した金融規制改革法(ドッド・フランク法)における紛争鉱物条項や、米国カリフォルニア州で成立した「サプライチェーンの透明性に関する法律(California Transparency in Supply Chains Act of 2010)」、2011年に国連で承認された「ビジネスと人権に関する指導原則」、2015年に英国で成立した「現代奴隷法(Modern Slavery Act)」、2017年にEUで制定した紛争鉱物規則、2019年にオランダで成立した「児童労働デューディリジェンス法(Child Labor Due Diligence Act)」、2021年にドイツで成立した「サプライチェーンデューディリジェンス法(Due Diligence in the Supply Chain Act)」およびノルウェーで成立した「事業の透明性及び基本的人権等に関する法律(Transparency Act)」など、企業にその事業活動において人権課題を具体的に把握し、適切に取り組むことを強く求めています。

人権尊重に対する方針

TDKでは、TDK企業倫理綱領の中で、「国の内外において、人権を尊重し、関係法令、国際ルールおよびその精神を遵守しつつ、持続可能な社会の創造に向けて、高い倫理観を持って社会的責任を果たしていきます。」と定めています。その実現に向けて、TDK企業倫理綱領には人権の尊重に関する項目を含んでおり、私たちは人身売買を含むサプライチェーン上のあらゆる形態の児童労働・強制労働を明確に禁止しています。また、TDK企業倫理綱領は、サプライチェーンにおける児童労働や強制労働を禁止する法律(1930年に米国で成立した「関税法307条(Section 307 of the US Tariff Act)」、改正法、その他上記で特定した法律など)を含むすべての人権関連法令を遵守するよう求めています。またTDKでは2016年に「TDKグループ人権ポリシー」を策定しました。国際人権章典、労働における基本原則および権利に関するILO宣言、OECD多国籍企業行動指針、子どもの権利とビジネス原則などの人権に関する国際規範を尊重・支持するとともに、「ビジネスと人権に関する指導原則」の枠組みに基づいて、グループ内の事業活動はもとより、バリューチェーン全体における潜在的な人権課題を正しく理解し改善するための取り組みを進めています。ビジネスパートナーおよびサプライヤーの皆様に対しても、本ポリシーへの理解と支持を期待するとともに、児童労働・強制労働の禁止も含め、TDKサプライヤー行動規範に沿った対応を求めています。

関連情報

TDK企業倫理綱領	TDKグループ人権ポリシー
TDK環境ビジョン2TDKグループの人権に関するステートメント(英語)035	TDKサプライヤー行動規範

人権デューディリジェンスのプロセス

TDKでは、「ビジネスと人権に関する指導原則」で示されている手順に従って、人権デューディリジェンスのプロセスを決定し、活動を推進しています。また、活動をより効果的なものとするために、外部有識者や社内外のステークホルダーとのダイアログを実施しています。

TDKグループの人権デューディリジェンスプロセス



ダイアログ

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> • TDK 企業倫理綱領 • TDK グループ人権ポリシー • TDK サプライヤー行動規範 | <ul style="list-style-type: none"> • バリューチェーンにおける人権課題の特定 • 発生可能性×影響の大きさ×自社の影響度でリスク評価 • 評価結果をもとに重点課題の決定 • 重点課題ごとの詳細リスク評価 • 新たなビジネス関係(合併・買収時等)における人権リスク評価 | <ul style="list-style-type: none"> • 重点課題について、課題に応じた対策の実施とレビュー • 人権に関する教育 | <ul style="list-style-type: none"> • サステナビリティWEB • 人権に関するステートメント |
|--|--|---|--|

人権リスクの特定と評価

TDKグループが重点的に取り組む人権課題

TDKは、専門家とのダイアログや国際的な人権団体等からのレポート、リスクアセスメント、CSRセルフチェックを通じて、潜在的な人権リスクとなり得る課題や配慮すべき対象者について定期的に精査しています。(下表参照)

TDKグループが取り組む潜在的な人権リスク

バリューチェーン上の位置づけ	調達		開発・製造		販売
影響を受けるステークホルダー	委託加工先/サプライヤー/派遣会社の従業員	地域住民	従業員	地域住民	お客様/エンドユーザー
潜在的な人権課題					
製品安全	-	-	-	-	○
製品・技術の意図しない使用方による人権侵害	-	-	-	-	○

目次	個人情報保護・プライバシー侵害	○	-	○	-	○
	児童労働・強制労働・人身売買	○	-	○	-	-
編集方針	労働時間・適正賃金	○	-	○	-	-
	労働安全衛生	○	-	○	-	-
トップ コミットメント	外国人労働者に対する不適切な扱い	○	-	○	-	-
	差別(雇用および報酬・教育機会・昇進等の処遇)	○	-	○	-	-
CPSO メッセージ	結社の自由・団体交渉の権利	○	-	○	-	-
	ハラスメント	○	-	○	-	-
これでわかる! TDKの サステナビリティ	責任ある鉱物調達	○	○	-	-	-
	拠点設立・統廃合に伴う雇用への影響	○	○	○	○	-
サステナビリティ 経営	工場における不適切な環境対応による地域住民の権利侵害(健康被害・生活環境の悪化・資産減少等)	-	○	-	○	-

TDKは、人権侵害の発生可能性、発生した場合に想定される影響の大きさ、自社が影響力を行使できる度合いをもとに、上記の潜在的な人権リスク評価を継続的に実施しています。その際、CSRセルフチェックやリスクアセスメントなどのこれまでの取り組み状況なども考慮しています。その結果、重点的に取り組む人権課題を

- ・ 責任ある鉱物調達
- ・ 自社製造拠点における従業員の人権配慮
- ・ サプライヤー(製造委託加工先、派遣会社を含む)への従業員の人権配慮

の3点と決定し、予防・軽減策の実施と進捗のモニタリングに取り組んでいます。

なお、重点的に取り組む人権課題については、定期的な再評価を行います。

個別の人権課題に対する考え方

児童労働・強制労働の禁止

TDKは、TDK企業倫理綱領の中で児童労働・強制労働[※]を明確に禁止するとともに、発生防止のためのさまざまな施策をとっています。また、TDKサプライヤー行動規範においても禁止することとし、お取引先様へ求めています。

[※]強制労働: 処罰の脅威や脅迫によって強制され、また、自らが任意に申し出たものでないあらゆる労働のこと。

(例: 拘束を目的とした、雇用に関わる手数料の徴収、労働者に対する不合理な行動の制約、政府発行の身分証明書等の保持・破棄・隠匿・没収など。)

労働時間・適正賃金の管理

各拠点にて独自の勤労管理システムを利用し、適切な勤務実績管理に基づいた賃金の支払いに努めています。サプライヤーに対しても、TDKサプライヤー行動規範において、長時間労働・残業・報酬・最低賃金などに対する考え方を示しています。

目次
編集方針
トップ コミットメント
CPSO メッセージ
これでわかる! TDKの サステナビリティ
サステナビリティ 経営
環境
社会
ガバナンス
社会的評価・ インデックスへの 組み入れ
リコール中の 加湿器回収に 関するご報告
検索 / 対照表

労働安全衛生

安全で健康な職場環境の形成が重要な経営課題の一つとの認識のもと、2022年に更新された「TDK 安全衛生・環境憲章」に基づき、活動を推進しています。TDK サプライヤー行動規範においても「安全衛生」の項目を設け、労働者の作業環境における潜在的な危険源の特定とリスク低減、緊急事態や労働災害、疾病への対応、安全衛生に関わる社内コミュニケーションなどに対する考え方を示しています。

関連情報

[安全衛生](#)

外国人労働者への配慮

第三国からの外国人労働者については、特に非熟練労働者において、社会的・経済的地位が低いことなどにより、強制労働や人身取引の被害者となりやすく、人権の尊重および救済の観点から、配慮を行っています。

差別の禁止

TDK 企業倫理綱領において、人種、信条、性別、宗教、国籍、民族、年齢、婚姻関係、障がい、性的指向、性同一性、兵役経験、遺伝子情報、社会的身分等による雇用、処遇（報酬、研修参加、昇進等）における差別的取り扱いを直接的にも間接的にも行わず、機会の均等を図ることを定めています。TDK サプライヤー行動規範でも同様の考え方を示しており、購買取引（請負、委託を含む）においては、経済合理性のみならず、調達先における法令遵守、人権・労働等にも関心を持ち、おのおのが社会的責任を果たしていけるよう努めていきます。

結社の自由・団体交渉の権利

TDK 株式会社および一部子会社に労働組合がありますが、法令や労働慣行により労働組合の結成が認められていない国や地域においても、TDK 企業倫理綱領の中で、従業員と直接、もしくは従業員の代表との誠実な対話をする事を通じて、健全な関係の構築と課題解決に努めることと定めています。すべてのケースにおいて、労働者の権利として、組合結成または組合への参加の自由を尊重するとともに、団体交渉の権利として、労働組合のような集団での契約または契約しようとしている、参加または参加しようとしている労働者に対し、差別や報復をしません。

人権障害につながる可能性のある環境リスク

人権侵害につながる可能性のある環境リスクについては、ISO14001に基づき、各製造拠点にてリスクを特定するとともに、必要なリスク軽減策を講じて運用しています。TDK サプライヤー行動規範においても「環境」の項目を設け、人体や環境に悪影響を及ぼす可能性のある化学物質の適正な管理を求めています。

関連情報

[TDK 企業倫理綱領](#)

[安全衛生](#)

[TDK サプライヤー行動規範](#)

[責任ある鉱物調達](#)

[サステナブル調達](#)

[製造拠点における社会・環境配慮](#)

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会**
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

人権リスクの予防・低減に向けた取り組み

2020年に、TDKは、グローバルサプライチェーンにおける社会、環境、倫理面の改善に取り組むRBA (Responsible Business Alliance: 責任ある企業同盟) に加盟しました。TDKでは、RBA行動規範を、製造拠点におけるCSR活動の基準として活用し、取り組みを進めています。重点課題として特定した人権リスクに対する予防・低減の取り組みについても、RBAの行動規範やチェック項目、監査の仕組み等を活用しながら活動を推進しています。具体的な取り組みは以下の通りです。

関連情報

[RBA行動規範\(英語/外部サイトへ移動します\)](#)

責任ある鉱物調達

TDKでは、米国金融規制改革法が成立した2010年より紛争鉱物対策を開始。2013年4月に、TDKグループの「紛争鉱物」に関するポリシーを制定し、グループ各社にて調査回答体制を構築して対応するとともに、OECD デュー・ディリジェンス・ガイダンスに沿った取り組みを行ってきました。

近年、紛争のみならず、深刻な人権侵害または環境汚染への加担を抑制するため、紛争地域および高リスク地域原産の鉱物など責任ある鉱物調達の対象が広がっていることを受け、2019年1月には、TDKグループの「責任ある鉱物調達」に関するポリシーに改定。紛争だけでなく、人権侵害や環境破壊などのリスクや不正に関わる tantalum、錫、タングステン、金、コバルト、マイカなどの鉱物問題に対し、サプライチェーン全体で責任ある鉱物調達を推進することを決めました。

2022年度もグループ各社にて紛争鉱物調査を実施し、コンゴ民主共和国および隣接国の武装勢力の資金源への関与が明らかとなった鉱物は確認されていません。また、コバルトについても、コンゴ民主共和国におけるコバルト鉱山での児童労働リスクへの懸念から、製錬所の特定を進めています。さらに、マイカにおいても、インドおよびマダガスカルにおけるマイカ採掘時の児童労働や安全でない労働環境に対するリスクへの懸念を踏まえ、製錬所(加工業者)の特定を進めています。

関連情報

[TDKグループの「責任ある鉱物調達」に関するポリシー](#)

[責任ある鉱物調達](#)

自社製造拠点における従業員の人権配慮

グループ内のすべての製造拠点を対象に、RBAをベースとしたCSRセルフチェックおよび労働/企業倫理リスクアセスメントを毎年実施しています。これらは、本社CSR機能にて主管しています。また、2021年度より、すべての製造拠点において3年に1回以上、RBA公認監査、お客様によるCSR監査、もしくはRBA監査基準に基づいた簡易CSRアセスメントのいずれかを行うことを目標としています。これらの施策の中で、課題が発見された拠点では、対策を検討し、是正措置を実施しています。

2022年度は、80のすべての製造拠点において、RBAのセルフアセスメントを使ったCSRセルフチェックおよび労働/企業倫理リスクアセスメントを実施しました。人権に関するリスクアセスメントには、強制労働やハラスメント、食堂や警備会社などの派遣会社やサービスプロバイダの管理が含まれています。労働/企業倫理リスクアセスメントを通じて、10拠点で潜在的なリスクが特定され、期末までに全ての拠点で是正措置が完了しています。今後も、上記施策を通じ、人権侵害のリスク低減のための取り組みを継続していきます。また、2021年度から2022年度において、63%の拠点でRBA公式監査、お客様によるCSR監査、RBA監査基準に基づいた簡易CSRアセスメントのいずれかを受審しました。

その他、リスクに応じた課題別、国や地域別の取り組みも推進しています。例えば児童労働の防止について、中国製造拠

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

点では、年齢確認手順に沿って児童労働の禁止を徹底すると共に、本社によるモニタリングを毎年実施しており、2022年度も児童労働は発見されませんでした。また従業員の連続勤務が問題となるリスクが高いアジア各国を対象に、本社による労働時間のモニタリングの強化を2017年度より実施しています。

関連情報

製造拠点における社会・環境配慮

サプライヤー（製造委託加工先、派遣会社を含む）における従業員の人権配慮

資材サプライヤーへの取り組み

CSR 調達を推進する中で、RBA で求められている項目をベースとした CSR セルフチェックを原則2年に1回実施しています。チェック項目の中には、人権・労働、安全衛生、その他人権に関わる項目が含まれます。また、CSR 監査をお客様への納入製品に関わる重要度、依存度などを勘案して、お取引先様を選定して実施しています。

2022年度もグループ各社にて資材サプライヤーに対するセルフチェックを実施した結果、CSR 適合サプライヤー比率は100%となり、2021年度より1.1ポイント改善、目標を達成しました。引き続き、グループ各社およびサプライヤーへの働きかけを強化していきます。

製造委託加工先への取り組み

TDKでは、製造委託加工先へのCSRセルフチェックを定期的実施しており、2年に1度、すべての委託先を対象とすることを目標としています。2022年度は、対象の委託加工先86%に対して実施しました。また中国の製造委託加工先では、自社製造拠点と同様に本社による児童労働のモニタリングを毎年実施しており、今年度も児童労働は発見されませんでした。さらに、依存度の高い製造委託加工先については、CSR 監査を実施しています。2022年度は、将来のグローバル展開の備えとして、日本と中国で5社実施しました。

派遣会社への取り組み

人権や採用に関するリスクが高いと考えられている中国を含むアジアの高リスク国では、派遣会社における不適切な対応が散見されることがあります。

そこで、中国を含むアジア地域の高リスク国における製造拠点で取引のある派遣会社を対象に、毎年CSRセルフチェックを実施しています。

2022年度は、対象となる全ての派遣会社に対して実施しました。

関連情報

サステナブル調達

サプライチェーン全体の人権配慮に関連する情報はこちらをご覧ください。

関連情報

ガバナンスデータ

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

従業員教育

英国を含むすべての従業員に対して、e-ラーニングまたは集合教育を実施し、人権課題の理解促進を図っています。また、RBAをベースとしたCSR内部監査員養成研修や、地域特性に応じたCSRトレーニングを実施し、トレーニングを通じて、人権課題の課題抽出に結びつけています。また、サプライヤーに対しては、CSRセルフチェック実施時に、必要に応じ内容理解促進のための啓発ツールの提供を行っています。

2022年度も、TDK企業倫理綱領およびTDKグループ人権ポリシーに基づく教育を通じ、人権の基本事項に関する理解促進を行いました。

また、日本、アジア地区において、CSR内部監査員養成研修に計41名が参加するとともに、中国ではRBA行動規範に関する詳細な要求事項に関する教育を実施し、113名が参加しました。

人権に関するコミュニケーションおよび苦情処理の仕組み

TDKグループの従業員には、潜在的な人権課題を含めた企業倫理のあらゆる問題について、業務ラインから独立した社内外のヘルプラインを通じて相談・報告できるグローバルな内部通報の仕組みを構築しています。

また、従業員以外のステークホルダーに対しては、当社ホームページでのお問い合わせ窓口等を開設しており、適宜対応しています。2022年度も引き続き外部から寄せられた人権問題に関するお問い合わせに対して、TDKの方針やそれに基づいた取り組みについて回答しました。

すべての問い合わせや報告に対し、TDKの関連部署は、調査、必要な改善措置、再発防止に努めています。

外部コミュニケーション

ダイアログ

人権課題の把握および取り組みの方向性を示唆いただく目的で実施しています。

2021年

サプライチェーンにおける人権課題について、グローバル調達機能の責任者が参加する形で、外部有識者を招いた勉強会を開催。

2017年

サプライチェーンにおける人権対応でTDKに求められる役割について、2名の外部有識者を招いた勉強会を開催。

関連情報

[サプライチェーンにおける人権対応を考える](#)

2015年

株式会社エナジェティックグリーンの和田 征樹氏をお迎えし、サプライチェーン全体でCSRを推進するためにTDKに期待することについて、意見交換会を実施。

関連情報

[サプライチェーンにおけるCSR推進](#)

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

2014年

TDKにおける人権課題を特定するため、有識者とのダイアログを実施。

関連情報

[ステークホルダーとの対話を通じた人権課題の特定](#)

2013年

経済人コー円卓会議日本委員会が主催する、ニッポンCSRコンソーシアム「ステークホルダー・エンゲージメント・プログラム」に参画。NGO・有識者(10団体)、他社(9社)とのディスカッションを通じ、製造業における人権課題を特定。

関連情報

[ステークホルダー・エンゲージメント・プログラム／経済人コー円卓会議日本委員会\(外部サイトへ移動します\)](#)

外部イニシアティブ

2020年2月よりRBAに加盟し、RBAの行動基準にのっとり、人権課題への取り組みを含めサプライチェーンにおける活動を継続的に改善していくことを社会にコミットしました。

また、責任ある鉱物調達においては、RMI(Responsible Minerals Initiative)、および一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA:Japan Electronics and Information Technology Industries Association)の責任ある鉱物調達検討会に2011年より参画し、サプライチェーン全体での問題解決に取り組んでいます。

関連情報

[賛同・加盟する主なイニシアティブと団体](#)

サステナビリティ | 社会 | 人権の尊重

TDKグループ人権ポリシー

目次

編集方針

 トップ
コミットメント

 CPSO
メッセージ

 これでわかる!
TDKの
サステナビリティ

 サステナビリティ
経営

環境

社会

ガバナンス

 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ

 リコール中の
加湿器回収に
関するご報告

検索 / 対照表

TDKグループは、「かけがえのない地球環境の再生・保護と、豊かで安心できる暮らしの実現」に真正面から取り組むことで、「創造によって文化、産業に貢献する」を着実に果たしてまいります。この実現にあたっては、「TDK企業倫理綱領」の価値観に基づき、ステークホルダーの人権を尊重するとともに、あらゆる企業活動が人権に及ぼしうる潜在的影響を認識し、その軽減に向けた活動を実施することが重要との認識のもと、以下の項目を実施することで、人権尊重の責任を果たしていきます。

- (1) 国際人権規約や国際労働基準等、人権に関する国際規範を尊重し、その遵守に努める。
- (2) 該当地域の国内法令が国際的に認められた人権と両立できない場合は、国際人権規約を尊重できるよう解決に向けた努力をする。
- (3) すべての役員・従業員に対し、人権に対する意識啓発、教育、能力開発等の取り組みを行う。
- (4) 自らの企業活動による顕在的または潜在的な人権への負の影響に対処するべく、デューデリジェンスを実施する。
- (5) 自らの企業活動が直接的および間接的に、人権に負の影響をもたらした場合は、その救済、またはそれに準じた協力を行うよう努力し、再発防止に取り組む。
- (6) バリューチェーンにおけるビジネスパートナーやその他のステークホルダーに対しても、人権尊重の責任を果たすことを求め、対話と協議を実施し、「TDK企業倫理綱領」に基づき不適合な場合は適切な対処を求める。

本ポリシーは、2016年7月29日に開催された当社取締役会において、承認されました。

2016年8月2日 制定

お客様満足

目次

編集方針

トップ
コミットメントCPSO
メッセージこれでわかる!
TDKの
サステナビリティサステナビリティ
経営

環境

社会

ガバナンス

社会的評価・
インデックスへの
組み入れリコール中の
加湿器回収に
関するご報告

検索 / 対照表

[基本的な考え方](#)[製品・ソリューション](#)

基本的な考え方

電子部品のお客様には、消費者に直結した電子機器メーカー様だけでなく、電子機器アセンブリメーカー様や、部品メーカー様があります。当社は、このような多彩なお客様に対し、次の方法で「お客様満足度」を把握し、お客様に、品質・コスト・納期・技術・サービス面で総合的に満足いただき、信頼されるTDKを目指しています。

関連情報

[社会データ](#)

- TDKが調査項目を作成し、お客様に回答を依頼する「アンケート調査」
- お客様が独自の評価方法でTDK製品を定期的に評価していただく「サプライヤー評価情報」
- お客様からいただく「製品苦情情報」
- お客様の立場に立って、パイプ役である営業担当が評価する「CS評価」

アンケート調査

お客様へアンケート調査を依頼し、お客様からの要望やご意見を収集して、社内関係部門にフィードバックする仕組みを構築しています。

サプライヤー評価情報

お客様の「サプライヤー評価結果」を入手しています。お客様が満足されているレベルを「Aランク」とし、「サプライヤー評価結果」に占める「Aランク」率の推移を把握。関連部門にフィードバックしCS向上を図っています。

製品苦情情報

国内外を問わず、お客様からいただいた「製品苦情情報」を苦情情報データベースで管理。オンラインで関連部門に情報を送り、素早いアクションに結びつけることでCS向上を図っています。

特に重要な苦情が発生した場合は、経営トップに報告されるシステムになっています。

CS評価

お客様が求めるサプライヤー像に近づくため、営業担当がお客様の立場に立ってお客様のニーズを把握するよう努めています。お客様の不満の内容をいち早くつかんで、関連部門にフィードバックすることで改善に結びつけ、CS向上を図っています。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会**
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

製品・ソリューション

テクノロジーの進化によって、新しい便利や快適がつぎつぎと生まれる時代。
最先端の分野でさまざまな課題解決に貢献する、TDKの製品やソリューションをご紹介します。

[TDKの最新ストーリー](#)

サステナビリティ | 社会

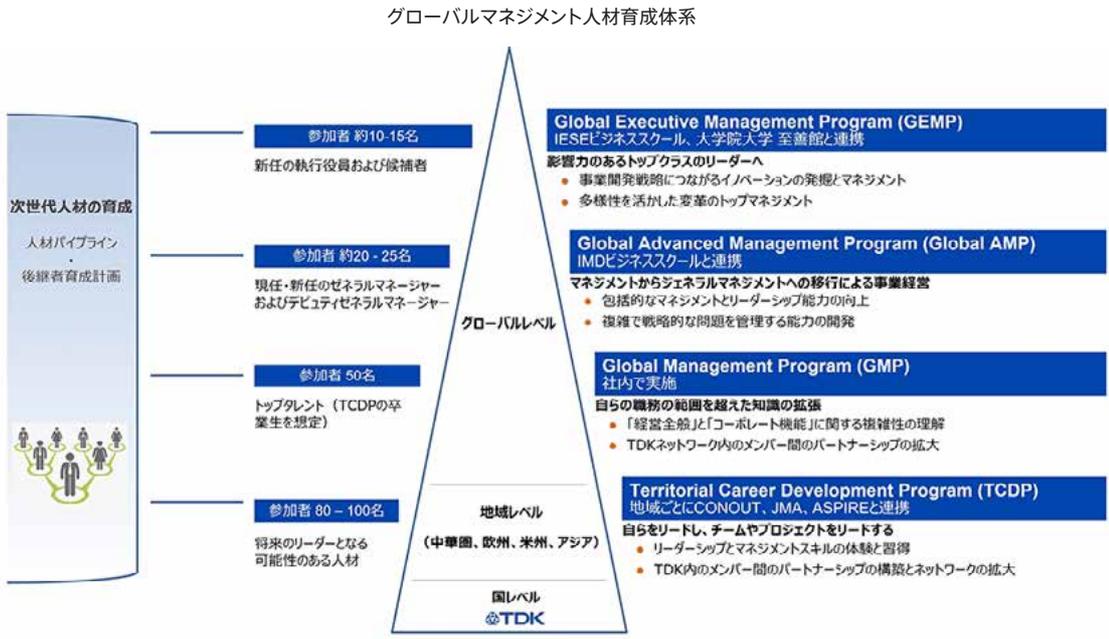
人材の育成

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

基本的な考え方	体制
目標と実績	取り組み

基本的な考え方

TDKでは、次世代リーダーを育成し、後継者計画に役立てることを目的としたグローバルマネジメント開発プログラムを継続的に開発・実施しています。今後も、研修活動の質を継続的に向上させること、ブレンDED・ラーニングのアプローチを取り入れて、あらゆる状況において参加者に最高の学習体験を提供すること、そして多くの有能なチームメンバーの潜在能力を引き出すことに重点を置いていきます。このような人材中心のアプローチにより、継続的な人間的成長を目指します。



体制

人財本部内に「グローバル人財開発統括部」を設置し、グローバルで各種施策を展開しています。

目標と実績

2022年度目標	実績
地域別キャリア開発プログラム (Territorial Career Development Program/TCDP) の継続実施	対面とオンラインの組み合わせにより、すべての地域でTCDPを実施。グローバルで103名が参加 (新型コロナウイルスの影響による選考プロセスの遅れのため、現在1地域において参加者数が未定)
グローバル・マネジメント・プログラム (Global Management Program/GMP) の継続実施	GMPは毎年半数の参加者が入れ替わる制度を採用しているため、昨年のプログラム参加者24名とあわせて、2022年度は合計で51名が参加
グローバル・アドバンスド・マネジメント・プログラム (Global Advanced Management Program/Global AMP) の継続実施	新型コロナウイルスの影響により延期されていたプログラムを再開
新任執行役員または執行役員候補を対象とした研修 (Global Executive Management Program/GEMP) の第2回目の実施	将来のビジョンと戦略を策定する参加者にとって価値あるプログラム体験を提供

今後の取り組み

2023年度目標
TCDP: グローバル100~125名の参加 対面とオンラインの組み合わせのプログラムを継続。参加希望者の増加により一部地域で2プログラムを同時開催予定
GMP: 50名の参加
Global AMP: 25名の参加 (累計参加者100名突破)
GEMP: プログラムのさらなる発展と長期戦略への統合

取り組み

TCDP (地域別キャリア開発プログラム)

TCDP (Territorial Career Development Program) は、中華圏、アジア、米州、欧州で実施されており、2018年度からスタートしました。このプログラムでは、「リーダーシップ・エッセンシャル」「ピープルマネジメント」「変革の推進」「人の心を動かすコミュニケーションとプレゼンテーション」「価値創造」をテーマとしたトレーニングを提供しています。TCDPの目標は、有能な従業員のパフォーマンス、モチベーション、専門性を強化し、リーダーシップとマネジメント能力を開発することです。また、TDKメンバー間における繋がりとパートナーシップを構築することも目的としています。参加者は、プログラム全体を通じて、チームプロジェクトに取り組みます。このプロジェクトの中で参加者は、学んだ内容を実践する機会が与えられ、最終的に地域別のコミッティに対してその成果を発表し、評価を得ます。この実践的な学習がTCDPの肝となっています。

プログラムは、9カ月以上に及ぶ5つのトレーニングセッションで構成されており、毎回異なる視点で実施されます。専用のTCDPラーニングチャンネルは、TDKのデジタル学習プラットフォーム Weconnectから利用が可能で、ブレンド型のアプローチにより学習を補完しています。TCDPの対象となるのは、TDKグループ全地域・全部門の管理・監督者としての経験がある、かつ将来の成長が期待される従業員です。各回の参加者は25名で、すべてのプログラムは英語で実施されます。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

ビジネス上のメリット:

- TDKグループの次世代リーダーとして潜在能力の高い人材の発掘
- 企業経営の土台となる知識の理解、リーダーシップスキルおよびTDKに対するエンゲージメントの向上、従業員同士のコミュニケーションの活性化など、個々のマネジメント力の底上げ
- 主要なポジションにおける次世代候補者として、幅広い分野で活躍できるグローバル・リーダーの育成
- TDKユニテッドに向けたTDKグループの従業員間におけるネットワーク強化

関連情報

[次世代リーダー育成プログラムをグローバルで開始](#)
[Career Development \(英語\)](#)

GMP (グローバル・マネジメントプログラム)

GMPは、数年の管理職経験を持ち、グループ内でのさらなる成長が期待できる有能かつ意欲的な従業員を対象とした専門的なマネジメント開発プログラムです。このプログラムは、自身の機能を越えて視野を広げ、リーダーシップスキルやTDKの組織構造とマネジメントに対する課題意識を高め、さまざまな組織や機能、文化、経験の中でより強力な繋がりやパートナーシップを生み出す機会を提供しています。プログラムは2年間にわたって実施され、毎年参加者の半数が入れ替わります。プログラムは6つの対面型プログラム(各回2.5日)で構成されており、さまざまな拠点で行われます。参加者は50人で、それぞれの活動内容に基づいて2つのグループに分かれます。プログラムのうち、2度のセッションは全体で行われ、残りのセッションは2つに分かれたグループで行われます。各プログラムの主な内容は、「リーダーシップと異文化トレーニング」「TDKのDNA」「グローバルセールス」などです。さらに、TDKのデジタル学習プラットフォーム Weconnect からアクセスできる専用のGMPラーニングチャンネルも提供し、ブレンド型のアプローチにより学習を補完しています。

ビジネス上のメリット:

- 参加者のネットワーク、知識、リーダーシップスキル、TDKの組織構造と課題理解の促進
- 後継者育成計画のサポート
- 自身の機能を越え、経営全体を視野に入れた学習
- TDKユニテッドに向けたTDKグループの従業員間におけるネットワーク強化

Global AMP (グローバル・アドバンスド・マネジメントプログラム)

Global AMP (Global Advanced Management Program) は、リーダーシップの向上を目指して2019年度からスタートしました。目的は、リーダーシップ、戦略立案、イノベーションおよびチェンジマネジメントに関する能力の向上を図ることと、参加者同士の人脈形成の場として、TDKグループ全体のネットワークを強化することです。

Global AMPの特徴は、TDKの課題に結びついた学習アプローチであるため、現場で応用することができ、得た知識の共有が可能なことです。最後には、参加者から経営層への発表を行います。

研修期間は8カ月間で、3回の対面型プログラムと1回のオンラインプログラムから構成されていますが、状況次第ではすべてオンラインでの開催も可能です。これら3回のプログラムで、参加者は合計約14日間、英語で実施されるプログラムに参加します。さらに、プログラムを補完するために、短いセッションがオンラインで開催されます。

なお、Global AMPは毎年実施されており、事業責任者もしくはそれに準ずる者が対象となっています。参加人数は毎年20~25名で、プログラム開始以来、累計参加者は83人に達しています。

目次

編集方針

トップ
コミットメントCPSO
メッセージこれでわかる！
TDKの
サステナビリティサステナビリティ
経営

環境

社会

ガバナンス

社会的評価・
インデックスへの
組み入れリコール中の
加湿器回収に
関するご報告

検索 / 対照表

ビジネス上のメリット：

- TDKの企業価値、文化、および中期計画に基づいたプログラム
- グローバルな後継者育成計画への寄与
- 戦略的なビジョンと思考、イノベーション、実行能力の強化
- TDKユナイテッドに向けたTDKグループにおける人脈形成および強固なつながりの構築

GEMP(グローバル・エグゼクティブ・マネジメントプログラム)

GEMPは2020年にスタートしたプログラムで、ダイバーシティを活かし、「変革のトップマネジャー」を目指すとともに、ビジネス開発戦略につながるイノベーションを発掘・管理することを目的としています。

GEMPの目標は、TDKのグループ会社と本社機能の間でより強い結束と連携を生み出し、組織の最上層にTDKユナイテッドを浸透させることです。人を鼓舞できるトップクラスのリーダーを、国境や文化を越えて配置することで、より強固な会社経営が実現できると考えています。

GEMPは東洋と西洋のリーダーシップ哲学を繋ぎ合わせ、TDKグループの次世代幹部の育成および後継者育成計画に貢献しています。取り扱われる課題は、中長期計画の基盤となるため、プログラムの最後には経営層へ提案されます。また、個別のコーチングセッションは、参加者が人を鼓舞できるグローバルリーダーに成長するのをサポートする内容となっています。

合計8カ月に及ぶプログラムは、4-5日間の対面式セッションが3回英語で行われることになっていますが、状況次第ではオンラインでも開催します。参加者は、新任の執行役員や将来その役割が期待される人材です。各回の参加者は10～15人で、プログラムの開始以来累計で23名が参加しています。

なお、このプログラムは、中期経営計画の策定に向けて実施されているため、開催されない年もあります。また、参加者のビジョン実現をサポートするため、1年を超えて延長することもあります。

ビジネス上のメリット：

- 参加者や関連グループ企業、本社機能における、TDKの持続可能な戦略、スピード感、価値創造へのアプローチの強化
- メガトレンドと主要な変革に関するより高いレベルの認識を参加者にもたらすことによる、TDKのビジネスやコスト効率、レジリエンス向上などの相乗効果
- 「TDKの持続可能な成長と世界への貢献」を想定した次期(およびそれ以降の)中期経営計画への準備

世界規模の英語とコミュニケーションのトレーニング

2018年より、世界中のチームメンバー間のコミュニケーション力を強化するため、Global Communication & English (GCE)の取り組みを開始しました。トレーニング開始前のテスト、トレーニングの受講、トレーニング後のテストという年間スケジュールに基づいてGCE研修を実施しています。さらに、短期間での英語のコミュニケーション能力向上を目指す集中コース、ビジネススキル研修、英語以外の言語での語学研修など、特別な要件が満たせるようGCE研修を拡大しています。GCEプロジェクトはTDKのデジタル学習プラットフォーム Weconnectのコミュニケーショントレーニングでも提供されています。5年間の取り組みを通じた従業員の英語レベルの向上実績を今後公開する予定です。

関連情報[社会データ](#)

ダイバーシティ & インクルージョン

目次

編集方針

 トップ
コミットメント

 CPSO
メッセージ

 これでわかる!
TDKの
サステナビリティ

 サステナビリティ
経営

環境

社会

ガバナンス

 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ

 リコール中の
加湿器回収に
関するご報告

検索 / 対照表

[基本的な考え方](#)
[体制](#)
[目標と実績](#)
[取り組み](#)

基本的な考え方

TDKグループは、グローバルに事業展開する多数のグループ企業から形成されています。多様な個性を持つ従業員が能力を発揮できる環境を整備することで、革新的な創造を生み出し続けていくことが、企業成長を実現していくためにも重要と考えています。2020年4月には、TDKダイバーシティ&インクルージョン方針を策定しました。

TDK ダイバーシティ&インクルージョン方針

TDKが「創造によって文化、産業に貢献する」という社是を実践・実現していくためには、多様な個性を持った従業員の存在が必要不可欠です。エレクトロニクス、エネルギー、素材やセンサーなどTDKの製品やソリューションは多岐にわたり、世界中で日々の生活をより良くすることに役立っています。TDKの従業員がこれらの製品やソリューションを創造し、設計し、開発し、製造して、人々に届け、私たちがこれからも社是を実践・実現し続けていくためには、グローバルに広がる仲間の多様な文化や規範、視点、言語、アイデア、スキル、経験を受け入れ活かすことこそが鍵になると考えています。

TDKは、世界中に広がる個性溢れる従業員の力を最大限に活かし、会社と社会、双方にとって最大限の価値を生み出せるようTDKダイバーシティ&インクルージョン方針を制定しました。TDKグループの従業員同士のつながりを強固にし、考え方や経験の交流を活性化することで、個の能力を育みます。

TDKグループ企業倫理綱領の通り、TDKは従業員の個性を尊重することを宣言しており、合理的かつ公平な人事制度や処遇を整えています。文化、国籍、年齢、性別、社会的背景、宗教、信条、人種、性的指向、障がいの有無や性格など従業員の多様性はTDKの成功に欠かせない大きな原動力です。

現在までに、

- TDKは日本で創業し東京に本社を構えていますが、全従業員の大多数は日本以外で働いています。
- TDKはさまざまな国で働く多様な文化的背景を持つ従業員によって構成されています。
- TDKにはあらゆる年齢層の従業員が在籍しています。
- TDKでは女性が重要な役割を果たしています。
- TDKではコミュニケーションやコラボレーションをリードする能力を向上するためのプログラムを継続的に実施しています。

多様な個性を持つチームは、異なるアイデアや意見を受け入れ、お互いの意見に耳を傾けることで個の成長を後押しし、高品質な製品やソリューションを生み出します。私たちはあらゆる人々から成る多様性の溢れる組織を築き上げることをここに宣言します。

(2020年4月)

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

体制

人事教育機能が主管し、地域ごとの状況に応じた活動を推進しています。

2020年10月からは、人財本部国内人財開発統括部の「ダイバーシティ推進部」が主管部門として、TDKが社会から必要とされ、期待され続ける企業であるために、世界中の従業員が性別、世代、国籍、民族に関係なく、お互いを尊重し合い、自由闊達に意見をぶつけ合える風土の醸成に努めています。その第一ステップとして、あらためて日本の女性の活躍推進に取り組みます。これまでも女性が働きやすくなるための環境整備は進めてきました。残る課題は、「働きやすさ」から「活躍」のステージへの移行です。日本の女性が持っている能力、価値観、可能性を会社がさらに引き出し、事業に取り入れ、TDKの成長につなげていきます。

2035年目標

マイルストーンとして、創業100年にあたる2035年に目指す女性の管理職比率を下記の通り設定し、活動を実行することとしました。



関連情報

[社会データ](#)

目標と実績

2022年度目標	実績
ダイバーシティ推進の意義浸透のため、国内の管理職への啓もう活動実施	2021年度間に既存の管理職の98%が参加した。当年度は新任・経験者採用で本ワークショップ未参加の管理職に実施。対象者の97%が参加。
2021年度から実施しているハラスメント防止対策の継続実施	ハラスメント防止のためのコミュニケーションセミナーを、国内全事業所で開催。当年度在籍の管理職と部下のいる一部の係長職を対象とし、対象者の95%受講。
女性社員へのキャリア開発教育の実施	女性係長職へのキャリア開発教育を展開。外部NPO法人への派遣、メンター制度の実施、女性係長職・一般職女性社員へのキャリア開発セミナー実施。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

今後の取り組み

2022年度も女性活躍推進活動を中心に、管理職の意識改革、ハラスメント防止活動を数多く展開し、TDKが「ダイバーシティ&インクルージョン」を推進する意義の浸透に努めました。

今後は、女性活躍推進にとどまらず、障がい者やLGBTQ+といったマイノリティ人材の活躍を推進するための活動を展開していきます。また、ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョンの取り組みを日本以外にも拡大し、2023年4月には中国、ドイツ、米国、日本のメンバーで構成されるグローバルのDE&I(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)部を設立しました。新設されたチームは、日本で先行していた活動の歩みを引き継ぎながら、グローバルなDE&I戦略を策定し、実行に移していきます。

2023年度目標
新任・経験者採用の管理職を対象とする意義浸透のワークショップの継続展開。
女性係長職人材の外部研修機関への派遣、メンター制度実施、キャリア開発セミナー展開。女性一般職へのキャリア開発セミナー展開。
障がい者社員の定着のための障がい者職業生活相談員の日本全国の拠点での配置。

取り組み

障がいのある従業員の活躍

TDKでは長年、障がい者雇用を積極的に推進してきましたが、少子高齢化や都市部への人口流出を起因とした地方での労働力の減少により、大きな拠点のある秋田地区をはじめ関東圏以外の事業所における応募者減少が現状の問題としてあげられます。そこで、在宅勤務制度で培ったリモートワークのノウハウを活かし、関東圏にいる障がいのある従業員が、地方にいる上司・部門からリモートで指示を受けながら就労する「リモート採用」を2021年秋より導入しています。当社の主要事業である電子部品ビジネスグループをはじめ、リモートワークによって徐々に障がいのある従業員の活躍領域が広がっており、現在従事している分野は経理、製品受注管理、製品分析補助、マーケティング補助、IT関連等々、着々と業務が拡大しています。

また、近年増加する精神障がいの方の採用にも力を入れています。個別の障がいの状況を把握し、適切な労働環境を提供することで、活躍できる場が増えています。

また、従業員の定着にも力を入れています。その一つの取り組みが「就労パスポート」の展開で、本社から活用が始まっています。上司が変わっても確実に次の上司へ情報が伝達されるよう、障がいの内容や現有スキル、配慮すべき事項などを「就労パスポート」に記載し共有することで、従業員の定着につなげています。

従業員本人や周辺従業員からの相談に応じる「障がい者職業生活相談員」の配置も、日本国内の全拠点で進めています。

人権尊重・機会均等への取り組み ～ダイバーシティ・アクション推進プラン～

TDKは、企業倫理綱領の中で人権の尊重と差別の禁止に関する項目を定めています。具体的な人権尊重、機会均等への取り組みとしては、従業員への啓発教育の実施、ヘルプライン等の専用相談窓口の設置、育児・介護に関する諸制度(育児休業制度、介護休業制度、短時間勤務制度等)を整備しています。こうした働きやすい環境の整備や、仕事と生活が両立できる働き方を推進した結果、当社は2014年度に、東京労働局長から次世代育成支援対策推進法に基づく「基準適合一般事業主」としての認定を受け、次世代認定マーク(愛称:くるみん)を取得しました。



目次

今後も、従業員にとって利用しやすい制度となるように適宜、制度を見直していくとともに、社会動向を見極めながら、従業員のニーズに合った新たな制度の導入を進めていきます。

編集方針

多様な働き方とワークライフバランス

詳しくはこちらをご覧ください。

トップ
コミットメント

関連情報

[タレントアトラクション&リテンション](#)

CPSO
メッセージ

これでわかる!
TDKの
サステナビリティ

サステナビリティ
経営

環境

社会

ガバナンス

社会的評価・
インデックスへの
組み入れ

リコール中の
加湿器回収に
関するご報告

検索 / 対照表

サステナビリティ | 社会

タレントアトラクション & リテンション

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

基本的な考え方	体制
取り組み	多様な働き方とワークライフバランス
人事評価制度 (TDK株式会社)	一人ひとりのポテンシャルを最大限に引き出すための 仕組み / 人事諸制度 (TDK株式会社)

基本的な考え方

国内外グループ会社での従業員エンゲージメント調査の展開、およびその分析結果に基づいたフィードバック・適切な改善措置の実施、エンプロイヤーブランディング(企業の魅力を高める)活動や採用活動をサポートかつ強化するソーシャルメディアチャンネルの確立により、高い意欲を持った従業員を確保し、より革新的でレジリエントな企業への進化を目指しています。

TDKグローバルエンゲージメント調査の準備と展開、その分析に基づいたフィードバックと改善計画の作成、ソーシャルメディアチャンネルの活用などの多様な取り組みにより、才能ある人材の確保に繋がる従業員エンゲージメントおよび従業員満足度の向上に取り組んでまいります。

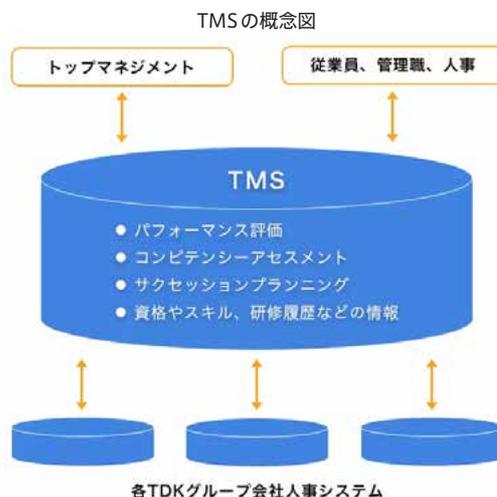
体制

人事教育機能が主管し、地域ごとの状況に応じた活動を推進しています。

取り組み

グループ従業員の人材スキルの可視化

本社およびグループ会社の管理職を中心に、人材管理・育成を一元化し可視化するシステム「TMS(タレントマネジメントシステム)」の導入を進めています。このシステムでは「パフォーマンス評価」や「コンピテンシーアセスメント」、「人材育成計画」などのモジュールを用意し、一人ひとりの能力を把握しています。グローバルでの人材の個性を最大限発揮するための重要な取り組みとして、今後はすべての拠点とグループ従業員への導入を目指しています。



- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

多様な働き方とワークライフバランス

TDKでは、多様な個性を持つ従業員が能力を発揮できる環境を整備することが、革新的な創造を生み出し続け、企業成長を実現していくために重要だと考えています。多様で柔軟な働き方が選択できる環境や仕組みを整え、ワークライフバランスの実現を支援することもその環境整備の一つです。

現在、TDKの各拠点では、テレワークやスーパーフレックスタイムを導入するなど、働き方に大きな変化が生まれています。この活動をさらに進め、働く時間や場所にとらわれない自律的なワークスタイル「TDK Smart Work」を本社やテクニカルセンター等に導入しました。この活動を通じて、従業員のエンゲージメントの向上および個人と会社のパフォーマンスの最大化を目指しています。

多様な働き方とワークライフバランスを支援する制度の例 (TDK 株式会社)

在宅勤務制度・スーパーフレックスタイム制度

働く場所や時間に柔軟性を持たせ、従業員の多様で柔軟な働き方を実現する制度を整備しています。なお、スーパーフレックスは、コアタイムなしに従業員一人ひとりのニーズに合わせて、就業時間を自由に決められる制度です。

出産・育児支援制度

「産前産後休暇」「育児休業」「育児短時間勤務」など、仕事と家事・育児の両立を支援するための制度を整備しています。「育児休業」は原則、子どもが1歳になる誕生日前日までを期間としていますが、父母がともに育児休業を取得する場合は、子どもが1歳2ヶ月に達する日まで育児休業を取得することができます。(ただし、父母1人ずつが取得できる休業期間の上限は1年間)「育児短時間勤務」は原則、子どもが小学校3年生の学年末に達するまで利用可能で、複数の勤務時間パターンを用意しています。さらに、育児・介護関連サービス利用料の援助も行っています。

介護休業

勤続1年以上で継続就業の意志がある従業員を対象に、配偶者、実(養)子、実(養)父母、実(養)祖父母、兄弟姉妹、孫、および配偶者の実(養)父母の介護が必要になった時、対象家族1人につき、常時介護を必要とする状態に至るごとに3回の休業(通算して1年以内)を取得できる制度です。

再雇用制度

定年退職者を再雇用する従来のTDK再雇用制度を改正し、2017年4月から、新たにセカンドキャリア制度として運用を開始しています。この制度は、高齢者の方々が有している知識や経験を、より一層有効活用するとともに、高年齢者雇用安定法の改正への対応という、企業としての社会的責任を果たすことを目的としています。また、国内の関連子会社においても、同様の制度を導入し、定年退職者の再雇用を実施しています。さらに、2017年10月より「ウェルカムバック制度」を導入し、出産や育児、家族の介護等やむを得ない事情で退職した従業員を再雇用する仕組みを整備しています。

配偶者転勤に伴う働き方の選択

2017年10月より、「配偶者国内転勤同行制度」、「配偶者海外転勤休業制度」を新たに導入しています。これらの制度では、配偶者の転勤に伴い現在の職場で働き続けることが困難になった場合でも、配偶者とともに転勤、あるいは休業を選択することが可能になり、従業員のさまざまなライフイベントに合わせた働き方の選択肢を用意し、TDKで安心して働き続けられることを目的としています。

出産・育児支援制度を利用した従業員の声

育児休業は成長休業

初めて子供が生まれたときに、近隣に身寄りがおらず、妻に初めての育児の不安や負担をかけることに悩んでいたところ、同期の男性が育児休業を取得したことを聞いて「ならば自分も!」と取得を決めました。社会人になってから初めての長期休業。もちろん育児には取り組みますが、せっかくならもっとポジティブにこの休業を活用したいと考え、「100食料理をする」「X線回折基礎の学習」を自分に課してみました。社会人になって夢中になったことの一つが結晶学だったのですが、理解を深めるために基礎的な教科書を読みこみ、育児中に存分に勉強できる贅沢感を味わったのは、今ではいい思い出です。



一方で、「ママってすごい」と気づけたことも大きな収穫でした。抱っこ紐で赤ちゃんを背負って買い物し、大きな荷物を抱えて歩く姿、凄すぎます。夜泣きで毎晩起こされる妻が不憫だったので、自分が子供と一緒に寝るようになりました。妻の精神衛生が保たれたと思っています。

周囲から耳に届いたのは全て良い反応でした。先輩ママさん社員から「頑張って!楽しんで!」と言っていたいたり、同期からは子供用のおもちゃや絵本などを頂いたりなど。地域の赤ちゃんサロンに出掛けると、集まった方々からは「男性も育児休業を取得しやすいなんて、いい会社ですねー!!」とうらやましがられることしきりでした。

男性が取得を迷っているなら、私はもちろん勧めます。男性が長期休業を取得することについては「周囲に迷惑をかけるのでは」「キャリアに悪影響を及ぼすのでは」等の不安から、取得のハードルが高いことは良く知っていますが、取得してみた実感としては、デメリットはほとんどなかった、ということです。育児・家事の大変さを実感した一方で、日々成長するわが子と毎日向き合えた期間は他に代えがたいほどの幸せでした。それに勉強する贅沢な時間も作れ、今後の仕事にも好影響だったと考えています。自分がこんなに充実した育休を過ごせたのは部署の方々の理解あってのこと。個人的には、育休取得者を輩出した部署に何かしらのリターンがあってもいいのかな、と思います(自分もリターンできるよう頑張りますが)。

最近嬉しかったのは、元同僚の男性社員が私に育休の相談をしてくれ、実際に育休を取得したということです。

目次

編集方針

トップ
コミットメントCPSO
メッセージこれでわかる!
TDKの
サステナビリティサステナビリティ
経営

環境

社会

ガバナンス

社会的評価・
インデックスへの
組み入れリコール中の
加湿器回収に
関するご報告

検索 / 対照表

今後も育休取得によって、子供にたくさんの愛情を注げる環境が増え、自分も会社もWIN-WINになればいいなと思います。

TDK株式会社
技術・知財本部
評価解析部
素材解析室
永峰 佑起



人事評価制度 (TDK 株式会社)

TDK 株式会社における人事評価は、「実績」と「行動」の2つの観点で行っています。「実績評価」は期初に設定した目標に対する達成度に基づいて評価を行うもので、賞与への反映を通じて、従業員の貢献と成果に報いるとともに、一層の意欲喚起と業績達成に繋がっています。「行動評価」は、役割ごとに定めた評価項目に基づいて期間中の行動を評価するもので、評価項目には専門性や行動指針、コンプライアンス・リスクマネジメントなどの要素が含まれています。目標を達成するための日々の行動を評価・フィードバックすることで、求められる役割の認識と行動を促しています。この評価プロセスにおいて、期初の目標設定および期末の評価フィードバックのタイミングで上司・部下で面談を実施することで、日々の業務におけるコミュニケーション以外でも、従業員が自らに期待されている役割などを確認できる機会を定期的に設けています。

一人ひとりのポテンシャルを最大限に引き出すための仕組み / 人事諸制度 (TDK 株式会社)

TDKは、従業員一人ひとりが意欲的にキャリア開発を行い、その能力を十分に発揮できるよう、さまざまな制度を整えています。

社内公募制度

人材募集の情報を社内掲示板に掲示し、希望者は上長を通さず、人事部門に直接応募が可能なアクティブ社内公募制度を2000年から導入しています。目的は「TDKグループにおける事業編成の変化や求める人材の変化にタイムリーに対応し、グループ全体での適材適所を促進すること」と「自分自身のキャリア開発に意欲的に取り組む意思と能力のある従業員に、キャリア形成のチャンスを提供すること」です。2022年3月までに249人が合格し、異動が実現しました。

キャリアオプション制度

2006年1月から、前述の社内公募制度に加え、従業員自らが希望する部門・職務に異動するチャンスを得られるキャリアオプション制度を導入しています。この制度は、従業員に自らのさらなる成長とTDKの発展に貢献したいという強い意欲を持ってもらい、さまざまな角度から自身のキャリアプランを見つめ直す場を提供することを目的としています。

自己申告制度

従業員一人ひとりのキャリア開発、能力開発のサポート、職務と人のベストマッチングを目的として、自己申告制度を実施しています。これは、年1回、自分の希望する職務や勤務地、現職務の満足度等を人事部門へ直接申告することができる制度です。また、面接を希望する従業員には、人事担当が面接を行い、申告内容を直接確認しています。従業員と人事部門が定期的に対話を行うことで、従業員自身が自己のキャリアについて真剣に考えるとともに、希望する職場への配属や必要とする教育訓練の受講につなげるなど、従業員自身のキャリア形成に役立てています。

安全衛生

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント

基本的な考え方	体制
目標と実績	取り組み

基本的な考え方

TDKグループ安全衛生・環境憲章

TDKでは、グループ全体の安全衛生・環境に関する方針を一体化し、「基本理念」と安全衛生および環境に対する「基本方針」の2つから構成される「TDKグループ安全衛生・環境憲章」を制定しました。



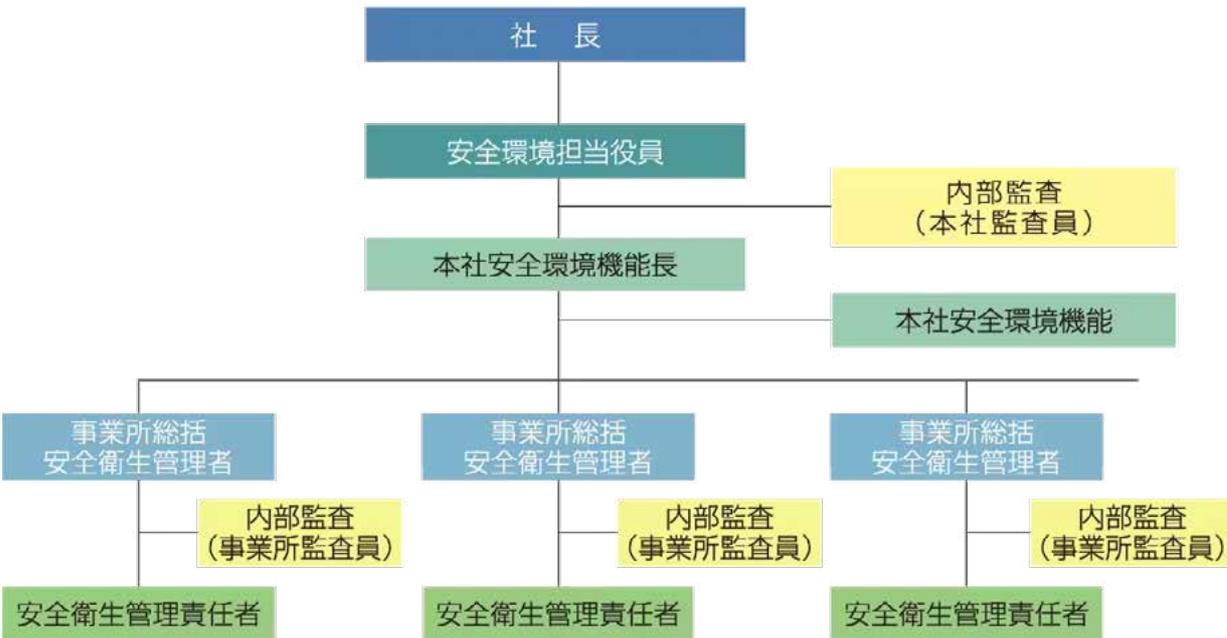
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境

社会

体制

TDKは、社長を最高責任者とした安全衛生マネジメントシステムに基づく推進体制を確立しています。また、安全衛生に関する重要事項については、取締役会にも報告を行い、必要な場合は決議事項の上程も行います。

- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表



- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営

労働安全衛生マネジメントシステムの推進

TDKグループでは、労働安全衛生の国際規格であるISO45001:2018の要求事項に準拠した労働安全衛生マネジメントシステム(TDK OHSMS)を構築し、活動を展開しています。TDK OHSMSの運用のなかで、リスクアセスメントを実施し、「化学的、生物学的、物理的薬剤への暴露」「労働者の身体に負荷のかかる作業」「生産機械の安全性確認・評価」など、リスクの除去および低減活動を展開しています。また、公衆衛生の管理にも努めており、清潔な水や衛生設備の供給などにより、全従業員に対して安全かつ健康的で、公正な労働環境の提供に取り組んでいます。

部分的にCSRの国際基準でもあるRBAに準拠した活動展開を図っており、それぞれの国や地域で従業員の母国語または理解できる言語で安全衛生情報を施設内へ明確に掲示することや教育訓練を実施しています。緊急事態に備えた取り組みも活動の一つであり、緊急事態発生時の対応手順の制定や緊急事態の発生を想定した避難訓練の実施などを行っています。

関連情報

[ISO45001 認証取得事業所](#)

目標と実績

2022年度目標	実績
重篤災害ゼロの達成	重篤災害ゼロ

労働災害の発生状況の推移(日本国内)



関連情報

[社会データ](#)

2023年度目標
重篤災害ゼロの達成

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

重篤災害ゼロの達成

2022年度は重篤災害の発生はありませんでしたが、それにつながる可能性のある労働災害が多数発生しました。発生原因の本質調査や根本対策について情報共有を行い、重篤災害の再発防止に取り組んでいます。

また、各地域の情勢に即した安全衛生活動が展開できるよう、日本、中国、アセアン、ヨーロッパ、アメリカと地域別に安全衛生・環境活動推進者(EHSコーディネーター)を設け、工場安全診断の実施や、安全環境会議でのベストプラクティスの共有などにより、安全衛生活動レベルの向上を図っています。

取り組み

工場全体のスキルアップを行う Technical Training Center の設置 (TDK India Private Limited, Nashik factory)

インドにある Nashik Factory では、Technical Training Center を設置し、全従業員の知識やスキルを向上させるための機会を提供しています。このセンターでは、新しい従業員が防火やAEDといった非常時安全衛生に関する対応や実際の製品知識の理解を深めています。また、実際の製造設備やメンテナンス用具も展示して触れるといった、従来従業員の多能工教育にも用いており、全従業員のスキル向上に用いています。さらに教育プログラム内にレクリエーション要素を取り入れることで、受講者を飽きさせないための工夫を取り入れています。



体感型安全教育のグローバル展開

2017年に秋田地区(にかほ工場南サイト)に設置したTDK安全伝承室の「見て」「聞いて」「感じる」をコンセプトとした体感型安全教育をグローバルにも展開を開始しました。2020年に中国地区拠点の一つであるTDK Electronics 珠海FTZにもEHS Training Centerを設置、2022年4月には三隈川工場でも安全伝承室を設置するなど、従業員の安全意識高揚に向けた取り組みを行っています。また、昨今の国内外での工場火災事例を受けて、TDKグループとしてグローバルでの防火点検を実施し、火災リスク低減に向けた取り組みを行っています。

なお、安全伝承室の日本国内での教育延べ人数は12,555人です(2022年度:2,117人)。



サステナビリティ | 社会 | 安全衛生

ISO45001 認証取得事業所 (2023年5月1日現在)

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

事業所	国名	登録証番号	審査機関
TDK 株式会社 サステナビリティ推進本部 安全環境グループ 三隈川工場 甲府工場 成田工場 静岡工場 稲倉工場東サイト にかほ工場北サイト にかほ工場南サイト 本荘工場西サイト 本荘工場東サイト 大内工場	Japan	JP21/071692	SGS
TDK エレクトロニクスファクトリーズ株式会社 甲府工場 稲倉工場東サイト にかほ工場北サイト にかほ工場南サイト 本荘工場西サイト 本荘工場東サイト 北上工場 大内工場 岩城工場 鶴岡西工場* 酒田工場 飯田工場 鶴岡東工場			
TDK China Co., Ltd. TDK (Suzhou) Co., Ltd. TDK Dalian Corporation Qingdao TDK Electronics Co., Ltd. TDK Xiamen Co., Ltd. Guangdong TDK Rising Rare Earth High Technology Material Co., Ltd.	P.R. China	CNB314200-U	BV
SAE Magnetics (Dongguan) Limited	P.R. China	02120S11006R4L	CCCI
SAE Components (Chang An) Limited	P.R. China	02122S10007R0L	CCCI
AFI Technologies (Chang An) Ltd.	P.R. China	02122S10014R5L	CCCI
Ningde Amperex Technology Ltd.	P.R. China	CN19/31372.00	SGS
Dongguan Poweramp Technology Limited	P.R. China	CN19/31973	SGS
TDK Dongguan Technology Co., Ltd.	P.R. China	CNB314200-U-006	BV
Guangdong Real Faith Pingzhou Electronic Co., Ltd. Guangxi Real Faith Pingzhou Electronics Co., Ltd.	P.R. China	00221S23233R3L 00221S23233R3L-1	IQNet
TDK Taiwan Corporation	Taiwan	20003153 OHS18	DQS
InvenSense Taiwan Ltd.	Taiwan	TW17/00862	SGS
TDK Korea Co., Ltd.	Korea	KR002765	BV
TDK Philippines Corporation	Philippine	50500402 OHS18	DQS
TDK (Thailand) Co., Ltd.	Thailand	488005 OHS18	DQS
Magnecomp Precision Technology Public Co., Ltd. Rojana Plant Wangnoi Plant	Thailand	25884/E/0002/UK/En 25884/K/0001/UK/En	URS URS
Hutchinson Technology Operations (Thailand) Co., LTD.	Thailand	81791/E/0001/UK/En	URS

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会**
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

TDK (Malaysia) Sdn. Bhd.	Malaysia	01 213 117285	TUV
TDK-Lambda UK Ltd.	UK	OHS 609627	BSI
TDK-Lambda Ltd.	Israel	106055	IQNet
TDK Electronics AG	Germany	10000458801-MSC-RvA-DEU	DNV

※ TDK エレクトロニクスファクトリーズ株式会社鶴岡工場は、2023年4月1日よりTDK エレクトロニクスファクトリーズ株式会社鶴岡西工場へ名称変更しました。

健康経営

目次

編集方針

トップ
コミットメント

CPSO
メッセージ

これでわかる!
TDKの
サステナビリティ

サステナビリティ
経営

環境

社会

ガバナンス

社会的評価・
インデックスへの
組み入れ

リコール中の
加湿器回収に
関するご報告

検索 / 対照表

[基本的な考え方](#)

[体制](#)

[取り組み](#)

基本的な考え方

TDKのチームメンバー(従業員)の健康は事業活動におけるすべてのクオリティに直結する重要課題と認識し、チームメンバーの健康管理、増進を積極的にサポートするために健康宣言を制定しました。

チームメンバーが心身ともに健康に働き続けることができるよう健康推進活動に取り組んでいます。

TDK 健康宣言

TDKは、チームメンバー(従業員)全員で「クオリティ」の向上に取り組んでいます。クオリティとは製品のみならず、安全、働き方、法令遵守など全てにおいてのクオリティです。クオリティ向上への取り組みが、一人ひとりの成長につながり、その合計が会社の価値になると考えています。そして、全てのクオリティの向上は「人」=チームメンバーによってのみ実現可能であり、その前提として、チームメンバーの一人ひとりの心身のクオリティは最も重要な経営課題のひとつと認識しています。

TDK United[※]の多様なチームメンバーとその家族が心身ともにいきいきと健康クオリティを高め、仕事のみならず生活のクオリティも高めることで、サステナブルで健康な社会の実現に貢献していきたいと考えています。

健康宣言

TDK Unitedのチームメンバーは、“ヘルスファースト”でクオリティの向上に取り組めます

2023年4月1日

代表取締役社長執行役員 齋藤 昇

※ TDK Unitedとは、過去数十年においてM&Aや提携によって多種多様な歴史、文化、習慣を持ったチームメンバーと企業が集まったTDK独自の融合体を意味します。それぞれの個性がうまく融合していることがTDKの特長であり、強みです。

体制

人事担当役員を健康推進責任者とし、人財本部内に健康推進課を新設して健康推進活動に取り組んでいます。

健康推進担当役員: 常務執行役員 Andreas Keller

人財本部

国内人財開発統括部

労政部

健康推進課

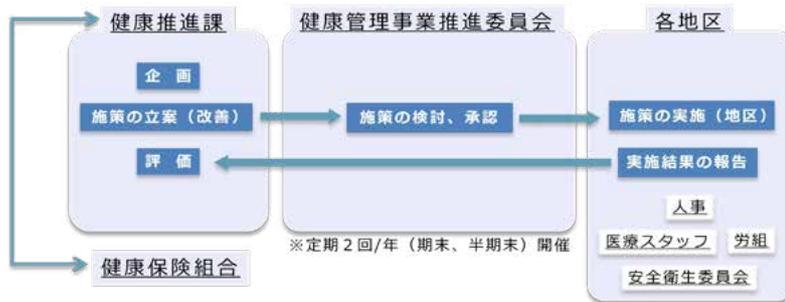
健康推進組織

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

TDKでは、チームメンバーの健康管理、増進のため、定期健康診断の実施はもとより、事業所に産業医、保健師、看護師、歯科医（一部の事業所）を配置し、健康相談、歯科診療が日常的に受けられる環境を整えています。また、健康保険組合が開設している社外の電話健康相談窓口（24時間受付）でチームメンバーからの相談を受け付けています。

2018年度からは会社、健康保険組合、産業医、保健師、看護師、労働組合の関係者による健康管理事業推進委員会を発足させ、委員会にて各種健康推進活動を検討、実行に移し、健康推進活動を展開しています。

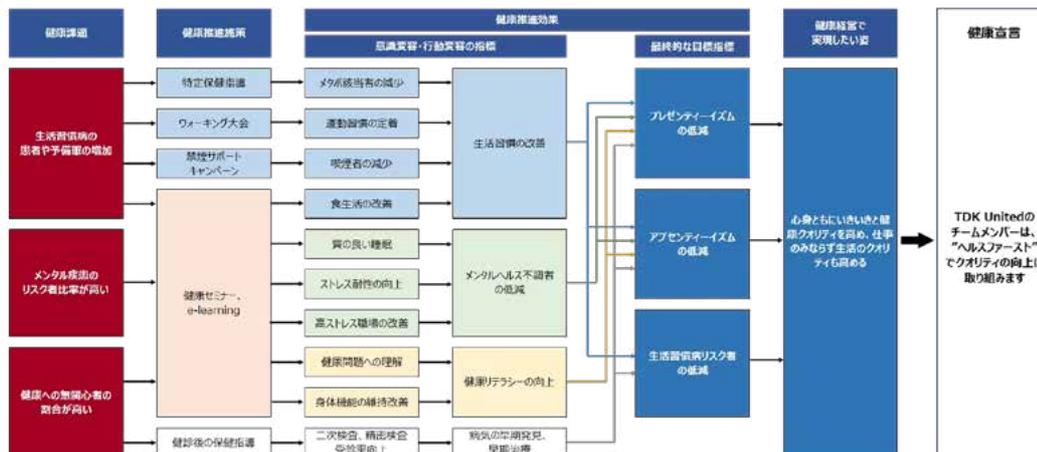
健康推進体制のフロー



取り組み

戦略マップ

健康経営の推進にあたっては、健康経営で実現したい姿である、チームメンバーの健康クオリティの向上につながる健康課題を特定し、それらを解決するための具体的な取り組みを整理した戦略マップを作成しています。



- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

主な健康推進活動

メンタルヘルス対策

身体の健康のみならず、近年、社会的関心が高まっている心の健康管理についても積極的に取り組んでいます。特定の事業所での専門医によるメンタルヘルス相談窓口の設置や、従業員が気軽にカウンセリングを受けられる体制を整えるとともに、e-learningによるセミナーも開催しています。

また、職場復帰に取り組む従業員を最大限に支援するため、リハビリ勤務制度等を含む「職場復帰支援プログラム」を導入しています。

2016年度からは、従業員自身がストレスの程度を把握し、メンタルヘルス不調となることを未然に防止することを目的として、ストレスチェックを実施しています。ストレスチェックと各種研修を通して、ストレスとうまく向き合いながら従業員一人ひとりがいきいきと働ける健康クオリティの向上に取り組めます。

健康経営優良法人認定取得

TDKは、経済産業省と日本健康会議が実施している「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に2023年に認定されました。



サステナビリティ | 社会

社会貢献活動

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

基本的な考え方	体制
「学術・研究／教育」分野における取り組み	「スポーツ／芸術・文化」分野における取り組み
「環境保全」分野における取り組み	「社会福祉・地域社会の活動」分野における取り組み
被災地域への支援	

基本的な考え方

TDKは、企業市民の一員として社会、地域と共生することの大切さを認識し、企業として社会にできる活動とは何かを考え、独自の社会貢献活動を推進しています。

理念

「創造によって文化、産業に貢献する」という社是に基づき、企業市民の一員として社員一人一人が社会への高い意識を持ち様々な活動を行うことで、健全で豊かな社会の発展に貢献します。

方針

「学術・研究／教育」「スポーツ／芸術・文化」「環境保全」「社会福祉・地域社会の活動」の4分野を選びTDKグループの様々な資源(社員、製品、資金、情報等)を活用し、NPO／NGOなどとの連携も含め、積極的な活動をグローバルに行います。

体制

上記方針にのっとり形で、各地で社会貢献活動の計画を策定し、実行しています。

「学術・研究／教育」分野における取り組み

当社がこれまで培ってきた製品技術や人材を活用することで、社会に還元し、また次世代を担う若者たちに、さまざまな知識や経験、技能等を学ぶ機会を提供していきたいと考えています。

具体的な例として、2016年10月に新たにオープンしたTDK歴史みらい館(英文名称:TDK Museum)では、TDKの「磁性」技術を活用した製品や技術の歴史を紹介するとともに、未来への取り組みも新たに加え、これからの社会を担う若い方々への科学技術の学習支援を積極的に行える活動拠点となっています。また、エレクトロニクス体験教室も継続して実施しています。

TDK歴史みらい館のホームページはこちらをご覧ください。

[TDK歴史みらい館](#)

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

「スポーツ / 芸術・文化」分野における取り組み

当社は、ステークホルダーの皆様へ良質な感動と興奮を提供し続ける企業でありたいと考え、同じように人間の心を高揚させ、感動を与えてくれるスポーツや芸術活動を支援しています。

具体的な例として、2001年より「TDK オーケストラコンサート」として、世界的なオーケストラの日本公演に協賛するとともに、「TDK Rising Stars」と題して小中学生や音楽を学ぶ学生の「教育」や「育成」のため「アウトリーチミニコンサート」と「公開リハーサルおよび本公演招待」を行っています。

新型コロナウイルス感染症の影響のため3年ぶりに開催となった2022年度は、来日したロンドン交響楽団(LSO)の首席奏者をはじめとする演奏家たちが、東京都中央区立銀座中学校を訪れ、生徒全員が世界一流の響きを体験するとともに、楽団員との交流を深めました。

また、サントリーホールで開催されたロンドン交響楽団来日公演の公開リハーサルに、音楽を学ぶ230名の学生を招待しました。公開リハーサルでは、指揮者・音楽監督であるサー・サイモン・ラトル氏が楽団員とコミュニケーションを取りながら1つの音楽を完成させていく様子に、学生たちは真剣に見入っていました。さらに、本公演では、招待された学生の演奏に聴き入る表情がとて印象的でした。

自身の力で新しい未来を切り拓こうとする若い方々を応援するため、世界で活躍する音楽家との対話を通して可能性をさらに広げるきっかけ作りの場を、TDKは引き続き提供してまいります。



「環境保全」分野における取り組み

当社は、人間の暮らしをより便利にするための製品を提供するため、開発や研究を進めています。同時に、地球環境との共生を目指したさまざまな環境保全活動にも地道に取り組んでいます。

具体的な例として、秋田県内各工場では「TDK ブナの森」植樹会や追肥、清掃活動を2004年より毎年実施しており、これまで9,900本もの植樹を行いました。

2022年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために追肥活動は担当部門のスタッフのみで行い、植樹活動は人数制限を設けての実施となりました。

「社会福祉・地域社会の活動」分野における取り組み

当社は、グローバルに企業活動を展開しています。当社の持つ資源を活用しながらその地域社会におけるさまざまな課題を解決し、よりよい社会の実現に向けて努力しています。

今後も、各地のニーズに合わせた活動を行ってまいります。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会**
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

被災地域への支援

TDKエレクトロニクスファクトリーズ株式会社北上工場では、東日本大震災の復興支援として、岩手県の復興支援ボランティア活動に毎年参加しています。

新型コロナウイルスの感染防止の為、2020年度から2022年度まで中止としていましたが、2023年度より活動を再開する予定です。

サステナビリティ | 社会

社会データ

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

カテゴリー	項目	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
雇用	連結従業員数		104,781	107,138	129,284	116,808	102,908
	日本	名	9,777	10,080	10,381	10,751	11,379
	アメリカ地域		4,738	4,465	4,092	4,184	4,164
	ヨーロッパ地域		8,205	7,969	7,962	8,222	8,218
	アジア地域		82,061	84,624	106,849	93,651	79,147
	男性比率		%	53.8	55.2	58.2	57.2
	女性比率	46.2		44.8	41.8	42.8	43.1
	連結非正規従業員数 ^{※1}	名	28,705	25,173	21,577	23,152	19,620
	連結非正規従業員比率	%	27.4	23.5	16.7	19.8	19.1
	国籍別従業員比率						
	G.China	%					59.9
	Japan						12.0
	Thailand						5.3
	Indonesia						3.8
	Philippines						3.7
	Malaysia						2.6
	Hungary						2.3
	India						2.1
	Germany						1.9
	Brazil						1.6
単独従業員数		5,330	5,523	5,689	5,719	5,901	
男性	名	4,497	4,628	4,747	4,737	4,851	
女性		833	895	942	982	1,050	
女性比率	%	15.6	16.2	16.6	17.2	17.8	
平均年齢(TDK株式会社)	歳	43.7	43.6	43.5	43.4	43.0	
男性		44.4	44.3	44.3	44.2	43.8	

目次
編集方針
トップ コミットメント
CPSO メッセージ
これでわかる! TDKの サステナビリティ
サステナビリティ 経営
環境
社会
ガバナンス
社会的評価・ インデックスへの 組み入れ
リコール中の 加湿器回収に 関するご報告
検索 / 対照表

雇用	女性	歳	39.8	39.5	39.2	39.2	38.9	
	勤続年数 (TDK 株式会社)			19	18.3	18.3	18.3	17.9
	男性	年	19.5	18.7	18.8	18.9	18.5	
	女性		17	16.2	16	15.5	14.8	
	新卒採用人数 (TDK 株式会社) ^{*2}			225	202	196	262	280
	男性	名	184	145	155	198	214	
	女性		41	57	41	64	66	
	女性比率		%	18.2	28.2	20.9	24.4	23.6
	中途採用人数 (TDK 株式会社)			130	126	110	169	242
	男性	名	102	100	93	129	189	
	女性		28	26	17	40	53	
	女性比率		%	21.5	20.6	15.5	23.7	21.9
	正規雇用労働者の中途採用比率							
	TDK 株式会社			37	38	36	39	46
	TDK エレクトロニクスファクトリ ーズ株式会社			14	28	27	39	61
	TDK ラムダ株式会社 [*]			19	21	33	41	41
	TDK サービス株式会社			100	100	100	100	60
総離職率 (TDK 株式会社) ^{*3}		%	1.4	1.6	1.6	1.8	2.3	
自己都合離職率 (TDK 株式会社) ^{*3}		%	1.3	1.4	1.4	1.6	2.1	
ワークライフ バランス	育児休暇取得者数 (TDK 株式会社)			23	41	30	41	62
	男性	名	4	17	12	22	33	
	女性		19	24	18	19	29	
	復職率		%	100	100	100	100	100
	男性の育児休業取得率 ^{*4}							
	TDK 株式会社		%	2.8	13.4	9.0	17.1	24.4
	TDK エレクトロニクスファクトリ ーズ株式会社		%	2.4	0.0	7.0	3.0	11.5
	有給休暇取得率 (TDK 株式会社)		%	60.7	62.5	53.6	58.6	66.2
介護休業取得者数 (TDK 株式会社)		名	3	2	1	2	2	

目次	女性管理職比率 (TDK 株式会社)		1.4	1.8	2.3	3.2	3.8
	女性部長職比率 (TDK 株式会社)		0.7	0.7	1.5	1.7	1.7
編集方針	女性課長職比率 (TDK 株式会社)	%	1.6	2.2	2.5	3.7	4.6
トップ コミットメント	女性係長職比率 (TDK 株式会社)		5.8	6.4	6.7	7.3	8.3
	障がい者雇用率 (TDK 株式会社)*		2.18	2.15	2.03	1.95	2.45
CPSO メッセージ	一人あたり年間研修時間**5	時間	17.4	49	37.1	19.6	23.4
	一人あたりの年間平均研修費用/ 人材開発費用	円			6,095	10,077	11,796
これでわかる! TDKの サステナビリティ	TCDP (地域別キャリア開発プログラム) 修了者数	名	96	101	0	89	98
	GAMP (グローバルマネジメントプログラム) 修了者数**6	名		17	24	0	19
サステナビリティ 経営	英語学習プログラム参加者数	名	2,442	3,613	3,614	3,389	2,759
環境	教育・研修費用	百万円	239	285	342	316	291
	海外トレーニー研修参加者数 (過去累計)	名	35	40	40	40	40
	海外大学への技術者派遣 (過去累計)	名	49	49	49	50	50
社会	結社の自由	%	75.1	72.3	83	61.4	62.9
ガバナンス	従業員エンゲージメント**8	%					80
	高エンゲージメント比率						66
社会的評価・ インデックスへの 組み入れ	コメント率						43
	エンゲージメント指数						72
リコール中の 加湿器回収に 関するご報告	職務満足度 (TDK 株式会社)	%	92.7	91.7	93.1	86.6	87.8
	従業員の職務満足度**9		93.4	93.6	93.1	93.4	92.8
検索 / 対照表	災害発生日数	件	351	237	286	338	227
	不休業災害		129	72	79	110	84
	休業災害**10		222	165	207	228	143
	日本		21	20	12	17	28
	中国		91	60	89	119	48
	アジア		58	20	35	32	29
	アメリカ		50	40	58	48	30

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

	ヨーロッパ	件	131	97	92	122	92
安全衛生	重篤災害発生件数 ^{*11}		0	0	0	1	0
	千人事故率 ^{*12}		3.11	2.01	2.45	2.66	2.24
	強度率(日本) ^{*13}		0.004	0.017	0.001	0.005	0.002
	休業災害度数率					0.73	0.58
	休業災害度数率(日本)		0.17	0.40	0.04	0.25	0.43

- ※ 一部のデータを正しく修正しています。
- ※1 非常勤嘱託、パートタイマー、派遣社員、委託加工先(製造分)を対象としています。
- ※2 翌年度4月入社を対象としています。
- ※3 正社員のみ(定年退職は除く)算出しています。
- ※4 配偶者が出産した男性従業員数に対する育児休業等を取得した男性従業員数の割合
- ※5 グローバル人材開発統括部主管のものを対象としています。
- ※6 2019年度よりプログラムを開始しました。
- ※7 従業員の組合への加入状況を把握するのが困難である一部の国、地域は集計対象外となっています。
- ※8 詳細は、2023年3月期統合報告書36～37ページをご確認ください。
- ※9 職務満足度調査において、現在の職務への満足度を3段階で評価し、2-3段階目の選択肢を選んだ従業員の割合を算出しています。
- ※10 1日以上 の休業を対象としています。
- ※11 重篤災害:長期療養を要する障がいまたは可能性のある負傷および疾病
- ※12 対象の従業員は、派遣等を含みます。
- ※13 のべ労働時間1,000時間あたりの労働損失日数の割合

サステナビリティ | ガバナンス

コーポレート・ガバナンス

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス**
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

基本方針	経営・執行体制
監査体制	役員報酬
取締役・監査役・執行役員	情報開示
内部統制に関する基本方針	東証コーポレート・ガバナンス報告書 (PDF:383KB)
取締役会の実効性評価	

サステナビリティ | ガバナンス

リスクマネジメント

目次

編集方針

トップ
コミットメントCPSO
メッセージこれでわかる!
TDKの
サステナビリティサステナビリティ
経営

環境

社会

ガバナンス

社会的評価・
インデックスへの
組み入れリコール中の
加湿器回収に
関するご報告

検索 / 対照表

[体制](#)[事業継続\(BC: Business Continuity\)](#)[リスクマネジメント教育](#)

体制

TDKは、持続的成長を目指す上で、組織目標の達成を阻害する要因(リスク)に対し、全社的に対策を推進し、適切に管理する全社リスクマネジメント(ERM)活動を実施するため、社長執行役員が指名した執行役員を委員長とするERM委員会を設置しています。同じく、経営会議直属でコンプライアンス委員会、危機管理委員会、情報セキュリティ委員会、情報開示委員会を設け、各課題の対策・対応を行っています。いずれも委員長は、執行役員が務めています。各委員会の活動状況については、監査役および内部監査部門の定期的な確認と監査により、当社グループにおける経営上重要なリスクの抽出・評価・見直し・効果的な対応策の策定等、リスク管理体制を強化しその実効性を高めるための助言が受けられる仕組みを確保するとともに、顧問弁護士等の専門家からも、当社グループを取り巻くリスクについて、随時助言を受けています。

ERM(Enterprise Risk Management)委員会

ERM委員会では、全社のリスクの分析評価を行い、対策が必要なリスクを特定するとともに、リスク対策を主導するリスクオーナー部門の割当等、全社リスクマネジメントを推進しています。個々のリスクに対しては、割り当てられたリスクオーナー部門がリスク対策の実施を主導し、その対策状況については、委員会にてモニタリングを行います。委員会によるリスク分析評価や重要なリスクの対策状況については、経営会議において審議し、取締役会に報告しています。企業の社会的責任に関するリスクや、気候変動に関するリスク、人材獲得と人材育成に関するリスクなど、サステナビリティに関連するリスクについても、リスクオーナー部門の割当および担当執行役員の任命を行っています。

リスクマネジメント活動の詳細および主要なリスクについては、こちらをご覧ください

[事業等のリスク](#)

コンプライアンス委員会

コンプライアンスに関するリスクマネジメントの統括と、取り組みの高度化を目的としたコンプライアンス委員会を通じて、法令違反等の未然防止や再発防止の強化を推進しています。コンプライアンス委員会は、全社的なコンプライアンス活動方針及び計画の承認、コンプライアンスに関して当社グループが重点的に取り組むリスクの選定、個別のリスクのリスクオーナー部門への割当、リスクオーナー部門に対する指示及びモニタリングを行っています。

危機管理委員会

企業の存続や発展を阻害するような重大な災害・事故・事件(自然災害・火災等事故・感染症等)の事前の対策の実施と、事後の損害の軽減や拡大防止を目的に危機管理委員会を設置、活動しています。有事の際には迅速に全社危機対策本部を立ち上げ、まずは従業員の安全確保に最優先で取り組みつつ、事業継続計画(BCP)に基づき、一刻も早い事業再開を実現してお客様への供給責任を果たしています。

目次

編集方針

トップ
コミットメントCPSO
メッセージこれでわかる!
TDKの
サステナビリティサステナビリティ
経営

環境

社会

ガバナンス

社会的評価・
インデックスへの
組み入れリコール中の
加湿器回収に
関するご報告

検索 / 対照表

情報セキュリティ委員会

顧客預り情報や個人情報等の重要情報を法令遵守のもと適正に管理し、サイバー攻撃に対する施策や内部からの情報漏えい対策を実施するとともに、当社グループにおけるセキュリティ状況を監視し、攻撃を未然に防ぐよう努めています。また、攻撃を受けた場合は迅速に状況を把握、復旧し、対策を講じています。

情報開示委員会

証券取引に関する諸法令及び当社が株式上場する証券取引所規則に基づき、網羅性・的確性・適時性・公平性をもって適切な情報開示が行われるよう、株主及び投資家の投資判断に係る重要な会社情報・開示書類を審議し精査しています。

事業継続 (BC: Business Continuity)

TDKは危機発生時の従業員の安全確保と二次災害の防止、そしてお客様へ供給責任を果たすための事業継続を目的とした危機管理体制を構築しています。

災害の種類や原因事象によらない事業継続計画 (BCP) を定め、極力、非常時に優先業務を中断させず、仮に中断した場合にもできる限り速やかに再開できるよう繰り返し演習・訓練を実施し、有事の際の実効性を高める活動を進めています。

リスクマネジメント教育

企業倫理や情報セキュリティ、輸出入管理、コンプライアンスなど個別の教育を実施し、リスクマネジメントに対する理解を向上しています。

サステナビリティ | ガバナンス

企業倫理・コンプライアンス

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス**
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

基本的な考え方	コンプライアンス
ヘルプライン	企業倫理意識の浸透
差別・ハラスメントの防止	

基本的な考え方

TDKグループは、経営トップ自らが先頭に立って、役員および従業員に対し、当社グループの「経営理念」、「企業倫理綱領」および「企業行動憲章」を周知徹底し、企業倫理やコンプライアンスに関する意識の浸透・徹底を図っています。また、当社グループは、企業倫理綱領の遵守状況を定期的にモニタするとともに、企業倫理一般に関する集合教育、eラーニング等を、毎年、日本だけでなく、海外拠点においても実施しています。

さらに、当社グループは、倫理部会を軸に企業倫理管理体制をグローバルに構築し、企業倫理遵守状況に関して定期的に報告を受けるとともに、当該状況については、倫理部会を通じて定期的に取締役会に報告しています。

企業倫理綱領

「TDK企業倫理綱領」において、TDKグループおよびそれを構成する役員、従業員が、法令はもとより社会的規範などを遵守するための具体的な行動指針を定めています。

この中で、TDKグループが共通して実践すべき事項を「TDK企業行動憲章」として制定しています。

関連情報

[TDK企業倫理綱領](#)

コンプライアンス

TDKは、取締役会の決議により、執行役員の中からGlobal Chief Compliance Officer(グローバル・チーフ・コンプライアンス・オフィサー)を任命し、コンプライアンス委員会を運営しています。さらに、Global Chief Compliance Officerは、日本のほか世界4地域のRegional Chief Compliance Officer(リージョナル・チーフ・コンプライアンス・オフィサー)を任命しています。これらにより、当社グループは、全従業員が世界共通の規範に基づきコンプライアンスに則した行動をするための体制を一層強化するとともに、誠実で公正、透明な企業風土を醸成し、顧客や社会の信頼、期待に応えます。

また、コンプライアンス委員会は個別のリスクを所管部門に割り当て、所管部門は、リスクに関する諸問題について解決策や未然防止策を講じております。

なお、当社グループは、日本においては、人事評価にコンプライアンス・行動規範に関する項目を設けることにより、従業員が、定期的に自己の行動を振り返る機会を設けるとともに、コンプライアンスに則した行動をとることの動機づけを行っています。

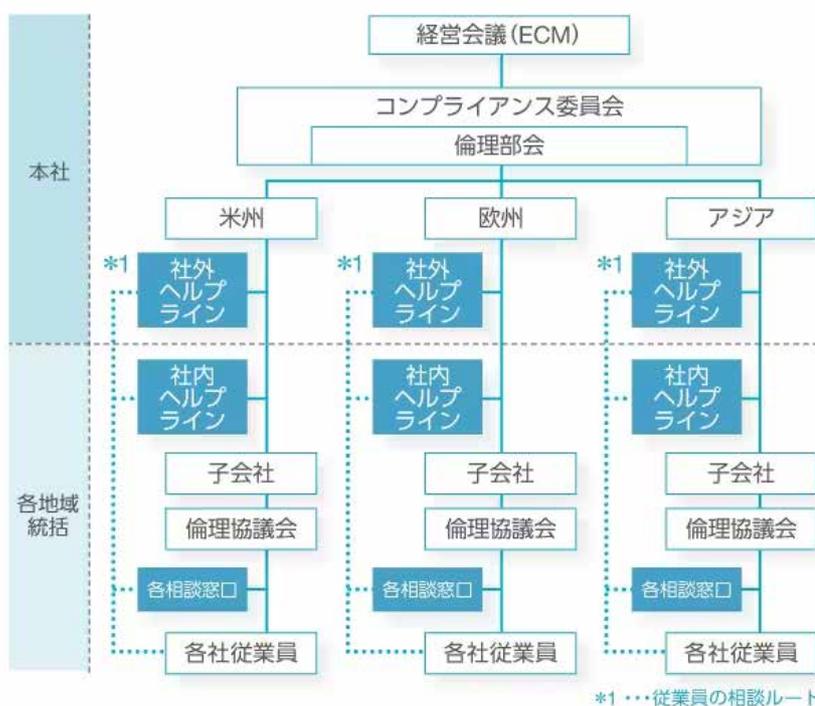
ヘルプライン

TDKグループでは、従業員が企業倫理に関する問題について業務ライン以外の方法により匿名で内部通報・相談できる仕組みを構築しています。各倫理協議会には相談窓口を、また地区単位で社内ヘルプラインを設け、当社グループ内の企業倫理などにかかる情報や意見を直接収集しています。さらに、当社グループ内の通報ルートに加えて、外部法律事務所などの第三者を通じた通報ルートを米州、欧州ならびにアジアの各地区に設置しています。これにより、通報者が複数の通報ルートのうち、適宜最適と考えるルートを選択することができる仕組みとなっています。

ヘルプラインは受け付けた通報について調査を行い、企業倫理綱領違反が確認された場合、当事者は就業規則その他内部規則に従った処分の対象になることがあります。

なお、TDK企業倫理綱領実施細則にて、相談者が不利益を被ることが一切ないよう、相談者を保護することを定めています。

内部通報制度体制図



2023年4月1日現在

ヘルプラインへの相談・通報件数(グローバル)

2018年度	115件
2019年度	46件
2020年度	54件
2021年度	79件
2022年度	141件

集計範囲は、子会社倫理協議会を含みます。

目次

編集方針

トップ
コミットメントCPSO
メッセージこれでわかる!
TDKの
サステナビリティサステナビリティ
経営

環境

社会

ガバナンス

社会的評価・
インデックスへの
組み入れリコール中の
加湿器回収に
関するご報告

検索 / 対照表

企業倫理意識の浸透

TDKでは、「TDK企業倫理ハンドブック」をTDKグループ従業員に配付し携帯を促し、一人ひとりの企業活動の指針として活用するとともに、ポスターの掲示などを通じ、内容の周知徹底に努めています。

また、従業員の企業倫理への理解を深めるため、全従業員対象のe-ラーニングを実施するとともに、経営層に対しては、担当役員による講話や外部講師による講演を実施してまいります。

差別・ハラスメントの防止

「TDK企業倫理綱領」において、人種、信条、性別などに関するあらゆる差別的取扱い、体罰、精神的・身体的な暴力、暴言、セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、モラルハラスメントなどの人格を無視する行動を行わないこと、またそのような不当な取扱いや差別を防止するための措置を講じることを明示しています。

これをうけて、TDKグループ各社では、TDK企業倫理綱領ならびに各国および地域の法令に基づき、差別やハラスメントを定義し、差別、ハラスメント行為を厳しく禁じる方針と手続きを定めています。この方針と手続きに従い、従業員が懸念事項を適切な担当者に相談できる環境を提供するよう努め、従業員が職場における差別やハラスメント行為について苦情を申し立てるための仕組みや報告体制を整備しています。具体的には、TDKグループの従業員が業務ラインから独立した社内外のヘルプラインを通じて相談・報告できるグローバルな内部通報の仕組みを構築しています。受け付けた通報について、倫理部会、倫理協議会または関係部門等が調査を実施した結果、TDK企業倫理綱領に対する違反が確認された場合には、通報者が不当な扱いや不利益を受けないよう保護しつつ、違反者に対する懲戒処分を行います。

また、適切な行動を促し、差別、ハラスメント行為、報復の発生を防止するため、従業員や管理職を対象とした研修を行っています。

なお、倫理部会は、TDK企業倫理綱領の実施、運用状況に関し、四半期毎にTDKの取締役会に報告します。

TDK株式会社では、ハラスメントの定義や禁止行為を「ハラスメントの防止に関する細則」に定めるとともに、職場ごとにハラスメント相談窓口を設置し、従業員が女性相談員を含む窓口担当者にハラスメントに関する相談ができる環境を整備しています。また、管理職に向けて、ハラスメントを防ぎながらコミュニケーションを深める方法を学ぶことを目的とした「ハラスメント防止コミュニケーション研修」を実施し、ハラスメントの未然防止に努めています。

関連情報

[TDK企業倫理綱領](#)
[人権の尊重](#)

サステナブル調達

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

基本的な考え方	体制
目標と実績	取り組み

基本的な考え方

TDKグループは、グローバルに生産拠点を置く企業として、以下の購買理念のもと、この理念を具現化するためにTDK購買方針を定め、購買活動を行っています。

『グローバル・パートナーシップ購買』(購買理念)

TDKは、日本およびアジア・アメリカ・ヨーロッパに生産拠点を置いてグローバルに生産しています。そしてこれを支える調達活動は、電子業界のスピード競争とそれに伴うスピーディな製品開発、それに追従できるグローバルな購買体制の確保が重要です。生産拠点での現地調達はもちろんのこと、ITネットワークを活用したユビキタス社会における資材調達活動は、時間と空間を越えて、お取引先様とより一層緊密なコラボレーションが不可欠となっています。

また、関連法令、社会規範を遵守し、地球環境の保全など企業の社会的責任を果たす取り組みについても、お取引先様と当社のパートナーシップによって積極的に推進していきます。

購買方針

遵法

購買活動にあたっては、関連法規を遵守いたします。また、法律個々の条項ばかりでなく、その精神をも尊重するように努めます。

人間的尊厳の重視

サプライチェーンのいかなる場においても、構成員(Workers)の人間的尊厳が重視されるよう努めます。

CSR

TDKグループの資材機能は、自らCSR活動を継続的に行うとともに、お取引先様にもCSRの重要性を理解していただき、その認知度を高めてもらうための働きかけ(CSRチェックシートによる評価など)を継続的に実施します。また、社会課題の共通認識の一環として、TDKサプライヤー行動規範を制定しております。

グリーン調達

地球との共生を旨とし、全社環境保全活動の一環として、環境に配慮した物品の調達(グリーン調達)を推進します。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

公平・公正な取引

企業規模、国籍を問わず公平にお取引を行います。品質、価格、納期、安定供給など総合的に公正な評価をしてお取引を行います。

お取引先様からのお中元、お歳暮、贈答品等の贈与は受けません。

原則として、お取引先様からの供給、接待は受けません。

パートナーシップ

お取引先様とは、共通な目標のもとに良好な相互補完関係を築くことを目指します。

VA[※]活動

VA活動によるコストの改善、新材料、新技術の提供ができるお取引先様を重視します。

IT活用

IT、ネットワークを活用したお取引先様との情報交換は、業務のスピードアップ、連携強化に不可欠と考えます。

品質・納期・安定供給

お取引先様とのパートナーシップにより、常に品質・納期・安定供給に配慮する活動を行います。

※VA(Value Analysis)は、1947年にアメリカ(GE社)で開発された、求める機能を最少の資源(コスト)で達成させるため、製品の価値に関連する諸要因を体系的に分析し、価値向上のために機能本位による改善を行う考え方や手法。現在、VE(Value Engineering)とVAは同義として用いられる。

また、TDKグループはTDK購買方針に基づき、TDKサプライヤー行動規範を制定しています。これは、サプライヤーの皆様が事業を行うにあたり、「労働」「安全衛生」「環境」「倫理」「マネジメントシステム」「情報セキュリティ」の項目において遵守を期待することを定めたものです。さらに、CSRに関するリスクを認識し、サプライチェーン上の人権や安全に配慮した取り組みを行うことや環境負荷を低減することを求めています。

関連情報

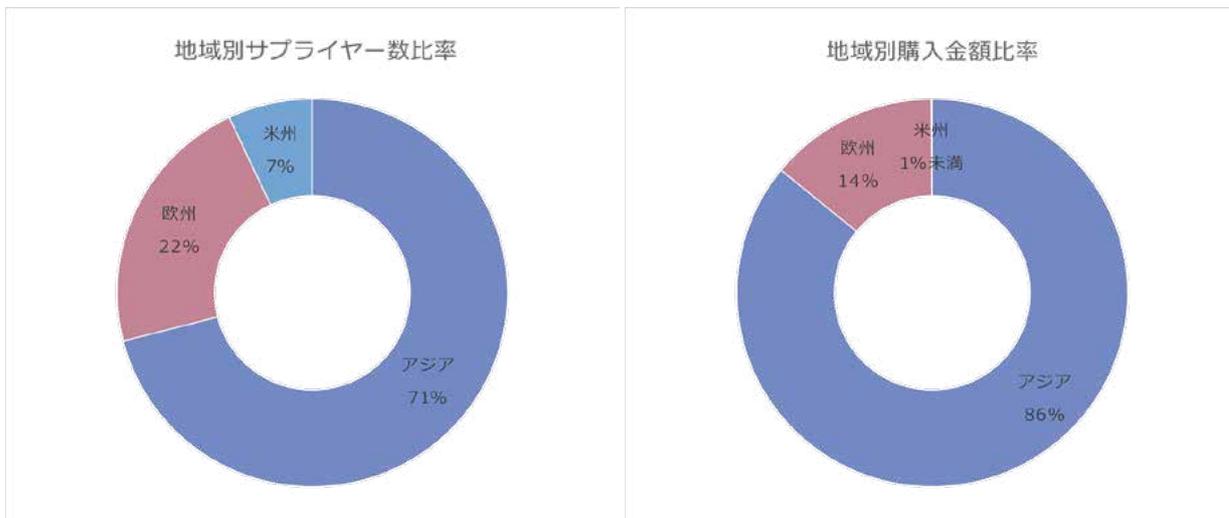
[資材調達\(購買理念・購買方針・TDKサプライヤー行動規範・グリーン調達活動\)](#)

[ビジネスパートナーとのお付き合いに関する考え方](#)

TDKグループのサプライチェーン

TDKグループは、グローバルに約4,300社のサプライヤーとの取引があり、年間調達金額は約6,800億円です。(2023年3月現在)

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表



重要なサプライヤーの特定

TDKグループでは、次の要件を考慮した上で事業ごとに重要なサプライヤーを特定しています。

- 購入金額が大きいサプライヤー
- 代替が困難な材料・部品を供給するサプライヤー
- 事業において重要な材料・部品を供給するサプライヤー
など

2023年3月現在、グループ全体で約950社を重要サプライヤーと特定しています。なお、重要サプライヤーの見直しは毎年実施しています。

RBAへの加盟

2020年2月、TDKはグローバルサプライチェーンにおいてCSRを推進することを目的とした世界最大の企業連盟 Responsible Business Alliance (以下RBA)^{*}に加盟しました。これによってTDKグループは、RBAのビジョンとミッションを全面的に支持し、RBAの行動基準(労働、安全衛生、環境、倫理、マネジメントシステム)にのっとり、TDKグループと一次サプライヤーにおける労働者の権利、健康と安全、環境への取り組みを継続的に改善していくことを社会にコミットしています。

今後もRBAの基準に準拠して、サプライヤー(一次生産材)、委託加工会社、人材派遣・幹旋会社との取引内容や事業内容に応じて、自己評価、監査の2段階で継続的改善を図っていきます。

※ RBA 電子、小売、自動車、玩具を扱う約200以上もの企業が加盟しているグローバルな企業連盟。サプライチェーンにおいて労働安全衛生を改善すること、人権を守ること、環境に配慮すること、倫理的責任を果たすことを行動規範に定め、加盟企業とそのサプライヤーに対して実践を求めている。

- ビジョン:
労働者、環境、およびビジネスのための持続可能な価値を生み出すグローバルなエレクトロニクス業界
- ミッション:
RBAメンバー、サプライヤー、および利害関係者が協力して、先進的な基準や手法で労働環境と環境を改善します

関連情報

[RBA\(英語／外部サイトへ移動します\)](#)

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

体制

本社資材機能、ビジネスグループ、本社人事教育機能とCSR機能が協働して活動を推進しています。

目標と実績

2022年度目標	実績
CSR適合サプライヤー比率99.5%	100%
委託加工先のCSRセルフチェック実施率100%(期間:2022-2023年度)	86%
アジアの高リスク国の製造拠点で使用している派遣会社におけるCSRセルフチェック実施率100%	100%

評価と今後の取り組み

CSR サプライヤー適合比率の2022年度実績は、新しく加わったグループ会社も含め、100%と目標をクリアすることができました。

また、2022年度は、サプライヤー15社へCSR実地監査を行いました。2023年は22社のCSR実地監査を計画しています。

委託加工会社については、調査表の更新に合わせ、2022年度から2023年度の2年間で100%のセルフチェックの実施を目指しています。

2023年度目標
CSR適合サプライヤー比率100%
委託加工先のCSRセルフチェック実施率100%(期間:2022-2023年度)
アジアの高リスク国の製造拠点で使用している派遣会社におけるCSRセルフチェック実施率100%

取り組み

取引先診断

TDKグループでは、健全な取引を行うことを目的に、お取引先様の新規登録時および定期的に取り先診断を実施し、取引開始および取引継続の可否を判断しています。方法については、各社で適切な手法をとっており、取引先診断の結果、問題がなかった会社のみと取引を開始しています。

TDKでは、「品質管理」「化学物質[※]管理」「環境管理」「人権等法令・社会的規範の遵守(CSR)」の categories を主たる対象として診断を実施しています。診断の結果明らかになった問題点はお取引先様へ提示し、改善を求めています。

[※]化学物質については「TDKグリーン調達基準書」で定めた要求事項に基づいています。

関連情報

[TDKグリーン調達基準書](#)

サプライヤー等へのCSRセルフチェックの取り組み

	実施先	頻度	内容
CSR セルフチェック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資材サプライヤー(事務用品などの非生産材購入事業者を除く) ・ 委託加工先 	お取引開始時とその後、原則2年に1回定期的実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ RBAのチェック項目を元に作成。 ・ 回答後、必要な項目については改善を要請。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材派遣・斡旋会社(アジアの高リスク国) 	毎年	<ul style="list-style-type: none"> ・ RBAのチェック項目を元に作成(「強制労働、不当な搾取、児童労働の防止」「贈収賄や倫理違反の防止」「情報漏洩防止やリスク回避」等に特化した内容)。 ・ 回答後、必要な項目については改善を要請。

TDKグループでは、取引基本契約書に法令遵守、環境保全、強制労働の禁止、人権尊重、製品安全などのCSRに関する条項を盛り込むとともに、CSRの取り組み状況を確認するためのCSRセルフチェックを定期的実施しています。サプライヤー等に対するCSRセルフチェックは、RBAで求められている項目をベースに、当社が特に重要だと考える「人権・労働」「環境」「安全・衛生」「公正取引・倫理」「情報セキュリティ」を中心に全60項目から構成されており、各項目における管理体制や取り組み状況等について報告を要請しています。

2022年度は、約4,300社の資材サプライヤー(事務用品などの非生産材購入事業者を除く)がCSR適合サプライヤーであることを確認しています。

委託加工会社については、2022年度から2023年度の2年間で100%の調査の実施を目標とし、2022年度は対象の委託加工先252社のうち、86.0%がCSR適合サプライヤーであることを確認しました。

人材派遣・斡旋会社については、人権や採用に関するリスクが高いと考えられているアジアの高リスク国において、派遣会社における不適切な対応が課題であると認識しています。そのためアジアの高リスク国の製造拠点で利用している派遣会社を対象に、CSRセルフチェックを実施しています。人権・倫理に関わるマネジメントシステムの確認を目的に、「強制労働、不当な搾取、児童労働の防止」「贈収賄や倫理違反の防止」「情報漏洩防止やリスク回避」等に特化した設問となっており、2022年度は、対象となる全61社(100%)の派遣会社に対して実施しました。なお、派遣会社調査で一定レベルに結果が到達しなかった会社に対しては、派遣会社を利用して各拠点にて改善活動を行っています。

サプライヤー・パートナーシップ・システム

TDKではお取引先様に対して、「サプライヤー・パートナーシップ・システム」を使って、CSRチェックシートへの回答をお願いしています。サプライヤー・パートナーシップ・システムは、これまで紙や磁気記録媒体で行っていた企業情報の管理や購買仕様書の配布、締結文書の共有化などをWEB上で一元管理する仕組みで、両社にとって、業務のスピードアップと効率化につながっています。お取引先様に課題を認識していただき、改善へのモチベーションを高めてもらうために、質問に答えると、その場で画面上に結果が表示される仕組みになっており、回答結果に問題がある場合は、個別に改善を依頼しています。



- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

サプライヤーへの監査

TDKでは、重要サプライヤーに対して、RBAの監査基準に基づき、CSRに特化した実地監査を行っています。法令違反が発見された場合は、「是正措置」を要求し、法令違反に至らない改善の機会の場合は、「改善要請」を行っています。2022年は、国内外15社に対して、当該の監査を実施した結果、法令違反は発見されませんでした。しかしながら、安全衛生等で、改善点の機会が発見されたサプライヤーには、改善要請を行い、適宜、フォローを実施しています。

委託加工先への監査

TDKグループでは、中国において当社への依存度の高い委託加工先に対して、RBAの監査基準に基づいた定期的なCSR監査を実施しています。

2022年度は、中国エリアで2社および日本エリアで3社の監査を実施しました。今後は、監査範囲を拡大していく予定です。

グリーン調達

TDKグループでは、環境負荷低減に貢献し社会的責任を果たせる購入品を優先的に調達することを目的としたグリーン調達を進めています。方法については各社で適切な手法をとっています。

TDKでは、1999年4月にTDKグリーン調達基準書を制定しました。グリーン調達基準書は、国内外の各種法規制や社会的要求の変化等に合わせて適時改訂し、当社のホームページに公開しています。2020年4月には「グリーン調達基準書 Ver.9.1」を発行し、すべてのお取引先様に配布しました。「グリーン調達基準書 Ver.9.1」では、法規制対応に伴う見直しとともに、「環境ビジョン2035」を追加し、サプライチェーン一体となって環境対応にご協力いただく事をお取引先様に求めています。

当社の購入部材マスターは、TDKグリーン調達の基準に適合したデータとリンクさせ、禁止物質や、含有量の管理が必要な化学物質の含有量をしっかりと管理し、必要に応じて情報の開示や提供を行っています。

サプライチェーンにおけるBCP(事業継続計画) / BCM(事業継続マネジメント)の強化

TDKグループでは、大規模災害など不測の事態において、お客様が必要とする製品を安定して供給するためには、お取引先様とともに、サプライチェーンの一員として社会的責任を共有し、要請に応じていく責務があると認識しており、各社で状況にあわせた適切な取り組みをしています。

TDKでは、「安定供給の確保」が重要な責務との認識のもと、

1. お取引先様のBCP/BCM調査
2. 有事に活用する情報の事前収集と整理
3. BCP確認システムを活用した迅速な初動対応

を3本柱として取り組んでいます。

特に、お取引先様のBCP/BCM調査については、業界として協働した取り組みも始まっており、JEITAの「サプライチェーン事業継続計画調査票」を活用して、BCP/BCM調査を実施しています。さらに、お取引先様に対して、BCP/BCMセミナー等を実施して、サプライチェーンのBCP/BCM強化に取り組んでいます。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

コンプライアンスの強化 (TDK 株式会社)

お取引先様からの接待・贈答への対応については、全社方針を明確にして社内に周知するほか、お取引先様のご理解への協力をお願いしました。

また、反社会的勢力の排除では、新規取引および再取引を開始するお取引先様に対しては、事前に確認調査を実施しています。

サプライヤーへの教育および支援 (TDK 株式会社)

CSRに関するいくつかのテーマに関しては、お取引先様での取り組みを強化していただくことを目的にセミナーの実施や個別支援を行っています。近年ではBCP/BCMセミナーの実施、情報セキュリティ強化のための個別支援(説明会の実施や改善支援など)を行いました。この二つの取り組みは、日本政府、産業界が支援する下記「パートナーシップ構築宣言」公式ポータルサイトにおいて、ベストプラクティスとして、公開されております。また、サプライヤーにおけるCO₂排出削減等のための環境取組調査を実施し、その結果を踏まえたサプライヤー表彰やフィードバックといった情報提供も行っています。

サステナブル調達教育

調達部門向けのeラーニングでは、「サステナビリティとCSR」の講座を設け、調達関係者にサステナブル調達の重要性の理解を促進しています。

講座:「サステナビリティとCSR」

1. サステナビリティ(企業の持続可能性)とは
サステナビリティと調達・購買の役割
2. CSR(企業の社会的責任)とは
CSRの位置づけと調達・購買の役割
購買倫理の確立 ～調達・購買におけるCSRの基盤～
3. 調達・購買におけるリスクマネジメント
調達リスク発生の起因
リスク想定 ～発生頻度・影響内容・影響規模の想定～
平時の備え ～未然防止と有事対応準備～

パートナーシップ構築宣言

TDKは、取引先との共存共栄の関係を築くために、2021年5月に「パートナーシップ構築宣言」を行いました。「パートナーシップ構築宣言」は、経団連会長、日商会頭、連合会長及び関係大臣(内閣府、経産省、厚労省、農水省、国交省)をメンバーとする「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」において創設された仕組みで、サプライチェーンの取引先や価値創造を図る事業者との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築することを、企業の代表者の名前で宣言するものです。サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を越えた新たな連携や、親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行の遵守を宣言し、サプライチェーン全体での付加価値向上に努めています。



サステナビリティ | ガバナンス | サステナブル調達

ビジネスパートナーとのお付き合いに関する考え方

TDKグループでは、顧客・調達先等のビジネスパートナーとの健全で良好な関係の構築にあたり、従来からの企業間の儀礼・慣行の見直し(簡素化、合理化)を推進し、行動してまいります。

- 祝賀会、披露宴、通夜等の個人に係る慶事・弔事への参加・参列の自粛
- 人事昇格、昇進時の金品等の贈答、受領の自粛
- 中元、歳暮などの贈答、受領の自粛

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス**
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

責任ある鉱物調達

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス**
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

[基本的な考え方](#)
[体制](#)
[目標と実績](#)
[取り組み](#)

基本的な考え方

コンゴ民主共和国(Democratic Republic of the Congo:以下、DRC)および隣接国産の鉱物が、武装勢力の資金源となることへの懸念から、2010年7月に成立した米国金融規制改革法に紛争鉱物条項が盛り込まれました。最終規則が2012年8月に採択されたことを踏まえ、TDKは、2013年4月に、TDKグループの「紛争鉱物」に関するポリシーを制定し、OECD デュー・ディリジェンス・ガイダンスに沿った取り組みを行ってきました。近年、紛争のみならず、深刻な人権侵害または環境汚染への加担を抑制するため、紛争地域および高リスク地域原産の鉱物など責任ある鉱物調達の対象が広がっていることを受け、2019年1月には、TDKグループの「責任ある鉱物調達」に関するポリシーに改定。紛争だけでなく、OECD Annex II リスクを含む人権侵害や環境破壊などのリスクや不正に関わるタンタル、錫、タングステン、金、コバルト、マイカなどの鉱物問題に対し、サプライチェーン全体で責任ある鉱物調達を推進することを定めました。

関連情報

[TDKグループの「責任ある鉱物調達」に関するポリシー](#)

体制

お取引先様への調査を本社資材機能、お客様への回答を本社品質保証機能がそれぞれ主管し、グループ各社にて調査回答体制を構築して対応しています。

目標と実績

2022年度目標	実績
3TG(タンタル、錫、タングステン、金)に関してRMAP [®] 適合製錬所からの調達が確認されたサプライヤー比率92%以上	86.5%

※ Responsible Minerals Assurance Process の略称で、製錬所/精製所の管理システムと調達慣行を独立した第三者機関の評価を使用して、責任ある鉱物調達への適合性を検証するプログラム。

評価と今後の取り組み

2022年度も、お取引先様に対して、RMAP 適合製錬所からの調達を引き続き要請し、確認できていないお取引先様に対しては、最大限の努力をお願いしました。しかしながら、ロシアによるウクライナ侵攻等による社会情勢の著しい変化のため、残念ながらRMAP 適合製錬所からの調達が確認されたサプライヤー比率は86.5%と目標未達成となりました。2023年度も、引き続きグループ共通のKPIとして「3TGに関してRMAP 適合製錬所からの調達が確認されたサプライヤー比率92%以上」と設定し、グループ一体となった取り組み、具体的には、お取引先様に対する要請を継続するとともに、お客様からの問い合わせに対しては、適宜回答していくことを、より積極的に進めていきます。また、拡大する責任ある鉱物調達の課題解決には、業界団体との連携が不可欠であるため、引き続き参画していきます。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

2023年度目標
3 TG に関して RMAP 適合製錬所からの調達を確認されたサプライヤー比率92%以上

取り組み

■リスク特定のプロセス

ーグループ各社における、調査の実施と Conflict-free 化推進

リスク特定措置では、OECD デュー・ディリジェンス・ガイダンスに沿った取り組みを行ってきました。調査では、回答の合理性を担保するため、責任ある鉱物調達イニシアチブ[※] (Responsible Minerals Initiative: RMI) が発行している紛争鉱物報告テンプレート (Conflict Minerals Reporting Template: CMRT) を使用し、3 TG 含有の有無、製錬所の特定の確認を行います。CMRT 回収後、RMI の Smelters & Refiners Lists と照合し、生産材に含まれる紛争鉱物が、武装勢力の資金源となるリスクや児童労働を含む人権侵害となるリスクの評価を行います。

2022年度はグループ各社にて調査を実施し、Conflict-free が確認されたサプライヤー比率は86.5%となり、残念ながら目標の92%以上を達成できませんでした。

※世界で400以上の企業や団体が加盟する、責任ある鉱物調達に関する取り組みを主導している団体。

関連情報

[Smelters & Refiners Lists \(英語 / 外部サイトへ移動します\)](#)

ーコバルト / マイカ調査

2021年12月よりRMIが発行した拡張鉱物報告テンプレート (Extended Minerals Reporting Template: EMRT) を使用し、コバルトの製錬所及びマイカのプロセッサーの特定を進めています。また、RMAP 適合精錬所からの調達を要請しています。

■是正プロセス

ー特定されたリスクへの対処

調査依頼時には、RMI の適合精錬所 (Conformant Smelter & Refiner Lists にある製錬所) を採用いただくよう、お取引先様に自社の方針を表明しています。調査の過程で、リスクが発見された場合は、お取引先様に当該製錬業者をサプライチェーンから外していただくよう要請します。

■業界団体と連携した課題解決の推進

責任ある鉱物調達の問題解決には、サプライチェーン全体で取り組む必要があります。TDK は、2020年2月よりRMI に参加するとともに、JEITA (電子情報技術産業協会) 「責任ある鉱物調達検討会」に発足当初から参加しています。2022年度は以下の取り組みに参画しました。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

- 「啓発・広報チーム」に参画し、二次サプライヤー以降の方への責任ある鉱物調達の問題への認識と調査方法の理解を目的に、責任ある鉱物調達調査説明会をオンラインで実施し、運営に協力。また、同説明会後の個別相談会における相談員として参画。
- 自動車企業との共同ワーキンググループ(コンフリクトフリー・ソーシング・ワーキンググループ)に参画し、調査マニュアルおよびツールへのフィードバック実施。
- RMIのEMRT改定検討に関する意見募集への提案実施。
- 「データ転送標準化対応チーム」のリーダーとして、マイカへの対象鉱物拡大を踏まえた関連業者ヒアリング、責任ある鉱物調達のデータ交換規格、「IPC-1755」改定動向のフォロー実施。

関連情報

JEITA 責任ある鉱物調達検討会(外部サイトへ移動します)	RBAおよびRMIへの加盟
RBA(英語/外部サイトへ移動します)	RMI(英語/外部サイトへ移動します)

責任ある鉱物調達ポリシー

目次

編集方針

本ポリシーは、TDKグループのすべての組織に適用し、鉱物調達に関して責任あるサプライチェーンを確立するというTDKグループの目的に資するものです。

 トップ
コミットメント

TDKグループは、TDK企業倫理綱領にある価値観を反映し、紛争、深刻な人権侵害または環境汚染への加担を抑制するため、紛争地域及び高リスク地域原産の鉱物に関し、持続可能かつ責任ある鉱物調達を目指します。

 CPSO
メッセージ

TDKグループは責任あるサプライチェーンオペレーションのためにこのポリシーを採択します。

 これでわかる！
TDKの
サステナビリティ

- TDKグループは、紛争地域および高リスク地域からの鉱物に関し、責任あるサプライチェーンを目指し、デューデリジェンスが必要であることを認識しており、持続可能かつ責任ある鉱物だけがサプライチェーンで使われることとなるよう商業上合理的な範囲で最大限の努力をします。

 サステナビリティ
経営

- この目的を達成するために、TDKグループは鉱物調達のデューデリジェンスプログラムを導入します。TDKグループは、サプライヤーが鉱物を含むすべての情報を責任をもって明らかにすることを期待します。

環境

- TDKグループは、サプライヤーが有する紛争地域および高リスク地域からの鉱物に関するサプライチェーンについて合理的なデューデリジェンスを実施するために、サプライヤーに対してTDKグループの要請を伝達します。TDKグループは、サプライヤーとの商業上の契約書、書面の合意書、あるいはサプライヤーの評価書の中において、適用されかつモニターも可能な状態で、サプライチェーンに関するポリシーとデューデリジェンスのプロセスを盛り込みます。必要とみなされる場合には、サプライヤーの予告なしの拠点チェックの行使権限や書類へのアクセス権なども含みます。

社会

- TDKグループは、サプライヤーがTDKグループへ販売する製品や原料の中に紛争、深刻な人権侵害または環境汚染への加担が行われている鉱物が含まれないように、紛争地域および高リスク地域からの鉱物の原産を追跡するため、サプライチェーンの合理的な管理を行うことができるよう、サプライヤーと協働します。更に、TDKグループはサプライヤーが、TDKグループのサプライチェーンポリシーやデューデリジェンスのプロセスに従わない場合、まずは是正行動計画を通じて当該サプライヤーと共にこれらの遵守の取り組みを行います。TDKグループは、グループの基準を満たすための取り組みを怠るサプライヤーとは関わりません。

ガバナンス

- 鉱物の完全なトレーサビリティには時間と業界全体の努力、サプライチェーンの全ての段階における協力が必要とされます。これは、主として、金属の製造・販売方法が複雑であることや、多数の原産の異なる鉱石が混合されることに大きな要因があります(地理的・政治的な作用がより複雑化させています)。したがって、このような製品を追跡調査するには十分な注意が必要です。これらの要因により、社会的に責任ある採掘を実現するには、産業界規模での協力が最重要となります。TDKグループは責任ある鉱物調達を実施する利用可能な国際的枠組みに従うことを自らのサプライヤーに対して強く奨励していきます。

 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ

- TDKグループは紛争地域および高リスク地域からの鉱物における責任あるサプライチェーンの実施を目的として掲げます。このように、TDKグループは、責任あるサプライヤーを支援することとなるシステムやプロセスを構築するために懸命に取り組んでまいります。

 リコール中の
加湿器回収に
関するご報告

検索 / 対照表

2013年4月1日 制定
2019年1月18日 改定(2版)

サステナビリティ | ガバナンス | サプライチェーンマネジメント

製造拠点における社会・環境配慮

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会

基本的な考え方	体制
目標と実績	取り組み

基本的な考え方

TDKはサプライヤーとして、自社グループ製造拠点での社会・環境配慮に努め、社会的責任を果たすことが、事業を継続するうえでも重要と認識しています。自己評価、監査、トレーニングと対話の3段階でのフレームワークで、課題把握と継続的改善に努めています。



製造拠点におけるCSRマネジメントフレームワーク

体制

本社CSR機能が主管し、各製造拠点に責任者を設置して推進しています。

目標と実績

2022年度目標	実績
製造拠点におけるCSRセルフチェック100%実施 (TDKグループ製造拠点)	100%実施
製造拠点における労働/企業倫理リスクアセスメント100%実施 (TDKグループ製造拠点)	100%実施
全製造拠点において3年間に1回以上、RBA公認監査 (VAP, AMA, CMA)、顧客CSR監査、RBA VAP Operations Manualに基づく簡易CSRアセスメントのいずれかを実施	2021-2022年度の2年間に63%の拠点で実施
国内、海外のCSR関係者への教育実施	国内、アセアンでCSR内部監査員養成研修、中国ではRBA行動規範、監査基準の研修を実施
対象製造拠点における労働・企業倫理の内部監査の実施100%	対象拠点100%実施

- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営

評価と今後の取組

2021年度より、3年間に1回以上、すべての製造拠点でRBA公認監査、お客様によるCSR監査、もしくはRBA監査基準に基づいた簡易CSRアセスメントのいずれかを実施する取り組みを開始しました。2021～2022年度の2年間に63%の拠点が監査を受審し、2022年度までの目標を達成しました。

2023年度は、計画達成に向けてさらに各活動を活性化させるとともに、RBAの動向に注視しながら、RBA基準に則ったCSRマネジメントの強化をグローバルに推進します。

2023年度目標
製造拠点におけるCSRセルフチェック100%実施 (TDKグループ製造拠点)
製造拠点における労働/企業倫理リスクアセスメント100%実施 (TDKグループ製造拠点)
全製造拠点において3年間に1回以上、RBA公認監査 (VAP, AMA, CMA)、顧客CSR監査、RBA VAP Operations Manualに基づく簡易CSRアセスメントのいずれかを実施
国内、海外のCSR関係者への教育実施
対象製造拠点における労働・企業倫理の内部監査の実施100%

取り組み

自己評価

	頻度	実施拠点	内容
CSRセルフチェック	毎年	TDKグループ全製造拠点	RBAのチェック項目 (人権、安全衛生、環境、倫理) に関する質問票に拠点担当者が回答。結果をフィードバックし、改善策を各拠点で実行。
労働・企業倫理リスクアセスメント	毎年	TDKグループ全製造拠点	社会動向等を踏まえチェック項目を毎年更新。拠点担当者が質問票に回答。分析結果をもとに改善計画を立案・実行。

CSRセルフチェック

TDKでは、RBAが提供する自己評価質問票 (SAQ: Self-Assessment Questionnaire) を用いて、労働 (人権)・安全衛生・環境・倫理・マネジメントシステムに関する自己診断を毎年すべての製造拠点で行っています。これは、製造拠点でのCSR活動の現状把握、潜在課題の抽出とその対応、およびお客様からのCSR調査要請への迅速な対応を目的としています。

拠点担当者が質問票に回答した後は、サステナビリティ推進本部にて回答の分析を行い、必要な拠点に対してフィードバックを実施しています。

2022年度は、SAQを実施した全拠点のうち、評価の結果、課題が発見された9拠点に対して課題改善のためのフィードバックを行いました。

労働・企業倫理リスクアセスメント

毎年全ての製造拠点において、労働/企業倫理に関するリスクを分析し、残存リスクがある場合は改善計画を策定の上で是正を行い、リスク軽減に取り組んでいます (環境・安全衛生は別途実施)。各拠点がPDCAサイクルをまわすことで、継続的な改善を目指しています。

- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ

- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

チェック項目は、毎年、社会動向等を踏まえて更新しており、拠点担当者が質問票に回答した後、サステナビリティ推進本部にてリスク評価を行い、評価結果を拠点にフィードバックします。残存リスクが発見された場合には、各拠点で改善計画を立案し是正をしています。

2022年度はRBA基準に則ったサプライヤー管理(派遣会社およびサービスプロバイダ)を中心とした人権リスク評価を実施しました。評価ではリスクが抽出された10の拠点において、改善対策を講じ、期末までに是正が完了しています。

監査

	頻度	対象拠点	内容
RBA公認監査	2021年度より、3年間に1回以上、全ての拠点で、RBA公認監査、お客様による監査、RBA監査基準に基づいた簡易CSRアセスメントのいずれかを実施	中期計画に基づく重点対象拠点	RBAによるVAP, AMA, CMAいずれかの公認監査
お客様によるCSR監査		お客様からの要望があった拠点	お客様の監査基準に基づいて実施
RBA監査基準に基づいた簡易CSRアセスメント		RBAおよびお客様による監査が入っていない拠点	<ul style="list-style-type: none"> • RBA VAP Operations Manualに基づいた簡易CSRアセスメント • 本社もしくは各地域のCSRグループが実施
内部監査	毎年	高いレベルのマネジメントが求められる拠点	<ul style="list-style-type: none"> • 上記3つの監査結果における改善対策の水平展開 • CSR監査員養成研修を修了した各地域のCSRグループもしくは別拠点のCSR担当者が実施

当社で推進しているCSR監査については主に3種類、RBA公認監査、お客様によるCSR監査、RBA監査基準に基づく簡易CSRアセスメントがあります。お客様の要求基準およびRBA基準に基づいた監査を行うことで、世界標準での労働、安全衛生、環境、倫理、マネジメントシステムのレベルが保たれるような仕組みを構築しています。

また2021年度より、すべての製造拠点において3年間に1回以上、RBA公認監査、お客様によるCSR監査、もしくはRBA監査基準に基づいた簡易CSRアセスメントのいずれかを行うことを目標とし、2021~2022年度の2年間で、全製造拠点のうち63%の拠点が監査を受審しており、2022年度までの目標を達成しています。

トレーニングと対話

CSRに関するRBAおよびお客様の要求事項を体系的に理解し、迅速に対応するためタイムリーなトレーニングを実施しています。2022年度は、国内およびアセアン地区においてRBA公認監査会社による「CSR内部監査員養成研修」を実施したほか、中国地区でもRBA行動規範および監査基準に関する教育をハイブリッド形式で開催しました。

税務戦略

TDKグローバル・タックス・ポリシー

TDKの経営理念、経営方針を実践していくために制定された「企業倫理綱領」に従って、TDKグローバル・タックス・ポリシーを制定します。グローバル・タックス・ポリシーは、TDKグループ(TDK株式会社および連結対象子会社)に適用されます。

法令遵守

- TDKグループは、良き企業市民として、立法趣旨の理解に基づき、グループ各社の事業が営まれる各国・地域において定められるあらゆる適用税務関連法令等を遵守します。加えて、OECD等が示す国際的な税務に係る指針や提言、BEPS (Base Erosion and Profit Shifting) プロジェクトに代表される国際的な取り組みについても尊重、遵守します。TDKグループは、企業活動の前提として常に法令遵守があると考えます。
- TDKグループは正確性と網羅性を確保すべく、法令遵守の手続を強固に構築することにより、努めて自らの責務を果たします。

企業活動および税金

- TDKグループは、経営理念、経営方針に基づく企業活動を実践するなかで、税務に関しては、特に次のような活動に取り組んでいきます。
 - 各国・地域が定める税制優遇制度等を、立法の趣旨に沿う範囲で積極的に活用することにより、税務効率を高め、企業価値の最大化に努めます。
 - TDKグループは、適用税務関連法令等に従い、適正かつ適時に税金計算・税務申告・納税を行います。
 - 税務上の事象、税務上の属性、税金費用を精査のうえで、適用税務関連法令等に従ってステークホルダーに適正で簡潔な情報開示を行います。

組織、役割および責任

- TDKグループの税務コーポレートガバナンスはグループ全体のガバナンスの枠組みに組み込まれています。当該枠組みにより、適用税務関連法令等の遵守、税務リスクの極小化、企業価値の最大化、およびTDKグループの成長のための仕組みが規定されます。
- TDKグループの税務コーポレートガバナンスは、TDKグループの最高財務責任者の責任において実行され、一定の範囲で傘下グループ又はグループ各社の税務担当に委譲されます。

税務リスク管理

- 税務機能は、事業およびその他の部門と緊密に連携し情報共有することにより、税務リスクを最小化します。税務に関して立案し、実行し、文書化することにより強固な税務ポジションを構築することで、不要な係争を回避するよう努めます。
- TDKグループは税務のみならず、利益、財務リスク、および潜在的なレピュテーションリスクなど他の要素を考慮したうえで、あらゆる意思決定を行います。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

- 税務の不確実性が予想される場合には、TDKグループの経営意思決定機関およびグループの最高財務責任者に適切に報告され、通常のTDKグループの手続によって対応を決定します。
- 適用税務関連法令等の解釈に幅があるか、もしくは明確な規定がない重要な取引については、必要に応じて、外部専門家からの見解の入手や事前確認、ルーリング取得等を行って、税務リスクを極小化します。
- TDKグループは税務リスク管理に係る法令等の遵守状況について定期的にモニタリングを行います。

税務戦略およびタックス・プランニング

- 上記のとおり、TDKグループは、適用税務関連法令等を遵守しつつ、企業価値の最大化を目指します。TDKグループは、税務をめぐる環境の変化とビジネスモデルの進化について継続的にモニタリングを実施し、税務を巡る環境とビジネスモデルの変化双方のもとでの税務リスクと税務ベネフィットを特定し、事業上の目的を達成するうえで必要となる変化に適応します。
- 重要な税務上の影響ないし高度の税務上の不確実性が想定される取引については、その検討において外部専門家から得る見解を踏まえて、TDKグループの経営意思決定機関が対応を判断します。
- 原則として、TDKグループは意図して事業の実態に合わない租税回避策を実施することはありません。また、無税又は極めて低税率かつ秘密の租税管轄地（いわゆるタックスヘイブン）を利用した恣意的な租税回避を行うことはありません。

移転価格

- TDKグループは、OECD 移転価格ガイドラインや各国・各地域の法令を遵守し、TDKグループ会社間の取引価格を「独立企業原則」等にしがたって算定します。また、事業活動を通じて創出された価値に基づき、当社グループが事業を行う国・地域における適正な納税に努めます。

税務当局との関係

- TDKグループは、各国・地域の税務当局とは良好で誠実な、専門性に根差した関係を保つように努めます。
- 税務調査、税務当局からの要請には、適用税務関連法令等に則り、誠実かつ丁寧に、専門的かつ時宜にかなった形で、対応します。
- 各国の税務当局との間に見解の不一致が生じた場合には、専門的かつ誠実に対応し、適用税務関連法令等に則り、合理性と透明性のある問題解決に当たります。

情報セキュリティ

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス**
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

[基本的な考え方](#)
[体制](#)
[取り組み](#)

基本的な考え方

TDKグループでは、情報セキュリティの維持向上のため、情報セキュリティ基本方針のもとグローバルに情報セキュリティ管理体制を構築し、活動しています。

情報セキュリティ基本方針

全般的な方向性

この方針は、TDKグループに適用します。

TDKグループは、ステークホルダーの皆様にご満足いただける信頼性の高い企業を目指すうえで、個人情報・営業機密情報（顧客預かり情報を含む）の適正管理、財務情報の正確性・公明性および事業の継続性が重要と認識し、情報セキュリティの維持と向上に取り組みます。

具体的行動指針として、全員が以下の6つの活動を推進します。

行動指針

1. 法令・規制の遵守
情報資産の取扱いにあたり、それぞれの国や地域における“情報の改ざん・漏洩・不正アクセス・不正利用を防止する法律”、“情報の信頼性・開示の正確性を要求する法律”、“個人情報を保護する法律”、“お客様との契約事項を含めた事業上の要求事項”を遵守します。
2. 情報セキュリティ管理体制
情報セキュリティを組織的に管理運用する体制を確立し、その役割と責任を定めます。
3. リスクに応じた管理策の実施
情報資産に対する脅威と脆弱性を機密性・完全性・可用性の観点から識別し、リスクに応じた適切な管理策を適用します。また本基本方針に従った社内規程を整備し情報セキュリティ管理策を確実に実施します。
4. 経営資源の提供
経営層は、この方針を実現するために必要な経営資源の提供を行います。
5. 情報セキュリティの継続的改善
社内外の環境の変化に伴うリスクの変化をとらえ、情報セキュリティの継続的な改善に全員で務めます。
6. 厳正な対処
経営層は、万一、この方針ならびに社内規程に反する行為があった場合は、「就業規則」および「企業倫理綱領」に従い、厳正に対処します。

2005年7月1日制定
2016年4月15日 改訂(2版)

体制

経営会議直属の「情報セキュリティ委員会」を設置し、グループ全体の情報セキュリティについてリスクに応じた対策を講じています。グローバル各地区の代表者による会議体を設置し、グローバルの情報セキュリティガバナンスを強化しています。各部門に対しては、情報セキュリティ管理者会議等を通じ、施策の実施を図っています。



情報セキュリティ組織 (2023年4月1日現在)

取り組み

情報セキュリティ対策の標準ともいえるNIST(米国国立標準研究所)のサイバーセキュリティフレームワーク(①特定、②防御、③検知、④対応、⑤復旧)に従い、情報セキュリティの施策を強化しています。

[主な施策]

- グローバルでセキュリティの管理状況を自動評価する仕組みを利用し、脆弱性を特定し改善(①特定、②防御、③検知)
- サプライチェーンのセキュリティ状況を確認し改善を支援(①特定、②防御)
- 危険なクラウドサービスの利用状況を検知する仕組みを導入(③検知)
- グローバルでのセキュリティインシデントに対する訓練を実施(④対応、⑤復旧)
- サイバーリスク保険へのグローバル加入(⑤復旧)

今後は、ますます大きな脅威となっているサイバー攻撃へ対応するため、被害の発生を防ぐとともに、万が一のときに被害を最小限に食い止めるよう各種対策を強化していきます。

また標的型攻撃メール訓練など従業員の教育・訓練を引き続き充実させ、システムでは補いきれないリスクにグループ全体で対応していきます。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス**
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

情報セキュリティ教育

TDKグループ全体で情報セキュリティの維持と向上に取り組むために、毎年1回以上、全従業員を対象とした情報セキュリティ教育とメール訓練を実施しています。

情報セキュリティ教育は、コンピュータの利用者を対象に、グループ各拠点で実施しており、教育の内容や頻度については、各拠点がおかれている環境や状況に応じて、適切な内容を取り入れています。

メール訓練も各拠点において、実際の攻撃メールを模したメールを従業員に配信し、添付ファイルの開封者数やURLのクリック者数を確認しています。

プライバシー侵害に関する苦情申し立て

個人情報保護基本方針を定め個人情報の適正管理に努めています。

2022年度、顧客プライバシーの侵害および顧客データの紛失に関して各グループ会社での発生報告およびお客様からの不服申し立ての受理はありませんでした。

品質保証

[目次](#)
[編集方針](#)
[トップ
コミットメント](#)
[CPSO
メッセージ](#)
[これでわかる!
TDKの
サステナビリティ](#)
[サステナビリティ
経営](#)
[環境](#)
[社会](#)
[ガバナンス](#)
[社会的評価・
インデックスへの
組み入れ](#)
[リコール中の
加湿器回収に
関するご報告](#)
[検索 / 対照表](#)
[基本的な考え方](#)
[体制](#)
[目標と実績](#)
[取り組み](#)

基本的な考え方

TDKは、電子部品の製造・提供を通じて社会へ貢献することが使命であると考えています。そのために、「品質」を重要な経営基軸として位置付け、「品質」を最優先に考え活動することで高品質の製品を実現し、お客様の期待に応え続けられるよう活動を進めています。

基本理念

『ゼロディフェクトの追求』

TDKは基本理念として「ゼロディフェクトの追求」を掲げています。

出荷段階はもちろん、流通段階、セットメーカー様の組立段階、最終ユーザー様のご使用段階、そして廃棄にいたるまで、製品のライフサイクルを通じて「ゼロディフェクト(欠陥ゼロ)」を追求していきます。

品質方針

『最終検査で品質は保証できない!』

TDKは品質方針として「最終検査で品質は保証できない!」を掲げています。

最終工程の検査で不具合品を取り除くことにより製品品質を保証するのではなく、各プロセスで品質のつくり込みを行い、100%良品を作ることにより製品品質を保証する、という品質思想を定着させるために決めました。

製品設計・工程設計・設備開発などの源流段階から品質向上に努め、不具合品を撲滅することで、お客様の満足と信頼を得られる高品質の製品を実現します。

品質目標

『不良のゼロ化』『業界トップの品質リーディングカンパニーを実現』

お客様にTDK製品を満足してお使いいただくためには、高品質の製品を、常に提供し続けることが必要です。「人」、「技術」、「仕組み」の3つのQualityをテーマとして品質保証活動を展開し、「不良のゼロ化」「業界トップの品質リーディングカンパニー」を目指していきます。



- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表



体制

本社品質保証機能長が、グループ全体の品質保証活動を統括し、理念や方針の共有・展開を図り、その実現に向け全社一丸となり活動を進めています。また、各事業部門に品質保証機能を設け、その責任者が事業部門の品質保証活動を統括し遂行しています。

目標と実績

2022年度目標	実績
DXを活用した品質教育のグローバル展開	品質教育のオンラインコンテンツの作成と展開

評価と今後の取り組み

TDKのデジタル学習プラットフォーム(Weconnect)で新たなコンテンツを引き続き検討していきます。

2023年度目標
品質教育のためのオンラインコンテンツの拡充

取り組み

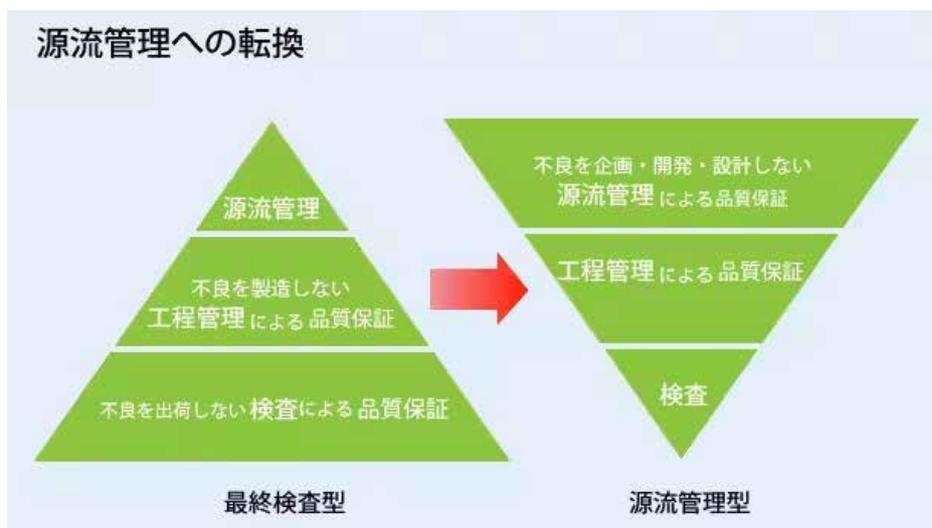
ゼロディフェクト追求における重点施策

TDKでは、基本理念である「ゼロディフェクトの追求」に向けて次の活動を進めています。

(1) 設計開発プロセスの強化

ゼロディフェクトを追求するためには、設計活動の中で100%良品を作り出すための製品・生産システムの構築が必要と考えています。このために、各プロセスにおいて発生し得るリスクを早期に抽出し、その問題を設計段階で封じ込める源流管理型の品質保証体制を構築・適用することで設計品質を確保していきます。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表



(2) 製品製造プロセスの強化

ゼロディフェクトを追求するためには、ばらつき無く再現できる製造プロセスを実現するための現場力も必要です。ばらつきの発生要因としては主に「設備」「作業」が挙げられます。「設備」に起因するばらつきに対しては、設備設計時の要件定義をより深く実施するとともに、メンテナンスの手順を明確にする等で低減を図っています。「作業」に起因するばらつきに対しては、小集団活動をベースとした改善活動を展開することで低減しています。また、小集団活動を通じた品質意識の向上や品質教育を継続することで、品質第一の組織・風土の構築・維持を進めています。

TDKでは、設計開発プロセス・製品製造プロセスの強化を進めることで技術力とモノづくり力を高め、より高品質な製品をお客様にタイムリーに提供できるよう努めていきます。

(3) 品質に関するコンプライアンス遵守

当社は法令・社会的規範等に沿って企業活動を行うと同時に、高い倫理観を持って社会的責任を果たすよう努めています。そのために、ゼロディフェクトの追求による製品品質向上活動とあわせて、品質を最優先に考え活動する意識の醸成や、品質に関するコンプライアンスの監査によるチェックなどに継続して取り組んでいきます。

(4) 製品セキュリティへの対応

近年、ネットワークにつながるIoT関連製品における新たなトラブルとして、ネットワークを介しこれらの脆弱性をついたサイバー攻撃により、不具合や取り扱うデータの漏えい・データ改ざんによる被害だけでなく、攻撃者の踏み台にされて加害者になるケースも発生しています。

このような状況を踏まえ、当社が提供するIoT製品への対応として、その機能や特長、販売形態などに応じた対策を取っています。たとえば、納入部品、生産工程から設計段階におけるセキュア開発方法や機能の安全の仕組み、さらには販売後のファームウェアアップデートなどのメンテナンス方法や、利用者の端末にインストールされるアプリケーションにいたる運用・保守まで、さまざまな段階でのセキュリティを考慮する必要があります。

IoT製品に対するセキュリティ対策は、来たるデジタルトランスフォーメーション時代には必要不可欠な技術であり、当社ではIoT製品セキュリティを製品品質の一つとして位置づけています。関連各機能と協力し、TDKのIoT製品のインシデント対応を含むサイバーセキュリティに対応する推進体制とルールを構築し、お客様からの信頼、安心を得られる製品を提供できるよう進めています。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会

(5) 従業員への継続的なTDK品質教育の実施

TDKでは、加湿器事故を教訓とし、製品の安全性や品質を最優先に位置付ける意識付けの教育を、TDKグループ全従業員を対象に定期的の実施しています。この教育では、市場で発生している事象や要求事項を鑑み定期的に、映像での教育資料の更新を行っています。

また、多言語化や提供方法の拡充を行い、グローバルでの教育を実施しています。

関連情報

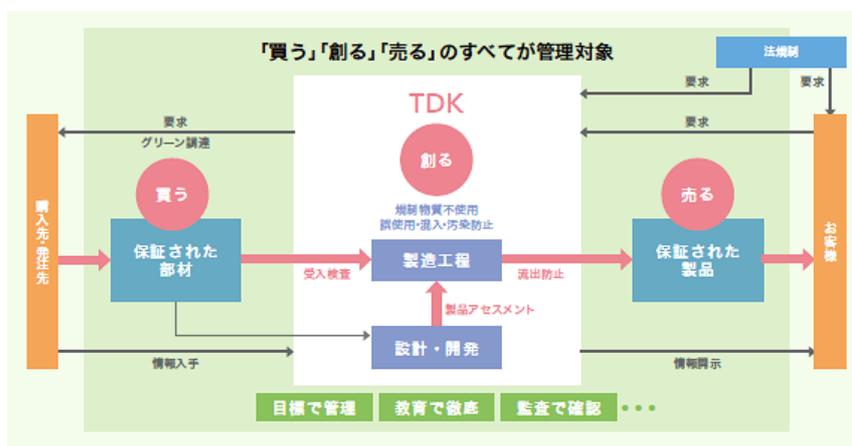
[本品質保証機能長コメント\(「ゼロディフェクト品質」の追求\)](#)

製品由来の有害物質ばく露の予防と管理

当社では、人間の健康と環境を脅かす、製品由来の有害物質ばく露を予防・管理する仕組みとして、2004年に「環境製品品質マネジメント」を導入し、品質マネジメントシステム(QMS)の中で運用しています。

製品への含有を禁止または把握すべき化学物質を明確にするために、TDKはIEC(International Electrotechnical Commission)が作成したIEC 62474(Material Declaration for Products of and for the Electrotechnical Industry)の報告すべき物質リストおよびGASG(Global Automotive Stakeholder Group)が作成したGADSL(Global Automotive Declarable Substance List)という関連業界基準に基づき、当社基準を策定しています。

サプライチェーンの川中に位置する部品メーカーとして、「買う」「創る」「売る」の段階で予防と管理を徹底する仕組みを整えています。



環境製品品質マネジメント全体像

買う(1)ーグリーン調達

当社では、製品に規制化学物質が含まれないように「TDK製品含有化学物質基準書」を定め、購入先・発注先各社には「TDKグリーン調達基準書」で規制化学物質を含まない化学物質・部品・包装材料の納入を依頼しています。また、REACH規則のSVHC含有情報の伝達をはじめ、含有把握すべき化学物質の報告をお願いしています。

関連情報

[TDKグリーン調達基準書](#)

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

買う(2)－受入検査

当社では、購入先・発注先各社からご提供いただいた化学物質・部品・包装材料の含有化学物質情報を精査し、「TDK 製品含有化学物質基準書」を満足する調達が可能であることを確認しています。

さらに、ヒューマン・エラーなどが原因で規制化学物質を含有してしまうといった事故を防ぐため、リスクレベルに応じて、調達品の受入時に分析試験による特定の化学物質の含有量を測定し、規制化学物質の工程への混入を防止しています。なお、「リスクレベル」の定義、測定の頻度等は、実績を基に継続的に見直しています。

創る(1)－環境配慮設計(エコデザイン)・製品アセスメント

生産企業における環境政策の基本は、設計／開発の開発構想段階での環境配慮設計・製品アセスメントにあり、この段階で製品由来の持続可能な発展目標や循環型社会への貢献となる環境負荷低減効果が決定されると考えています。また、環境配慮は品質向上のキーワードの一つであり、環境配慮設計・製品アセスメントは“クレーム発生”の予防処置と考えています。製品の部材調達・製造・流通・使用・廃棄の全ライフサイクルを通じて、最も環境負荷の大きな要素を特定し、新たな技術開発・革新で改善を推進しています。

創る(2)－誤使用・混入・汚染防止

当社では、製造工程、保管スペース、倉庫など、量産の現場におけるTDK禁止物質の不使用と、誤使用・混入（接触による移行性などを含む）汚染防止を徹底しており、その手段としては、識別管理、隔離、手順と基準の確立、先入れ先出し、入出庫管理などがあります。

また、はんだ槽のように汚染の可能性のある工程については、はんだメーカーと共同で実用レベルの簡易測定法を開発し、鉛の含有率管理を行っています。

売る(1)－流出防止

当社の電子部品は、RoHS指令が適用される電気・電子機器の業界だけでなく、自動車、医療機器など、多岐にわたる業界のお客様に納入しており、各種法的や顧客要求を満たさなければなりません。RoHS指令の場合、同指令の適合製品を希望されるお客様や、EU市場に上市しない高度な信頼性の確保などの目的でRoHS指令非対応製品を希望されるお客様もいます。

当社は、人的ミスによる非対応製品の誤出荷を防止するため、販売管理のコンピュータシステムに、すべての製品のRoHS指令適合有無を登録しました。このシステムでは、受注および出荷指示の段階で自動的に照合が行われます。RoHS指令非対応製品を出荷する場合には、電子申請にて「お客様の確認が得られていること」を入力し、承認手続きを経てないと出荷できない仕組みとなっています。

売る(2)－情報の開示

当社は、製品に含有するTDK禁止化学物質の全廃化の過程を通じて、製品含有化学物質の情報開示体制を整えました。

お客様からの製品含有化学物質に関するお問い合わせについて、営業部門における受付から技術部門における回答までグループウェアを利用して一元管理し、迅速かつ正確に回答する体制をとっています。

サステナビリティ | ガバナンス
ガバナンスデータ
ガバナンス

カテゴリー	項目	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
役員	取締役人数	名	7	7	7	8	7
	男性		7	7	6	7	6
	女性		0	0	1	1	1
	社外取締役		3	3	3	3	3
	女性比率		%	0	0	14.3	12.5
	監査役人数	名	4	5	5	5	5
	男性		4	4	4	4	4
	女性		0	1	1	1	1
	社外監査役		2	3	3	3	3
	女性比率		%	0	20	20	20
	執行役員人数	名	17	18	19	18	18
	男性		17	18	19	18	18
	女性		0	0	0	0	0
	日本人以外		6	7	8	8	9
	女性比率		%	0	0	0	0
取締役会	開催回数	回	13	13	14	14	14
	社外取締役出席率	%	97	100	97	100	98
	社外監査役出席率		100	97	100	100	100
監査役会	開催回数	回	15	14	14	14	15
	社外監査役出席率	%	100	97	100	100	100
役員報酬	取締役(社外取締役を除く)	百万円	315	268	497	454	390
	社外取締役		46	55	48	48	52
	監査役(社外監査役を除く)		57	58	61	62	62
	社外監査役		24	30	35	36	42

コンプライアンス

カテゴリー	項目	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
制度	ヘルプライン通報件数	件	115	46	54	79	141
企業倫理	「TDK企業倫理綱領」に関する重大な案件数	件	0	0	0	0	0
政治献金	政治献金額(日本)	百万円	0	0	0	0	0

サプライチェーンにおける社会・環境配慮パフォーマンスデータ

カテゴリー	項目	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
サプライヤーとしての取り組み	製造拠点におけるCSRセルフチェック実施数・実施率	拠点	81	78	79	80	80
		%	100	100	100	100	100
	製造拠点における労働/企業倫理リスクアセスメント実施数・実施率	拠点	81	78	79	80	80
		%	100	100	100	100	100
	第三者機関によるCSR自主監査実施数	拠点	5	5	6	5	10
	CSR内部監査員養成研修受講者数(過去累計)	名	253	303	303	333	374
	お客様満足度調査実施率 ^{※1}	%	7	7.3	6.6	5.8	5.6
満足度「Aランク」率 ^{※2}	%	89.8	93.8	95.9	96.8	95.0	
バイヤーとしての取り組み	中国を含むアジアの高リスク国の製造拠点で使用している派遣会社におけるCSRセルフチェック実施数・実施率	会社	81	73	78	68	61
		%	100	100	100	100	100
	CSR適合サプライヤー比率	%	94.4	96.1	98.0	99.0	100
責任ある鉱物調達	Conflict-freeが確認されたサプライヤー比率 ^{※3}	%	92.6	93.1	94.5	93.6	86.5
	紛争鉱物調査回答件数 ^{※4}	件	2,381	2,423	2,832	2,810	3,167

※1 連結売上金額ベースです。

※2 お客様から入手したサプライヤー評価を集計し、そのうち満足度「Aランク」(満足している)と評価いただいたお客様の割合です。

※3 対象鉱物は3TGです。

※4 TDK株式会社としての回答件数です。

サステナビリティ

社会的評価・インデックスへの組み入れ

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

[投資家および格付け機関からの社会的評価](#)
[「Clarivate Top 100グローバル・イノベーター™2023」を受賞](#)

投資家および格付け機関からの社会的評価

財務面だけでなく、環境への取り組みなど含む社会的側面も考慮して投資する「ESG投資」や「社会的責任投資(SRI: Socially Responsible Investment)」が欧米を中心に広がっています。当社では、以下のインデックスに組み入れられています。

- FTSE4Good Index Series
 FTSE Russell (英国) が提供しているインデックスで、ESGを強力に実践する企業のパフォーマンスを測定するために設計されています。
- FTSE Blossom Japan Index
 FTSE Russell (英国) が提供しているインデックスで、ESG対応の優れた日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されています。
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
 FTSE Russell (英国) が提供しているインデックスで、ESGの対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映し、セクター・ニュートラルとなるよう設計されています。


[FTSE Blossom Japan Sector Relative Index \(英語/外部サイトへ移動します\)](#)

- MSCI ESG Leaders Indexes
 MSCI (米国) が提供しているインデックスで、ESG評価に優れた企業が選定されています。
- MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
 MSCI (米国) が提供しているインデックスで、ESGの取り組みが優れた日本企業が選定されています。
- MSCI 日本株女性活躍指数 (WIN)
 MSCI (米国) が提供しているインデックスで、性別多様性に優れた日本企業が選定されています。



THE INCLUSION OF TDK CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF TDK CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会

- CDP気候変動: A-(マイナス)
- CDP 水セキュリティ対策: A(3年連続)
気候変動などの環境問題に取り組む国際的な非営利団体CDPから、最高位A、A-、B、B-、C、C-、D、D-、の8段階のうち、上記の評価を受けました。
- CDPサプライヤー・エンゲージメント評価: リーダー・ボード(3年連続)
CDP気候変動質問書の回答から、「ガバナンス」、「目標」、「スコープ3排出量算定」、「サプライチェーンエンゲージメント」に関する項目によって企業を評価する、サプライヤー・エンゲージメント評価において、サプライヤー環境活動やスコープ3排出量の結果を開示していることなどで高い評価を受けました。
- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数
S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス社と東京証券取引所が共同で開発したインデックスで、TOPIXを構成する銘柄を対象範囲とし、環境情報の開示状況、炭素効率性(売上高当たり炭素排出量)の水準に着目して、構成銘柄のウエイトが決定されています。
- SOMPOサステナビリティ・インデックス
SOMPOリスクマネジメント株式会社が実施する「ぶなの森 環境アンケート」および「ESG経営調査」の結果に基づき構成されるインデックスです。



「Clarivate Top 100グローバル・イノベーター™2023」を受賞



TDKは、クラリベイト(本社:英国ロンドン)より「Clarivate Top 100 グローバル・イノベーター 2023」に選出され、受賞しました。選定されるのは今回で9回目になります。2012年以来、Top 100 Global Innovatorsは、特許を生み出す価値を測定し、世界のイノベーションの頂点に立つ企業を評価し最前線に立つ企業を表彰しています。

クラリベイトは14,000以上に及ぶ組織や企業の中から、最も革新的な企業を複数の基準をもとに選出します。基準には、過去5年間に取得した特許の量に加え、ある発明が他社の特許申請にもたらす下流への影響、成功率、グローバル性、技術分野の広さがあります。今回当社では、特に「影響力」で高い評価をいただきました。

- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

サステナビリティ

リコール中の加湿器回収に関するご報告

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

2013年2月に、当社TDK株式会社の加湿器(品名KS-500H)が火元となり、長崎市のグループホームで火災事故が発生しました。

お亡くなりになられた方ならびにご遺族の皆様に対しまして、あらためて心よりお詫び申し上げるとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

また、負傷された皆様、そのご家族やご関係者の皆様に対しまして、あらためて心よりお詫びとお見舞いを申し上げます。当社は、この事故により、2013年3月13日に、経済産業省より危害防止命令が発せられたことを受け、2013年4月より加湿器対策本部を設置。リコール対象製品の回収活動に全力をあげています。

2022年度は、加湿器回収室の従業員を中心に、主に以下の施策を実施しました。

- マスメディアやチラシ等による回収告知
テレビCM、新聞折込みチラシ、Web 広告、チラシポスティング、フリーペーパーなど
- 官公庁等、諸団体へ回収告知協力の依頼
回覧板、自治体広告など
- 高齢者施設等への注意喚起
ダイレクトメール、ポスターなど

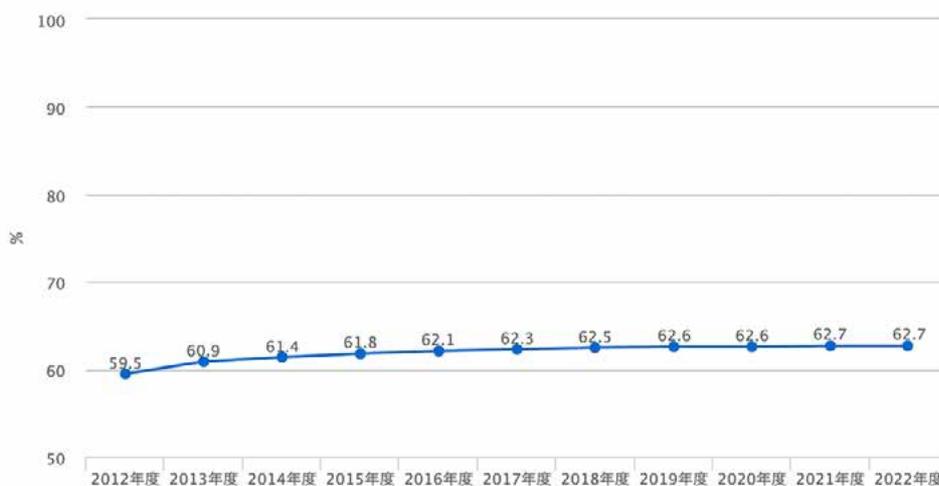
2022年度新たに回収できた加湿器は26台あり、2023年3月末現在の累積回収台数は、53,412台(回収率:62.7%)となりました。

回収活動にご理解とご協力いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

今後も、リコール対象加湿器の回収ならびに注意喚起を継続してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

また、上記の回収活動に加え全従業員に対して、「製品安全伝承教育」を行い、加湿器事故の教訓を決して風化させることなく伝承し、同様の品質問題を発生させない企業体質の構築に努めています。

販売台数^{※1}における回収台数^{※2}の割合



● 販売台数における回収台数の割合

※1 販売台数は、リコール対象全4機種種の合算です。

※2 回収台数は、お客様からの発送待ちを除いた、回収済みの台数です。

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

回収専用フリーダイヤル
 TDK 株式会社(加湿器お客様係) 0120-604-777
 受付時間:平日9:00~17:00(土・日・祝日・弊社定休日を除く)

[対象機種などに関する詳細情報](#)

[経済産業省への報告\(月々の詳細はこちらからご覧ください。\)](#)

サステナビリティ | 検索 / 対照表

ESG 調査用インデックス

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

共通
トップコミットメント >
経営理念体系とサステナビリティビジョン >
TDKグループのマテリアリティ >
サステナビリティ推進体制 >
SDGsへの取り組み >
ステークホルダーエンゲージメント >
ESGファイナンスによる資金調達 >

環境	取り組み状況	「サステナビリティ」WEBサイト掲載箇所
環境マネジメント	グループ全体の環境方針として、「TDKグループ安全衛生・環境憲章」を制定し、社会の持続可能な発展に寄与することを目指しています。これに基づき、具体的な活動の基本計画として、「TDK環境ビジョン2035」および「TDK環境・安全衛生活動2025」行動計画を策定し、実践に努めています。また、94%の生産拠点においてISO14001 (EMSに関する国際規格) の認証を取得しています。	Energy Transformation (EX)
		環境方針・環境ビジョン
		環境マネジメントシステム
		目標と実績
		ISO14001およびISO50001認証取得事業所
		製造拠点における社会・環境配慮
		環境データ
気候変動	「TDKグループ安全衛生・環境憲章」の中で、脱炭素社会への移行や再生可能エネルギーの利用推進に取り組むことを明示しています。これに基づいて策定された「TDK環境ビジョン2035」および「TDK環境・安全衛生活動2025」行動計画には、CO ₂ 排出原単位の改善目標など気候変動に関連する目標が定められており、達成に向けて取り組みを推進しています。さらにEXをマテリアリティとしても特定し活動を行っています。また、TCFDのフレームワークに沿って、TDKにおける気候変動問題への取り組みを開示しています。	環境方針・環境ビジョン
		目標と実績
		Energy Transformation (EX)
		気候変動への取り組み
		第三者検証
		環境パフォーマンスデータの第三者レビュー
		環境データ

目次		環境方針・環境ビジョン 目標と実績 環境マネジメントシステム 資源の有効利用 化学物質使用リスクの削減 環境データ
編集方針	汚染と資源	<p>「TDKグループ安全衛生・環境憲章」の中で、生産活動における資源の効率的で効果的な利用に取り組むこと、排出物の有効利用および出さない生産活動に努めることを明示しています。これに基づいて策定された「TDK環境ビジョン2035」および「TDK環境・安全衛生活動2025」行動計画には、排出物原単位の改善目標など資源の有効利用に関連する目標が定められており、達成に向けて取り組みを推進しています。なお、資源の有効利用の観点から、TDKでは、排出物の発生そのものを抑制する取り組みを推進しています。</p>
トップ コミットメント		
CPSO メッセージ	水セキュリティ	<p>「TDKグループ安全衛生・環境憲章」の中で、生産活動における資源の効率的で効果的な利用に取り組むことを明示しています。これに基づいて策定された「TDK環境ビジョン2035」および「TDK環境・安全衛生活動2025」行動計画には、取水量原単位の改善目標など水資源に関連する目標が定められており、達成に向けて取り組みを推進しています。また、各国・地域の水リスクに関して調査を行い、製造拠点における水リスクの把握・管理に努めています。</p>
これでわかる! TDKの サステナビリティ		
サステナビリティ 経営	プロダクト・スチュワードシップ/環境配慮製品	<p>製品の全ライフサイクルでの環境に与える影響を評価する「製品アセスメント」の導入や優良環境製品の認定などの活動を従来から推進してきました。これらの活動に加え、製品によるCO₂排出削減活動を進めており、製品やノウハウによるCO₂排出削減を環境貢献量として定量化する算定基準である製品貢献量算定ガイドラインを策定しました。</p>
環境		環境配慮型製品への取り組み 気候変動への取り組み ライフサイクルと製品アセスメント 環境パフォーマンスデータの第三者レビュー
社会	グリーン調達	<p>「購買方針」の中でグリーン調達を明示し、環境負荷低減に貢献し社会的責任を果たせる購入品を優先的に調達することを目的としたグリーン調達を推進しています。</p>
ガバナンス	生物多様性	<p>「TDKグループ安全衛生・環境憲章」の中で、生物多様性を含む地球環境の保全へ継続的に取り組むことを明示しています。また、「電機・電子業界における生物多様性の保全にかかわる行動指針」に賛同し生物多様性や生態系サービスの保護活動を行っています。</p>
社会的評価・ インデックスへの 組み入れ		
リコール中の 加湿器回収に 関するご報告		
検索 / 対照表		
社会	取り組み状況	「サステナビリティ」WEBサイト掲載箇所
労働慣行	<p>「TDK企業倫理綱領」のもと、雇用や人材活用における多様性の尊重、ワークライフバランスの推進や人材育成プログラムの展開など多様な個性を持つ従業員が能力を発揮できる環境の整備に努めています。</p>	企業倫理綱領 人権の尊重 社会データ ダイバーシティ&インクルージョン タレントアトラクション&リテンション 人材の育成 製造拠点における社会・環境配慮

目次			グローバル人事方針
	人材育成	「TDKグローバル人事方針」を策定し、多様なグループ企業や優秀な人材がTDKグループの一員として能力を発揮できる環境づくりを目指して、人材育成体系の整備などグローバルで各種施策を展開しています。また、「人材マネジメント」をマテリアリティとしても特定し、取り組みを行っています。	人材の育成 人材マネジメント 社会データ
編集方針			
トップ コミットメント	ダイバーシティ&インクルージョン	「TDKダイバーシティ&インクルージョン方針」を策定し推進しています。また、マテリアリティである「人材マネジメント」のテーマの一つにも特定し、取り組みを行っています。	ダイバーシティ&インクルージョン 人材マネジメント 社会データ
CPSO メッセージ			
これでわかる! TDKの サステナビリティ	タレントアトラクション&リテンション	より革新的でレジリエントな企業へ進化するためには、高い意欲を持った従業員の確保が重要だと考え、各種施策の展開や環境・仕組みの整備を進めています。	タレントアトラクション&リテンション 健康経営 社会データ
サステナビリティ 経営	人権の尊重	「TDKグループ人権ポリシー」を策定し、「ビジネスと人権に関する指導原則」の枠組みに基づいて、グループ内の事業活動はもとより、バリューチェーン全体における人権課題を正しく理解・認識し改善するための取り組みを進めています。	人権の尊重 企業倫理綱領 TDKグループ人権ポリシー TDKサプライヤー行動規範
環境			
社会	安全衛生	「TDKグループ安全衛生・環境憲章」を策定し、安全で健康な職場環境の形成のため、安全衛生マネジメントシステムを効果的に機能させるための体制整備や運営、リスクアセスメントや教育・訓練を始めとするリスク低減活動などのさまざまな取り組みを展開しています。	安全衛生 社会データ 製造拠点における社会・環境配慮 健康経営 ISO45001認証取得事業所
ガバナンス			
社会的評価・ インデックスへの 組み入れ	顧客満足	お客様から信頼されるTDKを目指して活動を進めています。また、マテリアリティである「品質管理」のテーマの一つにも特定し、取り組みを行っています。	お客様満足 品質管理
リコール中の 加湿器回収に 関するご報告	社会貢献活動	「社会貢献活動への考え方」に基づき、独自の社会貢献活動を推進しています。	社会貢献活動

検索 / 対照表	ガバナンス	取り組み状況	「サステナビリティ」WEBサイト掲載箇所
	コーポレートガバナンス	「TDKコーポレート・ガバナンス基本方針」のもと、体制や仕組みを構築し、コーポレートガバナンスの充実に継続的に取り組んでいます。	コーポレート・ガバナンス ガバナンスデータ
	コンプライアンス・腐敗防止	誠実で公正、透明な企業風土を醸成し、顧客や社会の信頼、期待に応えていくことを目指し、グローバルにコンプライアンス管理体制を構築し、取り組みを行っています。	企業倫理綱領 企業倫理・コンプライアンス ビジネスパートナーとのお付き合いに関する考え方 ガバナンスデータ

目次
編集方針
トップ コミットメント
CPSO メッセージ
これでわかる! TDKの サステナビリティ
サステナビリティ 経営
環境
社会
ガバナンス
社会的評価・ インデックスへの 組み入れ
リコール中の 加湿器回収に 関するご報告

企業倫理	「TDK企業倫理綱領」のもと、グローバルに企業倫理管理体制を構築し、従業員が企業倫理に関する問題について匿名で内部通報・相談できる仕組みを整備するなど、役員および従業員の意識の浸透、行動の徹底のために取り組んでいます。	企業倫理綱領 企業倫理・コンプライアンス
リスクマネジメント	TDKが事業活動を行ううえで生じるリスクに対応するため、経営会議直属で各種委員会を設置し、課題の対策・対応を行っています。また、「オポチュニティ&リスクマネジメント」をマテリアリティとしても特定し、取り組みを行っています。	リスクマネジメント オポチュニティ&リスクマネジメント
サプライチェーンマネジメント	サプライチェーンマネジメントをマテリアリティとして特定し、自社製造拠点だけでなく取引先を含めたサプライチェーン全体で社会・環境に配慮した取り組みを推進しています。TDKはRBAに加盟しており、RBA基準に準拠した自己評価や監査などを実施することにより、自社製造拠点におけるCSR活動の実施状況を評価し、継続的改善を図っています。また、サプライヤーに関しては、サステナブル調達だけでなく、責任ある鉱物調達も推進しています。	サプライチェーンマネジメント 製造拠点における社会・環境配慮 サステナブル調達 資材調達(購買理念・購買方針・TDKサプライヤー行動規範) 人権の尊重 責任ある鉱物調達 ガバナンスデータ
税の透明性	「TDKグローバル・タックス・ポリシー」を制定し推進しています。	税務戦略
情報セキュリティ・個人情報保護	「情報セキュリティ基本方針」のもと、グローバルに情報セキュリティ管理体制を構築し、情報セキュリティの維持向上を目指した活動を推進しています。	情報セキュリティ
品質保証	「ゼロディフェクトの追求」という基本理念の実現に向け全社一丸となり活動を進めています。また、「品質管理」をマテリアリティとしても特定し、取り組みを行っています。	品質保証 品質管理

サステナビリティ | 検索 / 対照表

GRIスタンダード対照表

「サステナビリティ」WEBサイトは、「GRIサステナビリティ・レポート・スタンダード」を参照しています。

一般開示項目

項目	開示事項	「サステナビリティ」WEBサイト掲載箇所 (※適宜、ホームページ掲載も記載)
組織と報告実務		
2-1	組織の詳細	TDKについて 概要(ホームページ)
2-2	組織のサステナビリティ報告の対象となる事業体	TDKについて 概要(ホームページ)
2-3	報告期間、報告頻度、連絡先	「サステナビリティ」WEBサイト編集方針
2-4	情報の修正・訂正記述	該当ページの注釈に記載
2-5	外部保証	「サステナビリティ」WEBサイト編集方針 環境パフォーマンスデータの第三者レビュー 第三者検証
活動と労働者		
2-6	活動、バリューチェーン、その他の取引関係	TDKについて 概要(ホームページ) TDKについて TDKネットワーク(ホームページ) 株主・投資家情報 地域別売上高 株主・投資家情報 セグメント情報 サステナブル調達
2-7	従業員	TDKについて 概要(ホームページ) 社会データ
2-8	従業員以外の労働者	
ガバナンス		
2-9	ガバナンス構造と構成	コーポレート・ガバナンス ガバナンスデータ
2-10	最高ガバナンス機関における指名と選出	コーポレート・ガバナンス
2-11	最高ガバナンス機関の議長	コーポレート・ガバナンス
2-12	インパクトのマネジメントの監督における最高ガバナンス機関の役割	コーポレート・ガバナンス サステナビリティ推進体制
2-13	インパクトのマネジメントに関する責任の移譲	コーポレート・ガバナンス TDKグループのマテリアリティ
2-14	サステナビリティ報告における最高ガバナンス機関の役割	サステナビリティ推進体制 環境マネジメントシステム 安全衛生
2-15	利益相反	コーポレート・ガバナンス TDKについて 企業倫理綱領(ホームページ)
2-16	重大な懸念事項の伝達	コーポレート・ガバナンス サステナビリティ推進体制 企業倫理・コンプライアンス リスクマネジメント
2-17	最高ガバナンス機関の集会的知見	サステナビリティ推進体制
2-18	最高ガバナンス機関のパフォーマンス評価	コーポレート・ガバナンス
2-19	報酬方針	コーポレート・ガバナンス
2-20	報酬の決定プロセス	コーポレート・ガバナンス
2-21	年間報酬総額の比率	
戦略、方針、実務慣行		
2-22	持続可能な発展に向けた戦略に関する声明	トップコミットメント CPSOメッセージ

GRI 2:一般開示事項2021

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営

環境	2-23	方針声明	TDKグループ安全衛生・環境憲章 TDKグループ人権ポリシー 社会貢献活動 サステナブル調達 責任ある鉱物調達ポリシー 品質保証
	2-24	方針声明の実践	環境 安全衛生 人権の尊重 社会貢献活動 サステナブル調達 責任ある鉱物調達 品質保証
	2-25	マイナスのインパクトの是正プロセス	リスクマネジメント 人権の尊重 企業倫理・コンプライアンス
	2-26	助言を求める制度および懸念を提起する制度	企業倫理・コンプライアンス
	2-27	法規制遵守	企業倫理・コンプライアンス
	2-28	会員資格を持つ団体	サステナビリティ推進体制
	ステークホルダー・エンゲージメント		
	2-29	ステークホルダー・エンゲージメントへのアプローチ	ステークホルダーエンゲージメント
	2-30	労働協約	社会データ

マテリアルな項目

項目	開示事項	「サステナビリティ」WEBサイト掲載箇所 (※適宜、ホームページ掲載も記載)	
GRI 3:マテリアルな項目2021	3-1	マテリアルな項目の決定プロセス	マテリアリティの特定プロセス
	3-2	マテリアルな項目のリスト	TDKグループのマテリアリティ
	3-3	マテリアルな項目のマネジメント	TDKグループのマテリアリティ

経済

項目	開示事項	「サステナビリティ」WEBサイト掲載箇所 (※適宜、ホームページ掲載も記載)	
GRI 201:経済パフォーマンス2016	201-1	創出、分配した直接的経済価値	
	201-2	気候変動による財務上の影響、その他のリスクと機会	株主・投資家情報 有価証券報告書(ホームページ)
	201-3	確定給付型年金制度の負担、その他の退職金制度	株主・投資家情報 有価証券報告書(ホームページ)
	201-4	政府から受けた資金援助	
GRI 202:地域経済でのプレゼンス2016	202-1	地域最低賃金に対する標準新人給与の比率(男女別)	
	202-2	地域コミュニティから採用した上級管理職の割合	
GRI 203:間接的な経済的インパクト2016	203-1	インフラ投資および支援サービス	社会貢献活動
	203-2	著しい間接的な経済的インパクト	
GRI 204:調達慣行2016	204-1	地元サプライヤーへの支出の割合	
GRI 205:腐敗防止2016	205-1	腐敗に関するリスク防止を行っている事業所	企業倫理・コンプライアンス
	205-2	腐敗防止の方針や手順に関するコミュニケーションと研修	企業倫理・コンプライアンス
	205-3	確定した腐敗事例と実施した措置	(該当なし)
GRI 206:反競争的行為2016	206-1	反競争的行為、反トラスト、独占的慣行により受けた法的措置	(該当なし)

検索 / 対照表

目次
編集方針
トップ コミットメント
CPSO メッセージ
これでわかる! TDKの サステナビリティ
サステナビリティ 経営
環境
社会
ガバナンス
社会的評価・ インデックスへの 組み入れ
リコール中の 加湿器回収に 関するご報告
検索 / 対照表

GRI 207:税金 2019	207-1	税務へのアプローチ	税務戦略
	207-2	ガバナンス、管理、およびリスクマネジメント	税務戦略
	207-3	税務に関連するステークホルダー・エンゲージメントおよび懸念への対処	税務戦略
	207-4	国別の報告	

環境

項目	開示事項	「サステナビリティ」WEBサイト掲載箇所 (※適宜、ホームページ掲載も記載)	
GRI 301:原 材 料 2016	301-1	使用原材料の重量または体積	
	301-2	使用したリサイクル材料	
	301-3	再生利用された製品と梱包材	
GRI 302:エネルギー 2016	302-1	組織内のエネルギー消費量	環境データ
	302-2	組織外のエネルギー消費量	気候変動への取り組み 環境データ
	302-3	組織のエネルギー原単位	
	302-4	エネルギー消費量の削減	気候変動への取り組み 環境データ
	302-5	製品およびサービスのエネルギー必要量の削減	
GRI 303:水と廃水 2018	303-1	共有資源としての水との相互作用	水資源への取り組み 環境データ
	303-2	排水に関するインパクトのマネジメント	資源の有効利用 環境データ
	303-3	取水	水資源への取り組み
	303-4	排水	資源の有効利用
	303-5	水消費	水資源への取り組み
GRI 304:生物多様 性2016	304-1	保護地域および保護地域ではないが生物多様性価値の高い地域、もしくはそれらの隣接地域に所有、賃借、管理している事業サイト	
	304-2	活動、製品、サービスが生物多様性に与える著しいインパクト	環境方針・環境ビジョン
	304-3	生息地の保護・復元	
	304-4	事業の影響を受ける地域に生息するIUCNレッドリストならびに国内保全全種リスト対象の生物種	
GRI 305:大気への 排出2016	305-1	直接的な GHG 排出(スコープ1)	気候変動への取り組み 環境データ
	305-2	間接的な GHG 排出(スコープ2)	気候変動への取り組み 環境データ
	305-3	その他の間接的な GHG 排出(スコープ3)	気候変動への取り組み 環境データ
	305-4	温室効果ガス(GHG)排出原単位	気候変動への取り組み
	305-5	温室効果ガス(GHG)排出量の削減	気候変動への取り組み 環境データ
	305-6	オゾン層破壊物質(ODS)の排出量	TDKの環境活動の歴史
	305-7	窒素酸化物(NOx)、硫黄酸化物(SOx)、およびその他の重大な大気排出物	環境データ
GRI 306:廃 棄 物 2020	306-1	廃棄物の発生と廃棄物関連の著しいインパクト	資源の有効利用
	306-2	廃棄物関連の著しいインパクトの管理	資源の有効利用
	306-3	発生した廃棄物	環境データ
	306-4	処分されなかった廃棄物	環境データ
	306-5	処分された廃棄物	環境データ
GRI 308:サプライ ヤーの環境面のアセ スメント2016	308-1	環境基準により選定した新規サプライヤー	サステナブル調達
	308-2	サプライチェーンにおけるマイナスの環境インパクトと実施した措置	サステナブル調達

社会

目次
編集方針
トップ コミットメント
CPSO メッセージ
これでわかる! TDKの サステナビリティ
サステナビリティ 経営
環境
社会
ガバナンス
社会的評価・ インデックスへの 組み入れ
リコール中の 加湿器回収に 関するご報告
検索 / 対照表

項目	開示事項	「サステナビリティ」WEBサイト掲載箇所 (※適宜、ホームページ掲載も記載)
GRI 401:雇用 2016	401-1 従業員の新規雇用と離職	社会データ
	401-2 正社員には支給され、非正規社員には支給されない手当	
	401-3 育児休暇	社会データ
GRI 402:労使関係 2016	402-1 事業上の変更に関する最低通知期間	
GRI 403:労働安全 衛生2018	403-1 労働安全衛生マネジメントシステム	安全衛生
	403-2 危険性(ハザード)の特定、リスク評価、事故調査	安全衛生
	403-3 労働衛生サービス	安全衛生
	403-4 労働安全衛生における労働者の参加、協議、コミュニケーション	
	403-5 労働安全衛生に関する労働者研修	安全衛生
	403-6 労働者の健康増進	安全衛生
	403-7 ビジネス上の関係で直接結びついた労働安全衛生の影響の防止と緩和	安全衛生
	403-8 労働安全衛生マネジメントシステムの対象となる労働者	社会データ
	403-9 労働関連の傷害	社会データ
	403-10 労働関連の疾病・体調不良	社会データ
GRI 404:研修と教育 2016	404-1 従業員一人あたりの年間研修時間	社会データ
	404-2 従業員スキル向上プログラムおよび移行支援プログラム	人材の育成 ダイバーシティ&インクルージョン
	404-3 業績とキャリア開発に関して定期的なレビューを受けている従業員の割合	人材の育成
GRI 405:ダイバー シティと機会均等 2016	405-1 ガバナンス機関および従業員のダイバーシティ	ガバナンスデータ 社会データ
	405-2 基本給と報酬総額の男女比	株主・投資家情報 有価証券報告書(ホームページ)
GRI 406:非差別 2016	406-1 差別事例と実施した救済措置	
GRI 407:結社の自由 と団体交渉2016	407-1 結社の自由や団体交渉の権利がリスクにさらされる可能性のある事業所およびサプライヤー	人権の尊重
GRI 408:児童労働 2016	408-1 児童労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	人権の尊重 製造拠点における社会・環境配慮 サステナブル調達 責任ある鉱物調達 TDKについて 企業倫理綱領(ホームページ)
GRI 409:強制労働 2016	409-1 強制労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	人権の尊重 製造拠点における社会・環境配慮 サステナブル調達 TDKについて 企業倫理綱領(ホームページ)
GRI 410:保安慣行 2016	410-1 人権方針や手順について研修を受けた保安要員	
GRI 411:先住民族 の権利2016	411-1 先住民族の権利を侵害した事例	
GRI 413:地域コ ミュニティ2016	413-1 地域コミュニティとのエンゲージメント、インパクト評価、開発プログラムを実施した事業所	
	413-2 地域コミュニティに著しいマイナスのインパクト(顕在的、潜在的)を及ぼす事業所	
GRI 414:サプ ライヤーの社会面 のアセスメント 2016	414-1 社会的基準により選定した新規サプライヤー	サステナブル調達
	414-2 サプライチェーンにおけるマイナスの社会的インパクトと実施した措置	人権の尊重 サステナブル調達 責任ある鉱物調達
GRI 415:公共政策 2016	415-1 政治献金	ガバナンスデータ

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント

GRI 416:顧客の安全衛生2016	416-1	製品およびサービスのカテゴリーに対する安全衛生インパクトの評価	品質保証 お客様満足
	416-2	製品およびサービスの安全衛生インパクトに関する違反事例	(該当なし)
GRI 417:マーケティングとラベリング2016	417-1	製品およびサービスの情報とラベリングに関する要求事項	環境配慮型製品への取り組み(ホームページ) 品質保証
	417-2	製品およびサービスの情報とラベリングに関する違反事例	
	417-3	マーケティング・コミュニケーションに関する違反事例	
GRI 418:顧客プライバシー2016	418-1	顧客プライバシーの侵害および顧客データの紛失に関して具体化した不服申立	

- CPSO
メッセージ

- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ

- サステナビリティ
経営

- 環境

- 社会

- ガバナンス

- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ

- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告

- 検索 / 対照表

サステナビリティ | 検索 / 対照表

SASB 対照表

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

環境

トピック	会計指標	SASBコード	対応状況と「サステナビリティ」 WEBサイト掲載箇所
エネルギー管理	(1)エネルギー消費総量、(2)系統電力の割合、(3)再生可能エネルギーの割合	RT-EE-130a.1 TC-SI-130a.1 TC-SC-130a.1	環境データ
有害廃棄物管理	有害廃棄物の発生量、リサイクル率	RT-EE-150a.1 TC-SC-150a.1	資源の有効利用 環境データ
	報告対象の流出事故数と集計量、回収量	RT-EE-150a.2	環境データ
ハードウェアインフラの環境評価指標	(1)総取水量、(2)総使用水量、ベースライン水ストレス(BWS)が高い地域または非常に高い地域の個々の割合	TC-SI-130a.2	環境データ
温室効果ガス排出	(1)グローバルでのスコープ1総排出量、(2)パーフルオロ化合物からの総排出量	TC-SC-110a.1	気候変動への取り組み 環境データ
	スコープ1排出量、排出量削減目標およびそれらの目標に対する実績分析の管理に係る、長期的および短期的な戦略または計画についての説明	TC-SC-110a.2	気候変動への取り組み

社会資本

トピック	会計指標	SASBコード	対応状況と「サステナビリティ」 WEBサイト掲載箇所
製品の安全性	製品のデータセキュリティリスクを特定して対処する方法の説明	TC-HW-230a.1	TDKが提供するIoT製品への対応として、その機能や特長、販売形態などに応じた対策を取っています。 品質保証(製品セキュリティへの対応)
データプライバシーおよび表現の自由	行動に基づく広告と利用者のプライバシーに関する方針と実務の説明	TC-SI-220a.1	情報セキュリティ
	利用者のプライバシーに関する法的手続に起因する金銭的損失の総額	TC-SI-220a.3	情報セキュリティ
データセキュリティ	(1)データ漏洩件数、(2)個人を特定できる情報(PII)に関する割合、(3)影響を受けた利用者数	TC-SI-230a.1	情報セキュリティ

人的資本

トピック	会計指標	SASBコード	対応状況と「サステナビリティ」 WEBサイト掲載箇所
従業員の多様性と包摂性	(1)管理職、(2)技術職員、(3)その他すべての従業員、における性別および人種民族代表の割合	TC-HW-330a.1 TC-SI-330a.3	TDKダイバーシティ&インクルージョン方針を策定し推進しています。 ダイバーシティ&インクルージョン 社会データ
グローバルな、ダイバーシティのある、熟練している労働力の採用と管理	(1)外国籍、(2)海外に所在する従業員の割合	TC-SI-330a.1 TC-SC-330a.1	社会データ
	従業員エンゲージメントの割合	TC-SI-330a.2	社会データ

目次
編集方針
トップ コミットメント
CPSO メッセージ
これでわかる! TDKの サステナビリティ
サステナビリティ 経営
環境
社会
ガバナンス
社会的評価・ インデックスへの 組み入れ
リコール中の 加湿器回収に 関するご報告
検索 / 対照表

従業員の安全衛生	従業員の健康に対する危険物への曝露を評価、監視および減少させるための取組みの説明	TC-SC-320a.1	安全衛生
----------	--	--------------	----------------------

ビジネスモデルとイノベーション

トピック	会計指標	SASBコード	対応状況と「サステナビリティ」WEBサイト掲載箇所
製品ライフサイクル管理	IEC 62474管理対象物質を含む製品の収益割合	TC-HW-410a.1 RT-EE-410a.1 TC-SC-410a.1	収益別の割合は開示しておりませんが、製品への含有を禁止、または把握すべき化学物質を明確にしています。 品質保証(製品由来の有害物質)の予防と管理
	EPEAT登録または同等の要件を満たす対象製品の収益における割合	TC-HW-410a.2	EPEAT登録対象製品はありませんが、自社基準での環境ラベルを制定し、検証・認定しています。また、製品に含有するTDK禁止化学物質の全廃化を通じて、調達、設計、製造、販売の各工程での管理に加え、適切な情報開示にも取り組んでいます。 環境配慮製品 品質保証(製品由来の有害物質)の予防と管理
	ENERGYSTAR®基準に適合する製品収益割合	TC-HW-410a.3 RT-EE-410a.2	ENERGYSTAR登録対象製品はありませんが、自社基準での環境ラベルを制定し、検証・認定しています。また、製品に含有するTDK禁止化学物質の全廃化を通じて、調達、設計、製造、販売の各工程での管理に加え、適切な情報開示にも取り組んでいます。 環境配慮製品 品質保証(製品由来の有害物質)の予防と管理
	回収された耐用年数経過製品と電気電子機器廃棄物(e-waste)の重量、リサイクル率	TC-HW-410a.4	当社は最終製品を販売しておらず、使用済み製品の回収は行っておりませんが、生産工程での鉛や銅などの排出物削減への取り組みや、ライフサイクル全体での環境負荷削減を目標に掲げ、各種活動に取り組んでいます。 環境方針・環境ビジョン
サプライチェーンマネジメント	RBA Validated Audit Process (VAP) または同等の基準で監査された Tier 1 サプライヤーの施設の (a) すべての施設、および (b) 高リスク施設、の割合	TC-HW-430a.1	2020年にRBAへ加盟し、RBA基準に準拠して自己評価、監査の2段階で継続的改善を図っています。また、TDKもお客様に製品を販売するサプライヤーとして、自社製造拠点においてもRBA基準での自己評価や監査、トレーニングを実施しています。 サステナブル調達
	Tier 1 サプライヤーの、(a) 優先すべき不適合、および (b) その他の不適合、に対して、(1) RBA Validated Audit Process (VAP) またはそれに相当する基準に対する不適合の比率、および (2) 関連する是正措置の比率	TC-HW-430a.2	製造拠点における社会・環境配慮
マテリアル調達	クリティカルマテリアルの使用に伴うリスクの管理に関する説明	TC-HW-440a.1 RT-EE-440a.1 TC-SC-440a.1	「責任ある鉱物調達」に関するポリシーを策定し、紛争だけでなく、人権侵害や環境破壊などのリスクや不正に関わる鉱物問題に対し、サプライチェーン全体で責任ある鉱物調達を推進しています。 責任ある鉱物調達

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

リーダーシップとガバナンス

トピック	会計指標	SASBコード	対応状況と「サステナビリティ」 WEBサイト掲載箇所
企業倫理	(1)汚職と賄賂、および(2)反競争的行動を防止するためのポリシーと実践の説明	RT-EE-510a.1	企業倫理・コンプライアンス

アクティブメトリック

活動指標	SASBコード	対応状況と「サステナビリティ」 WEBサイト掲載箇所
製品カテゴリ別の生産台数	TC-HW-000.A	生産台(個)数の開示は行っていませんが、製品別売上高を開示しています。 決算短信(製品別売上高の概況)6/27ページ
製造施設の面積	TC-HW-000.B	面積の開示は行っていませんが、製造拠点の情報はこちらで開示しています。 TDKについて(TDKネットワーク)
所有する施設で生産された割合	TC-HW-000.C	

サステナビリティ | 検索 / 対照表

SDGs 検索

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

目標	取り組み項目 (「サステナビリティ」WEB サイト掲載箇所)
1. あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる	
2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する	
3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	TDKグループのSDGsへの考え方と活動 製品によるSDGsへの貢献 Digital Transformation(DX)
4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	社会貢献活動
5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う	TDKグループのSDGsへの考え方と活動 人材マネジメント グローバル人事方針 ダイバーシティ&インクルージョン 社会データ ガバナンスデータ
6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する	環境方針・環境ビジョン 環境マネジメントシステム 水資源への取り組み
7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する	TDKグループのSDGsへの考え方と活動 製品によるSDGsへの貢献 Energy Transformation(EX) オポチュニティ&リスクマネジメント 気候変動への取り組み
8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する	TDKグループのSDGsへの考え方と活動 Digital Transformation(DX) 人材マネジメント サプライチェーンマネジメント 人権の尊重 製造拠点における社会・環境配慮 サステナブル調達 グローバル人事方針 人材の育成 ダイバーシティ&インクルージョン 安全衛生
9. 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	TDKグループのSDGsへの考え方と活動 製品によるSDGsへの貢献 Digital Transformation(DX) オポチュニティ&リスクマネジメント
10. 各国内及び各国間の不平等を是正する	
11. 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する	TDKグループのSDGsへの考え方と活動 製品によるSDGsへの貢献 Energy Transformation(EX) Digital Transformation(DX)

目次	12. 持続可能な生産消費形態を確保する	TDKグループのSDGsへの考え方と活動 製品によるSDGsへの貢献 Energy Transformation (EX) Digital Transformation (DX) 品質管理 サプライチェーンマネジメント オポチュニティ&リスクマネジメント 環境方針・環境ビジョン 気候変動への取り組み 水資源への取り組み 資源の有効利用 化学物質使用リスクの削減
編集方針		
トップ コミットメント		
CPSO メッセージ	13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	TDKグループのSDGsへの考え方と活動 製品によるSDGsへの貢献 Energy Transformation (EX) 品質管理 オポチュニティ&リスクマネジメント 環境方針・環境ビジョン 気候変動への取り組み 環境データ
これでわかる! TDKの サステナビリティ		
サステナビリティ 経営	14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する	
環境	15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する	環境方針・環境ビジョン 生物多様性への姿勢
社会	16. 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法への アクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する	TDKグループのSDGsへの考え方と活動 サプライチェーンマネジメント コーポレート・ガバナンス 企業倫理・コンプライアンス 人権の尊重 責任ある鉱物調達 製造拠点における社会・環境配慮 サステナブル調達
ガバナンス		
社会的評価・ インデックスへの 組み入れ	17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	TDKグループのSDGsへの考え方と活動 Energy Transformation (EX) Digital Transformation (DX) サプライチェーンマネジメント ステークホルダーエンゲージメント 社会貢献活動
リコール中の 加湿器回収に 関するご報告		

サステナビリティ | 検索 / 対照表
ステークホルダー別検索

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

株主・投資家
ステークホルダーエンゲージメント
経営理念体系とサステナビリティビジョン
コーポレート・ガバナンス
お客様
ステークホルダーエンゲージメント
品質保証
お客様満足
ガバナンスデータ
取引先
ステークホルダーエンゲージメント
サステナブル調達
責任ある鉱物調達
人権の尊重
ガバナンスデータ
従業員
ステークホルダーエンゲージメント
グローバル人事方針
人材の育成
ダイバーシティ&インクルージョン
安全衛生
人権の尊重
企業倫理・コンプライアンス
社会データ

目次	地域社会
	ステークホルダーエンゲージメント
	社会貢献活動
編集方針	行政
	ステークホルダーエンゲージメント
	税務戦略
	ガバナンスデータ
トップ コミットメント	消費者
	ステークホルダーエンゲージメント
	SDGsへの取り組み
CPSO メッセージ	
これでわかる! TDKの サステナビリティ	
サステナビリティ 経営	
環境	
社会	
ガバナンス	
社会的評価・ インデックスへの 組み入れ	
リコール中の 加湿器回収に 関するご報告	
検索 / 対照表	

サステナビリティ | 検索 / 対照表

ESG 関連データ検索

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

環境

[ISO14001およびISO50001認証取得事業所](#)

[環境データ](#)

[TDKの環境活動の歴史](#)

[第三者検証](#)

[環境パフォーマンスデータの第三者レビュー](#)

社会

[社会データ](#)

[ISO45001認証取得事業所](#)

ガバナンス

[ガバナンスデータ](#)

ESG 関連方針検索

- 目次
- 編集方針
- トップ
コミットメント
- CPSO
メッセージ
- これでわかる!
TDKの
サステナビリティ
- サステナビリティ
経営
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 社会的評価・
インデックスへの
組み入れ
- リコール中の
加湿器回収に
関するご報告
- 検索 / 対照表

環境

[TDKグループ安全衛生・環境憲章](#)

社会

[TDKグループ人権ポリシー](#)

[グローバル人事方針](#)

[TDKダイバーシティ&インクルージョン方針](#)

[TDKグループ安全衛生・環境憲章](#)

[社会貢献活動への考え方](#)

ガバナンス

[TDK企業倫理綱領](#)

[TDKコーポレート・ガバナンス基本方針](#)

[TDK購買方針](#)

[TDKサプライヤー行動規範](#)

[TDKグループの「責任ある鉱物調達」に関するポリシー](#)

[ビジネスパートナーとのお付き合いに関する考え方](#)

[TDKグローバル・タックス・ポリシー](#)

[情報セキュリティ基本方針](#)

[TDKの品質保証の考え方](#)

